はじめに

このたびは「Vodafone 902T」をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

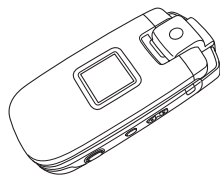
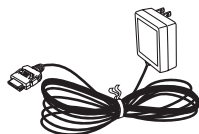
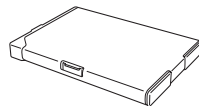
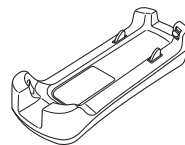
●902Tをご利用の前に、本書をご覧になり、正しくお取り扱いください。
●本書をご覧いただいたあとは、大切に保管してください。
●本書を万一紛失または損傷したときは、**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。
●ご契約の内容により、ご利用になれるサービスが限定されます。

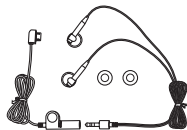
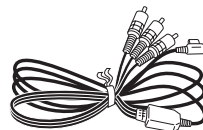
902Tは、W-CDMA方式とGSM方式に対応しております。

ご注意
・本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
・本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
・本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。
・乱丁、落丁はお取り替えいたします。

お買い上げ品の確認

付属品

●電話機

●急速充電器（TSCS01）

●電池パック（TSBS01）

●卓上ホルダー（TSES01）

●電池カバー（TSTS01/02/03）

●マルチステレオイヤホンマイク

●ビデオ出力ケーブル（TSPS01）

●ユーティリティーソフトウェア for Toshiba

●取扱説明書

●クイックスタートガイド

●3Gガイドブック

- 付属品の他に、シガーライター充電器、USBケーブルなどのオプション品が用意されています。詳しくは、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（30-28ページ）までお問い合わせください。
- 902Tは、SDメモリカード（以下メモリカードといいます）を利用することができますが、本製品にはメモリカードが同梱されていません。メモリカードに関する機能をご利用いただくためには、市販のメモリカードをお買い求めください。
  902Tは、記憶容量が1Gバイト（※2005年5月現在）までのメモリカードに対応していますが、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

目　次

基本操作編

1 ご利用になる前に

2 基本的な操作のご案内

3 マナーモード

4 文字の入力方法

5 電話帳

6 TVコール

7 カメラ

8 ディスプレイの設定

9 音の設定

10 メディアプレイヤー

11 メモリカード

12 データ管理

13 データ通信

14 セキュリティ

15 便利な機能

16 その他の機能

17 オプションサービス

Vodafone live!編

18 Vodafone live!

19 メール受信

20 メール送信

21 メールボックス

22 メールサーバー

23 メールのその他機能

24 ウェブの基本操作

25 情報の利用

26 ウェブのその他機能

27 Vアプリの基本操作

28 Vアプリの利用

29 Abridged English Manual

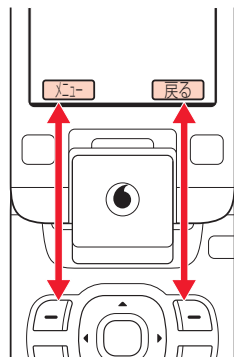
30 付録

本書の見かた

ディスプレイ表示について

●本書で記載しているディスプレイ表示は説明用に簡略化しているため、実際のディスプレイ表示と異なります。
●操作によっては、ディスプレイ表示を省略している場合があります。

ソフトボタンの使いかた

メインディスプレイの最下段に表示されている内容を実行する場合は、それぞれの表示に対応するボタン（ソフトボタン）を押してください。

- ﾒﾆｭｰ の操作を行う場合は、を押します。
- 戻る の操作を行う場合は、を押します。

補　足

- メインディスプレイに表示される内容は、利用する機能によって異なります。
- 本書ではソフトボタンを押す場合の操作を以下のように記載しています。
  （メニュー）を押す

マルチファンクションボタンの使いかた

マルチファンクションボタンは、上下左右を押すことで、カーソルを移動させたり、機能を呼び出すなどの操作が行えます。また、中央を押すことで、メインメニューを表示させたり、選択している項目を決定・実行するなどの操作が行えます。

操作 （本書での表記）	機能
上を押すとき	ショートカットメニューを呼び出すとき※ カーソルを上に移動させるとき 音量を大きくするとき
下を押すとき	電話帳を呼び出すとき※ カーソルを下に移動させるとき 音量を小さくするとき
左を押すとき	発信履歴を呼び出すとき※ カーソルを左に移動させるとき 音量を小さくするとき
右を押すとき	着信履歴を呼び出すとき※ カーソルを右に移動させるとき 音量を大きくするとき
中央を押すとき	待受画面でメインメニューを呼び出すとき 選択している項目を決定・実行するとき 撮影するとき（シャッター）

※待受画面からマルチファンクションボタンを押して、機能を呼び出すことができます。マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、呼び出せる機能が異なる場合があります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- 製品本体および取扱説明書には、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が取扱説明書をよくお読みになり、正しい使い方をご指導ください。
- 表示と図記号の意味は次のようになっています。内容をご理解のうえ本文をお読みください。

■表示の説明

表示	表示の意味
⚠危険	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことがあり、その切迫の度合いが高いこと”を示します。
⚠警告	“取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷※1を負うことが想定されること”を示します。
⚠注意	“取扱いを誤った場合、使用者が傷害※2を負うことが想定されるか、または物的損害※3の発生が想定されること”を示します。

※1 重傷とは失明・けが・高温やけど・低温やけど（体温より高い温度の発熱体を長時間肌にあてていると紅斑、水疱等の症状を起こすやけど）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院や長期の通院を要するものをさします。

※2 傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。

※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペットなどにかかわる拡大損害をさします。

■図記号の説明

図記号	図記号の意味
🚫 禁止	🚫は、**禁止**（してはいけないこと）を示します。具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
❗ 指示	❗は、**指示**する行為の強制（必ずすること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

■免責事項について

- 地震・雷・風水害などの自然災害および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意、過失、誤用、その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の使用、または使用不能から生ずる付随的な損害（情報内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 取扱説明書の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 当社指定外の接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品の故障、修理、その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータ等が変化または消失することがありますが、これらのデータの修復や生じた損害・逸失利益に関して、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- お客様ご自身で登録された内容は故障や障害の原因にかかわらず保証いたしかねます。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

⚠危険

分解禁止

電話機・電池パック・充電用機器を分解・改造・修理しないこと
発熱・破裂・発火・感電・けが・故障の原因となります。
電話機の改造は電波法違反になります。
故障したときの修理は、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（30-28ページ）までご連絡ください。

火気禁止

電話機・電池パックを火の中に入れたり、加熱しないこと
また、水にぬれた場合でも加熱用機器（電子レンジなど）で強制的に乾燥させないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

火気禁止

電話機・電池パックを火やストーブのそばなど、高温になる場所で充電・使用・放置しないこと
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

水ぬれ禁止

電話機・充電用機器・電池パックを水、汗、海水などの液体でぬらさないこと
発熱・破裂・発火・感電・故障の原因となります。誤って水などの中に落としたときは、すぐに電源を切り、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（30-28ページ）までご連絡ください。

⚠危険

水ぬれ禁止

電話機・充電用機器・電池パックを屋外や浴室など水などがかかる場所に置かないこと
また、周りにコップや花びんなど、液体の入った容器を置かないこと
ぬれると、感電・発熱・破裂・発火の原因となります。

禁止

電話機と電池パックの取り付けや電話機と充電用機器などの接続は、無理な取り付けまたは接続をしないこと
また、コード類などを使用して（＋）（－）を逆に接続しないこと
電池パックの液もれや破裂・発熱・発火・感電・故障の原因となります。

禁止

電池パックのコネクター（金属端子部分）に金属片（ネックレスやヘアピンなど）を接触させないこと
電池パックがショートして、発熱・破裂・発火したり、ネックレスやヘアピンなどが発熱する原因となります。

指示

電話機の電池パックは、付属または指定の電池パックを使用すること
また、電池パックはこの電話機だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

指示

電話機の電池を充電するときは、付属または指定の充電用機器を使用すること
また、充電用機器はこの電話機の電池パックの充電だけに使用すること
発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

⚠警告

ぬれた電池パックを充電しないこと

発熱・破裂・発火・感電・回路のショートによる故障の原因となります。万一、水などの液体がかかってしまった場合は、ただちに急速充電器のプラグを抜いてください。

自動車などの運転中に電話機を使用しないこと
また、電話機の通話以外の機能（メール・ゲーム・カメラ・ビデオ・電話機内蔵のモバイルライトなど）も使用しないこと

交通事故の原因となります。運転をしながら携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車を禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

ガソリンスタンドなど、火災や爆発のおそれがある場所で使用しないこと

ガスに引火し、火災・爆発の原因となります。ガソリンスタンドでの給油中など、引火ガスが発生する場所では電話機の電源を切り、充電もしないでください。

ストラップ・ビデオ出力ケーブル・マルチステレオイヤホンマイクなどを持って振り回さないこと

けがなどの事故や破損の原因となります。

高精度な電子機器の近くでは電話機の電源を切ること

電子機器に影響を与える場合があります。
影響を与えるおそれのある機器の例：心臓ペースメーカ・補聴器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドアなど。
医用電気機器をお使いの場合は機器メーカまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。

長時間使用しないときやお手入れをするときは、急速充電器のプラグをコンセントから抜くこと

感電・火災・故障の原因となります。

航空機内などの使用を禁止された場所では電話機の電源を切ること
スケジュール、アラームなど電源が自動的に入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切ること

航空機内での携帯電話機の使用は法律で禁止されています。

通話・メール・撮影などをするときは周囲の安全を確認すること

安全を確認せずに使用すると、転倒・交通事故の原因となります。

⚠警告

指定の電源・電圧で使用すること
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災の原因となります。
急速充電器：家庭用交流100～240V
シガーライター充電器（オプション品）：直流12V・24V（マイナスアース車専用）

急速充電器のプラグにほこりが付着しているときは、プラグをコンセントから抜いて、乾いた布などで、ほこりをふき取ること
プラグやコンセントにほこりが付着していると、火災の原因となります。

車載用機器などは、次のことを守り設置、配線を行うこと
- **運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならないこと**
- **シートベルトの脱着部やドアなどの可動部に挟まないこと**

コード類が足や運転装置にからむと運転の妨げになり、事故の原因となります。また、車載用機器などの落下に驚いて、急ブレーキや急ハンドルの操作により事故の原因となります。

電池パック内部からもれた液が目に入ったときは、すぐにきれいな水で洗い、眼科の医師の治療を受けること
そのままにしておくと、目に障害を与える原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえた場合は、直ちに電話機の使用を中止すること
また、電源を切って電話機に触れないこと
落雷・感電の原因となります。雷鳴が聞こえた場合は、使用を中止し、屋内などの安全な場所へ移動してください。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめること
発熱・破裂・発火の原因となります。最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（30-28ページ）までご連絡ください。

急速充電器を家庭用交流コンセントに差し込むときは、プラグに金属製ストラップなどの金属類が触れないようにして、確実に差し込むこと
感電・ショート・火災の原因となります。

⚠警告

指示

電話機・電池パック・充電用機器に発煙・異臭などの異常が発生したり、破損したときは、すぐに次の作業を行うこと

1. 充電中であれば、急速充電器またはシガーライター充電器（オプション品）を家庭用交流コンセントまたはシガーライターソケットから抜いてください。
2. 電話機が熱くないことを確認し、電話機の電源を切り、電池パックを取り外してください。

そのまま使用（充電）すると、電池パックが発熱・破裂・発火したり、電話機が発熱する原因となります。異常がある場合は、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」または「**お問い合わせ先**」（30-28ページ）までご連絡ください。

禁止

電話機・電池パックを落としたり、強い衝撃を与えないこと

発熱・破裂・発火・故障の原因となります。

禁止

ズボンのポケットに入れたまま、座席や椅子に座らないこと

無理な力がかかるとディスプレイやバッテリーなどが破損し、発熱・発火・けがの原因となります。

指示

植込み型心臓ペースメーカ、植込み型除細動器や医用電気機器の近くで電話機を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがあるため、次のことを守ること

1. 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、植込み型心臓ペースメーカ等の装着部位から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、電話機の電源を切ってください。電波により植込み型心臓ペースメーカなどの作動に影響を与える場合があります。
3. 医療機関の屋内では、次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には電話機を持ち込まない
   - 病棟内では、電話機の電源を切る
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、電話機の電源を切る
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止等の場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従う

⚠警告

・スケジュール、アラームなど電源が自動的に入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切る

4．医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養等）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

ここで記載している内容は、「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末などの使用に関する指針」（不要電波問題対策協議会「平成9年4月」）に準拠、ならびに「電波の医用機器などへの影響に関する調査研究報告書」（平成13年3月「社団法人電波産業会」）の内容を参考にしたものです。

急速充電器本体はAC100～240Vの家庭用電源以外では使用しないこと

指定以外の電源をご使用になると火災や充電器の発熱・発火・故障の原因となります。

⚠注意

電話機・電池パックを直射日光のあたるところや炎天下の車内など、高温になる場所で使用・放置しないこと
発熱・発火・故障の原因となります。

電話機・電池パック・充電用機器を幼児の手の届く場所には置かないこと
電池パック、メモリカード（市販）などを誤って飲み込んだり、けがなどの事故の原因となります。

充電用機器の端子（金属部分）に針金などの金属を接触させないこと
発熱・やけどの原因となります。

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を家庭用交流コンセントやソケットから抜くときは、コードを引っ張らないこと
コードの破損により感電・発熱・発火の原因となります。
急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）を持って抜いてください。

急速充電器やシガーライター充電器（オプション品）のコードを引っ張ったり、無理に曲げたり、巻きつけたりしないこと
また、傷つけたり、加工したり、上に物を載せたり、加熱したり、熱器具に近づけたりしないこと
コードの破損により感電・発熱・発火の原因となります。

ぬれた手で急速充電器を抜き差ししないこと
感電・故障の原因となります。

電話機に磁気カードなどを近づけたり、挟んだりしないこと
キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないこと
電話機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なうおそれがあります。

⚠注意

禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないこと

落下して､けがや故障の原因となります｡バイブレーター設定中は特に気をつけてください｡

禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないこと

不要になった電池パックは一般のゴミと一緒に捨てずに、コネクターにテープなどを貼り絶縁してから、個別回収にお出しになるか、最寄りの「**ボーダフォンショップ**」までお持ちください。

電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

禁止

汗をかいた手で触ったり、汗をかいて湿気のこもった衣服のポケットなどに入れないこと

汗や湿気によって内部が腐食し、発熱・故障の原因となることがあります。

禁止

シガーライター充電器（オプション品）は、自動車のエンジンを切った状態で使用しないこと

自動車用バッテリー消耗の原因となります。

指示

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、指定のヒューズと交換すること

指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。

ヒューズの交換については、シガーライター充電器（オプション品）の取扱説明書を参照してください。

指示

電池パック内部からもれた液が皮膚や衣服に付いたときは、すぐにきれいな水で洗い流すこと

そのままにしておくと、皮膚がかぶれたりすることがあります。

⚠注意

指示

皮膚に異常を感じたときは、すぐに使用を中止し、必ず皮膚科専門の医師へ相談すること

本製品には、以下に記載の材料の使用や表面処理を施しております。これにより、まれに、お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。

使用箇所	使用材料、表面処理
外装ケース（ボタン操作部）	PC樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外装ケース（メインディスプレイ側、サブディスプレイ側、ヒンジサイドカバー、ヒンジキャップ、メインカメラ部、電池部）	PPE・PS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
メインディスプレイパネル、サブカメラパネル、メインカメラパネル	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化インク
サブディスプレイパネル	強化ガラス／ポリエステルフィルム
下内パネル	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ボタン	PC樹脂／ウレタン系UV硬化塗装処理
クリアランスキーパー	ポリエステルエラストマー樹脂
お知らせLEDランプ	アクリル樹脂
フラッシュパネル	PC樹脂
アイコンバッジ、フラッグバッジ	アクリル樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
カメラグリップ	ポリエステルエラストマー樹脂／ウレタン系塗装処理
イヤホンマイク端子キャップ、メモリカードキャップ	PC・ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
外部接続端子キャップ	ポリエステルエラストマー樹脂
充電端子	ステンレス／金メッキ（下地ニッケル）
赤外線通信窓	アクリル樹脂
ネジ	鉄／ニッケルメッキ（下地銅）
ネジカバー（受話部）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ネジカバー（メインディスプレイ）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理
ネジキャップ（メインカメラ）	ABS樹脂／アクリル系UV硬化塗装処理

⚠注意

指示

レシーバーにピンなどの金属片が吸着していないか確かめてから使用すること
金属片が耳などにささるなどして、けがの原因となります。

指示

心臓の弱い方は、電話機の着信バイブレーター（振動）や着信音量の設定に気をつけること
驚いたりして、心臓に影響を与える可能性があります。

指示

電話機を折りたたむときは、手や物をはさまないように気をつけること
また、電話機を開くときは、ヒンジ部（つなぎ目）に指を挟まないこと
けがやディスプレイ（液晶）などの破損の原因となります。

禁止

モバイルライトやスポットライト機能を撮影や簡易ライト用途以外に使用しないこと
目がくらむことにより視力障害・けがの原因となります。

禁止

充電中は、紙・布・布団などをかぶせたりしないこと
発熱・発火・やけど・故障の原因となります。

指示

マルチステレオイヤホンマイクの使用中は、音量を上げすぎないこと
大きな音で耳を刺激すると聴力に悪い影響を与えたり、音が外にもれてまわりの方の迷惑になることがあります。また、周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。

禁止

メモリカードスロットにメモリカード（市販）以外のものを入れないこと
発熱・感電・故障の原因となります。
通常はキャップをはめた状態でご使用ください。

禁止

メモリカード（市販）の取り付けや取り外しをするときは、顔などを近づけないこと
また、小さなお子様には触らせないこと
カードから指を急に離した際にカードが飛び出して、けがの原因となります。

⚠注意

メモリカード（市販）のデータ書き込み・読み出し中に、振動・衝撃を与えたり、メモリカードを取り出したり、電話機の電源を切らないこと
データ消失・故障の原因となります。

メモリカード（市販）は対応品以外のものを使用しないこと
データ消失・故障の原因となります。
記憶容量が1Gバイト（※2005年5月現在）までのメモリカードに対応しています。

ビデオ出力ケーブルを子供だけで使用させたり、幼児の手の届く所に保管しないこと
誤って、首などに巻きつけたりすると、けがの原因となります。

赤外線通信やリモコン機能を使用するときは、赤外線ポートを目に向けないこと
目に影響を与えることがあります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて発光させないこと
視力障害の原因となります。特に乳幼児に対して、至近距離で撮影しないでください。

USIMカードの取り付けおよび取り外し時に無理な力を加えないこと
故障の原因となります。また、取り外しの際、手や指などを傷つけないようにご注意ください。

USIMカードは指定以外のものを使用しないこと
指定以外のカードを使用すると、データの消失・故障の原因となります。

サブディスプレイに貼られている保護シートははがさないこと
保護シートをはがして使用した場合、サブディスプレイが破損したときに、けがの原因となることがあります。

お願いとご注意

■ご利用にあたって

●この電話機は電波を利用しているので、サービスエリア内であっても屋内、地下、トンネル内、自動車内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。

●この電話機を公共の場所でご使用になるときは、周りの方の迷惑にならないようにご使用ください。また劇場や乗り物等によっては、ご使用できない場所がありますのでご注意ください。

●この電話機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただく場合があります。あらかじめご了承ください。

●一般の電話機やテレビ・ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、音声や映像などに影響を与えることがありますのでご注意ください。

●この電話機はデジタル方式の優位性、特殊性として電波の弱い極限まで一定の高通話品質を維持し続けます。したがって、通話中にこの極限を超えてしまうと、突然通話が途切れることがあります。あらかじめご了承ください。

●デジタル方式は高い秘話性を有しておりますが、電波を利用している以上盗聴される可能性もあります。留意してご利用ください。

●以下の場合、登録された情報内容が変化・消失することがあります。情報内容の変化・消失については、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。情報内容の変化・消失に伴う損害を最小限にするために、重要な内容は別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。

・誤った使い方をしたとき
・静電気や電気的ノイズの影響を受けたとき
・動作中に電源を切ったとき
・電池の充電量がなくなった（放電しきった）とき
・故障したり、修理に出したとき

●初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。

●メモリカード（市販）をご使用される場合は、ご使用前にメモリカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

●携帯電話を長時間利用した場合に、特に高温環境では携帯電話が熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどになるおそれがあります。

●海外に持ち出す物によっては、「輸出貿易管理令および外国為替令に基づく規制貨物の非該当証明」という書類が必要な場合がありますが、本機を、旅行や短期出張で自己使用する目的で持ち出し、持ち帰る場合には、基本的に必要ありません。ただ、本機を他人に使わせたり譲渡する場合は、輸出許可が必要となる場合があります。

また、米国政府の定める輸出規制国（キューバ、リビア、朝鮮民主主義人民共和国、イラン、スーダン、シリア）に持ち出す場合は、米国政府の輸出許可が必要となる場合があります。
輸出法令の規制内容や手続きの詳細は、経済産業省 安全保障貿易管理のホームページなどを参照してください。

●補聴器をお使いでこの電話機をご使用する場合、一部の補聴器の動作に干渉することがあります。もし干渉がある場合は補聴器メーカーまたは販売業者までご相談ください。

■自動車内でのご使用にあたって

●運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されていますので、ご使用にならないでください。

●駐停車が禁止されていない安全な場所に自動車を止めてからご使用ください。

■航空機内でのご使用について

●航空機内では、ご使用にならないでください。
電源も入れないでください（スケジュール、アラームなど電源が自動的に入る設定をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください）。
航空機内で携帯電話機を使用することは、法律で禁止されています。

■お取り扱いについて

●この電話機を極端な高温または低温、多湿の環境、直射日光のあたる場所、ほこりの多い場所でご使用にならないでください。

●この電話機を落としたり衝撃を与えたりしないでください。

●お手入れの際は、乾いた柔らかい布で拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。

●雨や雪の日、および湿気の多い場所でご使用になる場合、水にぬらさないよう十分ご注意ください。電話機･電池パック・充電用機器・マルチステレオイヤホンマイクなどは防水仕様ではありません。

●電池パックは電源を入れたままはずさないでください。故障の原因となります。

●電話機から電池パックを長い間はずしていたり、電池残量のない状態で放置したりすると、お客様が登録・設定した内容が消失または変化することがありますのでご注意ください。なお、これらに関して発生した損害につきまして、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

●電池パックは消耗品で、リチウムイオン電池を使用しています。使用状態などによっても異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは、電池パックの交換が必要です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。

●交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、コネクターを絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ボーダフォンショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

Li-ion

- この電話機のディスプレイは特性上、画素欠けや常時点灯する画素が存在する場合があります。これらは故障ではありませんのであらかじめご了承ください。また、長時間同じ画像を表示させていると残像が発生する可能性があります。
- マルチステレオイヤホンマイクはしっかりとイヤホンマイク端子に差し込んでください。中途半端に差し込んでいると、通話時、相手の方にノイズが聞こえる場合がありますのでご注意ください。
- マルチステレオイヤホンマイクをご使用中に音量を上げすぎないでください。耳に負担がかかり障害が出たり、音が外にもれてまわりの方の迷惑になることがあります。また、歩行中などでは周囲の音が聞こえにくくなり事故の原因となります。
- 通常は、イヤホンマイク端子キャップ、外部接続端子キャップなどをはめた状態でご使用ください。キャップをはめずに使用していると、ほこり・水などが内部に入り故障の原因となります。
- ビデオ出力ケーブル・マルチステレオイヤホンマイクを端子から抜くときは、コード部分を引っ張らずプラグを持って抜いてください。コード部分を引っ張ると破損・故障の原因となります。
- ストラップ・ビデオ出力ケーブル・マルチステレオイヤホンマイクなどをはさんだままま、電話機を折りたたまないでください。故障や破損の原因となります。
- この電話機のアンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-8ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まることがあります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないようにしてください。
- 機種変更・故障修理などで、電話機を交換するときは、電話機に保存されたメールやデータなどを引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- USIMカードを落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを曲げたり、重いものを載せたりしないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを濡らさないでください。また、湿気の多いような場所に置かないでください。故障の原因となります。
- USIMカードを火のそばや、ストーブのそばなど高温の場所にて使用および放置しないでください。故障の原因となります。
- 保管の際、直射日光や高温多湿な場所は避けてください。放置した場合、故障の原因となります。
- USIMカードは乳幼児の手の届かない場所に保管するようにしてください。誤って飲み込んだり、けがの原因となったりする場合があります。
- USIMカードの取扱いについては、ご使用前にUSIMカードの取扱説明書をよくお読みになり、安全に正しくご使用ください。

■モバイルカメラについて

- カメラのレンズに太陽の光が進入する状態で放置しないでください。レンズの集光作用により、故障の原因となります。
- 大切なシーン（結婚式など）を撮影される場合は、必ず試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。

●カメラを使用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許諾を得ることなく使用したり、転送することはできません。
●携帯電話のカメラを使って、撮影が許可されていない場所や書店などで、情報の記録を行うことはおやめください。

■モバイルライト、イルミネーションについて

●高温もしくは低温下または湿気の多いところではご使用にならないでください。モバイルライトの寿命が短くなることがあります。
●モバイルライトおよびイルミネーションには寿命があります。発光を繰り返すうち、光量が減ってきます。

■リモコンについて

●電話機の赤外線ポートと操作する機器（テレビ・ビデオなど）のリモコン受信部の間にカーテン・ふすまなど信号をさえぎるものがあると動作しません。
●直射日光や蛍光灯が操作する機器（テレビ・ビデオなど）のリモコン受信部に直接当たっている場合は、リモコン信号が受信されないことがあります。
●操作する機器に赤外線通信機能が搭載されていても通信できない場合があります。

■著作権などについて

●音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。上記の目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製（データ形式の変換を含む）、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

■肖像権などについて

●他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権（パブリシティ権）があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮り公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

ソフトウェア使用許諾契約書

株式会社東芝　モバイルコミュニケーション社（以下、東芝といいます。）が提供する東芝製携帯電話上のソフトウェア（以下、本ソフトウェアといいます。）を使用その他の処分をされる前にこのソフトウェア使用許諾契約（以下、本契約といいます。）を注意深くお読みください。本契約のすべての条項に同意できない限り、お客様は本ソフトウェアを使用その他の処分を行うことはできません。本契約は、お客様と東芝との間で締結されたものとみなされ、本契約と共に提供される東芝またはそのライセンサーの著作物たる本ソフトウェアに関して適用されます。

１．使用許諾
東芝はお客様ご本人に対し、東芝製携帯電話上の本ソフトウェアを使用する譲渡不能かつ非独占的な権利を許諾します。お客様は本ソフトウェア、その関連書類、本契約で許諾された権利の一部または全部を、改変、翻訳、レンタル、コピーまたは譲渡することはできません。また本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標またはその他のいかなるマークも除去することはできません。さらに本ソフトウェアをベースにした派生品を作成することもできません。

２．著作権
本ソフトウェアは使用許諾されるもので販売されるものではありません。本ソフトウェアに関するいかなる知的財産権もお客様に譲渡されるものではありません。本ソフトウェアに関するすべての権利は東芝またはそのライセンサーが保有するものであり、本契約に明示的に記載されていない限り、いかなる権利もお客様が有するものではありません。また、お客様は、本ソフトウェアに記載された著作権表示、ラベル、商標その他のいかなるマークも除去することはできません。

３．リバースエンジニアリング
お客様は本ソフトウェアの一部またはすべてをリバースエンジニアリング、逆コンパイル、改変、翻訳もしくは逆アセンブルすることができません。お客様が法人の場合には自己の従業員に本項に規定する禁止事項を遵守せしめるものとします。本項および本契約の規定を遵守できなかった場合は、東芝はお客様に対する何らの催告を要せず直ちに本契約を解除できるものとします。

４．保証
本ソフトウェアは現状有姿で提供され、東芝は本ソフトウェアに関し、その品質、性能、商品性および特定の目的への適合性に対する保証を含め、あらゆる明示または黙示の保証も致しません。

５．責任の限定
東芝は、本ソフトウェアの使用または使用不能から生じたお客様の損害について一切責任を負いません。いかなる場合においても、本ソフトウェアおよび本契約に基づく東芝の責任は、本ソフトウェアに対してお客様が実際に支払った金額があれば当該金額を上限とします。
また、修理や点検の場合、お客様の東芝製携帯電話に登録

された情報内容（メモリダイヤル、アドレス情報など）が変化、消去するおそれがあります。情報内容は、別にメモを取るなど必ずお控えください。情報が変化、消失したことによる損害などの請求につきましては、東芝は一切責任を負いません。

6．準拠法
　本契約は、日本国法に準拠するものとし、本契約に関し紛争が生じた場合には、東京地方裁判所を管轄裁判所とするものとします。

7．輸出管理
　お客様は、本ソフトウェアに関し、「外国為替及び外国貿易法」及び関連法令ならびに「米国輸出管理法および同規則」（以下、関連法令等という。）を遵守するものとします。お客様は、関係法令等に基づき必要とされる日本国政府または関係国政府等の許可を得ることなく、関係法令等で禁止されているいかなる仕向地、自然人若しくは法人に対しても直接または間接的に本ソフトウェアを輸出、再輸出しないものとし、また第三者をして輸出させてはならないものとします。

8．お客様は、本ソフトウェアに関する東芝のライセンサーが、自己の権利と名において本契約内容を実現する権利を有することを了承するものとします。

以上

商標・特許

Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more the following United States Patents and ／ or their counterparts in other nations :

4,901,307	5,504,773	5,109,390
5,535,239	5,267,262	5,600,754
5,416,797	5,778,338	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261
5,568,483	5,414,796	5,659,569
5,056,109	5,506,865	5,228,054
5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784		

Java および Java に関連する商標は、米国およびその他の国における米国 Sun Microsystems,Inc. の商標または登録商標です。

SD ロゴは商標です。

MPEG Layer-3 audio coding technology licensed from Fraunhofer IIS and Thomson multimedia.

Powered by Mascot Capsule®/Micro3D Edition™
Mascot Capsule® は株式会社エイチアイの商標です。

Bluetooth™ は、Bluetooth SIG の商標であり、東芝はライセンスに基づき使用しています。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE MPEG-4 VISUAL PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NON-COMMERCIAL USE OF A CONSUMER FOR (i) ENCODING VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE MPEG-4 VISUAL STANDARD (“MPEG-4 VIDEO”) AND/OR (ii) DECODING MPEG-4 VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED BY MPEG-LA TO PROVIDE MPEG-4 VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION INCLUDING THAT RELATING TO PROMOTIONAL, INTERNAL AND COMMERCIAL USES AND LICENSING MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, LLC.
SEE HTTP://WWW.MPEGLA.COM.

902Tの電波比吸収率（SAR）について

この機種 902T の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。
この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR:Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じ値になっています。
この携帯電話機 902T の SAR は、0.259W/kg です。この値は、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によって SAR に多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常 SAR はより小さい値となります。

SAR について、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/initiation/sar.html

※技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14 条の 2）で規定されています。

ご利用になる前に

機能一覧

応答保留
かかってきた電話にすぐに出られないときは保留にすることができます。
（2-6、6-4ページ）

簡易留守録
音声電話に出られないときは相手のメッセージを録音することができます。
（2-7、16-9ページ）

ボイスレコーダー
通話中の相手の声を録音することができます。また、待受中に音声を録音することもできます。
（2-9、15-21ページ）

国際ローミング
日本以外の国や地域に行っても電話をかけることができます。
（2-17ページ）

マナーモード
周囲に迷惑がかからないように音を鳴らさないなどの設定ができます。
（3-2、9-2ページ）

電話帳
電話番号やE-mailアドレス、顔写真などを登録できます。また、相手先ごとに着信音などを設定することができます。
（5-2ページ）

TVコール
TVコールを利用して相手の表情を見ながら通話することができます。
（6-2ページ）

カメラ
902T内蔵のカメラで静止画や動画を撮影することができます。
（7-2ページ）

壁紙
待受画面にお好みの画像などを表示させることができます。
（8-2ページ）

サブディスプレイ
902Tを閉じた状態で日時を表示します。また、着信時に相手を確認することができます。
（8-4、8-6ページ）

言語選択
画面上の表示を英語に切り替えることができます。
（8-10ページ）

着信音
着信音をお好みのパターンやメロディに変えることができます。
（9-6ページ）

メディアプレイヤー
サウンドやムービーファイルを再生することができます。
（10-2ページ）

メモリカード
SDメモリカードを使って、各種データの保存やパソコンなどとデータのやりとりができます。
（11-2ページ）

データフォルダ
保存した画像やメロディなどの各種ファイルを管理することができます。
（12-2ページ）

赤外線通信
赤外線通信を利用してデータのやりとりができます。
（13-2ページ）

Bluetooth™
Bluetooth™通信を利用してデータのやりとりができます。
（13-6ページ）

USB
902TをパソコンとUSBケーブルで接続してデータのやりとりができます。
（13-15ページ）

シークレットモード
他人に知られたくない電話帳はシークレットメモリとして登録できます。
（14-9ページ）

誤動作防止
カバンやポケットの中でキーの誤動作を防ぎます。
（14-11ページ）

マルチアプリ
使用中の機能を終了させずに別の機能に切り替えることができます。
（15-2ページ）

USIMアプリ
USIMカード内にインストールされているアプリケーションを利用することができます。
（15-3ページ）

スケジュール
902Tをスケジュール帳として利用することができます。
（15-4ページ）

アラーム
902Tを目覚まし時計として利用することができます。
（15-16ページ）

簡易電卓
8桁までの演算や税率計算をすることができます。
（15-20ページ）

通貨換算
換算レートによる外国通貨の計算をすることができます。
（15-21ページ）

カウントダウンタイマー
設定した時間が経過するとアラームなどでお知らせします。
（15-23ページ）

メモ帳
902Tをメモ帳として利用することができます。
（15-24ページ）

世界時計
海外の時刻を設定して表示することができます。
（15-25ページ）

テレビ表示
テレビで静止画や動画を見たり、Vアプリをテレビに表示することができます。
（15-27ページ）

イルミネーション
着信や未読メールなどを、イルミネーションを点滅してお知らせします。
（16-2ページ）

QRコード読取り
QRコードを読取って、URLやE-mailアドレスなどの情報を入手することができます。
（16-20ページ）

メール
MMSやSMSを利用してメッセージの送受信ができます。
（19-2ページ）

ウェブ
知りたい情報を検索して、文字情報や画像、メロディを入手できます。
（24-2ページ）

Vアプリ
ゲームや3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードし、利用することができます。
（27-2ページ）

●オプションサービス

転送電話サービス
かかってきた電話を指定した番号へ転送します。
（17-3ページ）

留守番電話サービス
電話に出られないとき、留守番電話センターが相手のメッセージをお預かりします。
（17-5ページ）

割込通話サービス
通話中にかかってきた電話を受けることができます。
（17-8ページ）

多者通話サービス
複数で同時に通話できます。また、相手を切り替えながら通話をすることもできます。
（17-9ページ）

発着信規制サービス
電話やTVコールなどの国際電話を含む発信や着信を制限することができます。
（17-10ページ）

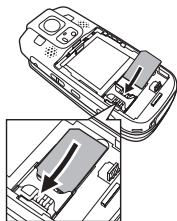
USIMカードのお取り扱い

USIMカードはお客様の電話番号や情報などが記憶されたICカードです。USIMカード対応のボーダフォン携帯電話に取り付けてご使用ください。
- 902TはUSIMカードが取り付けられていないと利用できません。

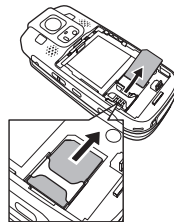
■USIMカードを取り付ける／取り外す

USIMカードの取り付けや取り外しは、電源を切り、電池パックを取り外してから行います（1-15ページ）。

USIMカードを取り付ける

1 金色のICの見えている面を下にして、下図に示す向きにUSIMカードをまっすぐ差し込む

2 USIMカードが固定されるよう奥まで差し込む

USIMカードを取り外す

1 USIMカードをスライドさせながら引き抜く

重　要
- USIMカードを取り扱う際には、IC（USIMカードの金色の部分）に触れたり、傷つけないようにご注意ください。また、無理に取り付けたり取り外そうとすると、USIMカードが変形し破損の原因となります。
- 取り外したUSIMカードをなくさないようにご注意ください。

補　足
- USIMカードの取り扱いについては、USIMカードに付属の取扱説明書を参照してください。

PINコードについて

USIMカードにはPINコードと呼ばれる2種類の暗証番号があります。大切な暗証番号ですので忘れないように、別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

■PIN1コード

第三者による902Tの無断使用を防ぐための4～8桁の暗証番号です。「**PIN1設定**」（14-2ページ）を「**有効**」にしている場合は、電源を入れたときにPIN1コードを入力しないと902Tを使用することができません。PIN1コードは変更することができます（14-3ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

■PIN2コード

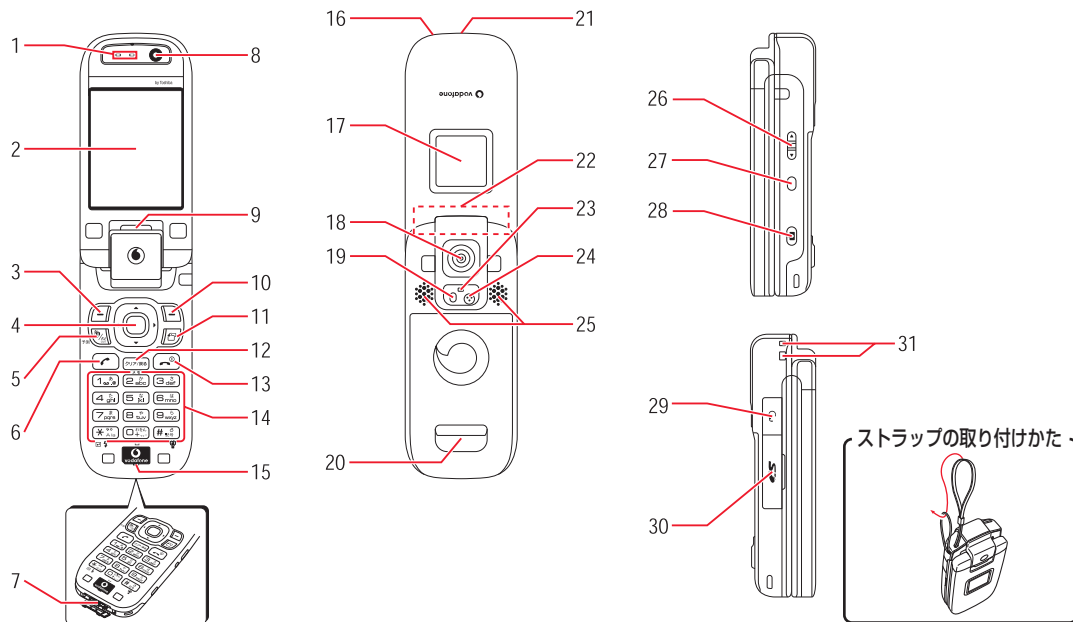
USIMカード内に保存されているデータを変更する場合などに使用する4～8桁の暗証番号です。PIN2コードは変更することができます（14-3ページ）。
お買い上げ時は「**9999**」に設定されています。

■PINロック解除コード（PUKコード）

PINロック解除コード（PUKコード）とは、PIN1／PIN2ロック状態を解除するために使用する暗証番号です。PIN1／PIN2コードの入力を3回続けて間違うと、PIN1／PIN2ロック状態になります。PINロック解除コードは、**お問い合わせ先**（30-28ページ）までお問い合わせください。PINロック解除コードの入力を10回続けて間違うと、USIMカードがロックされます。USIMカードがロックされた場合は、ロックを解除する方法はありません。**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。

各部の名称と機能

■本体

1
2
3
4
5
6
7
8
9
10
11
12
13
14
15
16
17
18
19
20
21
22
23
24
25
26
27
28
29
30
31
ストラップの取り付けかた

1 **レシーバー（受話口）**

2 **メインディスプレイ**

3 **Lソフトボタン**：選択したり、メニューを利用するときなどに使用します。また、待受画面からメールメニューを呼び出すことができます。

4 **マルチファンクションボタン**：カーソルを上下左右に移動するときやマルチファンクションボタンに設定された機能（16-6ページ）を呼び出すときなどに使用します。
センターキー：待受画面からメインメニューを表示させるときに使用します。また、メインディスプレイの最下段中央の表示に連動し、選択している項目を決定したり操作を実行します。カメラ利用時はシャッターボタンとして使用します。

5 **TVコール／AV OUT、予測ボタン**：TVコールをかけるときや受けるときに使用します（6-2ページ）。また、文字の入力予測に使用します。

6 **開始ボタン**:電話をかけるときや受けるときに使用します。

7 **充電端子／外部接続端子**：充電するとき（1-16ページ）や各種オプション品などを接続するときに使用します。

8 **サブカメラ**：TVコールなどに使用します。

9 **イルミネーション**：電話がかかってきたときやメール受信時などにイルミネーションが点滅します。

10 **Rソフトボタン**：操作を戻したり、キャンセルする場合などに使用します。また、待受画面からボーダフォンライブ！を呼び出すことができます。

11 **マルチアプリボタン**：使用中の機能を終了させずに別の機能に切り替えるときに使用します（15-2ページ）。

12 **クリア／戻る、メモボタン**：入力した文字を消したり、操作を戻すときに使用します。また、待受画面では簡易留守録に使用します。

13 **電源／終了ボタン**：電源オン、オフや通話を終了するとき、操作を終了し待受画面に戻るときに使用します。

14 **ダイヤルボタン**：電話番号や文字を入力するときなどに使用します。

待受画面で[1]を長く（約1秒以上）押すと、留守番電話サービス（17-5ページ）を聞くことができます。
待受画面で[0]を長く（約1秒以上）押すと、国際電話をかけるときの「+」を入力することができます。

＊、改行、フラッシュ、A/aボタン：＊の入力や改行、濁点・半濁点、大文字・小文字切り替えなどに使用します。また、リスト表示された画面を前ページへスクロールさせたり、カメラでモバイルライトの点灯・消灯に使用します。
待受画面で[＊]を長く（約1秒以上）押すと、キーの誤動作防止（14-11ページ）の設定／解除を切り替えることができます。

#、マナー、記号、ボタン：#や記号などを入力するときに使用します。また、リスト表示された画面を次ページへスクロールさせることができます。
待受画面で[#]を長く（約1秒以上）押すと、通常モードとマナーモードを切り替えることができます（3-2ページ）。

15 **マイク（送話口）**

16 **充電ランプ**：充電中は点灯し、充電が完了すると消灯します。

17 **サブディスプレイ**：本体を閉じているときに電話の着信やメールの受信などをお知らせします。

18 **メインカメラ**：静止画や動画を撮影するときに使用します。

19 **モバイルライト**：夜間および室内でのカメラ撮影時のライトとして使用します。

20 **カメラグリップ**

21 **赤外線ポート**：赤外線でデータを送受信するときに使用します（13-2ページ）。

22 **内蔵アンテナ部分**：902Tのアンテナは本体に内蔵されています。

23 **カメラ／ムービーランプ**：カメラ、ムービー起動時に点滅します。

24 **セカンドマイク**：動画撮影時の音声はここから録音します。

25 **スピーカー**

26 **サイドキー** ▲ ／**サイドキー** ▼：上下の移動や、音量の調節に使用します。

27 **サイドキー** ：ショートカットキー（16-5ページ）として使用します。

28 **サイドキー** ：カメラを起動するときなどに使用します。また、カメラ利用時はシャッターボタンとして使用します。

29 **AV OUT／イヤホンマイク端子**：ビデオ出力ケーブルやマルチステレオイヤホンマイクを差し込みます。

30 **メモリカードスロット**：メモリカードを差し込みます。

31 **ストラップ取り付け穴**

■メインディスプレイ

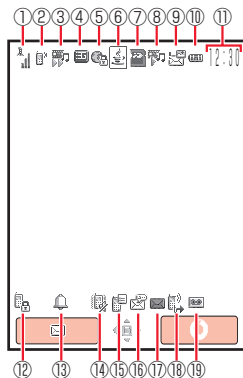
メインディスプレイには以下のアイコンが表示されます。

① **（電波状態）**

電波の状態を4段階で表示します。

：強　　：弱

：中　　：微弱

（圏外）

（オフラインモードOn）（3-3ページ）

② ／ **（音声／TVコール通話中）**

（ダイヤルアップ接続中）（13-5､13-12､13-17 ページ）

（シークレットモードOn）（14-9ページ）

③ **（ストリーミング再生中）**（10-12ページ）

（データ送受信中）

（GPRS網データ通信経路確立中）

（GPRS網位置情報認識中）

④ ／ **（3G（UMTS）網接続中／ローミング中）**

／ **（GSM網接続中／ローミング中）**

／ **（GPRS網接続中／ローミング中）**

（ボーダフォン以外の通信事業者のサービスエリア内）

⑤ **（ウェブSSL接続中）**

セキュリティで保護されている情報画面接続中に表示します（24-2ページ）。

（外部接続によるデータ同期中）

／ **（BluetoothTM接続確立中／接続待機中）**（13-6ページ）

（赤外線通信中）（13-2ページ）

⑥ ／ **（Vアプリ実行中／一時停止中）**（27-4ページ）

⑦ ／ **（メモリカード挿入中／書き込み禁止中）**（11-3ページ）

⑧ **（メディアファイル再生中）**

（マナーモード）（9-2ページ）

（運転中モード）（9-2ページ）

（ミーティングモード）（9-2ページ）

⑨ **（優先度の高いMMS受信）**

（コンテンツ・キー受信）

コンテンツ・キー（19-3ページ）の配信を待っている状態で、操作中にコンテンツ・キーを受信した場合に表示します。

／ **（新着MMS／SMS）**（19-2ページ）

（新着プッシュ）（23-8ページ）

⑩（電池レベル）
電池残量を5段階で表示します。
：十分残っています　：残りわずかです
：中位残っています　：充電してください
：少なくなっています
（充電中）（1-16ページ）

⑪時計表示

⑫（本体操作ロック中）（14-4ページ）
（誤動作防止設定中）（14-11ページ）

⑬（アラーム設定中）（15-16ページ）

⑭（サイレント・バイブレーター設定中）（9-5、9-8ページ）
（サイレント設定中）（9-5ページ）
（バイブレーター設定中）（9-8ページ）

⑮（お知らせ一発メニュー再表示）（1-12ページ）

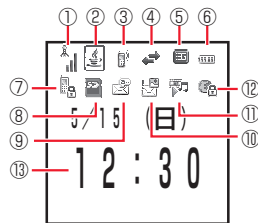
⑯（留守番電話メッセージあり）（17-5ページ）
（不在着信あり）（2-12ページ）

⑰（SMSフル）
SMSの受信件数が一杯になったときに表示します。

⑱（音声電話呼出なし転送中）（17-3ページ）
（TVコール呼出なし転送中）（17-3ページ）
（音声電話・TVコール呼出なし転送中）（17-3ページ）

⑲／／／（簡易留守録On・簡易留守録あり）
（2-7、16-9ページ）
／／（簡易留守録Off・簡易留守録あり）
（2-7、16-9ページ）

■サブディスプレイ

本体を閉じた状態でも、サブディスプレイで情報を確認することができます。

①（電波状態）
電波の状態を4段階で表示します。
：強　：弱
：中　：微弱
（圏外）
（オフラインモードOn）（3-3ページ）

②／（Vアプリ実行中／一時停止中）（27-4ページ）

③（音声通話中）
（ダイヤルアップ接続中）（13-5、13-12、13-17 ページ）
（シークレットモードOn）（14-9ページ）

④（データ送受信中）
（GPRS網データ通信経路確立中）
（GPRS網位置情報認識中）

⑤ ／ （3G（UMTS）網接続中／ローミング中）
 ／ （GSM網接続中／ローミング中）
 ／ （GPRS網接続中／ローミング中）
 （ボーダフォン以外の通信事業者のサービスエリア内）

⑥ （電池レベル）
電池残量を5段階で表示します。
 ：十分残っています　 ：残りわずかです
 ：中位残っています　 ：充電してください
 ：少なくなっています
 （充電中）（1-16ページ）

⑦ （本体操作ロック中）（14-4ページ）
 （誤動作防止設定中）（14-11ページ）

⑧ ／ （メモリカード挿入中／書き込み禁止中）（11-3ページ）

⑨ （留守番電話メッセージあり）（17-5ページ）
 （不在着信あり）（2-12ページ）
 （サイレント･バイブレーター設定中）（9-5､9-8ページ）
 （サイレント設定中）（9-5ページ）
 （バイブレーター設定中）（9-8ページ）

⑩ （優先度の高いMMS受信）
 （コンテンツ・キー受信）
コンテンツ・キー（19-3ページ）の配信を待っている状態で、操作中にコンテンツ・キーを受信した場合に表示します。
 ／ （新着MMS／SMS）（19-2ページ）
 （新着プッシュ）（23-8ページ）

⑪ （メディアファイル再生中）
 （マナーモード）（9-2ページ）
 （運転中モード）（9-2ページ）
 （ミーティングモード）（9-2ページ）

⑫ （ウェブSSL接続中）
セキュリティで保護されている情報画面接続中に表示します（24-2ページ）。
 （外部接続によるデータ同期中）
 ／ （Bluetooth™接続確立中／接続待機中）（13-6ページ）
 （赤外線通信中）（13-2ページ）
 ／ ／ ／ （簡易留守録On・簡易留守録あり）
（2-7、16-9ページ）
 ／ ／ （簡易留守録Off・簡易留守録あり）
（2-7、16-9ページ）

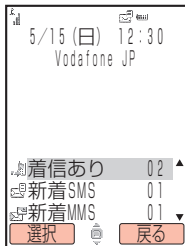
⑬ 時計表示

■お知らせ一発メニューについて

未確認の情報をお知らせする機能です。未確認の情報があると待受画面にお知らせ一発メニューが表示されます。

1 お知らせ一発メニュー表示中に確認したい項目を選択し、(選択)を押す

▶未確認情報の内容が表示されます。

●お知らせ一発メニューの表示内容は、以下の通りです。

着信あり：不在着信があることをお知らせします(2-12ページ)。

新着SMS：新着のSMSがあることをお知らせします(19-2ページ)。

新着MMS：新着のMMSがあることをお知らせします(19-2ページ)。

新着プッシュ：新着のプッシュがあることをお知らせします(23-8ページ)。

配信レポート：未読の配信レポートがあることをお知らせします(21-8ページ)。

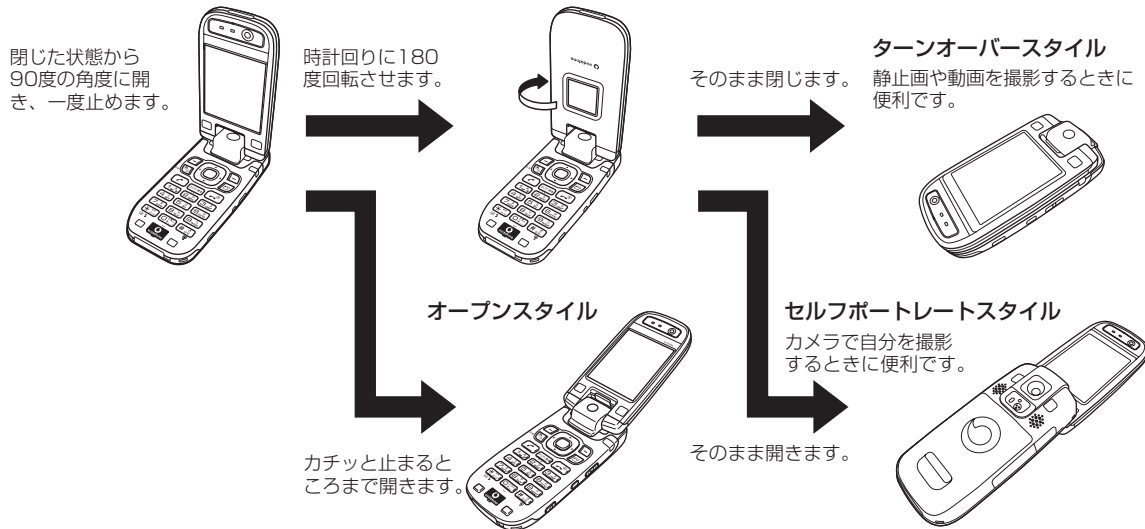
留守番電話通知：留守番電話センターに伝言メッセージをお預かりしていることをお知らせします(17-5ページ)。

スヌーズ終了：スヌーズ設定されたアラームを止めなかったときに表示されます(15-19ページ)。

補 足

●お知らせ一発メニューを終了させたい場合は、(戻る)またはを押します。お知らせ一発メニューが終了すると待受画面に「」が表示されます。また、を長く(約1秒以上)押してお知らせ一発メニューを再表示させることもできます。

本体の開閉について

902Tは、オープンスタイルやターンオーバースタイル、セルフポートレートスタイルでお使いいただくことができます。本書では、オープンスタイルを中心に操作の説明をしています。

重 要

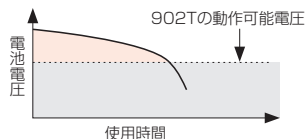
- ディスプレイ部分を回転させるときに、無理な方向に力を加えないようにしてください。故障の原因となります。
- ターンオーバースタイルのまま携帯しないでください。メインディスプレイを破損する場合があります。

電池パックと充電器のお取り扱い

■電池パックと充電器をご利用になる前に

お買い上げ時の電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

電池パックは次の注意事項を守っていただき安全にお使いください

非常に安定したイオン化合物としてリチウムを利用しているリチウムイオン電池です。「金属リチウム」は使用していません。

使用時間にともなって上図のように徐々に電圧が下がる性質があります。

●高温・低温下では性能を十分発揮できません

・高温環境や低温環境では性能が低下し、使用時間が短くなります。また、高温下での使用は電池パックの寿命を短くすることがあります。
・低温下での充電は、十分な性能が得られません。充電は5℃～35℃の場所で行ってください。

●保管する場合は次のことを守ってください

電池パック単体で保管する場合は、電池パックのコネクターがショートしないようにケースなどに入れて、なるべく乾燥した涼しいところで保管してください。このとき、あまり充電されていない状態で保管することをおすすめします。

●電池パックは自然放電します

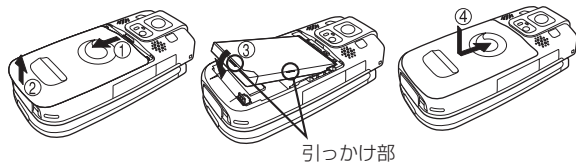
電池パックは使用しなくても長期保管しておくと徐々に放電していきます。月に10%～20%、半年で約半分程度の自然放電を行います。

重　要

- 指定の急速充電器、卓上ホルダー、シガーライター充電器を使用して電池パックを充電してください。
- 衝撃を与えたり、落としたりしないでください。
- 充電端子および電池パックのコネクターなどを時々乾いた綿棒などで清掃してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。

電池レベルについて

ディスプレイの電池レベル表示（1-10、1-11ページ）は、ご使用の時間経過とともに変化します。電池レベル表示をご確認のうえ、充電または電池パック交換の目安にしてください。
電池切れ「▭」になるとメッセージや電池アラーム音でお知らせし、約30秒後に電源が切れます。

■電池パックを取り付ける／取り外す

1 **セカンドマイクの下を押しながら電池カバーをスライドさせ（①）、取り外す（②）**

2 **電池パック下部のくぼみと本体の突起部を合わせ、電池パックを押し込む（③）**

●電池パックを取り外す場合は、引っかけ部に爪をかけて持ち上げます。

3 **電池カバーを取り付ける（④）**

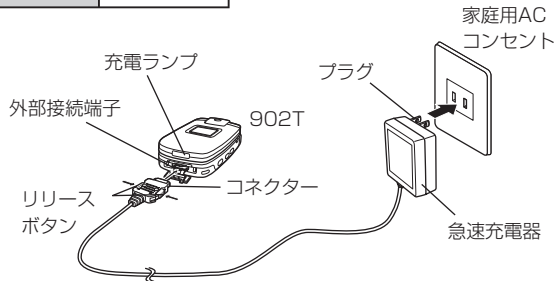
重　要

●必ず、電池パックおよび電池カバーが正しく取り付けられていることを確認してください。
●電池パックは、電源を切ってから取り外してください。また、引っかけ部以外のところから持ち上げて外さないようにしてください。
●電池パックには寿命があります。充電・放電を繰り返すうち、使用できる時間が短くなります。十分に充電をしても使用できる時間が短くなってきた場合は、新しい電池パックをお買い求めください。
●環境保護のため、交換後不要になった電池パック、および使用済み製品から取り外した電池パックは、コネクターを絶縁するためにテープを貼るかポリ袋に入れて**ボーダフォンショップ**またはリサイクル協力店にお持ちください。電池パックを分別回収している市町村の場合は、その条例にしたがって処分してください。

補　足

●電池パックのお取り扱いについては、1-14ページを参照してください。

■急速充電器を利用して充電する

充電時間	約140分

イラストは日本国内の使用例です。

1 902Tに急速充電器のコネクターを取り付ける

●902Tの外部接続端子のキャップを開け、コネクターの刻印がある面を上にして外部接続端子に接続します。

2 急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む

▶ 充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 充電ランプが消灯したら急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントから抜く

4 902Tから急速充電器のコネクターを取り外す

●コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重要

- 「充電器との接続を確認してください」と表示されたときは、家庭用ACコンセントから急速充電器のプラグを抜いて、902Tから急速充電器のコネクターを取り外します。外部接続端子を乾いた綿棒などで清掃し、902Tと急速充電器をセットし直してください。それでも表示が消えないときは、電池パック、急速充電器の不良が考えられます。直ちに充電を中止し、プラグを抜いて、電池パック、急速充電器と共に最寄りの**ボーダフォンショップ**へお持ちいただくか、**お問い合わせ先**(30-28ページ)までご連絡ください。
- 急速充電器は家庭用交流100〜240Vの電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 902Tを充電する際は、必ず902Tに電池パックを取り付けた状態で行ってください。

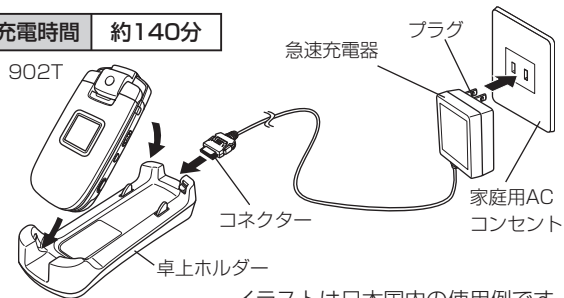
重　要

- 充電時間の目安は電源を切って充電したときの時間です。電源を入れたまま充電できますが、充電時間は電源を切ったときにくらべて長くなります。
- 充電中は902Tと急速充電器が温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合には直ちに使用を中止してください。
- 湿気の多いところでは充電しないでください。

補　足

- 電源を入れて充電している場合は、充電中は画面上に「　」が表示され､充電が完了すると「　」へ変わります。
- 充電中に電話がかかってきたときは、通常の着信と同様に着信音やバイブレーター、イルミネーションの点滅でお知らせします。
- 電池パックのお取り扱いについては1-14ページを参照してください。
- 急速充電器のプラグは日本国用です。海外での充電には、渡航先に対応した変換プラグをお買い求めのうえ、ご使用ください。

■卓上ホルダーを利用して充電する

充電時間	約140分

イラストは日本国内の使用例です。

1 **急速充電器のコネクターを卓上ホルダーに取り付ける**

- 急速充電器のコネクターの刻印がある面を上にして、卓上ホルダーの電源端子に接続します。

2 **急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントに差し込む**

3 **902Tを卓上ホルダーに取り付ける**

▶ 充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。
- 卓上ホルダーに表示されている方法に従い取り付けてください。

4 **充電ランプが消灯したら902Tを卓上ホルダーから外す**

5 **急速充電器のプラグを家庭用ACコンセントから抜く**

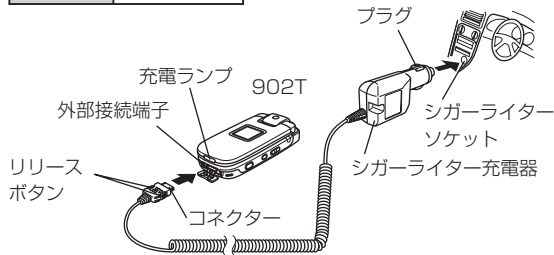
重　要

- 「充電器との接続を確認してください」と表示されたときは、家庭用ACコンセントから急速充電器のプラグを抜いて、卓上ホルダーから急速充電器のコネクターを取り外します。902Tの充電端子、卓上ホルダーの電源端子および充電端子を乾いた綿棒などで清掃し、902T、急速充電器、卓上ホルダーをセットし直してください。それでも表示が消えないときは、電池パック、急速充電器または卓上ホルダーの不良が考えられます。直ちに充電を中止し、プラグを抜いて、電池パック、急速充電器、卓上ホルダーと共に最寄りの**ボーダフォンショップ**へお持ちいただくか、**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。
- 急速充電器、卓上ホルダーは家庭用交流100～240Vの電源に対応しています。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

補　足

- 急速充電器のプラグは日本国用です。海外での充電には、渡航先に対応した変換プラグをお買い求めのうえ、ご使用ください。

■シガーライター充電器（オプション品）を利用して充電する

充電時間	約140分

1 **902Tにシガーライター充電器のコネクターを取り付ける**

- 902Tの外部接続端子のキャップを開け、コネクターの刻印がある面を上にして外部接続端子に接続します。

2 シガーライターソケットにプラグを差し込む

▶ 充電ランプが赤く点灯して充電を開始します。

3 充電ランプが消灯したらプラグをシガーライターソケットから抜く

4 902Tからコネクターを抜く

● コネクターの両側にあるリリースボタンを押しながら引き抜きます。

重　要

- 「充電器との接続を確認してください」と表示されたときは、シガーライターソケットからシガーライター充電器のプラグを抜いて、902Tからシガーライター充電器のコネクターを取り外します。902Tの外部接続端子、シガーライター充電器のプラグを乾いた綿棒などで清掃し、902T、シガーライター充電器をセットし直してください。それでも表示が消えないときは、電池パック、シガーライター充電器の不良が考えられます。直ちに充電を中止し、プラグを抜いて、電池パック、シガーライター充電器と共に最寄りの**ボーダフォンショップ**へお持ちいただくか、**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。
- 車のバッテリーの消耗を防ぐため、必ずエンジンをかけてご使用ください。

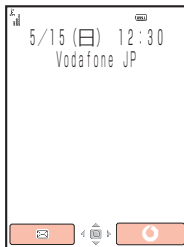
重　要

- 運転をしながら電話機を使用することは、法律で禁止されています。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。
- 車から離れる際はシガーライター充電器を外してください。キーを抜いてもシガーライターが使える車（キーを抜いても充電ランプが点灯する車）で使用した場合は、車のバッテリーが消耗され、バッテリーがあがる原因となります。
- 充電中は902Tとシガーライター充電器が温かくなることがありますが、故障ではありません。ただし、極端に熱くなる場合には異常の可能性がありますので、その場合には直ちに使用を中止してください。

電源を入れる／切る

電源を入れる

1 **を押す（約1秒以上）**

▶ウェイクアップ画面が表示されたあと、待受画面が表示されます。

補 足

- 電源を入れると、以下の動作を行います。
  - ・ウェイクアップ音が鳴ります（9-10ページ）。
  - ・充電ランプが点灯します。
  - ・イルミネーションが点滅します。
- 「**PIN1設定**」（14-2ページ）を「**有効**」にしている場合は、電源を入れたあとにPIN1コードを入力してください。

補 足

- お買い上げ後、初めて902Tの電源を入れた場合や「**オールリセット**」（14-12ページ）を行ったあとには、以下の画面が表示されます。
  - ・日付・時刻の設定（1-21ページ）
  - ・ネットワーク自動調整（18-3ページ）
  （待受画面でまたは、、のいずれかを押した場合）

電源を切る

1 **を押す（約1秒以上）**

▶シャットダウン画面が表示されたあと、電源が切れます。

補 足

- 電源を切る場合に、以下の動作を行います。
  - ・シャットダウン音が鳴ります（9-10ページ）。
  - ・イルミネーションが点滅します。

日付・時刻の設定

待受画面に表示される日付・時刻を設定します。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す

2 「一般設定」を選択し、▭（選択）を押す

3 「日時設定」を選択し、▭（選択）を押す

4 「日時設定」を選択し、▭（選択）を押す

5 日付・時刻を入力し、▭（決定）を押す

▶ 日付・時刻が設定されます。

● 日時設定を行うと自動的に曜日が設定されます。

補　足

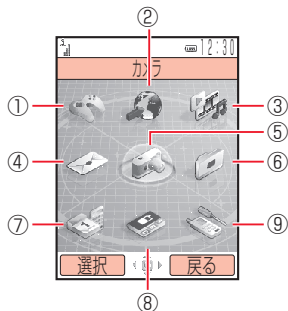
- 年は西暦の下2桁、月、日、時、分は、それぞれ2桁で入力してください。また、時刻は24時間制で入力してください。
- 入力できる日付は、2000年1月2日から2099年12月30日までです。

補　足

- 日付・時刻の入力中に◎を押すと、カーソルを移動することができます。また、◎を押すと、カーソル上の数字を繰り上げたり、繰り下げることができます。
- 12h／24h設定により表示を12時間制にすることができます（8-7ページ）。
- 時計表示は変更することができます（8-5ページ）。
- 設定された日付・時刻は、世界時計（15-25ページ）のホームの日付・時刻となります。サマータイムを設定することもできます。

機能の呼び出しかた

■メインメニューから機能を呼び出す

待受画面で(●)を押すと、メインメニューが表示されます。このあと、(◎)で目的のアイコンを選択し、(選択)を押すと、各項目内のメニューが表示されます。

① **Vアプリ**

ゲームや3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードし、利用できます（27、28章）。

・Vアプリライブラリ　・Vアプリ設定
・Vアプリ待受設定　・ライセンス情報

② Vodafone live!

ウェブから、画像やメロディなどをダウンロードできます（24、25、26章）。

・Vodafone live!　・履歴
・URL入力　・ブラウザ設定
・ブックマーク

③ **メディアプレイヤー**

サウンドやムービーファイルを再生できます（10章）。

・サウンド　・再生履歴
・ムービー　・URL入力
・再生リスト　・設定
・お気に入り

④ **メール**

MMSやSMSを利用してメッセージの送受信ができます（19、20、21、22、23章）。

・新規作成　・未送信メール
・受信メール　・サーバーメール操作
・下書き　・定型文
・送信済みメール　・設定

⑤ **カメラ**

静止画や動画を撮影できます（7章）。

・カメラ起動　・設定
・ムービー起動　・メモリ容量確認
・バーコードリーダー

⑥ **データフォルダ**

保存した画像やメロディなどの各種ファイルを管理できます（12章）。

・ピクチャー　・お気に入り
・ムービー　・定型文
・メロディ&サウンド　・その他ファイル
・Vアプリ　・メモリ容量確認

⑦ **ツール**

便利な機能を呼び出すことができます（15章）。

・USIMアプリ　・カウントダウンタイマー
・スケジュール　・メモ帳
・アラーム　・番号メモ
・簡易電卓　・世界時計
・通貨換算　・バックアップ
・ボイスレコーダー

⑧ **電話帳**

電話番号やE-mailアドレス、顔写真などを電話帳に登録できます（5章）。

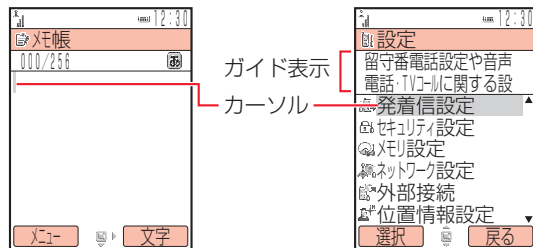
・電話帳　・名刺送信
・新規登録　・ご自分の番号
・通話履歴　・電話帳設定
・グループ設定　・メモリ容量確認
・メールグループ設定

⑨ **設定**

各種設定を行うことができます（8、9、14、16章）。

・モード設定　・セキュリティ設定
・音・バイブ設定　・メモリ設定
・ディスプレイ設定　・ネットワーク設定
・一般設定　・外部接続
・発着信設定　・位置情報設定

補　足

● カーソルとは、文字入力画面で表示される「|」または「■」、メニュー画面などで表示される「■■■」をいいます。
● メニュー画面でのガイド表示には、カーソルが選択している項目の内容が表示されます。

暗証番号

902Tのご使用にあたっては、「操作用暗証番号」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」が必要になります。

- 「操作用暗証番号」、「交換機用暗証番号」、「発着信規制用暗証番号」は忘れないように、別にメモなどを取り、他人に知られないよう管理してください。万一お忘れになった場合は、お手続きが必要となります。詳しくは、**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。
- いずれの暗証番号についても、他人に知られ悪用された場合、その損害について当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■操作用暗証番号について

「**9999**」もしくはご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号です。902Tの各機能を操作する場合に必要な番号です。

補　足

- 操作用暗証番号は902Tの操作で変更することができます（14-2ページ）。

■交換機用暗証番号について

お客様がご契約時に申し込み書に記入された4桁の暗証番号です。オプションサービスを一般電話から操作する場合に必要な番号です。

■発着信規制用暗証番号について

ご契約時にお決めいただいた4桁の暗証番号です。発着信規制の設定を行う場合に必要な番号です。

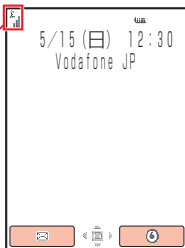
補　足

- 発着信規制用暗証番号は902Tの操作で変更することができます（17-12ページ）。

基本的な操作のご案内

電話をかける

1 電源が入っていることを確認する

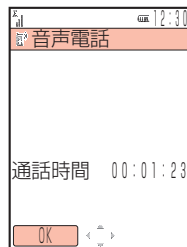
●電波状態を確認してください。

2 待受画面で電話番号を入力し、[発信キー]を押す

▶電話がかかります。

●一般電話へかける場合は、必ず市外局番から入力してください。

●携帯電話・自動車電話・PHSへかける場合は、「0」から始まる全桁の電話番号を入力してください。

3 通話が終わったら、[終話キー]を押す

▶通話時間の目安が表示されます。

間違えて入力したときは

●[終話キー]を押す、または[クリア/戻る]を長く（約1秒以上）押して待受画面に戻します。[クリア/戻る]または[ソフトキー]（クリア）を押すと、右端から1桁ずつ消すことができます。

相手がお話中のときは

●「プープー…」という話中音が聞こえます。
[終話キー]を押して電話を切り、しばらくたってからもう一度かけ直してください。

国際電話の使いかた

●902Tから、国際電話サービスがご利用になれます。
詳しくは、3Gガイドブックをご覧ください。また、操作方法については16-16ページを参照してください。

電話番号を相手に通知するときは

●発信者番号通知サービスを受けている方は、相手の電話機のディスプレイにお客様の電話番号を表示させることができます（17-2ページ）。

重　要

- 902Tのアンテナは本体に内蔵されているため、アンテナの突起がありません。内蔵アンテナ部分（1-8ページ）を手で触れたり覆ったりすると電波感度が弱まる場合があります。特に、内蔵アンテナ部分にシールなどを貼らないでください。
- マルチステレオイヤホンマイクを本体に巻きつけないでください。また、マルチステレオイヤホンマイクを内蔵アンテナ部分に近づけるとノイズが入ることがあります。
- 902Tの向きや位置によって通話品質が変わることがあります。

補　足

- 待受画面で電話番号を入力したあと[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  発信／**TVコール**（6-2ページ）／**電話帳登録**（5-4ページ）／**メール送信**（20-2ページ）／**マニュアルハイフン**（「-」を表示）／**ポーズ**（16-8ページ）／**国際発信**（16-16ページ）／**発信者番号非通知**（16-15ページ）／**発信者番号通知**（16-15ページ）
- 通話中にターンオーバースタイル（1-13ページ）にすると、送話の音声がミュートになります。

補　足

- 通話中に[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  保留／**送話音声Off**／**全音声Off**／**電話帳**（5-19ページ）／**通話履歴**（2-11ページ）／**録音開始**（2-9ページ）／**ご自分の番号**（2-16ページ）／**プッシュトーンOff**
- 902Tではウェブアクセス中に音声通話をしたり、音声通話中にメール受信などを同時に行うことができます。これをマルチ接続といいます。マルチ接続は、3Gサポートエリア内（UMTS圏内）で行うことができます。ただし、TVコール通話中はメール送受信などを行うことはできません。

2

基本的な操作のご案内

■以前かけた電話番号にもう一度かける

以前かけた電話の日時や電話番号（発信履歴）を最新の20件まで記憶し、電話をかけ直すことができます。

1 待受画面で◀◎を押す

▶電話をかけた相手の電話番号と日時が表示されます。電話帳に登録されている相手の場合は、名前が表示されます。

2 かけたい相手を選択し、⌒を押す

▶電話がかかります。

3 通話が終わったら、⌒を押す

重　要

- シークレットメモリ（5-9ページ）を「**On**」にしている電話番号にかけた場合は、発信履歴には電話番号で表示され、名前は表示されません（シークレットモード中（14-9ページ）を除く）。

補　足

- マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- 発信履歴の内容は、電源を切っても削除されません。
- 通話の状況によっては、すべての履歴が残らない場合があります。
- 発信履歴の件数が20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- 操作1のあと☐（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細／**発信**／ **TVコール**(6-2ページ)／**メール送信**(20-2ページ）／**電話帳登録**（5-4ページ）／**拒否リスト追加**（14-6ページ）／**削除**／**国際発信**（16-16ページ）／**発信者番号非通知**（16-15ページ）／**発信者番号通知**（16-15ページ）

電話を受ける

1 電話がかかってくる

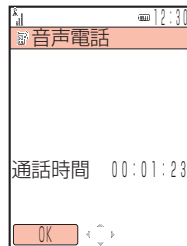
▶着信音が鳴り、イルミネーションが点滅します。

2 [発信キー]を押す

▶電話がつながります。

3 通話が終わったら、[終話キー]を押す

▶通話時間の目安が表示されます。

補足

- エニーキーアンサー（16-14ページ）を「On」にしている場合は、[発信キー]の他、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押しても電話を受けることができます。
- オープン通話（16-14ページ）を「On」にしている場合は、902Tを開くだけで電話を受けることができます。
- かかってきた電話に出られなかった場合は、お知らせ一発メニューが表示されます（1-12ページ）。
- 電話帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前や顔写真が表示されます。ただし、シークレットメモリ（5-9ページ）を「On」にしている相手の場合は表示されません（シークレットモード中（14-9ページ）を除く）。

2

基本的な操作のご案内

補　足

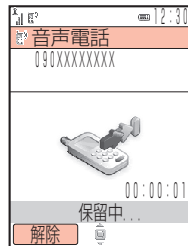
- 相手から電話番号の通知のなかった着信は、「**発番通知不可**」、「**非通知設定**」、「**公衆電話**」のいずれかが表示されます。
- 着信中に[◎]または[▲]、[▼]を押して、着信音量を調節することができます。

電話に出られないとき

■着信を保留にする

かかってきた電話にすぐに出られないときは、その電話を保留にすることができます。

1 電話がかかってきたら、[-]（保留）を押す

▶ 相手には現在電話に出られないことをアナウンスでお知らせします。

2 電話に出られるようになったら、[-]（解除）を押す

▶ 電話がつながります。

3 通話が終わったら、[終話]を押す

重　要

- 応答保留中でも電話をかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中に[終話]を押した場合は、保留中の通話が終了します。

補　足

- エニーキーアンサー（16-14ページ）を「On」にしている場合は、応答保留中に[-]、[通話]の他、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押しても電話を受けることができます。
- 電波の届かない場所や通話中のため電話に出られないときに電話を転送したり（17-3ページ）、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりするサービス（17-5ページ）があります。
- 転送電話サービス（17-3ページ）の転送条件または留守番電話サービス（17-5ページ）の転送条件を「**着信／通話中**」にすると、着信中に[-]（転送）を押して電話を転送することができます。
- 保留中は割込着信（17-8ページ）は拒否されます。

■メッセージを録音する（簡易留守録）

音声電話に出られないときに相手のメッセージを録音することができます。簡易留守録は、最大3件保存することができ、1件あたり最大15秒録音することができます。

1　電話がかかってきたら、[クリア/戻る]を押す（約1秒以上）

▶ 応答メッセージが流れ、録音が開始されます。

- 録音可能時間が経過するか、終話すると自動的に停止します。

重　要

- TVコール（6-2ページ）や割込通話（17-8ページ）では簡易留守録を使用することはできません。
- 録音件数が3件になると簡易留守録応答はできません。録音されているメッセージを削除（16-11ページ）してください。

補　足

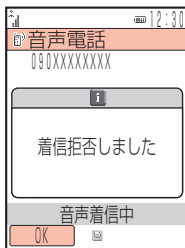
- 応答メッセージ再生中または相手のメッセージ録音中に[-]（応答）を押すと、通話することができます。
- 録音したファイルの再生については16-11ページを参照してください。

2

基本的な操作のご案内

着信を拒否する

かかってきた電話を拒否することができます。

1 電話がかかってきたら、[終話キー]を押す

▶ 着信を拒否します。

補　足

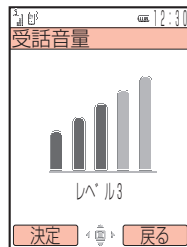
- 転送電話サービス（17-3ページ）と留守番電話サービス（17-5ページ）を停止している場合は、着信中に[キー]（転送）を押すと、着信を拒否します。
- 割込通話サービス（17-8ページ）が設定されていて、通話中にかかってきた割込着信を拒否する場合は、[キー]（メニュー）を押して「**着信拒否**」を選択します。
- かかってきた電話を自動的に拒否することもできます（14-6ページ）。

通話中の操作

■通話中に受話音量を調節する

レシーバーから聞こえる相手の声の大きさをマルチファンクションボタンやサイドキーを使って5段階に調節することができます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

1 通話中に[上キー]または[下キー]を押す

▶ 現在の設定が表示されます。

2 [マルチファンクションボタン]で受話音量を調節する

▶ 受話音量が設定されます。

●受話音量を上げる場合は[上キー]または[右キー]を、下げる場合は[下キー]または[左キー]を押します。

補　足

- サイドキーを使って受話音量を調節することができます。音量を上げる場合は▲を、下げる場合は▼を押します。
- 待受画面で上または下を長く（約1秒以上）押したあと、方向キーで受話音量を調節することもできます。

補　足

- 録音したファイルは、本体の「**メロディ&サウンド**」フォルダ内の「**ボイスレコーダー**」フォルダに保存されます。
- 相手の声だけが録音され、自分の声は録音されません。
- 録音したファイルの再生については15-23ページを参照してください。

■通話中に相手の声を録音する

音声通話中に相手の声を録音することができます。録音できるのは、1件あたり最大60秒です。

1 音声通話中に（メニュー）を押す

2 「録音開始」を選択し、（選択）を押す

▶ 録音が開始されます。

- 録音可能時間が経過するか、終話すると自動的に停止します。
- 録音を停止する場合は、（終了）を押します。

■通話中に番号メモを登録する

ダイヤルボタンを使って通話中に電話番号などをメモすることができます。
通話中にメモした内容は、電話を切ると自動的に登録され、あとで確認したり、電話をかけたりすることができます。

電話番号などをメモする

1 通話中にダイヤルボタンを押す

▶ 番号メモが登録されます。

- 以下の数字と記号を最大40桁メモすることができます。

2 基本的な操作のご案内

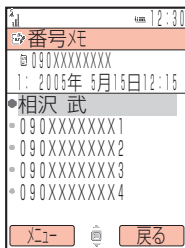
補　足

- 番号メモの件数が5件を超えると、一番古いメモから順に削除されます。
- TVコール通話中にも、同様の操作でメモを入力することができます。

番号メモを確認する

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「ツール」を選択し、(-)（選択）を押す

2 「番号メモ」を選択し、(-)（選択）を押す

▶ 登録されている番号メモが一覧表示されます。

補　足

- 番号メモに登録した電話番号を選択し、(発信)を押すと相手に電話をかけることができます。
- 操作2のあと(-)（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細／**発信**／**TVコール**（6-2ページ）／**メール送信**（20-2ページ）／**電話帳登録**（5-4ページ）／**拒否リスト追加**（14-6ページ）／**削除**／**発信者番号非通知**（16-15ページ）／**発信者番号通知**（16-15ページ）

■ハンズフリー通話に切り替える

通話中にスピーカーから受話音声が聞こえるように切り替えることができます。

1 通話中に(-)（🔊）を押す

▶ ハンズフリー通話に切り替えられます。

● もう一度(-)（🔇）を押すと元に戻ります。

通話履歴の確認

過去にかけた電話、かかってきた電話、不在着信の履歴（日時や電話番号）をそれぞれ最新20件まで確認することができます。

■発信履歴を確認する

1 待受画面で◀を押す

▶ 発信履歴が表示されます。

●発信履歴を表示中に◀を押すと着信履歴が表示されます。

●発信履歴を表示中に▶を押すと不在着信履歴が表示されます。

補　足

- マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニューの「**電話帳**」から、通話履歴を表示させることもできます。
- 相手の電話番号が表示されているときに（発信キー）を押すと、相手に電話をかけることができます。

補　足

- 発信履歴では以下のアイコンが表示されます。
  - ：音声発信を行った場合に表示されます。
  - ：TVコール発信を行った場合に表示されます。
- 発信履歴の内容は、電源を切っても削除されません。
- 発信履歴の件数がそれぞれ20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- 電話帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（5-9ページ）を「**On**」にしている相手の場合は電話番号のみ表示されます（シークレットモード中（14-9ページ）を除く）。
- 操作1のあと、（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細／**発信**／**TVコール**(6-2ページ)／**メール送信**(20-2ページ）／**電話帳登録**（5-4ページ）／**拒否リスト追加**（14-6ページ）／**削除**／**国際発信**（16-16ページ）／**発信者番号非通知**（16-15ページ）／**発信者番号通知**（16-15ページ）

■着信履歴／不在着信履歴を確認する

1 待受画面で▢を押す

▶着信履歴が表示されます。

●着信履歴を表示中に▢を押すと発信履歴が表示されます。

2 ▢を押す

▶不在着信履歴が表示されます。

●不在着信履歴を表示中に▢を押すと発信履歴が表示されます。

●不在着信履歴を表示中に▢を押すと着信履歴が表示されます。

補足

- マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニューの「**電話帳**」から、通話履歴を表示させることもできます。
- 相手の電話番号が表示されているときに▢を押すと、相手に電話をかけることができます。

補足

- 不在着信履歴や着信履歴では以下のアイコンが表示されます。
  - ：音声着信があった場合に表示されます。
  - ：音声電話の不在着信があった場合に表示されます。
  - ：音声着信を拒否した場合に表示されます。
  - ：非通知の音声着信を拒否した場合に表示されます。
  - ：公衆電話からの音声着信があった場合に表示されます。
  - ：公衆電話からの音声着信を拒否した場合に表示されます。
  - ：TVコール着信があった場合に表示されます。
  - ：TVコールの不在着信があった場合に表示されます。
  - ：TVコール着信を拒否した場合に表示されます。
  - ：非通知のTVコール着信を拒否した場合に表示されます。
  - ：公衆電話からのTVコール着信があった場合に表示されます。
  - ：公衆電話からのTVコール着信を拒否した場合に表示されます。
- 着信履歴、不在着信履歴の内容は、電源を切っても削除されません。
- 着信履歴、不在着信履歴の件数がそれぞれ20件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。

補　足

- 電話帳に登録している相手から電話がかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（5-9ページ）を「On」にしている相手の場合は電話番号のみ表示されます（シークレットモード中（14-9ページ）を除く）。
- 操作1、2のあと、［メニュー］（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細／**発信**／**TVコール**（6-2ページ）／**メール送信**（20-2ページ）／**電話帳登録**（5-4ページ）／**拒否リスト追加**（14-6ページ）／**削除**／**国際発信**（16-16ページ）／**発信者番号非通知**（16-15ページ）／**発信者番号通知**（16-15ページ）

■通話時間を確認する

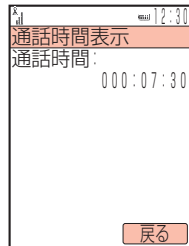
前回通話したときの通話時間や現在までの通話時間の合計を確認することができます。

1 **待受画面で［●］を押し、［◎］で「電話帳」を選択し、［選択］（選択）を押す**

2 **「通話履歴」を選択し、［選択］（選択）を押す**

3 **「通話時間」を選択し、［選択］（選択）を押す**

4 **「通話時間」または「累積通話時間」を選択し、［選択］（選択）を押す**

▶ 通話時間または累積通話時間の画面が表示されます。

重　要

- 表示される通話時間は目安であり、実際の通話時間とは異なる場合があります。
- 累積通話時間では、メールやウェブの通信時間は含まれません。

補　足

- 累積通話時間をリセットする場合は、操作3で「**累積時間リセット**」を選択したあと、操作用暗証番号（1-24ページ）を入力します。
- 累積通話時間が999時間を超えた場合、それ以上は加算されませんので累積通話時間をリセットしてください。

2

基本的な操作のご案内

■通話料金を確認する

前回通話したときの通話料金やUSIMカードに保存される累積通話料金を確認することができます。

1 **待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「通話履歴」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「通話料金」を選択し、▭（選択）を押す**

4 **「通話料金」または「累積通話料金」を選択し、▭（選択）を押す**

▶ 通話料金または累積通話料金の画面が表示されます。

重　要

- 表示される通話料金は目安であり、実際に請求される通話料金とは異なる場合があります。
- 多者通話サービス（17-9ページ）を行った場合は、電話をかけた相手すべてを合わせた通話料金が表示されます。
- 累積通話料金では、電話をかけた時の通話料金が加算され、メールやウェブの通信料金は含まれません。
- 電波が弱くなって通話が切断したり、国際電話をかけた場合は、通話料金は表示されません。

補　足

- 累積通話料金をリセットする場合は、操作3で「**累積料金リセット**」を選択したあと、PIN2コード（1-5ページ）を入力します。

表示通貨を設定する

通話料金の表示される通貨単位を設定することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、□（選択）を押す

2「通話履歴」を選択し、□（選択）を押す

3「通話料金」を選択し、□（選択）を押す

4「通貨設定」を選択し、□（選択）を押す

5 □（変更）を押す

6 PIN2コード（1-5ページ）を入力し、□（決定）を押す

7 表示したい通貨単位（3文字）を入力し、●を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。

8 設定したいレートを入力し、□（OK）を押す

▶ 表示通貨が設定されます。

■通話料金表示を設定する

通話が終わったあとの、通話料金の表示、非表示を設定することができます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、□（選択）を押す

2「通話履歴」を選択し、□（選択）を押す

3「通話料金」を選択し、□（選択）を押す

4「通話料金表示設定」を選択し、□（選択）を押す

5「On」を選択し、□（選択）を押す

■データ通信量を確認する

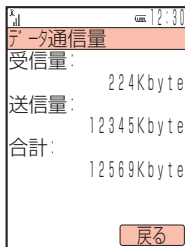
前回使用したパケット通信データ量や現在までのパケット通信データ量の合計を確認することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、□（選択）を押す

2「通話履歴」を選択し、□（選択）を押す

3 **「データ通信量」を選択し、**[-]**（選択）を押す**

4 **「データ通信量」または「累積データ通信量」を選択し、**[-]**（選択）を押す**

▶ データ通信量または累積データ通信量の画面が表示されます。

重　要

- 表示されるデータ通信量は目安であり、実際のデータ通信量とは異なる場合があります。
- 累積データ通信量が999,999Kバイトを超えた場合、それ以上は加算されませんので累積データ通信量をリセットしてください。

補　足

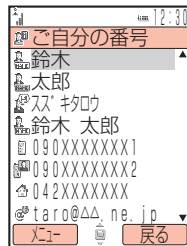
- 累積データ通信量をリセットする場合は、操作3で「**累積データ量リセット**」を選択したあと、操作用暗証番号（1-24ページ）を入力します。

ご自分の電話番号とE-mailアドレスの確認

お客様の902Tの電話番号や「**ご自分の番号**」で登録した名前、E-mailアドレスなどを確認することができます。

■ご自分の電話番号を確認する

1 **待受画面で**[●]**を押し、**[0]**を押す**

▶ ご自分の電話番号やE-mailアドレスが表示されます。

補　足

- ご自分の名前やE-mailアドレスなどの情報は編集することができます（5-25ページ）。

■通話中にご自分の電話番号を確認する

通話中にご自分の電話番号を表示することができます。

1 通話中に（メニュー）を押す

2 「ご自分の番号」を選択し、（選択）を押す

▶ご自分の電話番号やE-mailアドレスが表示されます。

海外での利用（国際ローミング）

902Tは、日本以外の国や地域に行っても、音声通話などを利用することができます。ご利用可能なエリアや国際ローミングについて詳しくは、国際ローミングサービスガイドをご覧ください。

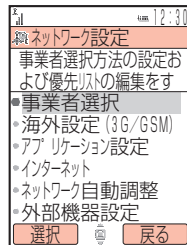
●別途、お申し込みが必要です。

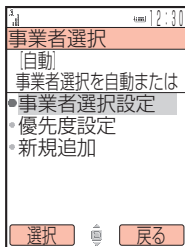
■利用する事業者を設定する

お客様のいる国や地域によって事業者を切り替える必要があります。また、事業者を自動的に切り替えることもできます。お買い上げ時は「**自動**」に設定されています。

1 待受画面でを押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「ネットワーク設定」を選択し、（選択）を押す

▶ネットワーク設定画面が表示されます。

3「事業者選択」を選択し、（選択）を押す

▶事業者選択画面が表示されます。

4「事業者選択設定」を選択し、（選択）を押す

5「自動」または「手動」を選択し、（選択）を押す

自動：事業者を自動的に切り替えるよう設定されます。
手動：利用したい事業者を選択します。

6 利用したい事業者を選択し、（選択）を押す

▶事業者が設定されます。

●選択可能な事業者には「」または「」が表示されます。

利用する事業者を新規登録する

利用する事業者を新規登録することができます。登録できる事業者は最大5件です。

●国番号、事業者番号については3Gガイドブックをご覧ください。

1 事業者選択画面（左記）より、「新規追加」を選択し、（選択）を押す

2「未登録」を選択し、を押す

3 入力したい項目を選択し、を押す

事業者名　：事業者名を入力します。登録可能文字数は、最大32文字です。
国番号　：3桁の国番号を入力します。
事業者番号：3桁の事業者番号を入力します。

4 各項目を入力し、を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。
●全ての項目を入力するまで操作3、4を繰り返します。

5（メニュー）を押す

6「保存」を選択し、（選択）を押す

▶事業者が登録されます。

重　要

●「**事業者名**」、「**国番号**」、「**事業者番号**」をすべて入力しないと保存することができません。

優先度を設定する

事業者選択を「**自動**」にした場合に利用する優先度を設定することができます。

1 事業者選択画面（2-18ページ）より、「優先度設定」を選択し、［-］（選択）を押す

2 ［-］（メニュー）を押す

3 行いたい操作を選択し、［-］（選択）を押す

追加：事業者リストから追加したい事業者を選択し、優先度設定リストの最後に追加します。

挿入：事業者リストから追加したい事業者を選択し、優先度設定リストに挿入先を指定し追加します。

移動：指定した事業者を移動し、優先順位を変更します。

削除：事業者を削除します。

●以降の操作は画面の指示に従ってください。

■海外設定（3G／GSM）

お客様のいる国・地域によっては海外設定（3G／GSM）を切り替える必要があります。また、海外設定（3G／GSM）を自動的に切り替えることもできます。日本で使用する場合は「**3G（日本／海外）**」に、海外で使用する場合は「**自動**」にすることをおすすめします。
お買い上げ時は「**3G（日本／海外）**」に設定されています。

自動的に切り替える

1 ネットワーク設定画面（2-17ページ）より、「海外設定（3G／GSM）」を選択し、［-］（選択）を押す

2 「自動」を選択し、［-］（選択）を押す

3 「3G優先」または「GSM優先」を選択し、［-］（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

4 ［-］（No）を押す

▶海外設定（3G／GSM）が設定されます。

●GSMのエリアを変更する場合は、［-］（Yes）を押します。

2　基本的な操作のご案内

3G／GSMに切り替える

1 ネットワーク設定画面（2-17ページ）より、「海外設定（3G／GSM）」を選択し、 （選択）を押す

2 「3G（日本／海外）」または「GSM（海外）」を選択し、 （選択）を押す

3G（日本／海外）：3G（UMTS）モードでシステムを検索します。

GSM（海外）：GSMモードでシステムを検索します。GSMモードには「**ヨーロッパ, アジア等**」と「**アメリカ**」の2種類があります。

▶海外設定（3G／GSM）が設定されます。

●「**GSM（海外）**」を選択した場合は、確認画面が表示されます。GSMのエリアを変更する場合は、 （Yes）を押します。

■海外で電話をかける

海外で電話をかけるときは、相手によってかけかたが異なります。

●**国・地域によっては海外設定（3G／GSM）（2-19ページ）を切り替える必要があります。**

日本の一般電話／携帯電話へかける場合

電話をかける相手が日本にいても、お客様と同じ国に滞在していても、他国にいても同様の操作で電話をかけることができます。

1 待受画面で を押す（約1秒以上）

▶「＋」が表示されます。

2 国番号「81」を入力する

3 市外局番の最初の「0」を除いた相手の電話番号を入力する

4 電話番号を確認して、 を押す

▶電話がかかります。

滞在している国の一般電話／携帯電話へかける場合

日本国内にいるときと同様の操作で電話をかけることができます。国番号を入力したり、相手の市外局番の最初の「0」を除いたりする必要はありません。

1 待受画面で電話番号を入力する

2 電話番号を確認し、[発信]を押す

▶電話がかかります。

その他の国へかける場合

1 待受画面で[0]を押す（約1秒以上）

▶「+」が表示されます。

2 国番号を入力する

●国番号については、国際ローミングサービスガイドをご覧ください。

3 市外局番の最初の「0」を除いた相手の電話番号を入力する

4 電話番号を確認して、[発信]を押す

▶電話がかかります。

補足

- 日本の携帯電話や一般電話からお客様の902Tに電話をかけてもらう場合、お客様が国際ローミング中でも日本国内にいるときの操作と同様に、電話番号のみを入力してもらいます。
- 海外の携帯電話や一般電話からお客様の902Tに電話をかけてもらう場合は、お客様がどこに滞在していても、日本の国番号「81」を付加し、最初の「0」を除いたお客様の電話番号を入力してもらいます。ただし、国際電話のかけ方は、相手の携帯電話機や通信事業者によって異なります。

マナーモード

マナーについて

携帯電話は、マナーを守ってご使用ください。

- 電車の中では、周りの方のご迷惑にならないようご注意ください。
  ※新幹線の中ではデッキなど迷惑にならない場所まで移動して使用してください。
- レストランなど、静かな場所では声の大きさに注意して会話してください。
- 歩きながらのご使用は、人やクルマの通行に十分ご注意ください。
- 植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型徐細動器を装着されている方は、携帯電話を装着部位から22cm以上離して携行、使用してください。
  また、アラームを設定していると自動的に電源が入ります。ご注意ください。
- 映画館・劇場・美術館など、鑑賞中は電源をお切りください。
- 病院・研究所など、使用を禁止されている場所では、医療機器などに影響をおよぼす場合がありますので電源をお切りください。
- 電車など、混雑した場所では電源を切るよう心がけてください。
- 航空機内では、運航の安全に支障をきたす恐れがありますので電源をお切りください。

マナーモード設定

■マナーモードを設定／解除する

公共の場所や静かな場所などで、周囲の迷惑にならないようマナーモードに切り替えることができます。マナーモードにすると、画面上に「」が表示されます。

マナーモードにする

1 待受画面で[# 記号]を押す（約1秒以上）

▶ マナーモードが設定されます。

マナーモードを解除する

1 マナーモード設定中に[# 記号]を押す（約1秒以上）

▶ マナーモードが解除されます。

補　足

- マナーモードにしても、カメラ利用時のシャッター音、録画開始音・終了音は鳴ります。
- 遠隔監視モード（6-12ページ）を「On」にしていて、アドレスリストに登録されている電話番号から着信した場合は、マナーモードの設定にかかわらず、自動応答音が鳴ります。
- マナーモードのバイブレーター（9-8ページ）やアラーム（9-12ページ）は設定することができます。

電波の送受信を停止する（オフラインモード）

電源を切らずに電波の送受信を停止して、電話をかけることや受けること、メールの送受信などネットワークサービスを利用できないようにします。オフラインモードを「On」にすると、画面上の電波状態の表示が「 」に変わります。お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「一般設定」を選択し、（選択）を押す**

3 **「オフラインモード」を選択し、（選択）を押す**

4 **「On」を選択し、（選択）を押す**

▶ オフラインモードが設定されます。

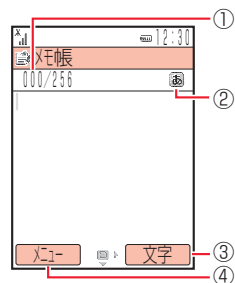
重　要

- オフラインモードを「On」にすると、電話を受けることができなくなりますので、通常使用する際には「Off」にするのを忘れないようにしてください。
- オフラインモードを「On」にしても110番（警察）、119番（消防）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。

文字の入力方法

文字入力について

902Tでは、ひらがな、カタカナ、漢字、英字、数字、記号、絵文字、顔文字を入力することができます。
かな入力方式には、標準方式（あらかじめ設定されています）とポケベル方式（4-14ページ）の2種類があります。本書では標準方式での入力例を中心に記載しています。

文字の入力画面

①入力文字数／登録可能文字数が表示されます。登録可能文字数は、機能により異なります。各機能のページを参照してください。

②現在の文字入力モードがアイコンで表示されます（4-3ページ）。

③文字入力モードを切り替えることができます（右記）。

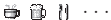
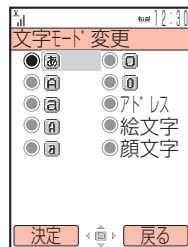
④(メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
決定／**元に戻す**（4-21ページ）／**コピー**（4-20ページ）／**切り取り**（4-20ページ）／**貼り付け**（4-20ページ）／**範囲選択**（4-22ページ）／**挿入**（4-22ページ）／**カーソル移動**（4-20ページ）／**ユーザ設定**（4-24ページ）

■文字入力モードを変更する

文字入力モードには、8種類のモードと「**アドレス**」、「**絵文字**」、「**顔文字**」があります。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 （文字）を押す

▶文字入力モード変更画面が表示されます。

●入力できない文字入力モードは画面には表示されません。

3 で文字入力モードを選択し、（決定）を押す

▶文字入力モードが変更されます。

文字入力モードアイコン

アイコン	文字入力モード	入力文字
あ	全角かな（漢字変換）	あいうアイウ阿伊宇･･･
Ａ	全角英大文字	ＡＢＣ１２３…
ａ	全角英小文字	ａｂｃ 123…
A	半角英大文字	ABC123…
a	半角英小文字	abc123…
０	全角数字	０１２３４５…
0	半角数字	012345…
ｱ	半角カタカナ	ｱｲｳ･･･
アドレス	アドレスライブラリの入力	.ne.jp　.co.jp ･･･
絵文字	絵文字の入力	･･･
顔文字	顔文字の入力	笑う（(^−^)(^−^)v (o^−')b…）／あいさつ／おこる／驚く･あせ／泣く･眠い／なかま／うごき／こうげき／遊び・動物／かざり

●かな入力方式（4-25ページ）で標準方式とポケベル方式の切り替えができます。左記のアイコンは標準方式で表示されるアイコンです。ポケベル方式（4-14ページ）に設定した場合は、アイコンの表示が「あ」から「あ」のように変わります。
●ユーザ辞書（4-17ページ）の読み仮名入力時、「あ」と表示されますが、入力できる文字は全角ひらがなのみです。

■ダイヤルボタンの割り当て

標準方式

ダイヤルボタンには、次の文字や記号などが割り当てられています。

ボタン ＼ 文字入力モード	全角かな（漢字変換）※	半角カタカナ	全角英大文字 半角英大文字	全角英小文字 半角英小文字	全角数字 半角数字
1	あいうえおぁぃぅぇぉ	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	.@－＿1	.@－＿1	1
2	かきくけこ	ｶｷｸｹｺ	ABC2	abc2	2
3	さしすせそ	ｻｼｽｾｿ	DEF3	def3	3
4	たちつてとっ	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	GHI4	ghi4	4
5	なにぬねの	ﾅﾆﾇﾈﾉ	JKL5	jkl5	5
6	はひふへほ	ﾊﾋﾌﾍﾎ	MNO6	mno6	6
7	まみむめも	ﾏﾐﾑﾒﾓ	PQRS7	pqrs7	7
8	やゆよゃゅょ	ﾔﾕﾖｬｭｮ	TUV8	tuv8	8
9	らりるれろ	ﾗﾘﾙﾚﾛ	WXYZ9	wxyz9	9
0	わをん、。ー	ﾜｦﾝｰ	～／？！0	～／？！0	0
*	大文字・小文字切り替え（4-7ページ） 濁点・半濁点（4-8ページ） 改行（4-13ページ） 読点（、）・句点（。）・長音（ー）	大文字・小文字切り替え 濁点・半濁点 読点（､）・句点（｡）・長音（-）	大文字・小文字切り替え 改行		改行
#	英数字（4-11ページ）・記号（4-11ページ）・絵文字（4-12ページ） 逆順に表示（4-14ページ）	英数字・記号 逆順に表示	英数字・記号・絵文字 逆順に表示		英数字・記号・絵文字

ボタン ＼ 文字入力モード	全角かな（漢字変換）	半角カタカナ	全角英大文字 半角英大文字	全角英小文字 半角英小文字	全角数字 半角数字
	入力中の文字を確定				入力中の文字を確定し、入力を終了
	カーソルの移動 で未確定文字変換 で改行	カーソルの移動	カーソルの移動 で改行		
クリア/戻る	入力した文字の消去				

※ ユーザ辞書（4-17ページ）の読み仮名入力時は、全角ひらがな、長音（ー）のみ入力できます。

文字の入力方法

■漢字／ひらがな／カタカナを入力する

全角かな（漢字変換）入力モードで文字を入力して漢字などに変換します。

例 名前の「**須々木**」を入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

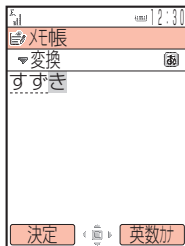
2 「すずき」を入力する

① 3を3回押し、「**す**」を入力する

② ▶でカーソルを右へ移動する

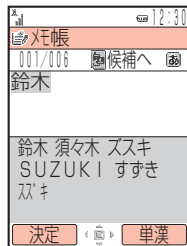
③ 3を3回押したあと＊を押して、「**ず**」を入力する

④ 2を2回押し、「**き**」を入力する

●一度に変換できる文字数は、最大40文字です。

3 ▼を押す

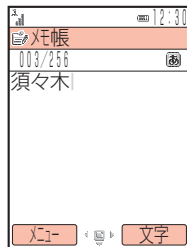
▶「**鈴木**」に変換されます。

●「**001／006**」の「**006**」は候補数を表し、「**すずき**」に対して6種類の変換候補があることを表しています。

4 候補/AV OUTを押す

▶予測エリアへカーソルが移動します。

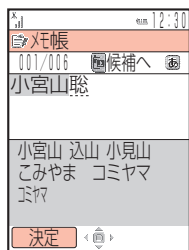
5 ◎で「須々木」を選択し、― （決定）を押す

▶「**須々木**」が確定されます。

●文字の入力を終了するときは、確定したあと●を押します。

重 要

●確定した文字が登録可能文字数を超えると、超過分は切り捨てられます（登録可能文字数は、機能により異なります）。

補　足

- 全角かな（漢字変換）入力モードでは、入力した文字が単語や熟語、文節単位で変換されますが、目的の漢字に変換されない場合は、◎で文字の範囲をもう一度指定してから◎で変換します。例えば、「**こみやまさとし**」と入力して◎で変換すると、「**小宮山聡**」が表示されます。「**こみや**」と「**まさとし**」の組み合わせにするときは、右の画面で◎を押し、カーソルを「**こみや**」に指定してから◎を押し、変換候補を選択します。

小文字（a、っなど）を入力する

各文字入力モード（数字入力モードは除く）ではカーソル上の文字（未確定）の大文字、小文字切り替えができます（対応している文字のみ有効）。

例「**あ**」を小文字に切り替える

1 文字の入力画面を呼び出す

2 1を押す

▶「**あ**」が入力されます。

3 ＊を押す

4 ✉（決定）押す

▶「**ぁ**」が確定されます。

補　足

- 「**つ**」のように小文字と濁点の両方の入力ができる文字の場合は、＊を1回押すと小文字、2回押すと濁点の入力となります。
- 文字が未入力または確定済みの場合は、＊を押すと改行されます（4-13ページ）。
- カーソル上に小文字や濁音、半濁音に対応していない文字があるとき、またはカーソルが文字（未確定）の右側にあるときに＊を押すと、読点（、）、句点（。）、長音（ー）を入力することができます。

4
文字の入力方法

濁点（゛）／半濁点（゜）を入力する

全角かな（漢字変換）入力モード、半角カタカナ入力モードではカーソル上の文字（未確定）を濁音や半濁音に変えることができます（対応している文字のみ有効）。

例「**が**」を入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [2]を押す

▶「**か**」が入力されます。

3 [＊]を押す

4 [決定]（決定）を押す

▶「**が**」が確定されます。

補足

- 「**は**」のように濁点と半濁点の両方の入力ができる文字の場合は、[＊]を1回押すと濁点、2回押すと半濁点の入力となります。
- 「**つ**」のように小文字と濁点の両方の入力ができる文字の場合は、[＊]を1回押すと小文字、2回押すと濁点の入力となります。
- 文字が未入力または確定済みの場合は、[＊]を押すと改行されます（4-13ページ）。

補足

- カーソル上に小文字や濁音、半濁音に対応していない文字があるとき、またはカーソルが文字（未確定）の右側にあるときに[＊]を押すと、読点（、）、句点（。）、長音（ー）を入力することができます。

単漢字で変換する

全角かな（漢字変換）入力モードで目的の漢字が表示されない場合、同じ読みの漢字（1文字単位）の変換候補を表示させてから、選択することができます。

例「**鱸**」（すずき）を入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2「すずき」と入力し、[▼]を押す

3 [単漢]（単漢）を押す

▶ 漢字の変換候補が表示されます。

● 入力画面に「**単漢**」が表示されていない場合は、単漢字で変換できません。

4 「鱸」を選択し、(●)を押す

▶「鱸」が確定されます。

補 足

● 全角かな（漢字変換）入力モードにて、以下の表に示す読み（いっぱん、がくじゅつ…）をひらがなで入力し、(▽)で変換してから(単漢)で単漢字変換に切り替えると、表にある特殊な文字を表示することができます。

読み	文字（記号）
いっぱん	＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓
がくじゅつ	＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀√∫
かっこ	‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】
ぎりしゃ	ΑΒΓΔΕΖΗΘΙΚΛΜΝΞΟΠΡΣΤΥΦΧΨΩαβγδεζηθικλμνξοπρστυφχψω
たんい	°′″℃￥＄¢£％
ろしあ	АБВГДЕЁЖЗИЙКЛМНОПРСТУФХЦЧШЩЪЫЬЭЮЯабвгдеёжзийклмнопрстуфхцчшщъыьэюя

補 足

読み	文字（記号）
きじゅつ	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥
きごう	、。，．・：；？！゛゜´｀¨＾￣＿ヽヾゝゞ〃仝々〆〇ー―‐／＼～∥｜…‥‘’“”（）〔〕［］｛｝〈〉《》「」『』【】＋－±×÷＝≠＜＞≦≧∞∴♂♀°′″℃￥＄¢£％＃＆＊＠§☆★○●◎◇◆□■△▲▽▼※〒→←↑↓〓∈∋⊆⊇⊂⊃∪∩∧∨¬⇒⇔∀∃∠⊥⌒∂∇≡≒≪≫√∽∝∵∫∬Å‰♯♭♪†‡¶◯
けいせん	─│┌┐┘└├┬┤┴┼━┃┏┓┛┗┣┳┫┻╋┠┯┨┷┿┝┰┥┸╂

英字／数字／カタカナに変換する

全角かな（漢字変換）入力モードから文字入力モードを変換しなくても、そのボタンに割り当てられている英字や数字、カタカナに変換することができます。

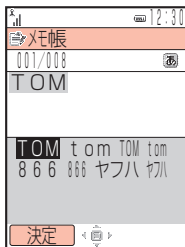
例 全角かな（漢字変換）入力モードで「TOM」（半角）と入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 文字の割り当てられたボタンを押す

① 8を1回押す
② 6を3回押す
③ ▶を押す
④ 6を1回押す
▶「**やふは**」と入力されます。

3 （英数カナ）を押す

▶ 英字、数字、カタカナの変換候補が表示されます。
● 入力画面に「**英数カナ**」が表示されていない場合は、英数カナ変換できません。

4 で「TOM」（半角）を選択し、（決定）を押す

▶「TOM」（半角）が確定されます。

補 足

● 日付や時刻を入力したい場合に、全角かな（漢字変換）入力モードのままで入力することができます。例えば、1 2 3 0を順に押して「**あかさわ**」と入力し、（英数カナ）を押すと、英数字やカタカナのほかに「12／30」や「12：30」が表示されます。

4 文字の入力方法

■英数字／記号／絵文字／顔文字などを入力する

英数字を入力する

全角英数字、半角英数字を入力することができます。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [#記号]を4回押す

▶ 全角英数字ウィンドウが表示されます。

● 半角英数字を入力する場合は、このあともう一度[#記号]を押します。

● [前ページ]（前ページ）、[次ページ]（次ページ）を押すと、英数字の変換候補が切り替わります。

3 [方向キー]で入力したい英数字を選択し、[AV OUT]を押す

▶ 選択した英数字が入力され、英数字ウィンドウを閉じます。

● 続けて英数字を入力する場合は、[●]を押します。

記号を入力する

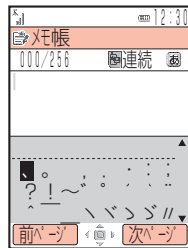
全角記号、半角記号を入力することができます。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [#記号]を押す

▶ 全角記号ウィンドウが表示されます。

● 半角記号を入力する場合は、このあともう一度[#記号]を押します。

● [前ページ]（前ページ）、[次ページ]（次ページ）を押すと、記号の変換候補が切り替わります。

3 [方向キー]で入力したい記号を選択し、[●]を押す

▶ 選択した記号が入力され、記号ウィンドウを閉じます。

● 続けて記号を入力する場合は、[AV OUT]を押します。

● 一度選択した記号は、記号ウィンドウの点線上の履歴エリアに表示されます。履歴エリアの記号を選択して入力することもできます。

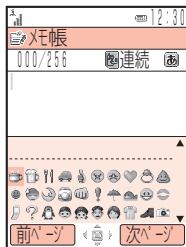
絵文字を入力する

絵文字（30-11ページ）を入力できます。

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [#記号]を3回押す

▶ 絵文字ウィンドウが表示されます。

● [前ページ]（前ページ）、[次ページ]（次ページ）を押すと、絵文字の変換候補が切り替わります。

3 [マルチキー]で入力したい絵文字を選択し、[●]を押す

▶ 選択した絵文字が入力され、絵文字ウィンドウを閉じます。

● 続けて絵文字を入力する場合は、[AV OUT]を押します。

● 一度選択した絵文字は、絵文字ウィンドウの点線上の履歴エリアに表示されます。履歴エリアの絵文字を選択して入力することもできます。

補足

- 絵文字は、文字入力モード変更画面（4-2ページ）で「**絵文字**」を選択して入力することもできます。
- 漢字変換した場合に変換候補に絵文字が表示されることがあります。

顔文字を入力する

顔文字を入力することができます。「**笑う**」、「**あいさつ**」など10種類のカテゴリに分類され、各カテゴリ内の10個の顔文字の中から選択します。

1 文字入力モード変更画面（4-2ページ）より、[マルチキー]で「顔文字」を選択し、[-]（決定）を押す

2 カテゴリを選択し、[-]（選択）を押す

3 入力したい顔文字を選択し、[●]を押す

▶ 選択した顔文字が入力されます。

補足

- 「**かお**」と入力して漢字変換した場合も変換候補に12種類の顔文字が表示されます。

4 文字の入力方法

スペースを入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 ◎を押してスペース分だけカーソルを進める

▶スペースが入力されます。

●確定済みの文字の前にスペースを入れるときは、記号ウィンドウから入力します（4-11ページ）。

改行を入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 文字を入力し、確定する

3 改行したい位置で＊を押す

▶「↵」が表示され、改行されます。

●入力する画面によっては改行できない場合もあります。

●「↵」の位置で改行して表示させないように設定することもできます（4-25ページ）。

E-mailアドレス／URLの一部を簡単に入力する

アドレスライブラリを利用すると、E-mailアドレスやURLの一部を簡単に入力することができます。

例 E-mailアドレスの一部「.co.jp」を入力する

1 文字入力モード変更画面（4-2ページ）より、◎で「アドレス」を選択し、（決定）を押す

▶アドレスライブラリが表示されます。

●アドレスライブラリで選択できる内容は以下の通りです。

.ne.jp	.net
.co.jp	http://
.ac.jp	www.
.or.jp	.html
.com	.vodafone.ne.jp

2 ◎で「.co.jp」を選択し、（決定）を押す

▶「.co.jp」が入力されます。

文字を逆順で表示する

各文字入力モード（数字入力モードは除く）で文字が未確定のとき、[#記号]を押すたびにカーソル上の文字がダイヤルボタン割り当て一覧（4-4ページ）の逆の順番に表示させることができます。

例 [2かabc]に割り当てられた文字を入力する

[2かabc]を押す
→か→き→く→け→こ→（か に戻る）

⇒

[2かabc]のあと[#記号]を押す
→か→こ→け→く→き→（か に戻る）

■ポケベル方式で入力する

かな入力方式(4-25ページ)を「**ポケベル方式**」に変更します。
文字を入力する場合は、2桁の数字を組み合わせて一つの文字にします。
数字の組み合わせは、以下の表を参照してください。

先に押すボタン ＼ 後に押すボタン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
1	あ	い	う	え	お	A	B	C	D	E
2	か	き	く	け	こ	F	G	H	I	J
3	さ	し	す	せ	そ	K	L	M	N	O
4	た	ち	つ	て	と	P	Q	R	S	T
5	な	に	ぬ	ね	の	U	V	W	X	Y
6	は	ひ	ふ	へ	ほ	Z	?	!	ー	／
7	ま	み	む	め	も	¥	&			
8	や	（	ゆ	）	よ	＊	＃			
9	ら	り	る	れ	ろ	1	2	3	4	5
0	わ	を	ん	゛	゜	6	7	8	9	0

● ■は、入力後に[＊゛゜A/a]を押すと、大文字↔小文字と切り替わります。
● [A]、[a]、[ｱ]の場合はすべて半角になります。
● [A]、[a]、[A]、[a]、[ｱ]の場合、ひらがなはカタカナになります。
● [a]、[a]の場合、英字は小文字で入力されます。

例「**よしお**」を入力する

1 **文字の入力画面を呼び出す**

2 8 5 **を押す**

▶「**よ**」が入力されます。

3 3 2 **を押す**

▶「**し**」が入力されます。

4 1 5 **を押す**

▶「**お**」が入力されます。

5 **(決定)を押す**

▶「**よしお**」が確定されます。

文字の変換機能

902Tでは、東芝のかな漢字変換エンジン「モバイル ルポTM」を搭載しています。モバイル ルポTMでは、「本を買う」「犬を飼う」のように前後の言葉のつながりから最適な変換をするAI変換を採用しています。さらに、**入力予測**(下記)を利用することで、長文メールも簡単にすばやく入力することができます。

※モバイル ルポTMは株式会社 東芝の商標です。

また、**ユーザ辞書**(4-17ページ)に特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておくと、文字入力時に簡単に呼び出すことができます。

■入力予測を利用する

入力予測には変換予測とフレーズ予測があります。変換予測は、全角かな(漢字変換)入力モードで入力した文字から予測される変換候補を表示する機能です。フレーズ予測は、一度確定した文章からフレーズ(句)を学習し、先頭のフレーズをもう一度入力することにより、あとに続くフレーズの候補を表示する機能です。入力予測を利用することで目的の語句を簡単にはやく入力することができます。

使い込む程に予測辞書として言葉が学習され、変換候補の精度があがっていきます。また、入力予測の設定は解除したり、予測辞書をリセットすることができます(4-24ページ)。

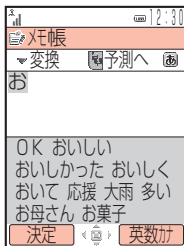
変換予測を利用して入力する

例 「**お父さん**」を入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 [1] を5回押す

▶「**お**」を入力すると、予測エリアに「**お**」から予測される変換候補が表示されます。

●変換候補は最大10件表示されます。また候補がない場合は、予測エリアは表示されません。

3 [4] を押す

▶「**た**」を入力すると、予測エリアに「**おた**」から予測される変換候補が表示されます。

4 [予測] を押す

▶予測エリアへカーソルが移動します。

●もう一度[予測]を押すと、操作3に戻ります。

5 [方向キー]で「お父さん」を選択し、[決定]（決定）を押す

▶「**お父さん**」が確定されます。

フレーズ予測を利用して入力する

例 一度確定した文章「**渋谷でライブ**」をもう一度入力する

1 文字の入力画面を呼び出す

2 「し」を入力する

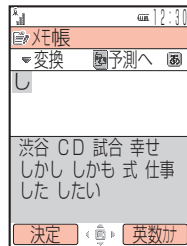
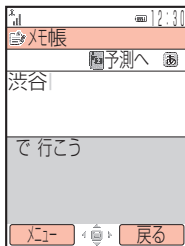
▶予測エリアに「**渋谷**」が表示されます。

3 [予測] を押す

▶予測エリアへカーソルが移動します。

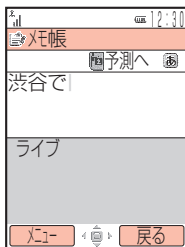
●もう一度[予測]を押すと、操作2に戻ります。

4 で「渋谷」を選択し、(決定)を押す

▶「**渋谷**」が確定されます。予測エリアに「**で**」が表示されます。

5 を押す

▶予測エリアへカーソルが移動します。
●もう一度を押すと、操作4に戻ります。

6 で「で」を選択し、(決定)を押す

▶「**で**」が確定されます。予測エリアに「**ライブ**」が表示されます。

7 を押す

▶「**ライブ**」が確定されます。

■よく使う言葉を登録する(ユーザ辞書)

ユーザ辞書とは、特殊な読み方をする漢字やよく使う略語などを登録しておく機能です。最大100語登録できます。ユーザ辞書に登録した語句を呼び出す場合は、文字入力画面でユーザ辞書に登録した読み仮名を入力し、変換します。

ユーザ辞書に登録する

1 文字の入力画面で(メニュー)を押す

2 「ユーザ設定」を選択し、(選択)を押す

3 「辞書ツール」を選択し、(選択)を押す

4 「辞書登録」を選択し、(選択)を押す

5 「登録語句」を選択し、を押す

6 登録したい語句を入力し、を押す

●登録可能文字数は、最大で12文字です。
●記号や絵文字も登録できます。

7 「読み仮名」を選択し、を押す

8 読み仮名を入力し、●を押す

- 全角ひらがなで入力します。
- 登録可能文字数は、最大8文字です。

9 （メニュー）を押す

10「登録」を選択し、（選択）を押す

▶ユーザ辞書に登録されます。

補　足

- 同じ読み仮名の語句は、最大4件登録できます。
- メインメニューの「**設定**」で「**一般設定**」を選択し、「**ユーザ辞書**」を選択したあと登録することもできます。

入力中の文字をユーザ辞書に登録する

1 文字の入力画面で（メニュー）を押す

- ユーザ辞書に登録したい語句のある画面を呼び出します。

2「範囲選択」を選択し、（選択）を押す

3 で登録したい文字の先頭または最後へカーソルを移動し、（始点）を押す

4 で登録したい文字の範囲を指定し、（終点）を押す

- 12文字を超えて範囲選択している場合は、ユーザ辞書へ登録することはできません。

5「辞書登録」を選択し、（選択）を押す

▶範囲選択した語句が設定されたユーザ辞書登録画面が表示されます。

6「読み仮名」を選択し、●を押す

7 読み仮名を入力し、●を押す

8 (メニュー)を押す

9 「登録」を選択し、(選択)を押す

▶ユーザ辞書に登録されます。

登録した語句を編集する

1 待受画面でを押し、で「設定」を選択し、(選択)を押す

2 「一般設定」を選択し、(選択)を押す

3 「ユーザ辞書」を選択し、(選択)を押す

4 「登録語編集」を選択し、(選択)を押す

5 で編集したい語句を表示し、(メニュー)を押す

6 「編集」を選択し、(選択)を押す

7 「登録語句」または「読み仮名」を選択し、を押す

8 語句または読み仮名を編集し、を押す

9 (メニュー)を押す

10 「登録」を選択し、(選択)を押す

▶編集した内容で上書き登録されます。

補足

- ユーザ辞書をすべて削除する場合は、操作3のあと「**全件削除**」を選択し、操作用暗証番号(1-24ページ)を入力します。
- 操作6で以下の操作を行うこともできます。
  削除

文字の編集

文字の入力画面で入力されている文字の編集を行うことができます。文字の編集を行う場合は、クリップボードを使うと便利です。クリップボードとは、文字のコピーや切り取りを行った内容を一時的に記憶しておく場所のことです。クリップボードに記憶された文字データは、それぞれの文字入力画面で貼り付けることができます。

■入力した文字を修正する

1 文字の入力画面で文字を入力する

2 カーソルを修正したい文字の前に移動し、クリア/戻るを押す

▶ 1文字削除されます。

●カーソルの右側の文字をすべて削除する場合は、クリア/戻るを長く（約1秒以上）押します。

3 正しい文字を入力する

▶ 文字が修正されます。

補　足

● カーソルの右側に文字がなく、カーソルより左側に文字がある場合は、クリア/戻るを押すとカーソルの左側の文字が1文字削除され、クリア/戻るを長く（約1秒以上）押すとカーソルの左側のすべての文字が削除されます。
● 文字の編集中に、（メニュー）を押し、「**カーソル移動**」を選択したあと「**先頭へジャンプ**」または「**最後へジャンプ**」を選択すると文頭または文末へカーソルをジャンプさせることができます。

■コピー／切り取り／貼り付けをする

範囲選択した文字、絵文字をコピーや切り取りでクリップボードに記憶することができます。また、クリップボードに記憶した内容は文字の入力画面でカーソル位置に貼り付ける（ペースト）ことができます。

1 文字の入力画面で（メニュー）を押す

●コピーまたは切り取りたい文字のある画面を呼び出します。

2 「コピー」または「切り取り」を選択し、（選択）を押す

3 でコピーまたは切り取りを行いたい文字の先頭または最後へカーソルを移動し、（始点）を押す

4 文字の入力方法

4 でコピーまたは切り取りを行いたい範囲を指定し、（終点）を押す

▶ 指定した範囲の文字がクリップボードに記憶されます。

5 貼り付ける位置へカーソルを移動し、（メニュー）を押す

●別の画面へ貼り付けることもできます。

6 「貼り付け」を選択し、（選択）を押す

▶ クリップボードが表示されます。

7 クリップボードから貼り付ける文字を選択し、を押す

▶ クリップボードの文字が貼り付けられます。

補　足

- クリップボードの文字を削除したい場合は、クリップボードを表示し、（メニュー）を押したあと「**一件削除**」または「**全件削除**」を選択します。
- クリップボードに記録できる件数は最新20件、登録可能文字数は、1件あたり最大で256文字です。

■元に戻す／やり直し

一度確定した文字や挿入した文字を取り消したり、クリア/戻るを押して削除した文字を元に戻すことができます。

1 文字の入力画面で文字を入力する

2 （メニュー）を押す

3 「元に戻す」を選択し、（選択）を押す

▶ 操作1で確定した文字が取り消されます。

重　要

- 削除した文字が元に戻るのは、カーソルを移動せずにクリア/戻るを押して削除した文字です。
- （メニュー）を押して、「**範囲選択**」より「**一括変換**」（4-23ページ）や「**置き換え**」（4-24ページ）を選択して編集した文字は元に戻せません。

補　足

- 「**元に戻す**」の操作を行う以前の状態に戻したい場合は、（メニュー）を押したあと、「**やり直し**」を選択します。

4

文字の入力方法

■文字データを引用する

メールに署名を挿入したり、メモ帳や電話帳に登録している内容などを引用し、カーソル位置に挿入することができます。

1 **文字の入力画面で［-］（メニュー）を押す**

2 **「挿入」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **挿入する内容を選択し、［-］（選択）を押す**

メモ帳：登録されているメモ帳（15-24ページ）の内容を挿入できます。

署名：MMS署名（23-5ページ）・SMS署名（23-6ページ）で登録されている署名をMMS、SMSにそれぞれ挿入します。MMS、SMS編集中にのみ挿入できます。

電話帳：電話帳より、名前、電話番号、E-mailアドレス、住所、誕生日を挿入できます。

ご自分の番号：ご自分の番号（5-25ページ）より、名前、電話番号、E-mailアドレス、住所を挿入できます。

アドレス送信履歴：URLを入力し、ウェブにアクセスした（24-3ページ）URLの履歴を挿入できます。

電話番号：ご自分の電話番号を挿入できます。

▶文字が挿入されます。

■その他の文字編集機能

メモ帳に登録する

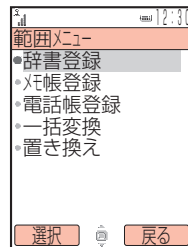
入力画面で範囲選択した文字をメモ帳（15-24ページ）に登録することができます。

1 **文字の入力画面で［-］（メニュー）を押す**

2 **「範囲選択」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **［◎］で登録したい文字の先頭または最後へカーソルを移動し、［-］（始点）を押す**

4 **［◎］で登録したい範囲を指定し、［-］（終点）を押す**

▶範囲メニュー画面が表示されます。

5 **「メモ帳登録」を選択し、［-］（選択）を押す**

6 登録するメモ帳を選択し、●を押す

▶ 確認画面が表示されます。

7 ［-］（Yes）を押す

▶ 範囲選択した内容がメモ帳に登録されます。
● すでに登録されているメモ帳を選択した場合は、上書きされます。

電話帳に登録する

入力画面で範囲選択した電話番号やE-mailアドレスを電話帳に登録することができます。
●電話帳については5-4ページを参照してください。

1 範囲メニュー画面（4-22ページ）より、「電話帳登録」を選択し、［-］（選択）を押す

2 「新規作成」または「追加登録」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ 範囲選択した内容が「**電話番号**」または「**Eメール**」に設定されます。

補　足

- 範囲選択した内容が数字のときには、「**電話番号**」に登録され、「@」を1つ含む半角英数字や「-」（ハイフン）、「_」（アンダーバー）のときには、「**Eメール**」に登録されます。
- 範囲選択した数字の間に「＊＃／P－＋（ ）」が含まれていても、電話番号として認識されます。ただし、「( )」は登録時に省かれます。
- 電話番号やE-mailアドレスに登録可能な文字以外を範囲選択した場合は、電話帳に登録することはできません。

確定した文字を変換する（一括変換）

一度確定した文字を範囲選択して再変換することができます。

1 範囲メニュー画面（4-22ページ）より、「一括変換」を選択し、［-］（選択）を押す

2 「かな漢字変換」、「全角変換」、「半角変換」、「大文字変換」、「小文字変換」のいずれかを選択し、［-］（選択）を押す

▶ 文字が再変換されます。

補足

- 漢字、絵文字は、一括変換できません。
- 「**かな漢字変換**」はひらがなでのみ行えます。
- 「**全角変換**」、「**半角変換**」は、カタカナ、英字、数字、記号でのみ行えます。
- 「**大文字変換**」、「**小文字変換**」は英字でのみ行えます。

クリップボードの内容に置き換える

範囲選択した文字を削除し、クリップボード（4-20ページ）の内容に置き換えることができます。

1 範囲メニュー画面（4-22ページ）より、「置き換え」を選択し、（選択）を押す

2 クリップボードから置き換える文字を選択し、●を押す

▶ クリップボードの内容に置き換えられます。

予測辞書をリセットする

入力予測機能（4-15ページ）で学習した内容を削除することができます。

1 文字の入力画面で（メニュー）を押す

2 「ユーザ設定」を選択し、（選択）を押す

3 「辞書ツール」を選択し、（選択）を押す

4 「予測辞書リセット」を選択し、（選択）を押す

▶ 確認画面が表示されます。

5 （Yes）を押す

▶ 予測辞書として学習された変換候補がお買い上げ時の状態に戻ります。

入力予測を設定する

入力予測機能（4-15ページ）を利用するかどうかの設定ができます。
お買い上げ時は「**On**」（利用する）に設定されています。

1 文字の入力画面で（メニュー）を押す

2 「ユーザ設定」を選択し、（選択）を押す

3 「入力予測」を選択し、（選択）を押す

4 「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す

▶ 入力予測が設定されます。

かな入力方式を設定する

かな入力方式を標準方式とポケベル方式（4-14ページ）から選択することができます。
お買い上げ時は「**標準方式**」に設定されています。

1 **文字の入力画面で［-］（メニュー）を押す**

2 **「ユーザ設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「かな入力方式」を選択し、［-］（選択）を押す**

4 **「標準方式」または「ポケベル方式」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ かな入力方式が設定されます。

文字サイズを変更する

文字の入力画面で表示される文字サイズを選択することができます。
お買い上げ時は「**大**」に設定されています。

1 **文字の入力画面で［-］（メニュー）を押す**

2 **「ユーザ設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「文字サイズ」を選択し、［-］（選択）を押す**

4 **「大」または「標準」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 文字サイズが設定されます。

改行制御を設定する

入力した文字を「↵」の位置で改行して表示させるかどうかの設定ができます。
お買い上げ時は「**On**」（改行する）に設定されています。

1 **文字の入力画面で［-］（メニュー）を押す**

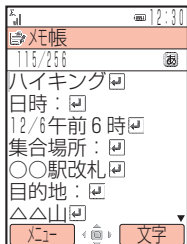
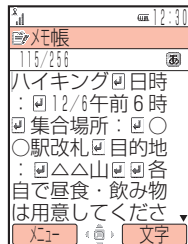
2 **「ユーザ設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「改行制御」を選択し、［-］（選択）を押す**

4 **「On」または「Off」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 改行制御が設定されます。

補　足

- 改行制御を設定した場合、文字入力画面（文字サイズ「**大**」の場合）では次のように表示されます。

「**On**」（改行する）
にした場合

「**Off**」（改行しない）
にした場合

- 改行制御を「**On**」にしている場合は、メモ帳の登録中などに最後の行で（▼）を押すと「↵」が表示され、改行されます。
- 改行制御を「**Off**」にしている場合でも、メール（20-2ページ）を送信した場合、相手には「↵」の部分で改行されて表示されます。ただし、相手には「↵」は表示されません。

電話帳

電話帳の登録

電話番号やE-mailアドレスなどを登録しておくと、簡単に電話をかけたり、メールを送ることができます。また、相手先別に着信イルミネーションや着信音パターンなどを設定することができます。
電話帳は本体に最大500件保存できます。USIMカード、メモリカードにも保存できます。USIMカード、メモリカードの容量によって保存できる件数は異なります。また、USIMカードによっては、登録できる項目の最大文字数などが異なる場合があります。

大切なデータを失わないために
電話帳に登録した電話番号や名前は、電池パックを長い間外していたり、電池残量のない状態で放置したりすると、消失または変化してしまうことがあります。また、事故や故障でも同様の可能性があります。大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。電話帳が消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■電話帳に登録できる項目

項目	内容	メモリカード	USIM カード
名前	姓、名を登録できます。登録可能文字数は、姓、名それぞれ最大24文字です。	○	○
ヨミガナ	名前を入力すると、自動的にヨミガナが入力されます。登録可能文字数は、姓、名それぞれ最大24文字です。	○	○
表示名	名前を入力すると、自動的に表示名が入力されます。登録可能文字数は、最大49文字です。	○	×
電話番号	最大3件登録できます。登録可能桁数は、最大40桁です。電話番号の種類は、（個人携帯）、（会社携帯）、（一般電話）、（会社）、（TVコール）、（FAX）から設定できます。	○	○

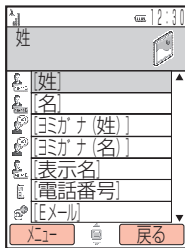
項目	内容	メモリカード	USIM カード
Eメール	最大3件登録できます。登録可能文字数は、最大64文字です。E-mailアドレスの種類は、（インターネット）、（携帯電話）、（自宅）、（会社）から設定できます。	○	○
住所	郵便番号、国、都道府県、市町村、番地、住所付加情報を登録できます。登録可能文字数は、郵便番号、国それぞれ最大20文字です。都道府県、市町村、番地、住所付加情報は、それぞれ最大50文字です。住所の種類は、（自宅）、（会社）から設定できます。	○	×
役職	役職を登録できます。登録可能文字数は、最大32文字です。	○	×
会社名	会社名を登録できます。登録可能文字数は、最大32文字です。	○	×
誕生日	生年月日を登録することができます。	○	×
URL	URLを登録できます。登録可能文字数は、最大128文字です。URLの種類は、（自宅）、（会社）から設定できます。	○	×
グループ	グループを設定することができます。	○	○
顔写真	カメラで撮影した静止画やデータフォルダ、メモリカードに保存されているファイルなどを登録することができます。	×	×
オプション	相手先別に着信イルミネーションや着信音パターン、シークレットメモリなどを設定することができます。	×	×
位置情報	地図や測位情報を表示させることができます。	×	×
メモ	メモを登録できます。登録可能文字数は、最大64文字です。	×	×

■電話帳に登録する

必要な項目だけ登録し、あとから内容を追加したり、変更することもできます。

1 待受画面で を押し、 で「電話帳」を選択し、 （選択）を押す

2 「新規登録」を選択し、 （選択）を押す

▶電話帳登録画面が表示されます。

3 「姓」を選択し、 を押す

4 名前（姓）を入力し、 を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、最大24文字です。

5 「名」を選択し、 を押す

6 名前（名）を入力し、 を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、最大24文字です。
●ヨミガナや表示名は、名前を入力すると自動的に入力されます。

7 （メニュー）を押す

8 「保存」を選択し、 （選択）を押す

▶電話帳に登録されます。

重　要

●電話帳に新規登録する場合は、必ず待受画面で を押し、「**電話帳**」を選択したあと、「**新規登録**」を選択してください。
●「**姓**」、「**名**」、「**電話番号**」、「**Eメール**」のいずれかを入力しないと、電話帳を保存することができません。

補　足

●電話帳の保存先に同姓同名の表示名がある場合は、操作8のあと上書きをするかどうかのメッセージが表示されます。上書きをしない場合は、 （No）を押すと、新規として保存されます。
●電話帳の保存先を、あらかじめ指定しておくことができます（5-27ページ）。

電話番号を設定する

1 電話帳登録画面（5-4ページ）より、「電話番号」を選択し、●を押す

2 電話番号を入力し、●を押す

- 登録可能桁数は、最大40桁です。
- マニュアルハイフンやポーズ（16-8ページ）を入力する場合は、電話番号入力中に［メニューキー］（メニュー）を押したあと、「**マニュアルハイフン**」または「**ポーズ**」を選択します。
- 「**郵便番号**」、「**国**」、「**都道府県**」、「**市町村**」、「**番地**」、「**住所付加情報**」、「**役職**」、「**会社名**」、「**誕生日**」、「**URL**」、「**メモ**」を設定する場合は、操作1で設定したい各項目を選択します。
- 「**誕生日**」を設定する場合は年は西暦の4桁で、月や日はそれぞれ2桁で入力します。

3 電話番号の種類を選択し、［メニューキー］（選択）を押す

▶電話番号が設定されます。

- 種類を選択することができるのは、「**Eメール**」、住所（「**郵便番号**」、「**国**」、「**都道府県**」、「**市町村**」、「**番地**」、「**住所付加情報**」）、「**URL**」のみです。

E-mailアドレスを設定する

1 電話帳登録画面（5-4ページ）より、「Eメール」を選択し、●を押す

2 E-mailアドレスを入力し、●を押す

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大64文字です。

3 E-mailアドレスの種類を選択し、［メニューキー］（選択）を押す

▶E-mailアドレスが設定されます。

グループを設定する

1 電話帳登録画面（5-4ページ）より、「グループなし」を選択し、●を押す

- グループが設定されている場合は、設定されているグループ名を選択します。

2 設定したいグループを選択し、［メニューキー］（選択）を押す

▶グループが設定されます。

補　足

- 電話帳保存先（5-27ページ）を「**本体**」または「**メモリカード**」にしている場合は本体に、「**USIMカード**」にしている場合はUSIMカードに登録されているグループから設定することができます。

顔写真を設定する

1 **電話帳登録画面（5-4ページ）より、「顔写真」を選択し、(●)を押す**

2 **「カメラ起動」または「データフォルダ」を選択し、(-)（選択）を押す**

カメラ起動　：カメラで顔写真を撮影することができます（7-11ページ）。撮影したあとに(●)を押すと、顔写真が設定されます。

データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-10ページ）。

3 **設定したいファイルを選択し、(●)を押す**

▶顔写真が設定されます。

重　要

- 転送不可のピクチャーファイルを顔写真に設定することはできません。

補　足

- 選択した画像が、設定する画像サイズに合わない場合は、操作3のあとに画像サイズの調整を行います（7-31、12-10ページ）。

着信イルミネーションを設定する

1 **電話帳登録画面（5-4ページ）より、「オプション」を選択し、(●)を押す**

2 **「イルミネーション設定」を選択し、(-)（選択）を押す**

3 **設定したい色を選択し、(-)（選択）を押す**

▶着信イルミネーションが設定されます。

- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、イルミネーション設定（16-3ページ）に従います。

着信音量を設定する

1 **電話帳登録画面（5-4ページ）より､「オプション」を選択し、●を押す**

2 **「着信音量」を選択し、（選択）を押す**

3 **「音声着信」、「TVコール着信」、「メール受信」のいずれかを選択し、（選択）を押す**

4 **「設定」を選択し、（選択）を押す**

●「**通常設定連動**」を選択した場合は、モードの設定（9-2ページ）に従います。

5 **で着信音量を調節し、（決定）を押す**

▶着信音量が設定されます。
●着信音量を上げる場合はまたはを、下げる場合はまたはを押します。

音声着信／TVコール着信の着信音パターンを設定する

1 **電話帳登録画面（5-4ページ）より､「オプション」を選択し、●を押す**

2 **「着信音パターン」を選択し、（選択）を押す**

3 **「音声着信」または「TVコール着信」を選択し、（選択）を押す**

4 **「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」、「通常設定連動」のいずれかを選択し、（選択）を押す**

プリセットパターン：あらかじめ登録されているパターンを選択します。
プリセットメロディ：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。
通常設定連動：モードの設定（9-2ページ）に従います。

5 **着信音パターンを選択し、（メニュー）を押す**

6 **「決定」または「選択」を選択し、（選択）を押す**

▶着信音パターンが設定されます。

重　要

●転送不可のメロディファイルを着信音パターンに設定することはできません。

5 電話帳

メール受信の着信音パターンを設定する

1 電話帳登録画面（5-4ページ）より､「オプション」を選択し、●を押す

2 「着信音パターン」を選択し、［-］（選択）を押す

3 「メール受信」を選択し、［-］（メニュー）を押す

4 「着信音パターン」を選択し、［-］（選択）を押す

5 「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」、「通常設定連動」のいずれかを選択し、［-］（選択）を押す

プリセットパターン：あらかじめ登録されているパターンを選択します。
プリセットメロディ：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。
通常設定連動：モードの設定（9-2ページ）に従います。

6 着信音パターンを選択し、［-］（メニュー）を押す

7 「決定」または「選択」を選択し、［-］（選択）を押す

▶着信音パターンが設定されます。

メール受信の鳴動時間を設定する

1 電話帳登録画面（5-4ページ）より､「オプション」を選択し、●を押す

2 「着信音パターン」を選択し、［-］（選択）を押す

3 「メール受信」を選択し、［-］（メニュー）を押す

4 「鳴動時間」を選択し、［-］（選択）を押す

5 「一周期」または「通常設定連動」を選択し、［-］（選択）を押す

▶鳴動時間が設定されます。

●「**通常設定連動**」を選択した場合は、モードの設定（9-2ページ）に従います。

バイブレーターを設定する

1 電話帳登録画面（5-4ページ）より､｢オプション｣を選択し、●を押す

2 「バイブレーター」を選択し、［－］（選択）を押す

3 「音声着信」､「TVコール着信」､「メール受信」を選択し、［－］（選択）を押す

4 設定したいパターンを選択し、●を押す

パターン1〜3：選択したパターンで振動します。
SMAF連動：着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレーターが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。
Off：バイブレーターを振動させません。
通常設定連動：モードの設定（9-2ページ）に従います。

▶バイブレーターが設定されます。

シークレットメモリを設定する

1 電話帳登録画面（5-4ページ）より､｢オプション｣を選択し、●を押す

2 「シークレット設定」を選択し、［－］（選択）を押す

3 「On」を選択し、［－］（選択）を押す

▶シークレットメモリとして設定されます。
●設定しない場合は、「Off」を選択します。

補　足

- シークレットメモリの電話帳は、シークレットモード（14-9ページ）を「On」にすると表示されます。シークレットメモリには、「」が表示されます。
- シークレットメモリの相手へ電話をかけても、シークレットモードが「Off」の場合は、発信履歴に電話番号のみが記録されます。
- シークレットメモリの相手から電話がかかってきても、シークレットモード（14-9ページ）が「Off」の場合は、名前は表示されず、電話番号のみが表示されます。

■発信履歴／不在着信履歴／着信履歴の電話番号を登録する

1 **待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、［−］（選択）を押す**

2 **「通話履歴」を選択し、［−］（選択）を押す**

3 **「発信履歴」、「不在着信履歴」、「着信履歴」のいずれかを選択し、●を押す**

4 **登録したい電話番号を選択し、［−］（メニュー）を押す**

5 **「電話帳登録」を選択し、［−］（選択）を押す**

6 **「新規作成」を選択し、［−］（選択）を押す**

▶電話番号が設定された電話帳登録画面が表示されます。

●登録されている電話帳に追加する場合は、「**追加登録**」を選択したあと、追加したい電話帳を選択します。

補足

- 受信メールの電話番号やE-mailアドレスを電話帳に登録することもできます。
- 待受画面で入力した電話番号を、［−］（メニュー）を押したあと「**電話帳登録**」を選択して、電話帳に登録することもできます。
- 待受画面で◀または▶を押して、通話履歴を表示させることもできます。

■電話帳の登録状況を確認する

登録されている電話帳の件数を確認することができます。

●シークレットモード（14-9ページ）を「Off」にしている場合は、シークレットメモリの件数は含みません。

1 **待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、［−］（選択）を押す**

2 **「メモリ容量確認」を選択し、［−］（選択）を押す**

▶本体、USIMカード、メモリカード内のそれぞれの電話帳登録件数が表示されます。

5

電話帳

グループ設定

グループを新規に登録することができます。グループは、本体に最大20件登録することができます。また、グループごとに着信イルミネーションや着信音パターンなどを設定することができます。

■グループ名とグループアイコンを登録する

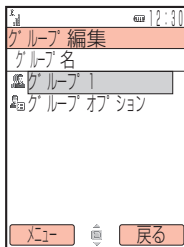
グループは、グループ名とグループアイコンを登録することができます。ただし、お買い上げ時にあらかじめ本体に登録されているグループ名を変更することはできません。

1 **待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「グループ設定」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「未登録」を選択し、●を押す**

▶グループ編集画面が表示されます。

●本体に登録する場合は「👤」を、USIMカードに登録する場合は「▭」を選択します。

4 **「グループ1」を選択し、●を押す**

5 **グループ名を入力し、●を押す**

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●登録可能文字数は、最大24文字です。

6 **◎でグループアイコンを選択し、▭（選択）を押す**

7 **▭（メニュー）を押す**

8 **「保存」を選択し、▭（選択）を押す**

▶グループ名とグループアイコンが登録されます。

補足

- 操作2のあと▭（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  作成／削除／編集／リセット
- 操作3のあと「**グループオプション**」を選択し、▭（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  編集／オプションリセット
- 操作8で以下の操作を行うこともできます。
  編集／アイコン変更

■グループオプションを設定する

グループごとに着信イルミネーションや着信音量、着信音パターン、バイブレーターを設定することができます。ただし、電話帳ごとに設定している場合は、電話帳の設定が優先されます。また、転送不可のムービー、メロディファイルを着信音に設定することはできません。

着信イルミネーションを設定する

1 グループ編集画面（5-11ページ）より、「グループオプション」を選択し、●を押す

2 「イルミネーション設定」を選択し、（選択）を押す

3 設定したい色を選択し、（選択）を押す

▶着信イルミネーションが設定されます。

●「**通常設定連動**」を選択した場合は、イルミネーション設定（16-3ページ）に従います。

着信音量を設定する

1 グループ編集画面（5-11ページ）より、「グループオプション」を選択し、●を押す

2 「着信音量」を選択し、（選択）を押す

3 「音声着信」、「TVコール着信」、「メール受信」のいずれかを選択し、（選択）を押す

4 「設定」を選択し、（選択）を押す

●「**通常設定連動**」を選択した場合は、モードの設定（9-2ページ）に従います。

5 で着信音量を調節し、（決定）を押す

▶着信音量が設定されます。

●着信音量を上げる場合はまたはを、下げる場合はまたはを押します。

音声着信／TVコール着信の着信音パターンを設定する

1 グループ編集画面（5-11ページ）より、「グループオプション」を選択し、●を押す

5 電話帳

2 「着信音パターン」を選択し、[ー]（選択）を押す

3 「音声着信」または「TVコール着信」を選択し、[ー]（選択）を押す

4 「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」、「通常設定連動」のいずれかを選択し、[ー]（選択）を押す

プリセットパターン：あらかじめ登録されているパターンを選択します。
プリセットメロディ：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ　　：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。
通常設定連動　　　：モードの設定（9-2ページ）に従います。

5 着信音パターンを選択し、[ー]（メニュー）を押す

6 「決定」または「選択」を選択し、[ー]（選択）を押す

▶着信音パターンが設定されます。

メール受信の着信音パターンを設定する

1 グループ編集画面（5-11ページ）より、「グループオプション」を選択し、[●]を押す

2 「着信音パターン」を選択し、[ー]（選択）を押す

3 「メール受信」を選択し、[ー]（メニュー）を押す

4 「着信音パターン」を選択し、[ー]（選択）を押す

5 「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」、「通常設定連動」のいずれかを選択し、[ー]（選択）を押す

プリセットパターン：あらかじめ登録されているパターンを選択します。
プリセットメロディ：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ　　：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。
通常設定連動　　　：モードの設定（9-2ページ）に従います。

6 着信音パターンを選択し、[メニュー]（メニュー）を押す

7 「決定」または「選択」を選択し、[選択]（選択）を押す

▶着信音パターンが設定されます。

メール受信の鳴動時間を設定する

1 グループ編集画面（5-11ページ）より、「グループオプション」を選択し、●を押す

2 「着信音パターン」を選択し、[選択]（選択）を押す

3 「メール受信」を選択し、[メニュー]（メニュー）を押す

4 「鳴動時間」を選択し、[選択]（選択）を押す

5 「一周期」または「通常設定連動」を選択し、[選択]（選択）を押す

▶鳴動時間が設定されます。

●「**通常設定連動**」を選択した場合は、モードの設定（9-2ページ）に従います。

バイブレーターを設定する

1 グループ編集画面（5-11ページ）より、「グループオプション」を選択し、●を押す

2 「バイブレーター」を選択し、[選択]（選択）を押す

3 「音声着信」、「TVコール着信」、「メール受信」のいずれかを選択し、[選択]（選択）を押す

4 設定したいパターンを選択し、●を押す

パターン1〜3：選択したパターンで振動します。
SMAF連動：着信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレーターが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。
Off：バイブレーターを振動させません。
通常設定連動：モードの設定（9-2ページ）に従います。

▶バイブレーターが設定されます。

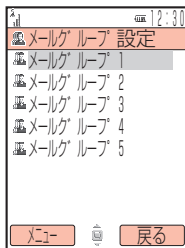
メールグループ設定

メールの宛先に使用する同報リストの登録を行うことができます。メールグループは5つまで登録でき、1つのメールグループには宛先を最大10件登録できます。

■メールグループ名を変更する

1 **待受画面で●を押し、◎で「電話帳」を選択し、□（選択）を押す**

2 **「メールグループ設定」を選択し、□（選択）を押す**

▶メールグループ設定画面が表示されます。

3 **編集したいメールグループを選択し、□（メニュー）を押す**

4 **「メールグループ名変更」を選択し、□（選択）を押す**

5 **メールグループ名を入力し、●を押す**

▶メールグループ名が変更されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大12文字です。

補 足

- 操作4で、以下の操作を行うこともできます。
  選択／リセット

■メールグループにメンバーを登録する

1 **メールグループ設定画面（左記）より、メンバーを登録したいメールグループを選択し、●を押す**

2 **「未登録」を選択し、●を押す**

3 **「名前」を選択し、●を押す**

4 **名前を入力し、●を押す**

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大49文字です。

5 **「宛先」を選択し、●を押す**

6 宛先を入力し、(●)を押す

●登録可能文字数は、最大64文字です。

7 (-)（メニュー）を押す

8「保存」を選択し、(-)（選択）を押す

▶メールグループにメンバーが登録されます。

重要

●名前と宛先の両方を入力しないと、保存することができません。

電話帳からメンバーを登録する

1 メールグループ設定画面（5-15ページ）より、メンバーを登録したいメールグループを選択し、(●)を押す

2「未登録」を選択し、(-)（メニュー）を押す

3「電話帳から追加」を選択し、(-)（選択）を押す

4 電話帳からメンバーを選択し、(●)を押す

5 登録したい宛先を選択し、(●)を押す

▶メールグループにメンバーが登録されます。

重要

●シークレットメモリ（5-9ページ）を「On」にしている電話帳は選択できません。

■メールグループのメンバーを変更する

1 メールグループ設定画面（5-15ページ）より、変更したいメールグループを選択し、(●)を押す

2 変更したいメンバーを選択し、(-)（メニュー）を押す

3「編集」を選択し、(-)（選択）を押す

4 編集したい項目を選択し、(●)を押す

5 名前または宛先を変更し、(●)を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、名前が最大49文字、宛先が最大64文字です。

6 （メニュー）を押す

7 「保存」を選択し、（選択）を押す

▶メールグループのメンバーが変更されます。

補 足

- 操作3で、以下の操作を行うこともできます。
  詳細／**削除**／**追加**

電話帳の利用

電話帳を利用して、簡単に電話をかけたり、メールを送ることができます。

■電話帳の表示を切り替える

電話帳は、本体、USIMカード、メモリカードに登録されています。電話帳は「**本体**／**USIM**」と「**メモリカード**」で切り替えて表示します。本体に保存されている電話帳は「」、USIMカードに保存されている電話帳は「」、メモリカードに保存されている電話帳は「」が表示されます。

1 待受画面でを押す

▶本体／USIMカードに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

2 （メニュー）を押す

3 「メモリカード」を選択し、（選択）を押す

▶メモリカードに登録されている電話帳一覧画面が表示されます。

5
電話帳

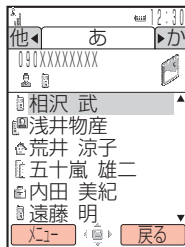
補　足

- シークレットメモリ（5-9ページ）の電話帳は、シークレットモード（14-9ページ）を「**On**」にすると表示されます。シークレットメモリの電話帳には、「」が表示されます。
- マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニューの「**電話帳**」から、電話帳一覧画面を表示させることもできます。
- 操作3で、以下の操作を行うこともできます。
詳細／**検索**（5-19ページ）／**編集**（5-23ページ）／**削除**（5-24ページ）／**複数選択**／**エクスポート**／**並び替え**（5-22ページ）／**グループ検索**（5-20ページ）

■電話帳から電話をかける

1 待受画面でを押す

▶「**あ**」行から始まる名前の電話帳一覧画面が表示されます。

●またはを押すと、50音順の前の行または次の行を表示することができます。

2 かけたい相手を選択し、を押す

▶電話帳詳細画面が表示されます。

●電話帳詳細画面でまたはを押すと、前または次の電話帳を表示させることができます。

3 かけたい電話番号を選択し、を押す

▶電話がかかります。

補　足

- 操作1のあと、かけたい相手を選択してを押しても電話をかけることができます（電話帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、デフォルト電話番号（5-24ページ）にかかります）。
- マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニューの「**電話帳**」から、電話帳一覧画面を表示させることもできます。

5
電話帳

■電話帳の検索方法

電話帳の検索方法は以下から選択することができます。

検索方法	内容	参照先
2タッチ検索	ヨミガナの頭文字を2タッチで入力して検索できます。	下記
ヨミガナ検索	ヨミガナを入力して検索できます。	5-20ページ
電話番号検索	電話番号を入力して検索できます。	5-20ページ
グループ検索	グループを選択して検索できます。	5-20ページ

2タッチで検索する

1 電話帳一覧画面（5-18ページ）より、[-]（メニュー）を押す

2 「検索」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「2タッチ検索」を選択し、[-]（選択）を押す

4 [0]～[9]、[1]～[5]の順に押す

●各ボタンに割り当てられている頭文字については、補足を参照してください。

5 呼び出したい電話帳を選択し、[●]を押す

▶選択した電話帳が呼び出されます。

補 足

●頭文字入力時のボタン割り当ては、以下のようになります。
例えば「**よ**」から始まるヨミガナの電話帳を呼び出す場合は、[8][5]の順に押します。

先に押すボタン ＼ 後に押すボタン	1	2	3	4	5
1	あ	い	う	え	お
2	か	き	く	け	こ
3	さ	し	す	せ	そ
4	た	ち	つ	て	と
5	な	に	ぬ	ね	の
6	は	ひ	ふ	へ	ほ
7	ま	み	む	め	も
8	や	—	ゆ	—	よ
9	ら	り	る	れ	ろ
0	わ	を	ん	—	—

●その他を呼び出す場合は、[＊]を押します。
●未登録の電話帳を検索した場合、「**登録はありません**」と表示されます。
●2タッチ検索は、電話帳に登録されているヨミガナが使用されます。

ヨミガナから検索する

1 電話帳一覧画面（5-18ページ）より、（メニュー）を押す

2 「検索」を選択し、（選択）を押す

3 「ヨミガナ検索」を選択し、（選択）を押す

4 ヨミガナを入力し、を押す

▶入力したヨミガナで始まる名前の電話帳が表示されます。

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●入力可能文字数は、最大8文字です。

5 呼び出したい電話帳を選択し、を押す

▶選択した電話帳が呼び出されます。

補　足

●ヨミガナ検索は、電話帳に登録されているヨミガナが使用されます。

電話番号から検索する

1 電話帳一覧画面（5-18ページ）より、（メニュー）を押す

2 「検索」を選択し、（選択）を押す

3 「電話番号検索」を選択し、（選択）を押す

4 電話番号を入力し、を押す

▶入力した電話番号を含む電話帳がヨミガナ順に表示されます。

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●入力可能桁数は、最大40桁です。

5 呼び出したい電話帳を選択し、を押す

▶選択した電話帳が呼び出されます。

グループで検索する

1 電話帳一覧画面（5-18ページ）より、（メニュー）を押す

2 「グループ検索」を選択し、（選択）を押す

3 検索したいグループを選択し、●を押す

▶チェックすると、名前の横に「☑」が表示されます。
●複数選択する場合は、操作3を繰り返します。

4 ［-］（メニュー）を押す

5 「実行」を選択し、［-］（選択）を押す

▶選択したグループの電話帳が表示されます。

6 呼び出したい電話帳を選択し、●を押す

▶選択した電話帳が呼び出されます。

補　足

- すべてのグループをチェックする場合、操作3で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作3で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■スピードダイヤルで電話をかける

スピードダイヤルのリストに登録されている場合（5-26ページ）は、［1］～［9］のいずれかの番号と［発信］または［AV］を押すだけで音声電話またはTVコールをかけることができます。

1 待受画面で［1］～［9］を押す

●［1］～［9］は、スピードダイヤル（5-26ページ）で登録されている番号です。

2 ［発信］を押す

▶電話がかかります。

補　足

- 電話帳に2件以上の電話番号が登録されている場合は、デフォルト電話番号にかかります。

■電話帳の内容をコピー／移動する

本体やメモリカード、USIMカード間で電話帳をコピーまたは移動することができます。

1 電話帳一覧画面（5-18ページ）より、［-］（メニュー）を押す

2 「複数選択」を選択し、［-］（選択）を押す

3 コピーまたは移動したい電話帳を選択し、●を押す

▶チェックすると、名前の横に「☑」が表示されます。
●複数選択する場合は、操作3を繰り返します。

4 （メニュー）を押す

5 「コピー」または「移動」を選択し、（選択）を押す

6 「本体」、「USIM」、「メモリカード」のいずれかを選択し、（選択）を押す

▶選択した電話帳がコピーまたは移動されます。

重 要
- 電話帳に登録できる項目は、本体、USIMカード、メモリカードによって異なります。電話帳に登録できる項目については5-2ページを参照してください。

補 足
- すべての電話帳をチェックする場合は、操作3で（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作3で（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。
- 操作5で、以下の操作を行うこともできます。
削除／エクスポート／詳細

■電話帳を並び替える

1 電話帳一覧画面（5-18ページ）より、（メニュー）を押す

2 「並び替え」を選択し、（選択）を押す

3 「誕生日順」または「ヨミガナ順」を選択し、（選択）を押す

▶電話帳が並び替えられます。

電話帳の編集

登録した電話帳は、個別に編集、削除を行うことができます。また、電話番号とE-mailアドレスをそれぞれ最大3件登録することができます。

■電話帳を編集する

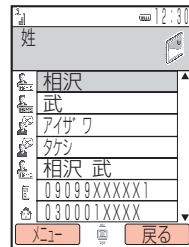
電話帳編集画面で各項目を選択し、(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。

操作	内容	カーソル位置
編集	電話帳の編集を行います。	グループ、顔写真、オプション、位置情報を除く項目
保存	上書き保存します。	全項目
新規保存	電話帳を新規に保存します。	全項目
項目削除	カーソルのある項目の内容を削除します。	顔写真、オプションを除く項目
種別変更	種別の変更を行います。	電話番号、Eメール、国、郵便番号、都道府県、市町村、番地、住所付加情報、URL
デフォルトに設定	デフォルト電話番号を設定します(5-24ページ)。	電話番号
選択	グループを選択します。	グループ
顔写真変更	顔写真を変更します。	顔写真
顔写真削除	顔写真を削除します。	顔写真
オプションリセット	各オプション内容をリセットします。	オプション

1 **待受画面でを押す**

2 **修正したい電話帳を選択し、(メニュー)を押す**

3 **「編集」を選択し、(選択)を押す**

▶電話帳編集画面が表示されます。

4 **修正したい項目を選択し、を押す**

5 **項目を修正し、を押す**

6 **(メニュー)を押す**

5
電話帳

7 「保存」または「新規保存」を選択し、[-]（選択）を押す

保存　　：編集を行った電話帳を上書き保存します。
新規保存：編集を行った電話帳を新規保存します。
▶電話帳が修正されます。

補　足

- マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニューの「**電話帳**」から、電話帳一覧画面を表示することもできます。
- 操作2で修正したい電話帳を選択し、(●)を2回押したあと[-]（編集）を押しても電話帳編集画面が表示されます。

デフォルト電話番号を設定する

電話番号を2件以上登録している場合は、登録している中の1件をデフォルト電話番号として設定します。

1 電話帳編集画面（5-23ページ）より、設定したい電話番号を選択し、[-]（メニュー）を押す

2 「デフォルトに設定」を選択し、[-]（選択）を押す

▶デフォルト電話番号が設定されます。デフォルト電話番号は、青字で表示されます。

補　足

- 電話番号が1件しか登録されていない場合は、その電話番号が自動的にデフォルト電話番号として設定されます。
- デフォルト電話番号が削除された場合は、1件目の電話番号が自動的にデフォルト電話番号として設定されます。

■電話帳を削除する

1 待受画面で(▽)を押す

2 削除したい電話帳を選択し、[-]（メニュー）を押す

3 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「一件」または「全件」を選択し、[-]（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。
●全件削除する場合は、操作用暗証番号（1-24ページ）を入力します。

5 [－]（Yes）を押す

▶選択した電話帳、または全件の電話帳が削除されます。

補　足

- マルチファンクションボタンの設定（16-6ページ）を変更している場合は、操作が異なる場合があります。
- メインメニューの「**電話帳**」から、電話帳一覧画面を表示させることもできます。

ご自分の電話番号について

お客様ご自身の情報を「**ご自分の番号**」に登録することができます。
登録できる項目は、名前、ヨミガナ、表示名、電話番号（3件まで）、E-mailアドレス（3件まで）、住所です。
また、登録した情報は、通話中に確認したり（2-16ページ）、メール作成時などに挿入して利用することができます。

情報を登録する

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「電話帳」を選択し、[－]（選択）を押す

2 「ご自分の番号」を選択し、[－]（選択）を押す

▶ご自分の電話番号が表示されます。

3 [－]（メニュー）を押す

4 「編集」を選択し、[－]（選択）を押す

5 登録したい項目を選択し、[●]を押す

6 情報を入力し、を押す

▶ご自分の情報が登録されます。
●文字の入力方法については4章を参照してください。

補　足

- 各項目の登録方法については5-4ページを参照してください。
- 操作4で、以下の操作を行うこともできます。
  詳細／名刺送信

■ご自分の電話番号を送信する

ご自分の電話番号などの情報を赤外線またはBluetooth™を使って送信することができます。

1 待受画面でを押し、で「電話帳」を選択し、（選択）を押す

2 「名刺送信」を選択し、（選択）を押す

3 送信方法を選択し、（選択）を押す

赤外線送信：赤外線通信を利用して送信します（13-3ページ）。
Bluetooth送信：Bluetooth™通信を利用して送信します（13-9ページ）。

電話帳設定

■スピードダイヤルを登録する

本体に登録されている電話帳からスピードダイヤルに最大9件登録できます。スピードダイヤルを利用すると、登録した電話帳へ簡単に電話をかけることができます（5-21ページ）。

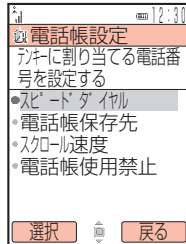
1 待受画面でを押し、で「電話帳」を選択し、（選択）を押す

2 「電話帳設定」を選択し、（選択）を押す

▶電話帳設定画面が表示されます。

3 「スピードダイヤル」を選択し、（選択）を押す

4 「未登録」を選択し、（追加）を押す

●スピードダイヤルを削除する場合は、削除したいスピードダイヤルを選択し、（削除）を押します。

5 **スピードダイヤルに登録したい電話帳を選択し、(●)を押す**

▶スピードダイヤルが登録されます。

重　要

- シークレットメモリ（5-9ページ）を「**On**」にしている電話帳は選択できません。

補　足

- スピードダイヤルに登録されるのは、デフォルト電話番号です。

■電話帳の保存先を設定する

電話帳を新規登録する場合の保存先をあらかじめ設定しておくことができます。
お買い上げ時は「**本体**」に設定されています。

1 **電話帳設定画面（5-26ページ）より、「電話帳保存先」を選択し、[－]（選択）を押す**

2 **「毎回選択」、「本体」、「USIMカード」、「メモリカード」のいずれかを選択し、[－]（選択）を押す**

▶電話帳の保存先が設定されます。

- 毎回保存先を指定する場合は、「**毎回選択**」を選択します。

■スクロール速度を設定する

電話帳一覧表示中に(▲▼)を押したときのスクロール速度を設定することができます。
お買い上げ時は「**速い**」に設定されています。

1 **電話帳設定画面（5-26ページ）より、「スクロール速度」を選択し、[－]（選択）を押す**

2 **「速い」または「遅い」を選択し、[－]（選択）を押す**

▶スクロール速度が設定されます。

■電話帳の使用を禁止する

電話帳の使用を禁止する設定ができます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **電話帳設定画面（5-26ページ）より、「電話帳使用禁止」を選択し、[－]（選択）を押す**

2 「On」を選択し、[-]（選択）を押す

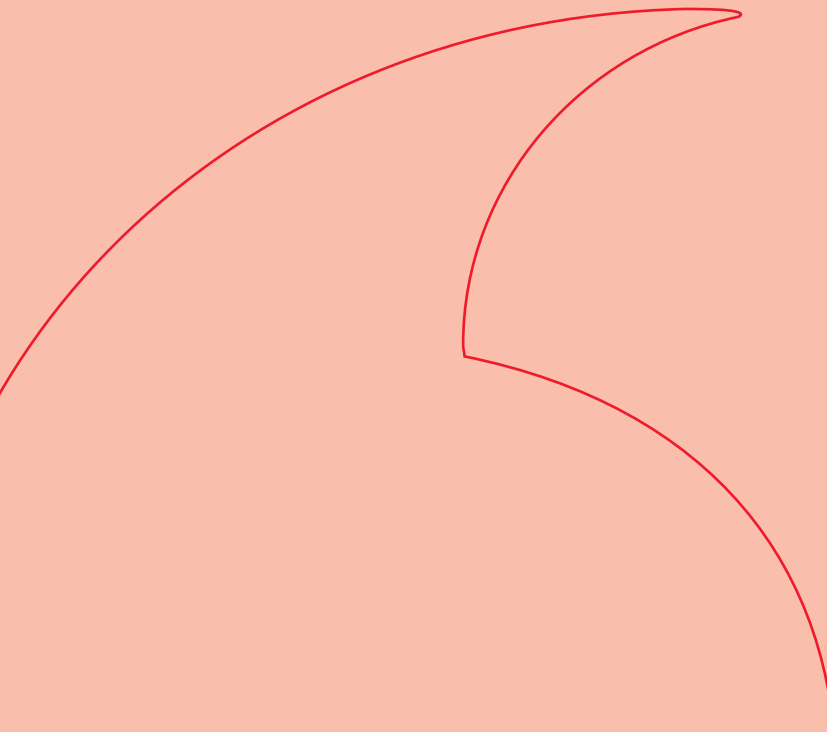
3 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶電話帳使用禁止が設定されます。

重　要

●電話帳使用禁止を「**On**」にしている場合は、スピードダイヤル（5-21ページ）で電話をかけることはできません。

補　足

●電話帳使用禁止を「**On**」にしているときに、電話帳を使用したい場合、操作用暗証番号（1-24ページ）を入力することで、一時的に電話帳使用禁止が解除されます。

TVコール

TVコールについて

902TではTVコールを利用することができます。TVコールとは、TVコール対応機どうしで音声だけでなく、相手の表情を見ながら、通話することができる機能です。

- 902Tは3GPPで標準化された3G-324Mに準拠しています。
- TVコールは、3Gサポートエリア内（UMTS圏内）でのみ使用することができます。また、3Gサポートエリア内にいる場合は、画面上に「」が表示されます。

■TVコール画面の見かた

- ：3Gサポートエリア内（UMTS圏内）表示
- ：TVコール通話中
- ：送話ミュート中
- ：全音声ミュート中
- ：高速モード中
- ：標準モード中
- ：高画質モード中
- ：ハンズフリー中
- ：ハンズフリー(Bluetooth™接続) 中
- ：カメラ画像Off中
- ：静止画送信中
- ：音声接続完了表示
- ：映像接続完了表示

TVコールをかける

TVコールをかけると、かけた相手にカメラ画像を送信します。TVコール通話中にメインカメラとサブカメラを切り替えることができます。また、カメラ画像の代わりに他の画像を送信することができます。

1 3Gサポートエリア内（UMTS圏内）にいることを確認する

2 電話番号を入力し、を押す

▶みだしなみ確認画面（6-14ページ）が表示されます。

3 （決定）を押す

▶電話（TVコール）がかかります。

4 通話が終わったら、を押す

▶通話時間の目安が表示されます。

補　足

- 3Gサポートエリア外（UMTS圏外）でTVコールをかけたり、3Gサポートエリア外にいる相手、またはTVコール対応機以外にTVコールをかけた場合は、警告画面が表示されます。音声発信を行う場合は、（Yes）を押します。
- みだしなみ確認画面では、ズーム機能を利用することができます。拡大する場合はを、縮小する場合はを押します。
- 通話中にターンオーバースタイル（1-13ページ）にすると、送話の音声がミュートになります。
- 通話中に（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  保留／**音声ミュート**（6-13ページ）／**メインカメラ**／**ズーム**／**電話帳参照**／**画面設定**（6-7、6-8ページ）／**ご自分の番号**（2-16ページ）

TVコールを受ける

1 TVコールがかかってくる

2 を押す

▶TVコールがつながります。

- 音声通話を行う場合は、を押します。音声通話中は、相手に送信画像（6-8ページ）で設定した画像が送信されます。

3 通話が終わったら、を押す

補　足

- エニーキーアンサー（16-14ページ）を「On」にしている場合は、の他に～、、のいずれかを押してもTVコールを受けることができます（16-14ページ）。

6 TVコール

補　足

- オープン通話（16-14ページ）を「On」にしている場合は、TVコール着信中に902Tを開くだけでTVコールを受けることができます。
- かかってきたTVコールに出られなかった場合は、お知らせ一発メニューが表示されます（1-12ページ）。
- 電話帳に登録している相手からTVコールがかかってきた場合は、ディスプレイに相手の名前が表示されます。ただし、シークレットメモリ（5-9ページ）に登録している相手の場合は、表示されません（シークレットモード中（14-9ページ）を除く）。
- 着信中に[上下キー]または[上キー]、[下キー]を押して、着信音量を調節することができます。
- 通話中にターンオーバースタイル（1-13ページ）にすると、送話の音声がミュートになります。
- 着信中に[メニューキー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  応答保留／自画像確認
- 通話中に[メニューキー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  保留／音声ミュート（6-13ページ）／**メインカメラ／ズーム／電話帳参照／画面設定**(6-7、6-8ページ）／**ご自分の番号**（2-16ページ）

TVコールに出られないとき

■着信を保留にする

かかってきたTVコールにすぐに出られないときは、その電話を保留にすることができます。

1 TVコールがかかってきたら、[●]を押す

▶相手には保留画像（6-14ページ）と音声ガイダンスでお知らせします。

2 電話に出られるようになったら、[メニューキー]（解除）を押す

▶TVコールがつながり、通話ができます。

3 通話が終わったら、[終話キー]を押す

重　要

- 応答保留中でもTVコールをかけてきた相手には通話料金がかかります。
- 応答保留中に[終話キー]を押した場合は、保留中の通話が終了します。

6
TVコール

補　足

●着信中に[上下キー]または[▲]、[▼]を押して、着信音量を調節することができます。

■着信を拒否する

かかってきたTVコールを拒否することができます。

1 TVコールがかかってきたら、[終話キー]を押す

▶着信を拒否します。

TVコール通話中の便利な機能

TVコール通話中に番号メモ（2-9ページ）を登録したり、受話音量を調節することができます。

■通話中に受話音量を調節する

1 通話中に[▲]または[▼]を押す

▶現在の設定が表示されます。

2 [上下キー]または[▲]、[▼]で受話音量を調節する

●音量を上げる場合は[上キー]または[▲]を、音量を下げる場合は[下キー]または[▼]を押します。

■通話中にズームを利用する

通話中に相手に送信する画像を拡大･縮小することができます。

1 通話中にⓒを押す

2 ⓒ または ▲、▼ でズームを調節する

●拡大する場合はⓒまたは▲を、縮小する場合はⓒまたは▼を押します。

重　要

●静止画送信中（6-7ページ）や送信画像（6-8ページ）が静止画に、表示画面（6-7ページ）を「**相手画像のみ**」にしている場合は、ズーム機能を利用することができません。また、音声ミュートの設定（6-13ページ）を「**送話音声Off**」や「**全音声Off**」にしている場合も、ズーム機能を利用することはできません。

■送信画像を切り替える

通話中に相手に送信している画像を切り替えることができます。

1 通話中にⓒを押す

▶カメラ画像またはプリセット画像が送信されます。

●ⓒを押す度にカメラ画像とプリセット画像が切り替わります。

■カメラを切り替える

通話中に使用しているカメラを切り替えることができます。お買い上げ時は「**サブカメラ**」に設定されています。

1 通話中に▭（メニュー）を押す

2「メインカメラ」を選択し、▭（選択）を押す

▶使用しているカメラが切り替わります。

●「**メインカメラ**」にしている場合は、「**サブカメラ**」を選択します。

補　足

●「**メインカメラ**」にすると自動的に自画像が大きく表示され、「**サブカメラ**」にすると相手画像が大きく表示されます。ただし、表示画面（6-7ページ）を「**自画像のみ**」にしている場合は、表示は変わりません。

■表示画面を切り替える

通話中のTVコール画面を4種類から設定することができます。
お買い上げ時は「**相手画像大**」に設定されています。

1 通話中に（メニュー）を押す

2 「画面設定」を選択し、（選択）を押す

3 「画面切替」を選択し、（選択）を押す

4 設定したい表示画面を選択し、（選択）を押す

相手画像大：相手の画像を大きく、自分の画像を小さく表示します。
相手画像のみ：相手の画像のみ表示します。
自画像大：自分の画像を大きく、相手の画像を小さく表示します。
自画像のみ：自分の画像のみ表示します。

▶表示画面が設定されます。

■静止画を送信する

通話中にデータフォルダに保存されているファイルを送信画像として送信することができます。
お買い上げ時は「**停止**」に設定されています。

1 通話中に（メニュー）を押す

2 「画面設定」を選択し、（選択）を押す

3 「静止画送信」を選択し、（選択）を押す

4 「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

- データフォルダについては12章を参照してください。
- 静止画の送信を停止する場合は、「**停止**」を選択します。

5 送信したいファイルを選択し、を押す

6 （OK）を押す

▶静止画が送信画像として送信されます。

- 静止画の送信を停止する場合は、（終了）を押します。

補　足

- 選択した画像が、設定される画像サイズに合わない場合は、操作5で画像の位置を調整します。

TVコールの各種設定

■送信画像を設定する

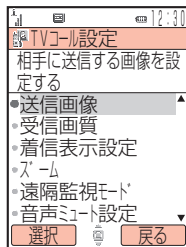
TVコール通話開始時に自動的に送信される画像を設定することができます。
お買い上げ時は「**カメラ画像**」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、（選択）を押す

3 「TVコール設定」を選択し、（選択）を押す

▶TVコール設定画面が表示されます。

●待受画面またはTVコール通話中にを押しても、TVコール設定画面が表示されます。

4 「送信画像」を選択し、（選択）を押す

5 「カメラ画像」、「データフォルダ」、「プリセット画像」のいずれかを選択し、（選択）を押す

カメラ画像　：カメラの画像をリアルタイムで送信します。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-10ページ）。
プリセット画像：（決定）を押すとあらかじめ登録されている画像が設定されます。

6 設定したい送信画像を選択し、●を押す

7 （設定）を押す

▶送信画像が設定されます。

補　足

●通話中に送信画像を設定する場合は、通話中に（メニュー）を押したあと、「**画面設定**」を選択し、「**送信画像**」を選択します。

6
TVコール

■受信画質を設定する

通話中に受信する画像の画質を設定することができます。
お買い上げ時は「**標準モード**」に設定されています。

1 TVコール設定画面(6-8ページ)より、「受信画質」を選択し、[メニュー]（選択）を押す

2 設定したい画質を選択し、[メニュー]（選択）を押す

高速モード　：動画の動きが優先されるモードです。
標準モード　：標準的なモードです。
高画質モード：画質が優先されるモードです。
▶画質が設定されます。

補　足

- 通話中に受信画質を設定する場合は、通話中に[メニュー]（メニュー）を押したあと、「**画面設定**」を選択し、「**受信画質**」を選択します。

■着信表示を設定する

着信画像を設定する

あらかじめ登録されているファイルやデータフォルダ、メモリカードに保存されているファイル、カメラで撮影した画像などをTVコール着信時のメインディスプレイの着信画像として設定することができます。
お買い上げ時は「**プリセット画像**」に設定されています。

- メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

1 TVコール設定画面（6-8ページ）より、「着信表示設定」を選択し、[メニュー]（選択）を押す

2 「着信画像」を選択し、[メニュー]（選択）を押す

3 「プリセット画像」または「データフォルダ」を選択し、[メニュー]（選択）を押す

プリセット画像：[メニュー]（決定）を押すとあらかじめ登録されているファイルが設定されます。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-10ページ）。

4 設定したい着信画像を選択し、[●]を押す

6
TVコール

5 (設定)を押す

▶ 着信画像が設定されます。

重要

- かかってきた相手の顔写真が電話帳に登録されていて、顔写真の表示(下記)を「On」にしている場合は、着信画像の設定にかかわらず、顔写真が表示されます。ただし、かかってきた相手のシークレットメモリ(5-9ページ)を「On」に、シークレットモード(14-9ページ)を「Off」にしている場合は、着信画像が表示されます。
- 着信音パターン(9-6ページ)にムービーファイルが設定されている場合は、着信画像は表示されません。

顔写真の表示を設定する

電話帳に顔写真(5-6ページ)を登録している相手からTVコール着信したときに顔写真を表示するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1 TVコール設定画面(6-8ページ)より、「着信表示設定」を選択し、(選択)を押す

2 「電話帳登録画像」を選択し、(選択)を押す

3 「On」または「Off」を選択し、(選択)を押す

▶ 画像表示が設定されます。

重要

- かかってきた相手のシークレットメモリ(5-9ページ)を「On」に、シークレットモード(14-9ページ)を「Off」にしている場合は、顔写真の表示設定にかかわらず、顔写真は表示されません。
- 顔写真の表示を「On」にしている場合は、着信画像は表示されません。
- 着信音パターン(9-6ページ)にムービーファイルが設定されている場合は、顔写真は表示されません。

補足

- サブディスプレイの着信表示(6-11ページ)を「Off」に、顔写真の表示を「On」にしている場合は、メインディスプレイのみに顔写真が表示されます。

サブディスプレイの着信表示を設定する

TVコール着信時に、電話帳に登録されている名前や電話番号、顔写真をサブディスプレイに表示するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1 **TVコール設定画面（6-8ページ）より、「着信表示設定」を選択し、□（選択）を押す**

2 **「着信表示」を選択し、□（選択）を押す**

3 **「On」または「Off」を選択し、□（選択）を押す**

▶ 着信表示が設定されます。

重　要

● 着信音パターン（9-6ページ）にムービーファイルが設定されている場合は、顔写真は表示されません。

補　足

● サブディスプレイの着信表示を「Off」に、顔写真の表示（6-10ページ）を「On」にしている場合は、メインディスプレイのみに顔写真が表示されます。

■ズームを設定する

通話中に送信する画像のズームをあらかじめ設定することができます。
お買い上げ時は「1x」に設定されています。

1 **TVコール設定画面（6-8ページ）より、「ズーム」を選択し、□（選択）を押す**

2 **「1x」、「2x」、「3x」のいずれかを選択し、□（選択）を押す**

▶ ズームが設定されます。

■遠隔監視モードを設定する

遠隔監視モードを設定するとアドレスリストに登録されている電話番号からTVコール着信があった場合、モード設定（9-4ページ）にかかわらず自動応答音が鳴り、自動的にサブカメラが起動します。アドレスリストには、最大10件登録することができます。また、902Tが閉じた状態の場合は、通常のTVコール着信になります。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 TVコール設定画面（6-8ページ）より、「遠隔監視モード」を選択し、（選択）を押す

2 「モード設定」を選択し、（選択）を押す

3 「On」を選択し、（選択）を押す

▶ 遠隔監視モードが設定されます。

アドレスリストに登録する

1 TVコール設定画面（6-8ページ）より、「遠隔監視モード」を選択し、（選択）を押す

2 「アドレスリスト」を選択し、（選択）を押す

3 （メニュー）を押す

● アドレスリストに1件も登録されていない場合は、（追加）を押したあと、操作5に進んでください。

4 「追加」を選択し、（選択）を押す

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

6 登録方法を選択し、（選択）を押す

電話帳：登録したい電話帳を選択し、を押します（5-19ページ）。
ダイヤル入力：電話番号を入力したあと、（決定）を押すと、アドレスリストに電話番号が登録されます。
通話履歴：通話履歴から登録します。

7 登録したい電話番号を選択し、を押す

8 （設定）を押す

▶ アドレスリストに電話番号が登録されます。

補　足

● 操作4で、以下の操作を行うこともできます。
詳細／編集／削除

■音声ミュートを設定する

TVコール通話中の送話または受送話の音声をミュートに設定することができます。
お買い上げ時は「**解除**」に設定されています。

1 **TVコール設定画面（6-8ページ）より、「音声ミュート設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **ミュート方法を選択し、（選択）を押す**

送話音声Off：送話の音声をミュートに設定します。
全音声Off：受送話の音声をミュートに設定します。
解除：ミュートを解除します。
▶ミュートが設定されます。

補　足

- 通話中にを押して送話音声をミュートにすることができます。もう一度を押すとミュートが解除されます。

■受話音声の出力先を設定する

TVコール通話中の受話音声の出力先を設定することができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 **TVコール設定画面（6-8ページ）より、「ハンズフリー設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す**

On：スピーカーから受話音声が聞こえます。
Off：受話口から受話音声が聞こえます。
▶受話音声の出力先が設定されます。

補　足

- TVコール通話中に（／）を押すと「**On**」→「**Off**」、「**Off**」→「**On**」と切り替えることができます。

6

TVコール

■バックライトの設定をする

通話中のバックライトの設定をすることができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 **TVコール設定画面（6-8ページ）より、「バックライト設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す**

▶バックライトが設定されます。

■保留画像を設定する

応答保留時や通話中保留時に相手に送信する画像を設定することができます。
お買い上げ時は「**プリセット画像**」に設定されています。

1 **TVコール設定画面（6-8ページ）より、「保留画像設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「応答保留」または「通話中保留」を選択し、（選択）を押す**

3 **「プリセット画像」または「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す**

プリセット画像：（決定）を押すとあらかじめ登録されている画像が設定されます。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-10ページ）。

4 **設定したい画像を選択し、を押す**

5 **（設定）を押す**

▶保留画像が設定されます。

■みだしなみ確認を設定する

TVコールの発信前に自動的にサブカメラを起動して自画像（送信画像）の確認をすることができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 **TVコール設定画面（6-8ページ）より、「みだしなみ確認」を選択し、（選択）を押す**

2 **「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す**

▶みだしなみ確認が設定されます。

カメラ

カメラについて

カメラを利用して、静止画や動画を撮影することができます。また、QRコード（バーコード）を読み取ることもできます（16-20ページ）。

●本書では、断りのない限りオープンスタイル（1-13ページ）での操作を記載しています。

■カメラ利用時のご注意

●撮影した静止画は「JPEG形式」で、動画は「MPEG4形式」で保存されます。
●手ぶれにご注意ください。画像がぶれる原因となりますので、902Tが動かないようにしっかり持って撮影するか、セルフタイマー機能を利用して撮影を行ってください。
●レンズカバーに指紋や油脂などが付くと、ピントが合わなくなります。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
●撮影する場合は、レンズに指やストラップなどがかからないように注意してください。
●ピントが合わない場合は、フォーカスモードの設定（7-12ページ）を確認してください。

■撮影のしかた

撮影するときは、モードによって本体の向きを変えてください。
また、各スタイルについては1-13ページを参照してください。

オープンスタイル

「**モバイルカメラモード**」（7-11ページ）や「**MMSメール**」（7-18ページ）、「**ムービー写メール**」（7-18ページ）をメインカメラで撮影するときに使用します。オープンスタイルで自分撮りをする場合は、サブカメラで撮影します。

ターンオーバースタイル

「**デジタルカメラモード**」（7-11ページ）や「**ビデオカメラ**」（7-18ページ）をメインカメラで撮影するときに使用します。ターンオーバースタイルで自分撮りをする場合は、サブカメラで撮影します。

セルフポートレートスタイル

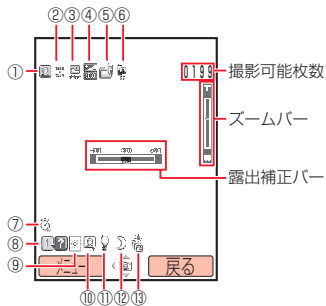
自分撮りをするときに使用すると便利です。また、撮影するカメラを選ぶことができ、撮影モードによって縦向きまたは横向きで撮影します。

■ディスプレイ表示について

撮影中の画面について

カメラ／ムービー撮影中の画面には、モニタ画面とプレビュー画面があります。

モニタ画面　：カメラ／ムービーを起動し、撮影するまでの画面です。
プレビュー画面：撮影後の画面です。

カメラ機能で表示されるアイコン

モニタ画面

※上記の画面は「**モバイルカメラモード**」(7-11ページ)の場合です。

①撮影モード

- ：モバイルカメラモード
- ：デジタルカメラモード
- ：バーコードリーダー
- ：サブカメラ使用中
- ：連写モード（高速）
- ：連写モード（中速）
- ：連写モード（低速）

②画像サイズ

- ：W240×H320
- ：W144×H176
- ：W120×H160
- ：W112×H112
- ：W96×H128
- ：W1600×H1200
- ：W1280×H1024
- ：W1024×H768
- ：W640×H480

③画質

- ：ファイン
- ：ノーマル
- ：エコノミー

④露出補正

…… ：－2.0…±0…＋2.0

⑤保存先

- ：本体
- ：メモリカード

⑥フォーカス

- ：オート
- ：マクロ
- ：遠景

⑦セルフタイマー

- ：5秒
- ：10秒
- ：20秒

⑧ガイド表示

- ：ガイド表示

⑨ホワイトバランス

- ：太陽光
- ：日陰
- ：曇り
- ：蛍光灯
- ：白熱灯

⑩自分撮り設定

- ：自分撮り設定中

⑪モバイルライト

- ：モバイルライト点灯中

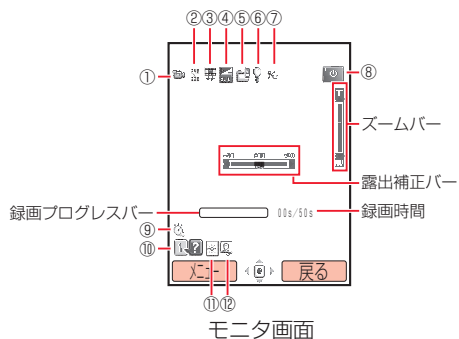
⑫夜景モード

- ：夜景モード設定中

⑬オートブラケット

- ：オートブラケット設定中

ムービー機能で表示されるアイコン

モニタ画面

※上記の画面は「**MMSメール**」(7-18ページ)の場合です。

①録画モード

：録画モード　　：サブカメラ使用中

②録画サイズ

：H144×W176　　：H96×W128

：H240×W320

③画質

：スーパーファイン　　：ノーマル

：ファイン

④露出補正

…… ：－2.0…±0…+2.0

⑤保存先

：本体　　：メモリカード

⑥モバイルライト

：モバイルライト点灯中

⑦音声録音

：音声録音Off中

⑧状態表示

：スタンバイ中　　：早送り

：録画中　　：巻き戻し

：再生中　　：コマ送り

：一時停止中　　：コマ戻し

：停止中

⑨セルフタイマー

：5秒　　：20秒

：10秒

⑩ガイド表示

：ガイド表示

⑪ホワイトバランス

：太陽光　　：蛍光灯

：日陰　　：白熱灯

：曇り

⑫自分撮り設定

：自分撮り設定中

■モニタ画面での共通操作

ズームを利用する

ターンオーバースタイル以外で◎を押すとズームを調節することができます。ターンオーバースタイル時は▲または▼を押すとズームを調節することができます。
各撮影モードの倍率については7-7、7-16ページを参照してください。

W（広角）
等倍

T（望遠）
最大

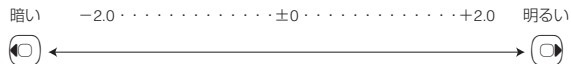
重　要

- 連写モード（7-13ページ）やオートブラケット（7-14ページ）が設定されている場合やセルフタイマー（7-25ページ）起動中、サブカメラ使用中は、ズームを利用することができません。

補　足

- ズームで撮影すると画質が粗くなります。

露出を補正する

ターンオーバースタイル以外で◎を押すと、明るさを調節することができます。ターンオーバースタイル時は、□（メニュー）を押したあと、「**その他の機能**」を選択し、「**露出補正**」を選択すると▲または▼を押して明るさを調節することができます。

補　足

- 蛍光灯の下など、撮影環境によっては画像に縞模様が出る場合がありますが、明るさを調節することにより軽減させることができます。

モバイルライトを利用する

＊を押すと、モバイルライトの点灯／消灯を切り替えることができます。

7
カメラ

自分撮りを利用する

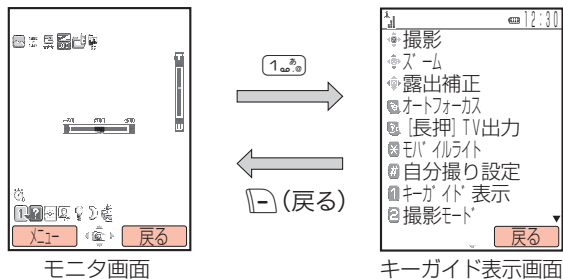
自分撮りを設定すると鏡を見ているときと同じ状態で撮影することができます。
自分を撮影するときに[#]を押すと、自分撮り用のカメラを「**サブカメラ**」→「**メインカメラ**」→「**Off**」と切り替えることができます。また、自分撮りを設定すると、モニタ画面に「[自分撮りアイコン]」が表示されます。

補 足

- 自分撮り用のカメラを「**サブカメラ**」に切り替えると、画像サイズ（7-21ページ）が「**W240×H320**」に、録画サイズ（7-16ページ）が「**H144×W176**」に切り替わります。

キーガイド表示を利用する

[1]を押すと、モニタ画面でのボタン操作方法が表示されます。

モニタ画面　キーガイド表示画面

※上記画面はカメラ機能の場合です。

■テレビ表示機能について

モニタ画面やプレビュー画面、撮影した静止画や動画をテレビに出力することができます（15-27ページ）。

1 **モニタ画面やプレビュー画面、撮影した静止画や動画を表示中に[AV]を押す（約1秒以上）**

▶ 確認画面が表示されます。

2 **[-]（Yes）を押す**

▶ メインディスプレイからテレビに出力先が切り替わります。

重 要

- 動画撮影中やセルフタイマー起動中（7-25ページ）は、出力先を切り替えることができません。

補 足

- 出力先をテレビからメインディスプレイに切り替える場合は、テレビ表示中に[AV]を長く（約1秒以上）押します。

■メモリ容量を確認する

本体のデータフォルダやメモリカードの使用状況を確認することができます。

1 **待受画面で◉を押し、◈で「カメラ」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「メモリ容量確認」を選択し、▭（選択）を押す**

▶ メモリ容量確認画面が表示されます。

静止画について

カメラを利用して静止画を撮影することができます。静止画の撮影モードには、「**デジタルカメラモード**」、「**モバイルカメラモード**」、「**バーコードリーダー**」があります。フレームやセルフタイマー、シャッター音、画像効果の設定などができ、撮影した静止画は「JPEG形式」（パソコンで主流の保存形式）で本体（データフォルダ）やメモリカードに保存されます。また、撮影した静止画を編集したり、顔写真（7-11ページ）を撮影して電話帳に登録することができます。

●メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

■静止画撮影モードについて

撮影モード	画像サイズ	最大ズーム
デジタルカメラモード	W1600×H1200	－
	W1280×H1024	約1.2倍
	W1024×H768	約1.5倍
	W640×H480	約2.5倍
モバイルカメラモード	W240×H320	約5倍
	W144×H176	約8倍
	W120×H160	約10倍
	W112×H112	約10倍
	W96×H128	約12倍

■静止画を撮影する

「**モバイルカメラモード**」(7-11ページ)で撮影した静止画は、「**本体**」の「**ピクチャー**」フォルダに自動的に保存されます。また、保存先を変更することもできます（7-25ページ)。ただし、「**デジタルカメラモード**」(7-11ページ）で撮影した静止画は、「**デジタルカメラモード**」時に保存先設定（7-25ページ）で設定した「**本体**」または「**メモリカード**」の「**デジタルカメラ**」フォルダに自動的に保存されます。

1 待受画面で●を押し、◎で「カメラ」を選択し、□（選択）を押す

2 「カメラ起動」を選択し、□（選択）を押す

▶モニタ画面が表示されます。

●待受画面で◘を押してもモニタ画面が表示されます。

3 メインディスプレイに被写体を表示させ、●または◘を押す

▶シャッター音が鳴り、自動保存後、プレビュー画面が表示されます。

重　要

- 暗い場所では光量が不足するため、画質が落ちて白い点が見えることがあります。明るい場所で撮影するか、モバイルライトを使用することをおすすめします。
- データフォルダが一杯の場合は、撮影した静止画を保存することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してから、撮影してください。

補　足

- モニタ画面を表示中に無操作の状態で約1分30秒経過すると待受画面に戻ります。
- 操作2のあと□（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  撮影／**撮影モード**（7-11ページ）／**データフォルダ参照**（7-29ページ）／**自分撮り設定**／**フォーカスモード**（7-12ページ）／**夜景モード**（7-12ページ）／**連写**（7-13ページ）／**フレーム**（7-13ページ）／**保存先設定**（7-25ページ）／**その他の機能**
- 操作3のあと□（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  送信（7-9ページ）／**削除**／**フルスクリーン表示**／**顔写真設定**（7-11ページ）／**画像編集**（7-30ページ）

撮影した静止画を削除する

プレビュー画面に表示されている静止画を削除することができます。

1 **プレビュー画面で［-］（メニュー）を押し、「削除」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 確認画面が表示されます。

2 **［-］（Yes）を押す**

▶ 撮影した静止画が削除されます。

■撮影した静止画を送信する

プレビュー画面からメールを送信する

プレビュー画面からメールを使って撮影した静止画を送信することができます。

● プレビュー設定（7-27ページ）を「**Off**」にしている場合は、静止画を送信できません。

1 **プレビュー画面で［●］（✉）または［◘］を押す**

2 **「メール送信-MMS」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **圧縮方法を選択し、［-］（選択）を押す**

実画像添付　：圧縮をしないで、添付します。
30Kbyteで添付：約30Kバイトに圧縮して、添付します。
6Kbyteで添付　：約6Kバイトに圧縮して、添付します。
▶ 静止画が添付されたメール作成画面が表示されます。
● 送信方法については20-2ページを参照してください。

補　足

● 「**デジタルカメラモード**」で撮影した静止画が約300Kバイトを超えている場合は、操作2のあと自動的に画像サイズやファイルサイズが縮小・圧縮されます。また、「**デジタルカメラモード**」で撮影した静止画が約300Kバイト以下の場合は、操作2のあと撮影した静止画が添付されたメール作成画面が表示されます。

プレビュー画面から赤外線通信を利用する

プレビュー画面から赤外線通信を使って撮影した静止画を送信することができます。

● プレビュー設定（7-27ページ）を「Off」にしている場合は、静止画を送信できません。

1 プレビュー画面で●（✉）または◘を押す

2 「赤外線送信」を選択し、▱（選択）を押す

▶ 送信方法については13-2ページを参照してください。

ターンオーバースタイルで送信する

ターンオーバースタイルで、お決まりアドレス（23-5ページ）にあらかじめ設定されている相手に撮影した静止画をメールに添付して送信することができます。

● プレビュー設定（7-27ページ）を「Off」にしている場合は、静止画を送信できません。

1 ターンオーバースタイル中のプレビュー画面で◘（✉）を押す

2 ▲または▼で「メール送信-MMS」を選択し、◘（選択）を押す

3 ▲または▼で圧縮方法を選択し、◘（選択）を押す

実画像添付　　：圧縮をしないで、添付します。
30Kbyteで添付：約30Kバイトに圧縮して、添付します。
6Kbyteで添付　：約6Kバイトに圧縮して、添付します。

▶ 撮影した静止画を添付したメールが送信されます。

補　足

- 「**デジタルカメラモード**」で撮影した静止画が約300Kバイトを超えている場合は、操作2のあと自動的に画像サイズやファイルサイズが縮小・圧縮されます。また、「**デジタルカメラモード**」で撮影した静止画が約300Kバイト以下の場合は、操作2のあと撮影した静止画が添付されたメールが送信されます。

■撮影した静止画を顔写真に設定する

撮影した静止画を電話帳の顔写真（5-6ページ）に設定することができます。カメラを起動して顔写真に設定する場合は、撮影モード（右記）を「**モバイルカメラモード**」に、画像サイズ（7-21ページ）を「**W112×H112**」にあらかじめ設定してください。

1 プレビュー画面で［-］（メニュー）を押し、「顔写真設定」を選択し、［-］（選択）を押す

2 「新規作成」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ 顔写真が設定された電話帳登録画面が表示されます。

- 登録されている電話帳に追加する場合は、「**追加登録**」を選択したあと、追加したい電話帳を選択します。
- 電話帳の登録方法については5-4ページを参照してください。

■静止画撮影で利用できる機能

撮影モードを設定する

静止画撮影時の撮影モードを設定することができます。また、撮影モードを設定すると、モニタ画面に「［アイコン］」または「［アイコン］」、「［アイコン］」が表示されます。
お買い上げ時は「**モバイルカメラモード**」に設定されています。

1 モニタ画面で［-］（メニュー）を押し、「撮影モード」を選択し、［-］（選択）を押す

2 設定したい撮影モードを選択し、［-］（選択）を押す

デジタルカメラモード：パソコンなどの外部接続機器への表示をする場合の高画質な静止画撮影モードです。
モバイルカメラモード：壁紙設定などで利用する場合の静止画撮影モードです。
バーコードリーダー：QRコードを読み取る場合のモードです（16-20ページ）。

▶ 撮影モードが設定されます。

補　足

- 「**デジタルカメラモード**」や「**モバイルカメラモード**」の画像サイズを変更する場合は、7-21ページを参照してください。

フォーカスモードを設定する

静止画撮影時の被写体との距離に合わせてフォーカスモードの設定をしたり、自動的に焦点を調整するように設定することができます。また、フォーカスモードを設定すると、モニタ画面に「」または「」、「」が表示されます。
お買い上げ時は「**オート**」に設定されています。

1 モニタ画面で（メニュー）を押し、「フォーカスモード」を選択し、（選択）を押す

2 設定したいフォーカスモードを選択し、（選択）を押す

オート：自動的に焦点を調整します。
マクロ：被写体との距離が非常に近い場合に使用します。
遠景　：被写体との距離が非常に遠い場合に使用します。
▶フォーカスモードが設定されます。

補　足

- 「**オート**」にした場合は、モニタ画面でを押すかを半押しすると、自動的に焦点を調整します。焦点の調整が完了すると、完了音が鳴り、焦点がロックされます。焦点がロックされた状態で、またはを押すと撮影することができます。

補　足

- 焦点がロックされると画面中央に緑枠が表示され、焦点のロックが失敗すると画面中央に赤枠が表示されます。
- フォーカスモードの設定は、カメラ終了時に「**オート**」に戻ります。

夜景モードを設定する

夜景などを撮影するときに使用します。また、夜景モードを設定すると、モニタ画面に「☽」が表示されます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 モニタ画面で（メニュー）を押し、「夜景モード」を選択し、（選択）を押す

2 「On」を選択し、（選択）を押す

▶夜景モードが設定されます。

重　要

- 夜景モードを「**On**」にしている場合は、オートフォーカスを利用することができません。

補　足

- 夜景モードの設定は、カメラ終了時に「**Off**」に戻ります。

連写を利用する

最大9枚の静止画を連続で撮影することができます。また、連写モードを設定すると、モニタ画面に「」または「」、「」が表示されます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

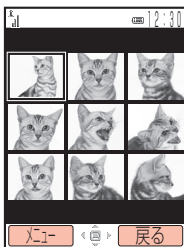
1 モニタ画面で（メニュー）を押し、「連写」を選択し、（選択）を押す

2 撮影したい連写モードを選択し、（選択）を押す

高速：約2秒間に9枚を連続撮影するモードです。
中速：約3秒間に9枚を連続撮影するモードです。
低速：約4秒間に9枚を連続撮影するモードです。
Off：連写機能を利用しません。

3 メインディスプレイに被写体を表示させ、またはを押す

▶連写音が鳴り、自動保存後、プレビュー画面が表示されます。

重　要

- 撮影モード（7-11ページ）を「**デジタルカメラモード**」にしている場合は、連写を利用することができません。
- 連写モードを設定している場合は、ズームや夜景モード（7-12ページ）を利用することができません。
- オートブラケット（7-14ページ）を「**On**」にしている場合は、連写モードを利用することができません。

補　足

- 操作3のあと（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  表示／削除
- 連写モードの設定は、カメラ終了時や撮影モード切替時に「**Off**」に戻ります。

フレームを設定する

静止画を撮影する前に、フレームを設定して撮影することができます。静止画撮影時に使用できるプリセットフレームは7種類（W240×H320、W144×H176、W120×H160）と3種類（W112×H112）です。撮影後のフレームの設定については7-32ページを参照してください。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 カメラのモニタ画面で（メニュー）を押し、「フレーム」を選択し、（選択）を押す

2「プリセットフレーム」、「ダウンロードフレーム」、「Off」を選択し、[−]（選択）を押す

プリセットフレーム：あらかじめ登録されているフレームを選択します。
ダウンロードフレーム：データフォルダに保存されているフレームを選択します。データフォルダについては12章を参照してください。
Off：フレームを設定しません。

3 合成したいフレームを選択し、[●]を押す

▶フレームが合成された画像がモニタ画面に表示されます。
●フレームが合成された画像を表示中に、[＊]または[＃]や[◀]または[▶]を押すとフレームを切り替えることができます。

4 [−]（決定）を押す

▶フレームが設定されます。

重　要

●撮影モード（7-11ページ）を「**デジタルカメラモード**」にしている場合や、画像サイズ（7-21ページ）を「**W96×H128**」にしている場合は、フレームを設定することができません。

補　足

●フレームの設定は、カメラ終了時や撮影モード切替時に「**Off**」に戻ります。

オートブラケットを設定する

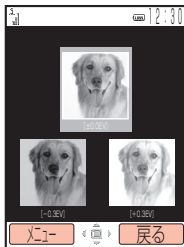
露出を明るい状態と暗い状態に自動的にずらして3枚の画像を撮影することができます。撮影された3枚の画像を比較することにより、最適な露出を判断することができます。また、オートブラケットを設定すると、モニタ画面に「[アイコン]」が表示されます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 モニタ画面で[−]（メニュー）を押し、「その他の機能」を選択し、[−]（選択）を押す

2「オートブラケット」を選択し、[−]（選択）を押す

3「On」を選択し、[−]（選択）を押す

7
カメラ

4 メインディスプレイに被写体を表示させ、(●)または(◘)を押す

▶ 連写音が鳴り、自動保存後、プレビュー画面が表示されます。

重　要

- 撮影モード（7-11ページ）を「**デジタルカメラモード**」にしている場合は、オートブラケットを利用することができません。
- オートブラケットを「**On**」にしている場合は、ズームや夜景モード（7-12ページ）を利用することができません。
- 連写モード（7-13ページ）が設定されている場合は、オートブラケットを利用することができません。

補　足

- 操作4のあと(メニュー)（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  表示／削除
- オートブラケットの設定は、カメラ終了時や撮影モード切替時に「**Off**」に戻ります。

静止画撮影で利用できるその他の機能

- 露出を補正する（7-5ページ）
- モバイルライトを利用する（7-5ページ）
- 自分撮りを利用する（7-6ページ）
- 保存先を変更する（7-25ページ）
- セルフタイマーを設定する（7-25ページ）
- ホワイトバランスを設定する（7-26ページ）

動画について

カメラを利用して動画を撮影することができます。動画の録画モードには、「**ビデオカメラ**」、「**MMSメール**」、「**ムービー写メール**」があります。撮影した動画は「MPEG4形式」（携帯電話で主流の保存形式）で本体（データフォルダ）やメモリカードに保存されます。

- 「ビデオカメラ」で撮影したMPEG4形式のファイル（.3G2）、またはデータフォルダに保存されているMPEG4形式のファイル（.3G2）は、メールに添付したり、赤外線通信などを利用して送信することができません。また、着信音パターンやアラーム音として登録することもできません。
- メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

■動画録画モードについて

録画モード	録画サイズ	最大ズーム
ビデオカメラ	H240×W320	約5倍
MMSメール	H144×W176	約5倍
ムービー写メール	H96×W128	約8倍

■動画を撮影する

撮影した動画は、「**本体**」の「**ムービー**」フォルダに自動的に保存されます。また、保存先を変更することもできます（7-25ページ）。

1 待受画面で●を押し、「カメラ」を選択し、☐（選択）を押す

2 「ムービー起動」を選択し、☐（選択）を押す

▶ モニタ画面が表示されます。
- 待受画面で◘を長く（約1秒以上）押してもモニタ画面が表示されます。

3 メインディスプレイに被写体を表示させ、●または◘を押す

▶ 開始音が鳴り、録画が開始されます。
- 録画モード（7-18ページ）を「**ビデオカメラ**」にしている場合は、☐を押すと録画が一時停止します。●を押すと録画が再開します。

4 ●または◘を押す

▶ 終了音が鳴り、自動保存後、プレビュー画面に撮影したはじめの画像が表示されます。

重要

- データフォルダが一杯の場合は、動画を撮影することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してから、撮影してください。

補　足

- 録画中に表示される録画時間は、目安としてご使用ください。
- モニタ画面を表示中に無操作の状態で約1分30秒経過すると待受画面に戻ります。
- 操作2のあと（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  録画開始／**録画モード切替**（7-18ページ）／**データフォルダ参照**（7-29ページ）／**自分撮り設定**／**コントローラー非表示**（7-23ページ）／**音声録音**（7-19ページ）／**保存先設定**（7-25ページ）／**その他の機能**
- 操作4のあと（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  送信（右記）／**削除**／**再生**／**フルスクリーン表示**（7-24ページ）／**コントローラー非表示**（7-23ページ）／**電話帳登録**（7-18ページ）

撮影した動画を削除する

プレビュー画面に表示されている動画を削除することができます。

1 プレビュー画面で（メニュー）を押し､｢削除｣を選択し、（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

2 （Yes）を押す

▶撮影した動画が削除されます。

■撮影した動画を送信する

プレビュー画面からメールを送信する

プレビュー画面からメールを使って、「**ビデオカメラ**」以外で撮影した動画を送信することができます。

●プレビュー設定（7-27ページ）を「**Off**」にしている場合は、動画を送信できません。

1 プレビュー画面で（）またはを押す

2 「メール送信-MMS」を選択し、（選択）を押す

▶動画が添付されたメール作成画面が表示されます。

●送信方法については20-2ページを参照してください。

プレビュー画面から赤外線通信を利用する

プレビュー画面から赤外線通信を使って、「**ビデオカメラ**」以外で撮影した動画を送信することができます。

●プレビュー設定（7-27ページ）を「**Off**」にしている場合は、動画を送信できません。

1 プレビュー画面で（）またはを押す

2 「赤外線送信」を選択し、（選択）を押す

●送信方法については13-2ページを参照してください。

ターンオーバースタイルで送信する

ターンオーバースタイルで、お決まりアドレス(23-5ページ)にあらかじめ設定されている相手に、「**ビデオカメラ**」以外で撮影した動画をメールに添付して送信することができます。
●プレビュー設定(7-27ページ)を「**Off**」にしている場合は、動画を送信できません。

1 **ターンオーバースタイル中のプレビュー画面で [キー]（[メール送信]）を押す**

2 **[▲]または[▼]で「メール送信-MMS」を選択し、[キー]（選択）を押す**

▶撮影した動画を添付したメールが送信されます。

■撮影した動画を着信音パターンに設定する

「**ビデオカメラ**」以外で撮影した動画を電話帳の音声着信の着信音パターン（5-7ページ）に設定することができます。

1 **プレビュー画面で[メニューキー]（メニュー）を押し、「電話帳登録」を選択し、[キー]（選択）を押す**

2 **「新規作成」を選択し、[キー]（選択）を押す**

▶動画が着信音パターンに設定された電話帳登録画面が表示されます。
●登録されている電話帳に追加する場合は、「**追加登録**」を選択したあと、追加したい電話帳を選択します。
●電話帳の登録方法については、5-4ページを参照してください。

■動画撮影で利用できる機能

録画モードを設定する

動画撮影時の録画モードを設定することができます。また、録画モードを設定すると、モニタ画面に「[240×320]」または「[144×176]」、「[96×128]」が表示されます。
お買い上げ時は「**MMSメール**」に設定されています。

1 **モニタ画面で[メニューキー]（メニュー）を押し、「録画モード切替」を選択し、[キー]（選択）を押す**

2 設定したい録画モードを選択し、[-]（選択）を押す

ビデオカメラ　：本体またはメモリカードに最大20分撮影する動画録画モードです。
MMSメール　：メールに添付して送信する場合の動画録画モードです。
ムービー写メール：ボーダフォン携帯電話（PDC）のMPEG-4対応機に、メールに添付して送信する場合の動画録画モードです。

▶録画モードが設定されます。

音声録音を設定する

動画撮影中の音声の有無を設定することができます。また、音声録音を「**Off**」にすると、モニタ画面に「🔇」が表示されます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 モニタ画面で[-]（メニュー）を押し、「音声録音」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「On」または「Off」を選択し、[-]（選択）を押す

▶音声録音が設定されます。

動画撮影で利用できるその他の機能

●露出を補正する（7-5ページ）
●モバイルライトを利用する（7-5ページ）
●自分撮りを利用する（7-6ページ）
●保存先を変更する（7-25ページ）
●セルフタイマーを設定する（7-25ページ）
●ホワイトバランスを設定する（7-26ページ）

静止画／動画の設定

■静止画撮影の設定

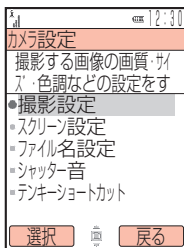
画質を設定する

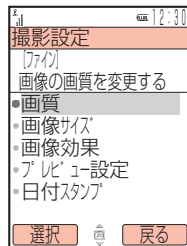
撮影した画像を保存するときの画質を設定することができます（保存形式はJPEG形式です）。高画質であるほど圧縮率が低く、ファイルサイズが大きくなります。また、画質を設定すると、モニタ画面に「」または「」、「」が表示されます。
お買い上げ時は「**ファイン**」に設定されています。

1 **待受画面でを押し、で「カメラ」を選択し、（選択）を押す**

2 **「設定」を選択し、（選択）を押す**

3 **「カメラ設定」を選択し、（選択）を押す**

▶カメラ設定画面が表示されます。

4 **「撮影設定」を選択し、（選択）を押す**

▶カメラ撮影設定画面が表示されます。

5 **「画質」を選択し、（選択）を押す**

6 **設定したい画質を選択し、（選択）を押す**

ファイン　：高画質で撮影することができます。ただし、ファイルサイズが大きくなります。
ノーマル　：標準的な画質で撮影することができます。
エコノミー：画質を抑えて撮影することができます。

▶画質が設定されます。

画像サイズを設定する

静止画撮影時の画像サイズを設定することができます。また、画像サイズを設定すると、モニタ画面に「240×320」または「144×176」、「120×160」、「112×112」、「96×128」、「1600×1200」、「1280×1024」、「1024×768」、「640×480」が表示されます。お買い上げ時は「**デジタルカメラモード**」が「**W1600×H1200**」に、「**モバイルカメラモード**」が「**W240×H320**」に設定されています。

1 **カメラ撮影設定画面（7-20ページ）より、「画像サイズ」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「デジタルカメラモード」または「モバイルカメラモード」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **設定したい画像サイズを選択し、[-]（選択）を押す**

▶画像サイズが設定されます。

●画像サイズについては7-7ページを参照してください。

日付スタンプを設定する

静止画撮影時に日付を合成することができます。日付の文字色は9種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **カメラ撮影設定画面（7-20ページ）より、「日付スタンプ」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「On」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **設定したい日付の色を選択し、[-]（選択）を押す**

▶日付スタンプが設定されます。

重　要

●撮影モード（7-11ページ）を「**デジタルカメラモード**」にしている場合や、画像サイズ（左記）を「**W112×H112**」にしている場合は、日付スタンプが表示されません。

撮影ガイドラインを設定する

静止画撮影時の垂直・水平の目安として、モニタ画面に縦横の撮影ガイドラインを表示することができます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **カメラ設定画面（7-20ページ）より、「スクリーン設定」を選択し、[メニュー]（選択）を押す**

2 **「グリッド線」を選択し、[メニュー]（選択）を押す**

3 **「On」を選択し、[メニュー]（選択）を押す**

▶撮影ガイドラインが設定されます。

シャッター音を設定する

静止画撮影時のシャッター音を設定することができます。シャッター音は2種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**パターン1**」に設定されています。

1 **カメラ設定画面（7-20ページ）より、「シャッター音」を選択し、[メニュー]（選択）を押す**

2 **設定したいシャッター音を選択し、[●]を押す**

▶シャッター音が設定されます。

補　足

- モード設定（9-2ページ）にかかわらず、シャッター音が鳴ります。
- シャッター音を確認する場合は、操作1のあと確認したいシャッター音を選択し、[メニュー]（メニュー）を押したあと、「**再生**」を選択します。

■動画撮影の設定

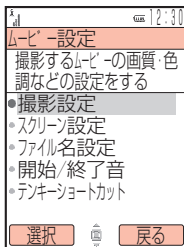
画質を設定する

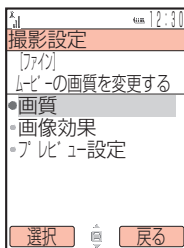
撮影した動画を保存するときの画質を設定することができます（保存形式はMPEG形式またはH.263形式です）。高画質であるほど圧縮率が低く、ファイルサイズが大きくなります。
また、画質を設定すると、モニタ画面に「[アイコン]」または「[アイコン]」、「[アイコン]」が表示されます。
お買い上げ時は「**ファイン**」に設定されています。

1 **待受画面で[●]を押し、[十字キー]で「カメラ」を選択し、[メニュー]（選択）を押す**

2 **「設定」を選択し、[メニュー]（選択）を押す**

3「ムービー設定」を選択し、[−]（選択）を押す

▶ムービー設定画面が表示されます。

4「撮影設定」を選択し、[−]（選択）を押す

▶ムービー撮影設定画面が表示されます。

5「画質」を選択し、[−]（選択）を押す

6 設定したい画質を選択し、[−]（選択）を押す

スーパーファイン：高画質で撮影することができます。
ファイン：標準的な画質で撮影することができます。
ノーマル：画質を抑えて撮影することができます。

▶画質が設定されます。

補　足

- 画質の設定にかかわらず、録画モード（7-18ページ）を「**ムービー写メール**」にしている場合は、「**ノーマル**」で撮影されます。
- 画質によって録画可能時間が異なります。

コントローラー表示を設定する

動画撮影時や再生時のアイコンなどの表示を設定することができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 ムービー設定画面（左記）より、「スクリーン設定」を選択し、[−]（選択）を押す

2「コントローラー表示」を選択し、[−]（選択）を押す

3「On」または「Off」を選択し、[−]（選択）を押す

▶コントローラー表示が設定されます。

補　足

- モニタ画面やプレビュー画面でコントローラー表示の設定をする場合は、モニタ画面またはプレビュー画面で[−]（メニュー）を押したあと、「**コントローラー非表示**」を選択します。

撮影開始／終了音を設定する

動画撮影時の開始／終了音を設定することができます。開始／終了音は2種類から選択することができます。
お買い上げ時は「**パターン1**」に設定されています。

1 ムービー設定画面（7-23ページ）より、「開始／終了音」を選択し、（選択）を押す

2 設定したい開始／終了音を選択し、を押す

▶開始／終了音が設定されます。

補足

- モード設定（9-2ページ）にかかわらず、開始／終了音が鳴ります。
- 開始／終了音を確認する場合は、操作1のあと確認したい開始／終了音を選択し、（メニュー）を押したあと、「**再生**」を選択します。

フルスクリーン表示を設定する

モニタ画面で動画（ビデオカメラを除く）を画面全体に表示させることができます。
お買い上げ時は「**ノーマル**」に設定されています。

1 ムービー設定画面（7-23ページ）より、「スクリーン設定」を選択し、（選択）を押す

2 「フルスクリーン表示」を選択し、（選択）を押す

3 「ノーマル」または「フルスクリーン」を選択し、（選択）を押す

▶フルスクリーン表示が設定されます。

補足

- プレビュー画面でフルスクリーン表示を設定する場合は、プレビュー画面で（メニュー）を押したあと、「**フルスクリーン表示**」を選択します。

■静止画／動画の共通設定

保存先を変更する

撮影した静止画や動画が自動的に保存される保存先を変更することができます。
お買い上げ時は静止画が「**本体**」の「**ピクチャー**」フォルダに、動画が「**本体**」の「**ムービー**」フォルダに設定されています。

1 **カメラ／ムービーのモニタ画面で（メニュー）を押す**

2 **「保存先設定」を選択し、（選択）を押す**

3 **「本体」または「メモリカード」を選択し、（選択）を押す**

4 **保存したいフォルダを選択し、（選択）を押す**

補　足

- 「**デジタルカメラモード**」（7-11ページ）で撮影した場合は、「**デジタルカメラモード**」時に保存先設定で設定した「**本体**」または「**メモリカード**」の「**デジタルカメラ**」フォルダに自動的に保存されます。

セルフタイマーを設定する

セルフタイマーを設定すると、設定時間が経過したあとに撮影します。セルフタイマーは5秒、10秒、20秒から選択することができます。また、セルフタイマーを設定すると、モニタ画面に「」または「」、「」が表示されます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **カメラ／ムービーのモニタ画面で（メニュー）を押す**

2 **「その他の機能」を選択し、（選択）を押す**

3 **「セルフタイマー」を選択し、（選択）を押す**

4 **設定したい時間を選択し、（選択）を押す**

▶セルフタイマーが設定されます。

重　要

- セルフタイマー起動中は、ズームを利用することができません。

補足

- セルフタイマー設定中に●または◙を押すと、カメラ／ムービーランプが赤く点滅し、設定時間が経過したあとに撮影します。
- セルフタイマー起動中に●または◙を押すと、撮影します。
- セルフタイマー起動中に（キャンセル）またはクリア/戻るを押すと撮影を中止します。
- セルフタイマーの設定は、撮影終了後に「Off」に戻ります。

ホワイトバランスを設定する

撮影時の状況によって、画像の色合いが実際の色合いと異なる場合があります。その場合は、実際の色合いに近づくようにホワイトバランスを設定することができます。また、ホワイトバランスを設定すると、モニタ画面に「」または「」、「」、「」、「」が表示されます。
お買い上げ時は「**オート**」に設定されています。

1 **カメラ／ムービーのモニタ画面で（メニュー）を押す**

2 **「その他の機能」を選択し、（選択）を押す**

3 **「ホワイトバランス」を選択し、（選択）を押す**

4 **設定したいモードを選択し、（選択）を押す**

オート：自然な色合いで撮影できるよう自動的に調整します。
太陽光：晴れた屋外での撮影用です。
日陰　：日陰での撮影用です。
曇り　：曇った屋外での撮影用です。
蛍光灯：蛍光灯下での撮影用です。
白熱灯：白熱灯下での撮影用です。
▶ホワイトバランスが設定されます。

補足

- ホワイトバランスの設定は、カメラ／ムービー終了時に「**オート**」に戻ります。

画像効果を設定する

撮影する静止画や動画の色調を変化させることができます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **カメラ撮影設定画面（7-20ページ）またはムービー撮影設定画面（7-23ページ）より、「画像効果」を選択し、（選択）を押す**

2 設定したい色調を選択し、[-]（選択）を押す

セピア　：セピア調の画像で撮影します。
白黒　　：モノクロの画像で撮影します。
ネガ　　：ネガポジ反転の画像で撮影します。
エンボス：画像の輪郭を強調した凸凹感のある画像で撮影します。
Off　　：通常のカラー画像で撮影します。

▶画像効果が設定されます。

プレビューを設定する

撮影したあとのプレビュー画面表示の設定をすることができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 カメラ撮影設定画面（7-20ページ）またはムービー撮影設定画面（7-23ページ）より、「プレビュー設定」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「On」または「Off」を選択し、[-]（選択）を押す

▶プレビューが設定されます。

フリッカー調節を設定する

蛍光灯の近くなどで撮影するときに現在の地域の周波数を設定することで、画面のちらつきを軽減させることができます。
お買い上げ時は「**50 Hz**」に設定されています。

1 カメラ設定画面（7-20ページ）またはムービー設定画面（7-23ページ）より、「スクリーン設定」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「地域設定」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「50 Hz」または「60 Hz」を選択し、[-]（選択）を押す

▶周波数が設定されます。

ファイル名を設定する

デジタルカメラモード以外で、撮影したあとに自動的に保存されるファイル名を撮影日時か「**任意のファイル名nnn**」に設定することができます。nnnは001から999までの連続した番号で保存されます。デジタルカメラモードで撮影した静止画のファイル名は「**DCF_nnnn**」です。nnnnは0001から9999までの連続した番号で保存されます。
お買い上げ時は「**日時**」に設定されています。

1 カメラ設定画面（7-20ページ）またはムービー設定画面（7-23ページ）より、「ファイル名設定」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「日時」または「ユーザ指定」を選択し、[-]（選択）を押す

日時　　：撮影日時をファイル名に設定します。
ユーザ指定：任意のファイル名に設定します。
▶ファイル名が設定されます。
●「**ユーザ指定**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、[●]を押します。登録可能文字数は、最大26文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

テンキーショートカットを設定する

撮影時に利用できるショートカットの設定をすることができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1 カメラ設定画面（7-20ページ）またはムービー設定画面（7-23ページ）より、「テンキーショートカット」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「On」または「Off」を選択し、[-]（選択）を押す

▶テンキーショートカットが設定されます。

補足

●静止画・動画撮影時に割り当てられているショートカットは以下の通りです。

キー	静止画撮影	動画撮影
[1]※	キーガイド表示	
[2]	撮影モード	録画モード切替
[3]	セルフタイマー	
[4]	画像効果	
[5]	画質	
[6]	ホワイトバランス	
[7]	フォーカス設定	音声録音
[8]	夜景モード	―
[9]	画像サイズ	―
[0]	―	フルスクリーン表示
[*]※	モバイルライト	
[#]※	自分撮り設定	

※　テンキーショートカットを「Off」にしていても、使用することができます。

撮影した静止画／動画の確認

902Tのデータフォルダやメモリカードに保存した静止画や動画を確認する場合は、モニタ画面から確認する方法とデータフォルダから確認する方法があります。

- メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

■撮影した静止画を確認する

カメラ起動中にデータフォルダに保存した静止画を確認することができます。

1 カメラのモニタ画面で［-］（メニュー）を押し、「データフォルダ参照」を選択し、［-］（選択）を押す

2 確認したい静止画を選択し、［●］を押す

▶撮影した静止画が表示されます。

補足

- メモリカードに保存されている静止画を確認する場合は、操作1のあと［-］（メニュー）を押して、「**メモリカード**」を選択します。
- 操作2のあと［-］（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  送信（7-9ページ）／**ズーム**／**フルスクリーン表示**／**プロパティ**／**画像編集**（7-30ページ）／**サムネイル保存**（7-35ページ）
- 「**デジタルカメラモード**」（7-11ページ）で撮影した静止画のみ、ズームを利用することができます。

■撮影した動画を確認する

ムービー起動中にデータフォルダに保存した動画を確認することができます。

1 ムービーのモニタ画面で［-］（メニュー）を押し、「データフォルダ参照」を選択し、［-］（選択）を押す

2 確認したい動画を選択し、［●］を押す

▶撮影した動画が再生されます。

補　足

- メモリカードに保存されている動画を確認する場合は、操作1のあと（メニュー）を押して、「**メモリカード**」を選択します。
- 操作2のあと（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生／**送信**／**ミュート**／**サーチタイム**（10-8ページ）／**フルスクリーン表示**（7-24ページ）／**コントローラー非表示**（7-23ページ）／**プロパティ**
- 再生中にで音量調整をすることができます。ただし、音量調整をするとミュートは自動的に解除されます。

撮影した静止画を編集する

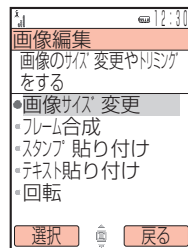
プレビュー画面の静止画やデータフォルダ、メモリカードに保存されている静止画を編集することができます。編集可能なファイルは、100KピクセルЛ以下のJPEGファイル、PNGファイルです。また、「**デジタルカメラモード**」（7-11ページ）で撮影した静止画はサムネイルの保存のみ行うことができます。

■静止画の編集画面を呼び出す

1 **静止画を表示中、（メニュー）を押す**

2 **「画像編集」を選択し、（選択）を押す**

▶画像編集画面が表示されます。

7
カメラ

■画像サイズを変更する

画像のサイズを「**W240×H320**」、「**W144×H176**」、「**W120×H160**」、「**W112×H112**」、「**W96×H128**」、「**ユーザ指定**」に変更することができます。

調整方法	内容
切り取り	変更したい画像サイズで画像を切り取ります。
横に合わせる	変更したい画像サイズの横幅に合わせて、拡大・縮小します。
縦に合わせる	変更したい画像サイズの縦幅に合わせて、拡大・縮小します。

1 画像編集画面（7-30ページ）より、「画像サイズ変更」を選択し、[-]（選択）を押す

2 変更したい画像サイズを選択し、[-]（選択）を押す

●「**ユーザ指定**」を選択した場合は、画像サイズ（W16〜240×H16〜320）を入力し、[-]（決定）を押します。

3 [-]（メニュー）を押す

4 調整方法を選択し、[-]（選択）を押す

●「**切り取り**」を選択した場合は、操作6に進んでください。

5 [-]（切取り）を押す

▶サイズを変更した画像が表示されます。

6 [●]を2回押す

7 保存方法を選択し、[-]（選択）を押す

上書き保存：画像編集を行ったファイルを上書き保存します。
新規保存　：ファイル名を入力して保存します。

●「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、[●]を押します。登録可能文字数は、最大32文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

重　要

- 「**上書き保存**」を行ったファイルは元のファイルに戻すことはできません。元のファイルを残しておきたい場合は、「**新規保存**」を選択してください。
- データフォルダが一杯の場合は、画像編集をすることができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してから、編集してください。

補　足

- 操作2のあと◎で切り取る画像の位置を調整することができます。

■フレームを合成する

画像にフレームを合成することができます。プリセットフレームは7種類（W240×H320、W144×H176、W120×H160）と3種類（W112×H112）から選択することができます。また、データフォルダからも選択することができます。

1 画像編集画面（7-30ページ）より、「フレーム合成」を選択し、［選択］（選択）を押す

2 「プリセットフレーム」または「ダウンロードフレーム」を選択し、［選択］（選択）を押す

プリセットフレーム　：あらかじめ登録されているフレームを選択します。
ダウンロードフレーム：データフォルダに保存されているフレームを選択します。データフォルダについては12章を参照してください。

- 「**プリセットフレーム**」を選択した場合は、フレームサイズを選択し、［選択］（選択）を押します。

3 合成したいフレームを選択し、●を押す

▶フレームが合成された画像が表示されます。
- フレームサイズと画像サイズが異なる場合は、◎でフレームの位置を調整することができます。
- フレームが合成された画像を表示中に、［＊］または［#］を押すとフレームを切り替えることができます。

4 ●を2回押す

5 保存方法を選択し、［選択］（選択）を押す

上書き保存：画像編集を行ったファイルを上書き保存します。
新規保存　：ファイル名を入力して保存します。

- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、●を押します。登録可能文字数は、最大32文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

重　要

- 「**上書き保存**」を行ったファイルは元のファイルに戻すことはできません。元のファイルを残しておきたい場合は、「**新規保存**」を選択してください。
- データフォルダが一杯の場合は、編集した画像を保存することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してから、編集してください。

■スタンプを貼り付ける

画像にスタンプを貼り付けることができます。プリセットスタンプは10種類から選択することができます。また、データフォルダからも選択することができます。

1 画像編集画面（7-30ページ）より、「スタンプ貼り付け」を選択し、（選択）を押す

2 「プリセットスタンプ」または「ダウンロードスタンプ」を選択し、（選択）を押す

プリセットスタンプ　：あらかじめ登録されているスタンプを選択します。
ダウンロードスタンプ：データフォルダに保存されているスタンプを選択します。データフォルダについては12章を参照してください。

3 貼り付けたいスタンプを選択し、を押す

4 で貼り付ける位置を調整し、を押す

- 一度貼り付けたスタンプを取り消す場合は、（メニュー）を押したあと「**全て元に戻す**」を選択します。
- 同じスタンプを連続して貼り付ける場合は、貼り付ける位置を調整中に（メニュー）を押し、「**繰り返し**」を押します。

5 を2回押す

6 保存方法を選択し、（選択）を押す

上書き保存：画像編集を行ったファイルを上書き保存します。
新規保存　：ファイル名を入力して保存します。

- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、を押します。登録可能文字数は、最大32文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

重　要

- スタンプサイズが画像サイズより大きい場合は、スタンプを貼り付けることができません。
- 「**上書き保存**」を行ったファイルは元のファイルに戻すことはできません。元のファイルを残しておきたい場合は、「**新規保存**」を選択してください。

重要

- データフォルダが一杯の場合は、編集した画像を保存することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してから、編集してください。

■文字を貼り付ける

画像に3種類の文字サイズ、9種類の文字色から選択して文字を貼り付けることができます。

1 画像編集画面（7-30ページ）より、「テキスト貼り付け」を選択し、[-]（選択）を押す

2 入力したい文字サイズを選択し、[-]（選択）を押す

3 入力したい文字色を選択し、[-]（選択）を押す

4 文字を入力し、[●]を押す

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 入力可能文字数は大フォントで最大9文字、標準フォントで最大12文字、小フォントで最大20文字です。

5 [十字キー]で貼り付ける位置を調節し、[-]（貼付け）を押す

6 [●]を押す

7 保存方法を選択し、[-]（選択）を押す

上書き保存：画像編集を行ったファイルを上書き保存します。
新規保存　：ファイル名を入力して保存します。

- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、[●]を押します。登録可能文字数は、最大32文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

重要

- 「**上書き保存**」を行ったファイルは元のファイルに戻すことはできません。元のファイルを残しておきたい場合は、「**新規保存**」を選択してください。
- データフォルダが一杯の場合は、編集した画像を保存することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してから、編集してください。

■画像を回転させる

画像を回転させることができます。

1 画像編集画面（7-30ページ）より、「回転」を選択し、[-]（選択）を押す

2 回転方法を選択し、 （選択）を押す

90度回転　：右に90度回転します。
180度回転：右に180度回転します。
270度回転：右に270度回転します。
▶回転した画像が表示されます。

3 ●を2回押す

4 保存方法を選択し、 （選択）を押す

上書き保存：画像編集を行ったファイルを上書き保存します。
新規保存　：ファイル名を入力して保存します。

- 「**新規保存**」を選択した場合は、ファイル名を入力し、●を押します。登録可能文字数は、最大32文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

重　要

- 「**上書き保存**」を行ったファイルは元のファイルに戻すことはできません。元のファイルを残しておきたい場合は、「**新規保存**」を選択してください。
- データフォルダが一杯の場合は、編集した画像を保存することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してから、編集してください。

■サムネイルを保存する

「**デジタルカメラモード**」（7-11ページ）で撮影した静止画をメールに添付できる静止画として保存することができます。

1 静止画を表示中、 （メニュー）を押す

2 「サムネイル保存」を選択し、 （選択）を押す

▶静止画が自動的に「**本体**」の「**ピクチャー**」フォルダに保存されます。

補　足

- 静止画によっては、メールに添付できる静止画として保存できない場合があります。

ディスプレイの設定

壁紙設定

あらかじめ登録されているファイルやデータフォルダ、メモリカードに保存されているファイル、カメラで撮影した静止画などを待受画面の壁紙として設定することができます。
お買い上げ時は「**Live**」に設定されています。

●メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、(選択)を押す

2 「ディスプレイ設定」を選択し、(選択)を押す

3 「メインディスプレイ設定」または「サブディスプレイ設定」を選択し、(選択)を押す

4 「壁紙」を選択し、(選択)を押す

5 「プリセット壁紙」、「データフォルダ」、「Off」のいずれかを選択し、(選択)を押す

プリセット壁紙：あらかじめ登録されている壁紙を選択します。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-10ページ）。
Off：壁紙を表示しません。

6 設定したい壁紙を選択し、●を押す

●操作5で「**データフォルダ**」を選択した場合は、このあと●を押します。

7 ●を押す

▶壁紙が設定されます。

補　足

- 選択した画像が、設定される画像サイズに合わない場合は、操作6で画像の位置を調整します。
- 操作5で「**データフォルダ**」を選択した場合は、操作6で(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。ただし、ファイルによってはできない場合があります。

切り取り：画面のサイズに合わせて画像を切り取ります。
ズーム：画像を拡大・縮小し、位置を調整し切り取ります。
横に合わせる：画面の幅に合わせて画像を調整します。
縦に合わせる：画面の高さに合わせて画像を調整します。
回転：画像を左に90°回転します。

着信表示設定

■通常の着信画像を設定する

あらかじめ登録されているファイルやデータフォルダ、メモリカードに保存されているファイル、カメラで撮影した画像などを音声着信時のメインディスプレイの着信画像として設定することができます。

お買い上げ時は「**プリセット画像**」に設定されています。

●メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「設定」を選択し、(−)（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、(−)（選択）を押す

3 「音声通話設定」を選択し、(−)（選択）を押す

4 「着信表示設定」を選択し、(−)（選択）を押す

5 「着信画像」を選択し、(−)（選択）を押す

6 「プリセット画像」または「データフォルダ」を選択し、(−)（選択）を押す

プリセット画像：(−)（決定）を押すとあらかじめ登録されているファイルが設定されます。

データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-10ページ）。

7 設定したい着信画像を選択し、(●)を押す

8 (−)（設定）を押す

▶着信画像が設定されます。

重　要

- かかってきた相手の顔写真が電話帳に登録されていて、顔写真の表示（8-4ページ）を「**On**」にしている場合は、着信画像の設定にかかわらず、顔写真が表示されます。ただし、かかってきた相手のシークレットメモリ（5-9ページ）を「**On**」に、シークレットモード（14-9ページ）を「**Off**」にしている場合は、着信画像が表示されます。
- 着信音パターン（9-6ページ）にムービーファイルが設定されている場合は、着信画像は表示されません。

■顔写真表示を設定する

電話帳に顔写真（5-6ページ）を登録している相手から音声着信したときに顔写真を表示するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、-（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、-（選択）を押す

3 「音声通話設定」を選択し、-（選択）を押す

4 「着信表示設定」を選択し、-（選択）を押す

5 「電話帳登録画像」を選択し、-（選択）を押す

6 「On」または「Off」を選択し、-（選択）を押す

▶顔写真表示が設定されます。

重　要
- かかってきた相手のシークレットメモリ（5-9ページ）を「On」に、シークレットモード（14-9ページ）を「Off」にしている場合は、顔写真の表示設定にかかわらず、顔写真は表示されません。

重　要
- 顔写真の表示を「On」にしている場合は、着信画像は表示されません。
- 着信音パターン（9-6ページ）にムービーファイルが設定されている場合は、顔写真は表示されません。

補　足
- サブディスプレイの着信表示（下記）を「Off」に、顔写真の表示を「On」にしている場合は、メインディスプレイのみに顔写真が表示されます。

■サブディスプレイの着信表示を設定する

音声着信時に、電話帳に登録されている名前や電話番号、顔写真をサブディスプレイに表示するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、-（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、-（選択）を押す

3 「音声通話設定」を選択し、-（選択）を押す

4 「着信表示設定」を選択し、-（選択）を押す

5「着信表示」を選択し、［-］（選択）を押す

6「On」または「Off」を選択し、［-］（選択）を押す

▶着信表示が設定されます。

重　要

●着信音パターン（9-6ページ）にムービーファイルを設定している場合は、顔写真は表示されません。

補　足

●サブディスプレイの着信表示を「**Off**」に、顔写真の表示（8-4ページ）を「**On**」にしている場合は、メインディスプレイのみに顔写真が表示されます。

時計表示設定

メインディスプレイの時計表示を設定することができます。また、サブディスプレイにも時計を表示することができます。

●日付・時刻の設定については、1-21ページを参照してください。

■メインディスプレイの時計表示を設定する

お買い上げ時は「**1行デジタル時計**」に設定されています。

1 待受画面で［●］を押し、［◎］で「設定」を選択し、［-］（選択）を押す

2「ディスプレイ設定」を選択し、［-］（選択）を押す

3「メインディスプレイ設定」を選択し、［-］（選択）を押す

4「時計表示設定」を選択し、［-］（選択）を押す

ディスプレイの設定

8

5 設定したい表示を選択し、[-]（選択）を押す

1行デジタル時計：1行のデジタル時計を表示します。
2行デジタル時計：2行のデジタル時計を表示します。
アナログ時計：アナログ時計を表示します。
時計＋カレンダー：カレンダーと1行デジタル時計を表示します。
2都市表示：世界時計（15-25ページ）で第2都市を設定した場合は、ホームと第2都市の都市名と1行デジタル時計を表示します。
Off：日時を表示しません。

▶ 時計表示が設定されます。

補　足

- 「**時計＋カレンダー**」にした場合は、スケジュール（15-4ページ）で登録した日も表示されます。ただし、スケジュールロック（15-14ページ）を「**On**」にした場合は表示されません。

■サブディスプレイの時計表示を設定する

サブディスプレイに時計を表示するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「ディスプレイ設定」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「サブディスプレイ設定」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「時計表示設定」を選択し、[-]（選択）を押す

5 「On」または「Off」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 時計表示が設定されます。

ディスプレイの設定

8

■表示を12／24時間制に切り替える

待受画面の時計表示（アナログ時計を除く）や世界時計の時間制を切り替えることができます。
お買い上げ時は「**24時間表示**」に設定されています。

1. **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、［－］（選択）を押す**
2. **「一般設定」を選択し、［－］（選択）を押す**
3. **「日時設定」を選択し、［－］（選択）を押す**
4. **「12h／24h設定」を選択し、［－］（選択）を押す**
5. **「12時間表示」または「24時間表示」を選択し、［－］（選択）を押す**

▶時間制が設定されます。

ディスプレイ省電力設定

音声通話中や待受画面表示中に無操作の状態で一定時間経過したときにディスプレイの表示を消して、電池の消費を抑えることができます。
お買い上げ時は「**1分**」に設定されています。

1. **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、［－］（選択）を押す**
2. **「ディスプレイ設定」を選択し、［－］（選択）を押す**
3. **「メインディスプレイ設定」または「サブディスプレイ設定」を選択し、［－］（選択）を押す**
4. **「ディスプレイ省電力」を選択し、［－］（選択）を押す**
5. **「30秒」、「1分」、「3分」のいずれかを選択し、［－］（選択）を押す**

▶ディスプレイ省電力が設定されます。

バックライト設定

■明るさを調節する

バックライトの明るさを調節することができます。
お買い上げ時は「**明るさ2**」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[－]（選択）を押す

2 「ディスプレイ設定」を選択し、[－]（選択）を押す

3 「メインディスプレイ設定」または「サブディスプレイ設定」を選択し、[－]（選択）を押す

4 「バックライト設定」を選択し、[－]（選択）を押す

5 「明るさ調節」を選択し、[－]（選択）を押す

6 「明るさ1」または「明るさ2」を選択し、[－]（選択）を押す

明るさ1：暗め
明るさ2：通常の明るさ
▶明るさが設定されます。

■点灯時間を設定する

照明の点灯時間を設定することができます。
お買い上げ時は「**15秒**」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[－]（選択）を押す

2 「ディスプレイ設定」を選択し、[－]（選択）を押す

3 「メインディスプレイ設定」または「サブディスプレイ設定」を選択し、[－]（選択）を押す

4 「バックライト設定」を選択し、[－]（選択）を押す

5 「点灯時間」を選択し、[－]（選択）を押す

6 点灯時間を入力し、[－]（決定）を押す

▶点灯時間が設定されます。
●0秒から60秒まで設定できます。

事業者名表示設定

待受画面に通信事業者名を表示するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1. 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、(選択)を押す
2. 「ディスプレイ設定」を選択し、(選択)を押す
3. 「メインディスプレイ設定」を選択し、(選択)を押す
4. 「事業者名表示」を選択し、(選択)を押す
5. 「On」または「Off」を選択し、(選択)を押す

▶ 事業者名表示が設定されます。

GSMセル情報表示設定

待受画面にあるGSMセル情報を表示するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1. 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、(選択)を押す
2. 「ディスプレイ設定」を選択し、(選択)を押す
3. 「メインディスプレイ設定」を選択し、(選択)を押す
4. 「GSMセル情報表示」を選択し、(選択)を押す
5. 「On」を選択し、(選択)を押す

▶ GSMセル情報表示が設定されます。

サブディスプレイのコントラスト調節

サブディスプレイの濃淡（コントラスト）を9段階で調節することができます。
お買い上げ時は「**±0**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「ディスプレイ設定」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「サブディスプレイ設定」を選択し、▭（選択）を押す**

4 **「コントラスト調節」を選択し、▭（選択）を押す**

5 **本体を閉じ▲、▼でコントラストを調節する**

▶ 本体を閉じるとサブディスプレイにコントラスト調節画面が表示されます。

6 **本体を開き、▭（決定）を押す**

▶ コントラストが設定されます。

英語表示に切り替える

ディスプレイの表示を英語にすることができます。
お買い上げ時は「**自動選択**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「一般設定」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「Language」を選択し、▭（選択）を押す**

4 **設定したい言語を選択し、▭（選択）を押す**

自動選択：自動的に言語表示が選択されます。
日本語　：日本語表示になります。
English：英語表示になります。
▶ 言語表示が設定されます。

音の設定

モードを切り替える

ご使用になる状況に応じて音やバイブレーターの動作を変えることができます。モード設定には、通常モード、マナーモード、運転中モード、ミーティングモードの4種類があります。各モードの音やバイブレーターの設定はそれぞれ変更することができます。

モード	内容
通常モード	通常のモードです。※
マナーモード （ ）	音を鳴らさないモードです（バイブレーターとアラームのみ設定することができます）。
運転中モード （ ）	運転中でも聞こえるように音量が最大に設定されているモードです。※
ミーティングモード （ ）	お客様の用途に応じてすべてを設定することができるモードです。初期値では、音を鳴らさないように設定されています。

※ アラーム音の設定をすることはできません。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「モード設定」を選択し、（選択）を押す**

3 **設定したいモードを選択し、●を押す**

▶ モードが切り替わります。

補　足

- マナーモード以外のモードにしている場合は、待受画面で#を長く（約1秒以上）押すと、マナーモード以外のモードとマナーモードを切り替えることができます。また、マナーモードにしている場合は、待受画面で#を長く（約1秒以上）押すと、マナーモードと通常モードを切り替えることができます。

各モードの設定内容

お買い上げ時は以下のように設定されています。

設定項目		通常	マナー	運転中	ミーティング	設定方法
着信音量（音声着信／TVコール着信／メール受信）		レベル3	サイレント	レベル5	サイレント	9-5ページ
着信音パターン（音声着信／TVコール着信／メール受信）		パターン1	―	パターン1	パターン1	9-6ページ
鳴動時間（メール受信）		5秒	5秒	5秒	5秒	9-8ページ
バイブレーター（音声着信／TVコール着信／メール受信）		Off	On	Off	Off	9-8ページ
ボタン確認音量		レベル3	サイレント	レベル3	サイレント	9-9ページ
ボタン確認音		オリジナル1	―	オリジナル1	オリジナル1	9-9ページ
効果音量	ウェイクアップ音／シャットダウン音／エラー音	レベル2	サイレント	レベル3	サイレント	9-10ページ
	オープン音／クローズ音	サイレント		サイレント		
効果音（ウェイクアップ音／シャットダウン音／オープン音／クローズ音）		プリセットパターン	―	プリセットパターン	プリセットパターン	9-10ページ
サウンド音量		レベル3	サイレント	レベル5	サイレント	9-11ページ
電池アラーム音		On（音量固定）	サイレント※	On（音量固定）	On（音量固定）	9-11ページ
アラーム（スケジュールアラーム含む）		On	Off	On	On	9-12ページ

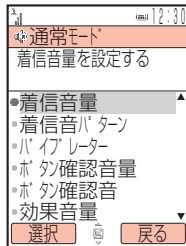
※ 通話中のみレシーバー（受話口）から聞こえます。

● ■は設定可能な項目です。

各モードを設定する

■モードの設定について

それぞれのモードについて着信音やバイブレーターなどの設定を行うことができます。また、モードを切り替える(9-2ページ)で設定されている現在のモードについても着信音やバイブレーターなどを設定することができます。音・バイブ設定画面を表示(右記)させたあと、それぞれ以下の設定したい項目を参照してください。

●着信音量：9-5ページ
●着信音パターン：9-6ページ
●バイブレーター：9-8ページ
●ボタン確認音量：9-9ページ
●ボタン確認音：9-9ページ
●効果音量：9-10ページ
●効果音：9-10ページ
●サウンド音量：9-11ページ
●電池アラーム音：9-11ページ
●アラーム：9-12ページ

音･バイブ設定画面

※上記画面は通常モードの場合です。

音・バイブ設定画面を表示する(各モードを設定する場合)

1 待受画面で[●]を押し、[十字キー]で「設定」を選択し、[-](選択)を押す

2 「モード設定」を選択し、[-](選択)を押す

3 設定したいモードを選択し、[-](メニュー)を押す

4 「音・バイブ設定」を選択し、[-](選択)を押す

▶音・バイブ設定画面が表示されます。

音・バイブ設定画面を表示する(通常モードを設定する場合)

1 待受画面で[●]を押し、[十字キー]で「設定」を選択し、[-](選択)を押す

2 「音・バイブ設定」を選択し、[-](選択)を押す

▶音・バイブ設定画面が表示されます。

■着信音量を設定する

着信音量の大きさを5段階に調節したり、音が鳴らないようにすることができます。また、着信音量を徐々に上げたり（ステップアップ）、徐々に下げたり（ステップダウン）することもできます。音声着信の着信音量を「**サイレント**」に設定すると、待受画面に「」または「」が表示されます。お買い上げ時の設定については9-3ページを参照してください。

●マナーモードの着信音量を設定することはできません。

1 音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「着信音量」を選択し、（選択）を押す

2 「音声着信」、「TVコール着信」、「メール受信」のいずれかを選択し、（選択）を押す

3 で着信音量を調節し、（決定）を押す

▶ 着信音量が設定されます

●着信音量を上げる場合はまたはを、下げる場合はまたはを押します。

補　足

- 操作3でサイドキーを使って着信音量を調節することができます。音量を上げる場合はを、下げる場合はを押します。
- 着信中にまたは、を押して、着信音量を調節することができます。
- 待受画面でまたはを押して、着信音量を調節することができます。

音の設定

9

■着信音パターンを設定する

着信音パターンはプリセットパターン、プリセットメロディ、データフォルダの中からお好みにあわせて変更することができます。

お買い上げ時の設定については9-3ページを参照してください。

●メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

●マナーモードの着信音パターンを設定することはできません。

あらかじめ登録されているメロディについて

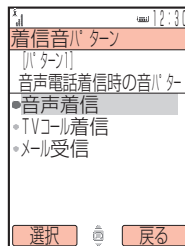
902Tには、あらかじめプリセットメロディに以下の内容が登録されています。

プリセットメロディ	
曲名	作曲者名
Jazz	ボーダフォンオリジナル
Switch※	ボーダフォンオリジナル
Funky Pop	ボーダフォンオリジナル
Flava	ボーダフォンオリジナル
Dance	ボーダフォンオリジナル
Relaxed Soul	ボーダフォンオリジナル
黒電話	東芝オリジナル
電子音	東芝オリジナル
Solid	東芝オリジナル
Live	東芝オリジナル
民謡	(津軽じょんがら節)
Latin	ボーダフォンオリジナル
Classic	ボーダフォンオリジナル
Guitar	ボーダフォンオリジナル
Blues	ボーダフォンオリジナル
Techno	ボーダフォンオリジナル
Carnival	ボーダフォンオリジナル

※　動画を含んだビデオファイルです。

音声着信／TVコール着信の着信音パターンを設定する

1　音・バイブ設定画面(9-4ページ)より、「着信音パターン」を選択し、[-]（選択）を押す

▶着信音パターン選択画面が表示されます。

2 「音声着信」または「TV コール着信」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」のいずれかを選択し、[-]（選択）を押す

プリセットパターン	：あらかじめ登録されているパターンを選択します。
プリセットメロディ	：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ	：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。

4 設定したい着信音パターンを選択し、[●]を押す

5 [-]（設定）を押す

▶ 着信音パターンが設定されます。

重　要

- 音声着信／TVコール着信の着信音パターンに画像付きSMAFデータを設定しても画像が正しく表示されない場合があります。

メール受信の着信音パターンを設定する

1 着信音パターン選択画面（9-6ページ）より、「メール受信」を選択し、[-]（メニュー）を押す

2 「着信音パターン」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」のいずれかを選択し、[-]（選択）を押す

プリセットパターン	：あらかじめ登録されているパターンを選択します。
プリセットメロディ	：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ	：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。

4 設定したい着信音パターンを選択し、[●]を押す

5 [-]（設定）を押す

▶ 着信音パターンが設定されます。

重 要

- メール受信の着信音パターンにムービーファイルを設定することはできません。
- メール受信の着信音パターンに画像付きSMAFデータを設定しても画像が正しく表示されない場合があります。

メール受信の鳴動時間を設定する

1 **着信音パターン選択画面（9-6ページ）より、「メール受信」を選択し、[メニュー]（メニュー）を押す**

2 **「鳴動時間」を選択し、[選択]（選択）を押す**

3 **「時間指定」または「一周期」を選択し、[選択]（選択）を押す**

▶ 鳴動時間が設定されます。

●「**時間指定**」を選択した場合は、鳴動時間（4〜99秒）を入力し、[決定]（決定）を押します。

■バイブレーターを設定する

電話がかかってきたときやメールを受信したときに、振動でお知らせすることができます。音声着信のバイブレーターを「Off」以外にすると、待受画面に「[アイコン]」または「[アイコン]」が表示されます。

お買い上げ時の設定については9-3ページを参照してください。

1 **音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「バイブレーター」を選択し、[選択]（選択）を押す**

●「**マナーモード**」を選択した場合は、「**On**」または「**Off**」を選択すると、バイブレーターが設定されます。

2 **「音声着信」、「TVコール着信」、「メール受信」のいずれかを選択し、[選択]（選択）を押す**

3 **設定したいパターンを選択し、[●]を押す**

パターン1〜3：選択しているパターンで振動します。

SMAF連動：着信時や受信時に着信音パターンで設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレーターが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。

Off：バイブレーターを振動させません。

▶ バイブレーターが設定されます。

重　要

●モード設定(9-2ページ)を「**マナーモード**」または「**ミーティングモード**」に、バイブレーターを「**Off**」にしている場合は、スケジュール（15-4ページ）やアラーム（15-16ページ）の設定にかかわらず振動しません。

■その他の設定

ボタン確認音や効果音などを設定することができます。
お買い上げ時の設定については9-3ページを参照してください。
●メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

ボタン確認音量を設定する

ボタンを押したときの音量を3段階に調節することができます。また、音が鳴らないようにすることもできます。
●マナーモードのボタン確認音量を設定することはできません。

1 音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「ボタン確認音量」を選択し、（選択）を押す

2 でボタン確認音量を調節し、（決定）を押す

▶ボタン確認音量が設定されます。
●ボタン確認音量を上げる場合はまたはを、下げる場合はまたはを押します。

補　足

●操作2でサイドキーを使ってボタン確認音量を調節することもできます。音量を上げる場合はを、下げる場合はを押します。

ボタン確認音を設定する

ボタンを押したときの確認音を設定することができます。
●マナーモードのボタン確認音を設定することはできません。

1 音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「ボタン確認音」を選択し、（選択）を押す

2 「オリジナル1」または「オリジナル2」を選択し、（選択）を押す

▶ボタン確認音が設定されます。

効果音量を設定する

各種効果音の音量を3段階に調節することができます。また、音が鳴らないようにすることもできます。

●マナーモードの効果音量を設定することはできません。

1 音・バイブ設定画面(9-4ページ)より、「効果音量」を選択し、（選択）を押す

2 設定したい動作を選択し、（選択）を押す

ウェイクアップ音：電源を入れたときに鳴ります。
シャットダウン音：電源を切ったときに鳴ります。
オープン音：本体を開いたときに鳴ります。
クローズ音：本体を閉じたときに鳴ります。
エラー音：エラーのときに鳴ります。

3 で効果音量を調節し、（決定）を押す

▶ 効果音量が設定されます。

●効果音量を上げる場合はまたはを、下げる場合はまたはを押します。

補　足

● 操作3でサイドキーを使って効果音量を調節することもできます。音量を上げる場合はを、下げる場合はを押します。

効果音を設定する

各種効果音を設定することができます。効果音はプリセットパターン、データフォルダの中からお好みにあわせて変更することができます。

●マナーモードの効果音を設定することはできません。

1 音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「効果音」を選択し、（選択）を押す

2 設定したい動作を選択し、（選択）を押す

ウェイクアップ音：電源を入れたときに鳴ります。
シャットダウン音：電源を切ったときに鳴ります。
オープン音：本体を開いたときに鳴ります。
クローズ音：本体を閉じたときに鳴ります。

3 「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」のいずれかを選択し、（選択）を押す

プリセットパターン：あらかじめ登録されているパターンを設定します。
プリセットメロディ：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。

4 設定したい効果音を選択し、●を押す

5 ［-］（設定）を押す

▶効果音が設定されます。

重要

●効果音に画像を含むファイルを設定することはできません。

サウンド音量を設定する

メロディファイルなどを再生する音量を5段階に調節することができます。また、音が鳴らないようにすることもできます。
●マナーモードのサウンド音量を設定することはできません。
サウンド音量を設定すると、以下の音量がすべて設定されます。
・メロディファイルの再生（12-4ページ）
・ムービーファイルの再生（12-4ページ）
・ボイスレコーダーの再生（15-23ページ）
・USIMアプリの利用時（15-3ページ）
・メールの添付ファイル／メロディの再生（19-3ページ）
・ウェブの情報画面表示中のサウンド再生

1 音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「サウンド音量」を選択し、［-］（選択）を押す

2 ◎でサウンド音量を調節し、［-］（決定）を押す

▶サウンド音量が設定されます。
●サウンド音量を上げる場合は▲または▶を、下げる場合は▼または◀を押します。

補足

●操作2でサイドキーを使ってサウンド音量を調節することもできます。音量を上げる場合は▲を、下げる場合は▼を押します。

電池アラーム音を設定する

電池がなくなるときに鳴る電池アラーム音を鳴らすかどうかを設定することができます。
●マナーモードの電池アラーム音を設定することはできません。

1 音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「電池アラーム音」を選択し、［-］（選択）を押す

2 「On」または「Off」を選択し、［-］（選択）を押す

▶電池アラーム音が設定されます。

補足

●マナーモードにしている場合は、通話中のみ電池アラーム音がレシーバー（受話口）から聞こえます。

アラーム音を設定する

スケジュール（15-4ページ）やアラーム（15-16ページ）で登録したアラームの音を鳴らすかどうかを設定することができます。

●マナーモード、ミーティングモードのみアラーム音を設定することができます。

1 音・バイブ設定画面（9-4ページ）より、「アラーム」を選択し、（選択）を押す

2 「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す

▶アラーム音が設定されます。

重　要

● モード設定（9-2ページ）を「**マナーモード**」または「**ミーティングモード**」に、アラームを「**Off**」にしている場合は、スケジュール（15-4ページ）やアラーム（15-16ページ）の設定にかかわらずアラーム音は鳴りません。

各モードをリセットする

各モードの設定をお買い上げ時の状態に戻します。

1 待受画面で●を押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「モード設定」を選択し、（選択）を押す

3 リセットしたいモードを選択し、（メニュー）を押す

4 「設定リセット」を選択し、（選択）を押す

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

6 （Yes）を押す

▶選択したモードの設定がリセット（初期化）されます。

●お買い上げ時の各モードの設定内容については9-3ページを参照してください。

受話音量の設定

レシーバーから聞こえる相手の声の大きさを5段階に調節することができます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、□（選択）を押す

2「発着信設定」を選択し、□（選択）を押す

3「共通設定」を選択し、□（選択）を押す

4「受話音量」を選択し、□（選択）を押す

5 ◎で受話音量を調節し、□（決定）を押す

▶ 受話音量が設定されます。

● 受話音量を上げる場合は▲または▶を、下げる場合は▼または◀を押します。

補 足

● 操作5でサイドキーを使って受話音量を調節することもできます。音量を上げる場合は▲を、下げる場合は▼を押します。
● 待受画面で▲または▼を長く（約1秒以上）押したあと、◎で調節することもできます。
● 通話中に設定することもできます（2-8、6-5ページ）。

スピーカー音量の設定

スピーカーから聞こえる相手の声の大きさを5段階に調節することができます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「発着信設定」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「共通設定」を選択し、▭（選択）を押す**

4 **「スピーカー音量」を選択し、▭（選択）を押す**

5 **◎でスピーカー音量を調節し、▭（決定）を押す**

▶スピーカー音量が設定されます。
●スピーカー音量を上げる場合は▲または▶を、下げる場合は▼または◀を押します。

補足

●操作5でサイドキーを使ってスピーカー音量を調節することもできます。音量を上げる場合は▲を、下げる場合は▼を押します。

音の設定

9

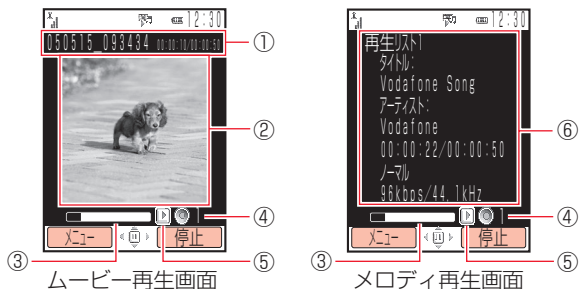
メディアプレイヤー

メディアプレイヤーについて

メディアプレイヤーでは、あらかじめ再生リストに登録、またはデータフォルダやメモリカードに保存されているムービーやメロディファイルを再生することができます。
ダウンロードして再生したり、URLを入力してのストリーミング再生をすることができます。
メディアプレイヤーで再生することができるファイル形式は、MPEG4形式のファイルです。

- ストリーミング再生中やストリーミングデータのバッファリング中は、メールを受信することができません。
- メディアプレイヤー起動中にアラーム（スケジュール含む）や音声着信、TVコール着信があった場合は、メディアプレイヤーが一時停止します。

■ディスプレイ表示について

ムービー再生画面　メロディ再生画面

① タイトル名、再生経過時間／総再生時間が表示されます。
② 再生するムービーが表示されます。
③ プログレスバーが表示されます。
④ 再生音量が表示されます。
⑤ 再生状態が表示されます。
　再生　早送り　コマ戻し
　一時停止　巻き戻し　バッファリング中
　スロー再生　コマ送り
⑥ リスト名、タイトル名、アーティスト名、再生経過時間／総再生時間、プレイモード、ビットレートが表示されます。

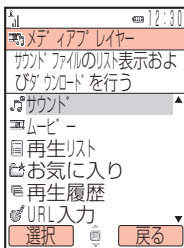
補　足

- グラフィックス（10-13ページ）を「On」にしている場合は、リスト名、タイトル名、アーティスト名、再生経過時間／総再生時間、プレイモード、ビットレートの代わりにアニメーションや画像が表示されます。

メロディやムービーファイルを再生する

メロディやムービーファイルを再生することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「メディアプレイヤー」を選択し、 （選択）を押す

▶ メディアプレイヤーメニュー画面が表示されます。

2 「サウンド」または「ムービー」を選択し、 （選択）を押す

3 再生したいファイルを選択し、●を押す

▶ 選択したファイルが再生されます。

重　要

- メモリカード内のファイルを再生中にメモリカードを抜いた場合、ファイル消失の原因となります。

補　足

- マナーモード設定中（3-2ページ）に再生する場合は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されます。マナーモードを一時的に解除する場合は、 （Yes）を押します。ただし、付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されません。
- 「**メロディダウンロード**」や「**ムービーダウンロード**」については12-4ページを参照してください。
- 操作2のあとファイルを選択し、 （メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生／**送信**／**削除**／**名称変更**／**複数選択**／**メモリカード**／**リスト表示**／**並び替え**／**プロパティ**
- 操作3のあと （メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生／**送信**／**ファイル管理**（10-9ページ）／**プレイモード**（10-9ページ）／**ミュート**／**サーチタイム**（10-8ページ）／**フルスクリーン表示**／**コントローラー非表示**

■停止中／再生中の操作について

停止中（一時停止中を含む）／再生中は、以下の操作を行うことができます。

機能	停止中の操作（一時停止中を含む）	再生中の操作
次の曲を再生する	*を押す	*を押す
前の曲を再生する	#を押す	#を押す
早送り	―	▶を長く（1秒以上）押す
巻き戻し	―	◀を長く（1秒以上）押す
コマ戻しする	◀を押す	―
コマ送りする	▶を押す	―
スロー再生する（一時停止中のみ）	▶を長く（1秒以上）押す	―
音量を調節する	▲▼を押す	▲▼を押す

再生リストを利用する

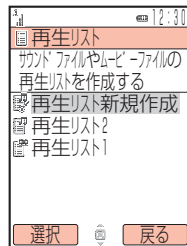
■再生リストを作成する

再生リストにメロディやムービーファイルを登録して、再生リスト内のファイルを再生することができます。再生リストは最大10件作成することができ、1つの再生リストには最大10件のファイルを登録することができます。

1 **待受画面で●を押し、✥で「メディアプレイヤー」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「再生リスト」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶ 再生リスト一覧画面が表示されます。

3 **「再生リスト新規作成」を選択し、[-]（選択）を押す**

4 再生リスト名を入力し、●を押す

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大24文字です。

5 「サウンド」または「ムービー」を選択し、（選択）を押す

6 （メニュー）を押す

7 「複数選択」を選択し、（選択）を押す

8 登録したいファイルを選択し、●を押す

▶チェックすると、ファイル名の横に「☑」が表示されます。

- ファイルを複数選択する場合は、操作8を繰り返します。

9 （メニュー）を押す

10 「ファイル追加」を選択し、（選択）を押す

▶再生リストが作成されます。

重 要

- メロディファイルとムービーファイルを同じ再生リストに登録することはできません。

補 足

- 操作7で、以下の操作を行うこともできます。
選択／メモリカード／リスト表示

■再生リストを再生する

作成した再生リストを再生することができます。

1 再生リスト一覧画面（10-4ページ）より、再生したい再生リストを選択し、●を押す

▶再生リストが再生されます。

補 足

- マナーモード設定中（3-2ページ）に再生する場合は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されます。マナーモードを一時的に解除する場合は、（Yes）を押します。ただし、付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されません。
- 操作1で再生リストを選択し、（メニュー）を押すと、以下の操作を行うことができます。
再生／開く／削除／名称変更

補　足

●操作1のあと[メニューキー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
再生／**送信**／**ファイル管理**（10-9ページ）／**プレイモード**（10-9ページ）／**ミュート**／**サーチタイム**（10-8ページ）／**フルスクリーン表示**／**コントローラー非表示**

■再生リストを編集する

作成した再生リストを編集することができます。

再生リスト名を編集する

作成した再生リスト名を編集することができます。

1 再生リスト一覧画面（10-4ページ）より、編集したい再生リストを選択し、[メニューキー]（メニュー）を押す

2 「名称変更」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

3 再生リスト名を入力し、[●]を押す

▶再生リスト名が登録されます。
●文字入力については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、最大24文字です。

再生リストにファイルを追加する

作成した再生リストにファイルを追加することができます。

1 再生リスト一覧画面（10-4ページ）より、編集したい再生リストを選択し、[メニューキー]（メニュー）を押す

2 「開く」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

▶再生リストファイル一覧画面が表示されます。

3 [メニューキー]（メニュー）を押す

4 「追加」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

5 [メニューキー]（メニュー）を押す

6 「複数選択」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

7 登録したいファイルを選択し、(●)を押す

▶ チェックすると、ファイル名の横に「☑」が表示されます。

● ファイルを複数選択する場合は、操作7を繰り返します。

8 (メニュー)を押す

9 「ファイル追加」を選択し、(選択)を押す

▶ 再生リストに追加されます。

補足

● 操作4で、以下の操作を行うこともできます。
再生／**送信**／**一件削除**(右記)／**全件削除**(10-8ページ)／**順番変更**(10-8ページ)／**リスト表示**／**プロパティ**

再生リストのファイルを1件削除する

再生リストに登録されているファイルを1件削除することができます。

1 再生リストファイル一覧画面(10-6ページ)より、削除したいファイルを選択し、(メニュー)を押す

2 「一件削除」を選択し、(選択)を押す

▶ 確認画面が表示されます。

3 (Yes)を押す

▶ ファイルが1件削除されます。

補足

● 再生リストに登録されているファイルが1件しかない場合は、ファイルを削除すると、再生リストが削除されます。

再生リストのファイルを全件削除する

再生リストに登録されているファイルを全件削除することができます。全件削除すると、再生リストが削除されます。

1 再生リストファイル一覧画面（10-6ページ）より、削除したいファイルを選択し、[メニュー]（メニュー）を押す

2 「全件削除」を選択し、[選択]（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

3 [Yes]（Yes）を押す

▶ファイルが全件削除されます。

再生リストの再生順を変更する

1 再生リストファイル一覧画面（10-6ページ）より、[メニュー]（メニュー）を押す

2 「順番変更」を選択し、[選択]（選択）を押す

3 始めに再生したいファイルを選択し、[●]を押す

●以降の順番を設定する場合は、操作3を繰り返します。

4 [メニュー]（メニュー）を押す

5 「決定」を選択し、[選択]（選択）を押す

▶再生順が変更されます。

サーチタイムを利用する

ファイルの再生開始の位置（時間）を指定して、再生を開始することができます。

1 メロディやムービーファイル、再生リストを再生中、[メニュー]（メニュー）を押す

●メロディやムービーファイルの再生については10-3ページを参照してください。

●再生リストの再生については10-5ページを参照してください。

2 「サーチタイム」を選択し、[選択]（選択）を押す

3 開始したい位置（時間）を入力し、[再生]（再生）を押す

▶指定された位置からファイルが再生されます。

■プレイモードを設定する

再生方法をランダムやリピートなどに設定できます。

1 メロディやムービーファイル、再生リストを再生中、[メニューキー]（メニュー）を押す

- メロディやムービーファイルの再生については10-3ページを参照してください。
- 再生リストの再生については10-5ページを参照してください。

2 「プレイモード」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 設定したいプレイモードを選択し、[選択キー]（選択）を押す

リピート　　　：再生中のファイルを繰り返し再生します。
オールリピート：登録されている順番で繰り返し再生します。
ランダム　　　：登録されているファイルをランダムに再生します。
ノーマル　　　：登録されている順番で再生します。

▶ プレイモードが設定されます。

重　要

- お気に入り（10-10ページ）や再生履歴（10-11ページ）では、「**オールリピート**」や「**ランダム**」のプレイモードを利用することはできません。

■各機能から再生リストに登録する

メロディやムービーファイルを再生中、再生リストに登録することができます。

1 メロディやムービーファイルを再生中、[メニューキー]（メニュー）を押す

- メロディやムービーファイルの再生については10-3ページを参照してください。

2 「ファイル管理」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 「再生リスト追加」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

4 登録したい再生リストを選択し、[選択キー]（選択）を押す

▶ 再生リストに追加されます。

- 「**再生リスト新規作成**」を選択した場合は、自動的に再生リストが作成され、ファイルが登録されます。

お気に入りを利用する

お気に入りとして登録したメロディやムービーファイル、ストリーミングURLの一覧を表示することができます。お気に入りには最大10件登録することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「メディアプレイヤー」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「お気に入り」を選択し、[-]（選択）を押す

▶お気に入り一覧画面が表示されます。

補　足

- 操作2のあと[-]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生／送信／一件削除／全件削除／追加／リスト表示／プロパティ

■お気に入りに登録する

1 お気に入り一覧画面（左記）より、[-]（メニュー）を押す

2 「追加」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「サウンド」または「ムービー」を選択し、[-]（選択）を押す

4 [-]（メニュー）を押す

5 「複数選択」を選択し、[-]（選択）を押す

6 登録したいファイルを選択し、●を押す

▶チェックすると、ファイル名の横に「☑」が表示されます。

●ファイルを複数選択する場合は、操作6を繰り返します。

7 [-]（メニュー）を押す

8 「ファイル追加」を選択し、[-]（選択）を押す

▶お気に入りに追加されます。

メロディ／ムービー／再生履歴からお気に入りに登録する

メロディやムービーファイル、再生履歴を再生中、お気に入りに登録することができます。

1 メロディやムービーファイル、再生履歴のファイルを再生中、（メニュー）を押す

- サウンド、ムービーファイルの再生については10-3ページを参照してください。
- 再生履歴については右記を参照してください。

2 「ファイル管理」を選択し、（選択）を押す

3 「お気に入り追加」を選択し、（選択）を押す

▶お気に入りに追加されます。

再生履歴を利用する

ムービーやメロディファイル、ストリーミングの再生履歴を利用することができます。再生履歴は最大10件保存されます。

1 待受画面でを押し、で「メディアプレイヤー」を選択し、（選択）を押す

2 「再生履歴」を選択し、（選択）を押す

▶再生履歴一覧画面が表示されます。

重　要

- 再生履歴からストリーミングを再生するとウェブに接続されます。ウェブに接続すると、通信料金がかかります。

補　足

- 再生履歴の件数が10件を超えると、一番古い履歴から順に削除されます。
- 操作2のあとファイルを選択し、(メニュー)を押して、以下の操作を行うことができます。
  再生／**送信**／**一件削除**／**全件削除**／**お気に入り追加**(10-11ページ)／**リスト表示**／**プロパティ**

ストリーミング再生をする

URLを入力してストリーミング再生する

1 待受画面でを押し、で「メディアプレイヤー」を選択し、(選択)を押す

2 「URL入力」を選択し、(選択)を押す

3 URLを入力し、を押す

▶ウェブに接続され、ストリーミング再生されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大半角512文字です。

重　要

- ストリーミングご利用中は、一時停止した場合でも通信は継続されますのでパケット通信料が発生します。

補　足

- マナーモード設定中(3-2ページ)に再生する場合は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されます。マナーモードを一時的に解除する場合は、(Yes)を押します。ただし、付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されません。

メールやウェブからストリーミング再生する

1 ストリーミング再生したいリンクを表示する

- メール内のURLの利用については、21-14ページを参照してください。
- ウェブ内のURLの利用については、24-6ページを参照してください。

2 ●を押す

▶ウェブに接続され、ストリーミング再生されます。

重 要

- ストリーミングご利用中は、一時停止した場合でも通信は継続されますのでパケット通信料が発生します。

補 足

- マナーモード設定中（3-2ページ）に再生する場合は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されます。マナーモードを一時的に解除する場合は、（Yes）を押します。ただし、付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時は、マナーモードの一時解除確認画面が表示されません。

メディアプレイヤーの設定

■バックライトを設定する

メディアプレイヤー起動中のバックライトを設定することができます。
お買い上げ時は「**常時On**」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「メディアプレイヤー」を選択し、（選択）を押す

2 「設定」を選択し、（選択）を押す

3 「バックライト」を選択し、（選択）を押す

4 「常時On」、「常時Off」、「通常設定連動」のいずれかを選択し、（選択）を押す

▶バックライトが設定されます。

- 「**通常設定連動**」を選択した場合は、バックライト設定（8-8ページ）に従います。

■グラフィックスを設定する

メロディファイル再生中に画像またはアニメーションを表示させることができます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「メディアプレイヤー」を選択し、（選択）を押す

2 「設定」を選択し、（選択）を押す

3 「グラフィックス」を選択し、（選択）を押す

4 「プリセット画像」または「プリセットアニメ」を選択し、（選択）を押す

●グラフィックスを設定しない場合は「Off」を選択します。

5 設定したいファイルを選択し、（表示）を押す

6 （設定）を押す

▶グラフィックスが設定されます。

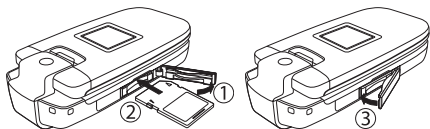
メモリカード

メモリカードをご利用になる前に

902Tで撮影した静止画や動画、ダウンロードした様々なファイルを保存することができます。保存したファイルは902Tで使用することができます。

- ●本書では、SDメモリカードを「メモリカード」と記載しています。
- ●メモリカードへのファイルの保存方法については、各機能の説明部分を参照してください。
- ●902Tでは、記憶容量が1Gバイト（※2005年5月現在）までのメモリカードに対応していますが、すべてのメモリカードの動作確認は行っておりません。従って、すべてのメモリカードの動作を保証するものではありません。

■メモリカードを取り付ける／取り外す

必ず電源を切った状態で行ってください。メモリカードのファイル消失の原因となります。
メモリカードを取り外すときは、取り付けるときとは逆の手順で行ってください。

1 メモリカードスロットのキャップを開ける（①）

2 メモリカードがロックするまで差し込む（②）

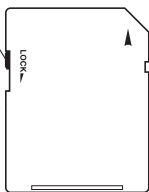
▶メモリカードをカチッと音がするまでゆっくり奥に差し込みます。

3 メモリカードスロットのキャップを閉じる（③）

重　要

- ●キャップを開くとき、キャップに無理な力を加えると、キャップが破損してしまう場合があります。
- ●メモリカードを取り外すときはメモリカードを指先で軽く押し込んでから手を離すと、メモリカードが少し飛び出てきます。
- ●メモリカードを取り外すとき、メモリカードが本体から飛び出す場合がありますのでご注意ください。

補　足

● ライトプロテクトタブについて
メモリカードには誤消去防止のために、側面にライトプロテクトタブが付いています。「LOCK」に切り替えると、ファイルの保存、編集、削除などができなくなります。

■メモリカードのアイコンについて

メモリカードを取り付けると、画面に以下のアイコンが表示されます。

アイコン	説明
	メモリカードが取り付けられている状態です。
	メモリカードが書き込み禁止状態です。

メモリカードの利用

メモリカードに保存したピクチャーやムービーなどのファイルを確認、編集することができます。また、本体のデータフォルダや電話帳などのファイルをメモリカードに移動したり、コピーすることができます（5-21、12-17、12-18ページ）。

- 電池残量が少ないとファイルの読み込みや書き込みができない場合があります。
- ファイルの読み込み中や書き込み中にメモリカードを取り外したり、電池パックを取り外したりしないでください。
- ファイルの種類によっては、各種処理に時間がかかる場合があります。
- メモリカード内のファイルは誤った使い方をしたり、事故や故障によって変化・消失する場合があります。大切なファイルはバックアップをとっておかれることをおすすめします。
- パソコンなどからメモリカードに取り込んだファイルは、表示／再生できない場合があります。
- データフォルダについては12章を参照してください。
- 902Tでは、メモリカード内に保存されているファイル名が33文字以上のファイルは表示されません。

11

メモリカード

■メモリカードのファイル管理

メモリカードには、以下のフォルダがあります。

フォルダ名	説明
DCIM	デジタルカメラモード（7-11ページ）で撮影した静止画が保存されています。
PRIVATE	—
VODAFONE	—
My Items※	本体のデータフォルダの各フォルダ（ピクチャー、ムービー、メロディ＆サウンド、Vアプリ、その他ファイル）と同じ構成です（12-2ページ）。
TS_Folder	—
Utility	電話帳やスケジュールをバックアップしたファイルが保存されています。

※ 902Tで閲覧することができるフォルダです。

■メモリカードをフォーマット（初期化）する

902Tでメモリカードを初期化することができます。

●メモリカードは推奨品をお使いください。

●ファイルの読み込み中や書き込み中にメモリカードを抜くと、ファイルの消失やカードの破損の原因となります。

●他の機器でフォーマット（初期化）したメモリカードは、902Tでは正常に使用できない場合があります。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、□（選択）を押す

2 「メモリ設定」を選択し、□（選択）を押す

3 「メモリカード」を選択し、□（選択）を押す

4 「フォーマット」を選択し、□（選択）を押す

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

6 □（Yes）を押す

▶メモリカードが初期化されます。

重　要

●メモリカードを初期化すると、メモリカードのファイルがすべて削除されます。

■保存されているファイルを確認する

メモリカード内のファイルを確認することができます。また、902Tの各機能からメモリカード内のファイルを確認することもできます。

メモリカードのファイルを確認する

1 待受画面で●を押し、◎で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

2 確認したいファイルがあるフォルダを選択し、（選択）を押す

▶フォルダ内のファイルが表示されます。

3 （メニュー）を押す

4 「メモリカード」を選択し、（選択）を押す

5 確認したいファイルを選択し、●を押す

▶ファイルが再生または表示されます。

補　足

●操作2、4のあと（メニュー）を押すとフォルダやファイルを編集することができます。データフォルダについては12章を参照してください。

各機能からメモリカードのファイルを呼び出す

メモリカード内のファイルを確認する場合は、902Tの各機能からデータフォルダ閲覧中にメモリカードに切り替えます。

1 各機能からデータフォルダを閲覧中、（メニュー）を押す

2 「メモリカード」を選択し、（選択）を押す

▶メモリカード内のファイルが呼び出されます。

補　足

●機能によっては、メモリカードから本体のデータフォルダに設定されたファイルがコピーされることがあります。

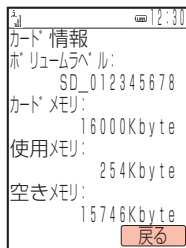
■メモリカードの使用状況を確認する

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す

2 「メモリ設定」を選択し、▭（選択）を押す

3 「メモリカード」を選択し、▭（選択）を押す

4 「メモリ容量確認」を選択し、▭（選択）を押す

▶メモリカードの使用状況画面が表示されます。

ファイルのバックアップ

本体からメモリカードへ電話帳のファイルやスケジュールのファイルをバックアップすることができます。また、バックアップしたファイルをメモリカードから本体に読込むこともできます。

■本体からメモリカードにバックアップする

1 待受画面で●を押し、◎で「ツール」を選択し、▭（選択）を押す

2 「バックアップ」を選択し、▭（選択）を押す

3 「バックアップ」を選択し、▭（選択）を押す

4 バックアップしたい項目を選択し、●を押す

▶チェックすると、項目の横に「☑」が表示されます。

●項目を複数選択する場合は、操作4を繰り返します。

5 ▭（メニュー）を押す

6 「バックアップ」を選択し、▭（選択）を押す

7 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

8 [-]（Yes）を押す

▶確認画面が表示されます。

9 [-]（Yes）を押す

▶自動的にオフラインに設定され、メモリカードへバックアップが開始されます。

- 電話帳に登録されている画像のバックアップを行わない場合は、[-]（No）を押します。
- スケジュールに登録されている当日以前のファイルのバックアップを行わない場合は、[-]（No）を押します。
- バックアップが完了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。

重　要

- メモリカードにバックアップしたファイルをパソコンなどで参照したり、書き換えたりしないでください。ファイルが破損するおそれがあります。

補　足

- すべての項目をチェックする場合は、操作4で[-]（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作4で[-]（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■メモリカードから本体にバックアップファイルを読込む

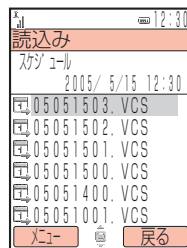
1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「ツール」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「バックアップ」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「読込み」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「電話帳」または「スケジュール」を選択し、[-]（選択）を押す

▶バックアップファイル一覧画面が表示されます。

5 読込みたいファイルを選択し、●を押す

6 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

7 ［-］（Yes）を押す

▶確認画面が表示されます。

8 ［-］（Yes）を押す

▶自動的にオフラインに設定され、電話帳またはスケジュールに登録されている内容がすべて削除され、本体へ読込みが開始されます。

- 電話帳またはスケジュールに登録されている内容を残したまま、追加登録する場合は、［-］（No）を押します。
- 読込みが完了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。

■バックアップファイルを削除する

1件削除する

1 バックアップファイル一覧画面（11-7ページ）より、削除したいファイルを選択し、［-］（メニュー）を押す

2 「一件削除」を選択し、［-］（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

3 ［-］（Yes）を押す

▶選択したバックアップファイルが削除されます。

全件削除する

1 バックアップファイル一覧画面（11-7ページ）より、［-］（メニュー）を押す

2 「全件削除」を選択し、［-］（選択）を押す

3 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

4 ［-］（Yes）を押す

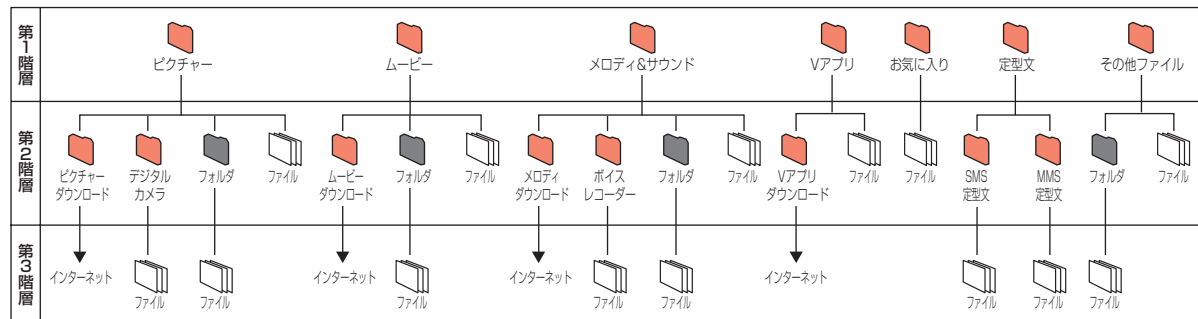
▶バックアップファイルが全件削除されます。

データ管理

データフォルダについて

撮影した静止画や動画や外部機器から受信したファイルやウェブからダウンロードしたファイルなどがデータフォルダに保存されます。保存したファイルは、壁紙や着信音パターンなどとして設定したり、メールに添付（20-7ページ）することができます。データフォルダには最大約10Mバイトまたは最大約500件まで保存することができます。

■データフォルダの構成について

902Tのデータフォルダは下図のような3階層になっています。

補　足

- フォルダとは、ファイルを種類別や目的別に管理しておくためのものです。
- はあらかじめ登録されているフォルダです。
- はお客様が作成、登録できるフォルダです（12-14ページ）。
- フォルダは第1階層と第2階層で、ファイルは第2階層と第3階層で管理します。
- ファイルは現在保存されているフォルダから他のフォルダへ移動することもできます（12-17ページ）。

■データフォルダに保存できるファイル

データフォルダには、フォルダ別に以下のファイルを保存することができます。

フォルダ名	ファイル形式（拡張子）	参照先
ピクチャー※1 デジタルカメラ※2	JPEG（.JPEG、.JPG、.JPE） GIF（.GIF） WBMP（.WBMP） PNG（.PNG）※3	12-4ページ
ムービー※1	MPEG4※4（.3GP、.3G2、.MP4）	12-5ページ
メロディ&サウンド※1 ボイスレコーダー※5	AMR（.AMR） SMF、SP-MIDI※4（.MID、.MIDI） SMAF（.MMF） XMF（.XMF0、.XMF1） MPEG4※4（.3GP）	12-6ページ
Vアプリ	Java（.JAD、.JAR）	27-2ページ
お気に入り	HTML、XHTML（.HTM、.HTML、.XML、.XHTML）	12-7ページ
定型文	、定型文ファイル	20-11ページ
その他ファイル※1	vCard（.VCF） vCalendar（.VCS） SVG（.SVG） Text（.TXT） 上記以外のファイル※6（上記以外の拡張子）	12-7、12-8ページ

※1　それぞれのフォルダ内にフォルダを作成することができます。

※2　DCF規格に準拠しないファイルは表示することができません。

※3　ダウンロードしたフレームやスタンプはPNG（.PNG）ファイルで保存されます。

※4　ファイルによっては再生できない場合があります。

※5　「**ボイスレコーダー**」フォルダに保存できるファイルタイプは、AMR（.AMR）ファイルのみです。

※6　902Tでは表示／再生することができません。

補足

- 902Tの修理やUSIMカードを交換した場合、本体やメモリカードに保存した着うた®やVアプリ、動画などのファイルがご利用できなくなる可能性があります。
  - ・着うた®は（株）ソニー・ミュージックエンタテインメントの登録商標です。
- 902Tでファイル名を変更したり、または作成したファイル名に「～」、「ー」が含まれていると、パソコン、PDAなどで開けない場合があります。また、ファイル名を変更することにより、開くこともあります。
- DCF規格とはJEIDA（日本電子工業振興協会）で標準化された「Design rule for Camera File system」規格の略称です。デジタルカメラ画像をさまざまな機器とやりとりできることを目的としています。
- メールに添付できるファイルについては20-7ページを参照してください。
- 赤外線通信で送信できるファイルやメモリカードに移動できるファイルは、プロパティの転送･外部転送の可･不可に従います。

保存されているファイルの確認

■各種ファイルを確認／再生する

1 **待受画面で●を押し、◎で「データフォルダ」を選択し、 (選択）を押す**

2 **確認したいフォルダを選択し、 (選択）を押す**

3 **確認したいファイルを選択し、●を押す**

▶ファイルを確認、再生することができます。

ダウンロードフォルダを選択した場合

「**ピクチャーダウンロード**」や「**ムービーダウンロード**」、「**メロディダウンロード**」、「**Vアプリダウンロード**」を選択した場合は、インターネット上のダウンロードサイトに接続します。

ダウンロードフォルダを選択し、 （メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

接続：インターネットに接続します。
カメラ／ムービー：静止画や動画を撮影します（7-8、7-16ページ）。
メモリカード：閲覧するフォルダを切り替えます。
リスト表示：表示方法を切り替えます（12-9ページ）。
フォルダ作成：フォルダを新規作成します。
並び替え：ファイルの一覧をさまざまな順序に並び替えます（12-20ページ）。

ピクチャーファイルを選択した場合

上の画面で （メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

表示：選択したファイルを表示します。
送信：以下の項目が表示されます。
- **メール送信-MMS**：メールに添付して送信します(20-2ページ)。
- **赤外線送信**：赤外線通信で送信します(13-3ページ)。

削除：以下の項目が表示されます。

- **一件**：選択しているファイルを削除します（12-16ページ）。
- **全件**：表示されているフォルダ内のすべてのファイルを削除します（12-16ページ）。

名称変更：選択しているファイルの名称を変更します（12-15ページ）。

複数選択：複数のファイルを選択し、コピーや移動、削除します（12-9ページ）。

スライドショー：フォルダ内にあるすべてのファイルを切り替えて表示します（12-20ページ）。

フォルダ管理：以下の項目が表示されます。

- **フォルダ作成**：フォルダを新規作成します（12-14ページ）。
- **フォルダ名変更**：フォルダの名称を変更します（12-14ページ）。
- **フォルダ削除**：フォルダごと削除します（12-15ページ）。
- **フォルダセキュリティ**：フォルダにセキュリティを設定します（12-19ページ）。

プロパティ：ファイル名、種類、画像サイズ、ファイルサイズ、保存・転送・外部転送の可・不可、作成日時、再生可否、参照使用情報を表示します。

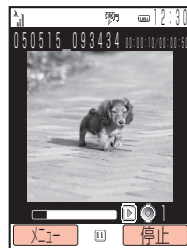
ズーム：選択しているファイルを拡大・縮小します。

フルスクリーン表示：表示または再生しているファイルを全画面表示します。

画像編集：表示または再生している画像を編集します（7-30ページ）。

サムネイル保存：「**デジタルカメラモード**」（7-11ページ）で撮影した静止画のサムネイルを保存します（7-35ページ）。

「**カメラ**」、「**メモリカード**」、「**リスト表示**」、「**並び替え**」についてはダウンロードフォルダを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。

ムービーファイルを選択した場合

上の画面で（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

再生：選択したファイルを再生します。

プロパティ：ファイルサイズ、再生時間、転送・外部転送の可・不可、種類、タイトル、アーティスト、著作権情報、作成日時、説明、再生可否、参照使用情報が表示されます。

ミュート：再生している音声がミュートになります。

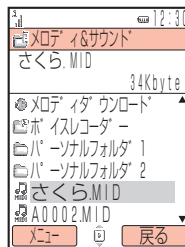
サーチタイム：再生開始時間を指定して、再生を開始することができます（10-8ページ）。

コントローラー非表示：再生時のアイコンなどを表示／非表示にします。

「**ムービー**」、「**メモリカード**」、「**リスト表示**」、「**並び替え**」についてはダウンロードフォルダを選択した場合(12-4ページ)を参照してください。
「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」、「**フルスクリーン表示**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。

補 足

● 再生中に(上下キー)で音量調節をすることができます。ただし、音量調整をするとミュートが自動的に解除されます。

メロディファイルを選択した場合

上の画面で(メニューキー)（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
録音：音声を録音します（15-21ページ）。
プロパティ：ファイル名、種類、タイトル、ファイルサイズ、保存・転送・外部転送の可・不可、作成日時、再生可否、参照使用情報が表示されます。
「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードフォルダを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。
「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」、「**フルスクリーン表示**」、「**拡大**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。
「**再生**」、「**ミュート**」、「**サーチタイム**」、「**コントローラー非表示**」についてはムービーファイルを選択した場合（12-5ページ）を参照してください。

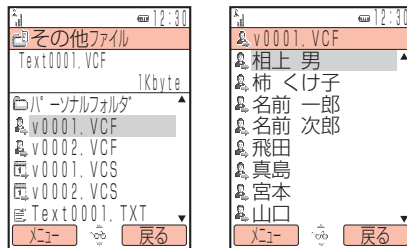
お気に入りファイルを選択した場合

上の画面で（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

ソート：以下の項目が表示されます。

- **タイトル**：タイトル順に並び替えます。
- **日付**　：日付順に並び替えます。

「**表示**」、「**削除**」、「**複数選択**」、「**名称変更**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。

vファイルを選択した場合

上の画面で（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

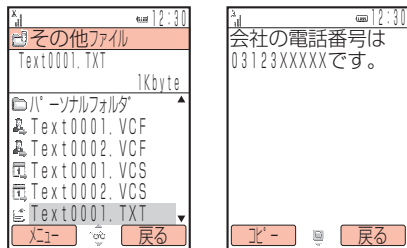
スケジュール登録／電話帳登録：選択したvファイルをスケジュールや電話帳に登録します（12-13ページ）。

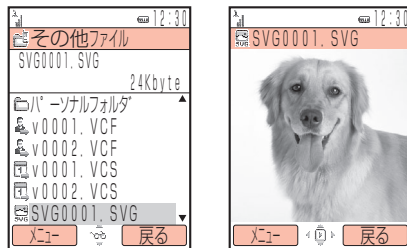
プロパティ：ファイル名、種類、ファイルサイズ、保存･転送･外部転送の可・不可、作成日時、再生可否が表示されます。

詳細：選択したvファイルの詳細画面が表示されます。

「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードフォルダを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。

「**表示**」、「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。

テキストファイルを選択した場合

左上の画面で（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードフォルダを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。
「**表示**」、「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。
「**プロパティ**」についてはvファイルを選択した場合（12-7ページ）を参照してください。
右上の画面で（コピー）を押すと、選択した文字列をクリップボードに貼り付けることができます（4-20ページ）。

SVGファイルを選択した場合

上の画面で（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
巻き戻し：動画を再生中に、再生位置を最初に戻します。
リセット：ファイルを読み込んだ直後の状態に戻します。
保存：本体またはメモリカードに保存します。
プロパティ：ファイル名、種類、タイトル、ファイルサイズ、説明、アニメーションタイム、変形・保存・転送・外部転送の可・不可、作成日時、再生可否が表示されます。
ガイダンス表示：再生時のアイコンなどを表示／非表示にします。
「**メモリカード**」、「**並び替え**」についてはダウンロードフォルダを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。
「**表示**」、「**送信**」、「**削除**」、「**名称変更**」、「**複数選択**」、「**フォルダ管理**」についてはピクチャーファイルを選択した場合（12-4ページ）を参照してください。

補足

- SVGファイルを再生中に◀◯▶を押すと、再生しているファイルを左または右に回転させることができます。また、▲◯▼を押すと再生しているファイルを拡大・縮小することができます。
- ファイルサイズによっては、再生できない場合があります。

ファイルを複数選択した場合

上の画面で（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
チェック／チェック解除：チェックしたり、チェックの解除をします。
削除：チェックした複数のファイルを削除します。
コピー：チェックした複数のファイルを本体やメモリカードの別のフォルダにコピーします（12-18ページ）。
移動：チェックした複数のファイルを本体やメモリカードの別のフォルダに移動します（12-17ページ）。
再生／表示：カーソルのあたっているファイルを再生、表示します。
全チェック／全チェック解除：表示されているフォルダ内のすべてのファイルをチェックしたり、すべてのチェックを解除することができます。

■データフォルダの表示方法を切り替える

「**ピクチャー**」、「**ムービー**」フォルダ内のファイル一覧画面をリスト表示とサムネイル表示に切り替えることができます。お買い上げ時は「**サムネイル表示**」に設定されています。

1. **待受画面で●を押し、◯で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す**
2. **確認したいフォルダを選択し、（選択）を押す**
3. **（メニュー）を押す**
4. **「リスト表示」を選択し、（選択）を押す**

▶ファイル一覧画面がリスト表示に切り替わります。
●「**リスト表示**」にしている場合は、「**サムネイル表示**」を選択します。

12

データ管理

■プロパティを確認する

1 待受画面で●を押し、◎で「データフォルダ」を選択し、[－]（選択）を押す

2 確認したいフォルダを選択し、[－]（選択）を押す

3 確認したいファイルを選択し、[－]（メニュー）を押す

4 「プロパティ」を選択し、[－]（選択）を押す

▶ファイルの詳細情報画面が表示されます。

■メモリの使用状況を確認する

データフォルダで使用しているメモリの使用状況を確認することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「データフォルダ」を選択し、[－]（選択）を押す

2 「メモリ容量確認」を選択し、[－]（選択）を押す

▶メモリ使用状況が表示されます。

ピクチャーファイルの利用

902Tの各機能からデータフォルダ内のピクチャーファイルを選択して、設定することができます。また、設定サイズに対して表示したい部分を移動、または拡大・縮小することができます。

1 各機能からデータフォルダを呼び出す

- 壁紙の設定については8-2ページを参照してください。
- 着信画像の設定については6-9、8-3ページを参照してください。
- TVコールの設定については6-7、6-8、6-9、6-14ページを参照してください。
- 電話帳の顔写真の設定については5-6ページを参照してください。

2 設定したいファイルを選択し、●を押す

3 ◎で画像の位置を調整し、●を押す

▶トリミングした画像が表示されます。

- 画像サイズの調整については7-31ページを参照してください。

4 [－]（設定）を押す

▶各機能にピクチャーが設定されます。

重　要

- アニメーションのGIFファイルを設定した場合は、実際の動作ではアニメーション表示されず一番始めの画像（静止画）のみ表示されます。

補　足

- 機能によっては、画像サイズの調整ができない場合があります。
- 操作2で[-]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  選択／**表示**／**メモリカード**（11-5ページ）／**リスト表示**（12-9ページ）／**並び替え**（12-20ページ）／**プロパティ**

ムービーやメロディファイルの利用

902Tの各機能からデータフォルダ内のムービーやメロディファイルを選択して、設定することができます。

1 各機能からデータフォルダを呼び出す

- 音の設定については9-6ページを参照してください。
- スケジュールアラーム音の設定については15-9ページを参照してください。
- アラーム音の設定については15-17ページを参照してください。
- 電話帳の音の設定については5-7、5-8、5-12、5-13ページを参照してください。

2 「ムービー」または「メロディ&サウンド」を選択し、[-]（選択）を押す

3 設定したいファイルを選択し、[●]を押す

- ムービーやメロディファイルを電話帳に設定する場合は、設定したいファイルを選択し、[●]を押すと、ムービーやメロディファイルが電話帳に設定されます。

4 [-]（設定）を押す

▶ 各機能にムービーやメロディファイルが設定されます。

補　足

●操作3で[メニューキー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
選択／**再生**／**メモリカード**（11-5ページ）／**リスト表示**（12-9ページ）／**並び替え**（12-20ページ）／**プロパティ**

12

データ管理

vファイルの利用

■vファイルについて

vファイルは、902Tの電話帳やスケジュールを他のvファイル対応ボーダフォン携帯電話やパソコンなどとやりとりし、相互で利用できるようにしたファイルタイプの総称です。vファイルは、メールに添付（20-7ページ）したり、赤外線通信（13-2ページ）、Bluetooth™通信（13-6ページ）、USB（13-15ページ）を利用して送受信することができます。また、メモリカードを利用して、他のメモリカード対応ボーダフォン携帯電話やパソコンなどとvファイルのやりとりをすることができます。

●パソコンなどでvファイルを利用するには、vファイルに対応するソフトウェアが必要となります。
●vファイルの内容によっては、ボーダフォン携帯電話やパソコンなどに取り込めない場合があります。
●他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどから受信したvファイルの内容によっては、902Tに取り込めない場合があります。
●vファイル内の文字数が多い場合は、一部のデータを送信または受信することができない場合があります。
●エクスポートまたはインポートするソフトによっては、vファイル内の文字が正しく表示されない場合があります。

■vファイルをデータフォルダに保存する

1 vファイルで保存したいファイルを表示する

●電話帳については5章を参照してください。
●スケジュールについては15章を参照してください。

2 [-]（メニュー）を押す

3 「エクスポート」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「データフォルダ」または「メモリカード」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ vファイルが保存されます。

■vファイルを各機能に取り込む

1 待受画面で[●]を押し、[◆]で「データフォルダ」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「その他ファイル」を選択し、[-]（選択）を押す

3 取り込みたいvファイルを選択し、[●]を押す

4 取り込みたい内容を選択し、[-]（メニュー）を押す

5 「電話帳登録」または「スケジュール登録」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 各機能にファイルが取り込まれます。
●vファイル内に複数のデータがある場合は、操作5のあと「**一件**」または「**全件**」を選択します。「**全件**」を選択した場合は、確認画面が表示され、[-]（Yes）を押すと各機能にファイルを取り込みます。

補　足
●顔写真が登録されているvファイルを電話帳に取り込む場合、W112×H112を超える顔写真は電話帳に登録することができません。

フォルダ／ファイルの編集

■新しいフォルダを作成する

「**ピクチャー**」フォルダや「**ムービー**」フォルダ、「**メロディ&サウンド**」フォルダ、「**その他ファイル**」フォルダ内に新しいフォルダを作成することができます。

1 各フォルダ内を表示中、（メニュー）を押す

- 「**ピクチャー**」フォルダについては12-4ページを参照してください。
- 「**ムービー**」フォルダについては12-5ページを参照してください。
- 「**メロディ&サウンド**」フォルダについては12-6ページを参照してください。
- 「**その他ファイル**」フォルダについては12-7、12-8ページを参照してください。

2 「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す

3 「フォルダ作成」を選択し、（選択）を押す

4 フォルダ名を入力し、を押す

▶フォルダが作成されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大32文字です。
- すでに登録されているフォルダ名と同じフォルダ名は登録することができません。
- 以下の半角記号や絵文字、「↵」は、フォルダ名に使用できません。[\/¥:;*?"<>|.]

■フォルダ名やファイル名を変更する

フォルダ名を変更する

1 編集したい作成したフォルダを選択し、を押す

- 「**ピクチャー**」フォルダについては12-4ページを参照してください。
- 「**ムービー**」フォルダについては12-5ページを参照してください。
- 「**メロディ&サウンド**」フォルダについては12-6ページを参照してください。
- 「**その他ファイル**」フォルダについては12-7、12-8ページを参照してください。

2 （メニュー）を押す

3 「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す

4 「フォルダ名変更」を選択し、（選択）を押す

5 フォルダ名を入力し、を押す

▶ フォルダ名が変更されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大32文字です。
- すでに登録されているフォルダ名と同じフォルダ名は登録することができません。
- 以下の半角記号や絵文字、「↵」は、フォルダ名に使用できません。[\/¥:;*?"<>|.]

ファイル名を変更する

1 待受画面でを押し、で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

2 変更したいファイルがあるフォルダを選択し、（選択）を押す

3 変更したいファイルを選択し、（メニュー）を押す

4 「名称変更」を選択し、（選択）を押す

5 ファイル名を入力し、を押す

▶ ファイル名が変更されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大32文字です。
- すでに登録されているファイル名と同じファイル名は登録することができません。
- 以下の半角記号や絵文字、「↵」は、ファイル名に使用できません。[\/¥:;*?"<>|.]

■フォルダやファイルを削除する

フォルダを削除する

1 削除したい作成したフォルダを選択し、を押す

- フォルダの選択方法については12-4ページを参照してください。

2 （メニュー）を押す

3 「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す

4 「フォルダ削除」を選択し、（選択）を押す

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

6 [-]（Yes）を押す

▶フォルダが削除されます。

ファイルを１件削除する

1 削除したいファイルを選択し、[-]（メニュー）を押す

●ファイルの選択方法については12-4ページを参照してください。

2 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「一件」を選択し、[-]（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

4 [-]（Yes）を押す

▶ファイルが1件削除されます。

補　足

●各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを削除しようとすると、操作4のあと削除確認画面が表示されます。また、削除した場合は、ファイルが設定されていた機能のピクチャーファイルやメロディファイルなどは、お買い上げ時の設定に戻ります。

ファイルを全件削除する

1 削除したいフォルダ内のファイルを選択し、[-]（メニュー）を押す

●ファイルの選択方法については12-4ページを参照してください。

2 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「全件」を選択し、[-]（選択）を押す

4 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

5 [-]（Yes）を押す

▶ファイルが全件削除されます。

補　足

- 各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを削除しようとすると、操作5のあと削除確認画面が表示されます。また、削除した場合は、ファイルが設定されていた機能のピクチャーファイルやメロディファイルなどは、お買い上げ時の設定に戻ります。

■ファイルを移動する

本体またはメモリカードに保存されているファイルを別のフォルダに移動することができます。

1 ファイルを選択中、［-］（メニュー）を押す

- ファイルの選択方法については12-4ページを参照してください。

2 「複数選択」を選択し、［-］（選択）を押す

3 移動したいファイルを選択し、［●］を押す

▶ チェックすると、ファイル名の横に「☑」が表示されます。
- ファイルを複数選択する場合は、操作3を繰り返します。

4 ［-］（メニュー）を押す

5 「移動」を選択し、［-］（選択）を押す

6 「本体」または「メモリカード」を選択し、［-］（選択）を押す

7 移動先のフォルダを選択し、［-］（選択）を押す

▶ 選択したファイルが移動されます。

重　要

- プロパティで転送および外部転送が「**不可**」となっているファイルは、移動元のデータフォルダ以外のフォルダに移動することができません。

補　足

- すべてのファイルをチェックする場合は､操作3で[メニューキー](メニュー) を押したあと､「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作3で[メニューキー]（メニュー) を押したあと､「**全チェック解除**」を選択します。
- 各種機能で設定されているピクチャーファイルやメロディファイルなどを移動しようとすると、操作7のあと移動確認画面が表示されます。また、移動した場合は、ファイルが設定されていた機能のピクチャーファイルやメロディファイルなどは、お買い上げ時の設定に戻ります。

■ファイルをコピーする

本体またはメモリカードに保存されているファイルを別のフォルダにコピーすることができます。

1 ファイルを選択中、[メニューキー]（メニュー）を押す

● ファイルの選択方法については12-4ページを参照してください。

2 「複数選択」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

3 コピーしたいファイルを選択し、[決定キー]を押す

▶ チェックすると、ファイル名の横に「☑」が表示されます。

● ファイルを複数選択する場合は､操作3を繰り返します。

4 [メニューキー]（メニュー）を押す

5 「コピー」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

6 「本体」または「メモリカード」を選択し､[メニューキー]（選択）を押す

7 コピー先のフォルダを選択し、(選択) を押す

▶ 選択したファイルがコピーされます。

重　要

●プロパティで転送が「**不可**」となっているファイルはコピーすることができません。

補　足

●すべてのファイルをチェックする場合は、操作3で(メニュー) を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
●すべてのチェックを解除する場合は、操作3で（メニュー) を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■フォルダにセキュリティを設定する

フォルダにセキュリティを設定すると、フォルダを選択したときに、操作用暗証番号の入力画面が表示されます。

1 セキュリティを設定したいフォルダを選択し、●を押す

●フォルダの選択方法については12-4ページを参照してください。

2 （メニュー）を押す

3 「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す

4 「フォルダセキュリティ」を選択し、（選択）を押す

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

6 「On」または「Off」を選択し、(選択) を押す

▶ フォルダにセキュリティが設定されます。

■その他の編集機能

スライドショーを再生する

ピクチャーファイルを自動的に切り替えて表示させることができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

2 「ピクチャー」を選択し、（選択）を押す

3 再生したいファイルを選択し、（メニュー）を押す

4 「スライドショー」を選択し、（選択）を押す

▶ピクチャーファイルが約2秒ごとに切り替わって表示されます。

●（戻る）を押すと、ファイル選択画面に戻ります。

ファイルを並び替える

1 並び替えたいフォルダを選択し、●を押す

●フォルダの選択方法については12-4ページを参照してください。

2 （メニュー）を押す

3 「並び替え」を選択し、（選択）を押す

4 並び替え方法を選択し、（選択）を押す

ファイル名　：ファイル名順（半角カナ→半角英字→半角数字→半角記号→ひらがな→全角カナ→全角英字→全角数字→全角記号→漢字）に並び替えます。
ファイルサイズ：ファイルサイズが大きい順に並び替えます。
日付降順　：作成日時が新しい順に並び替えます。
日付昇順　：作成日時が古い順に並び替えます。

▶ファイルが並び替えられます。

重　要

●メモリカード内のファイルは並び替えることができません。

データ通信

赤外線通信について

■赤外線通信をご利用になる前に

赤外線通信を利用して電話帳やスケジュール、撮影した静止画などを赤外線通信対応機や赤外線通信対応のパソコンなどと、送受信したり、902Tをテレビなどのリモコンとして利用することができます。
赤外線通信で利用できるファイルは以下の通りです。

送受信条件 / ファイル	1件送信（13-3ページ）	1件受信（13-3ページ）	複数件受信（13-3ページ）
電話帳	○	○	○
ご自分の電話番号	○	―	―
スケジュール	○	○	○
データフォルダ（本体）	○	○	○
データフォルダ（メモリカード）	○	○	○

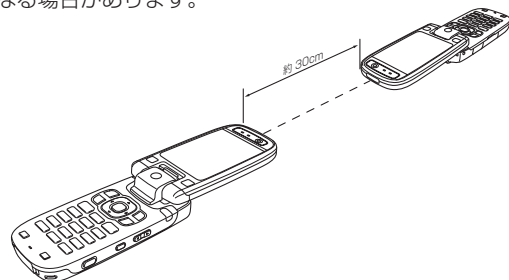
重　要

- 赤外線通信を利用しているときは、自動的にオフラインモード（3-3ページ）になります（ただし、ダイヤルアップ接続時を除く）。送信が完了すると、オフラインモードは解除されます。
- 赤外線通信のダイヤルアップ接続中またはデータ転送中にUSBケーブルが接続されると赤外線通信が終了します。

補　足

- 902Tの赤外線通信は、IrMC1.1 に準拠しています。ただし、相手側の機器がIrMC1.1に準拠していても、機器の仕様などにより、送受信することができない場合があります。

■赤外線通信利用時のご注意

- 902Tと赤外線通信対応機などを約30cm以内に近づけ、両方の赤外線ポートがまっすぐ向き合うようにしてください。また、間に物を置かないようにしてください。
- ファイルの送受信が完了するまで、赤外線ポートを向き合わせたまま動かさないでください。
- 直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に通信できない場合があります。
- 赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。赤外線通信失敗の原因になる場合があります。

■赤外線通信の利用

赤外線通信を利用して、ファイルを1件送信したり、ファイルを受信することができます。また、赤外線通信を利用して、ダイヤルアップ接続をすることもできます。赤外線通信中は、画面上に「 」が表示されます。

ファイルを１件送信する

1 赤外線通信が利用できる機能を呼び出す

- 電話帳やご自分の電話番号の呼び出しかたについては5章を参照してください。
- スケジュールの呼び出しかたについては15章を参照してください。
- データフォルダの呼び出しかたについては12章を参照してください。
- メモリカードの呼び出しかたについては11章を参照してください。
- カメラの呼び出しかたについては7章を参照してください。
- メディアプレイヤーの呼び出しかたについては10章を参照してください。

2 送信したいファイルを選択し、（メニュー）を押す

3 「送信」を選択し、（選択）を押す

- 電話帳やスケジュールから呼び出した場合は「**エクスポート**」を選択します。
- ご自分の電話番号から呼び出した場合は「**名刺送信**」を選択します。

4 受信側の機器を赤外線受信待機状態にする

5 「赤外線送信」を選択し、（選択）を押す

▶ 自動的にオフラインモードになり、送信が始まります。
- 送信が完了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。

重　要

- データフォルダに保存されている転送不可に設定されているファイルやお気に入りのファイル、定型文のファイルは送信することができません。
- メモリカードのファイルを送信しているときに、メモリカードを抜くと、ファイルの消失やメモリカードの破損の原因となります。

ファイルを1件または複数件受信する

1 待受画面でを押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「外部接続」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「赤外線通信」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「赤外線受信」を選択し、[-]（選択）を押す

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶ 自動的にオフラインモードになり、赤外線受信待機状態になります。

6 送信側の機器で赤外線送信の操作をする

7 「保存」を選択し、[-]（選択）を押す

● ファイルの受信を拒否する場合は、「**破棄**」を選択します。
● 電話帳またはスケジュールのファイルを受信した場合は、「**保存**」を選択すると、電話帳またはスケジュールに登録されます。

8 保存先を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 受信したファイルが保存されます。
● ファイルを複数件受信する場合は、操作7、8を繰り返します。

補　足

● vファイルによっては、一部の情報が受信できない場合があります。
● vファイル以外のファイルを受信した場合は、ファイル形式（拡張子）によって登録されるフォルダが異なります（12-3ページ）。また、データフォルダに登録されているファイルと同じ名前のファイルを受信した場合は、受信したファイル名が変更される場合があります。

赤外線を使ってバックアップする

赤外線通信対応のパソコンなどと赤外線を使って、データフォルダのファイル（転送・外部機器転送が不可のファイルを除く）をバックアップすることができます。

1 「ファイルを1件または複数件受信する」（13-3ページ）の操作5より、パソコン側でバックアップの操作をする

▶ バックアップが開始されます。

赤外線を使ってバックアップファイルを読込む

赤外線通信対応のパソコンなどと赤外線を使って、バックアップしたファイルを読込むことができます。

1 「ファイルを1件または複数件受信する」（13-3ページ）の操作5より、パソコン側で読込みの操作をする

▶ 読込みが開始されます。

赤外線通信を使ってダイヤルアップ接続をする

902Tをパソコンなどと赤外線通信を行い、インターネットなどにアクセスすることができます。パソコンなどの赤外線通信対応機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になるパソコンなどの「取扱説明書」を参照してください。

1 「ファイルを1件または複数件受信する」（13-3ページ）の操作3より、「ダイヤルアップ接続」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「On」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ ダイヤルアップ接続待機状態になります。

重　要

- ダイヤルアップ接続待機状態でTVコールがかかってきた場合は、ダイヤルアップ接続待機状態が解除されます。

重　要

- ダイヤルアップ接続待機状態と赤外線受信待機状態を同時に設定することはできません。また、ダイヤルアップ接続待機状態では、赤外線送信は行えません。

補　足

- 発信した相手から応答がない場合は、同じ相手には約3分以内に3回までしか発信されません。

■赤外線リモコン機能

902Tをテレビなどのリモコンとして利用することができます。

●この機能をご利用になるには、別途、赤外線リモコン機能に対応したVアプリ（27-2ページ）が必要です。

●902Tの赤外線ポートを操作する機器（テレビ・ビデオなど）のリモコン受信部に向けて送信してください。リモコン操作できる距離は、約5mです。また、間に物を置かないようにしてください。ただし、操作する機器や周囲の明るさなどによりリモコン操作できる距離が変わります。

●直射日光が当たっている場所や蛍光灯の真下、赤外線装置の近くでは、正常に操作できない場合があります。

●赤外線ポートが汚れているときは、傷がつかないように柔らかい布で拭き取ってください。正常に操作できない場合があります。

Bluetooth™について

Bluetooth™とはBluetooth™対応機やBluetooth™を搭載したパソコンなどと、ケーブルを使用することなく、電話帳やスケジュール、データフォルダのファイルを送受信したり、またハンズフリー対応機器を使用して、ハンズフリー通話をすることができる技術です。

■Bluetooth™通信をご利用になる前に

Bluetooth™通信の取り扱いについて

- ●ワイヤレスLANやBluetooth™対応機器が使用する2.4GHz帯は様々な機器が共有して使用する電波帯です。そのためBluetooth™対応機器は同じ電波帯を使用する機器からの影響を最小限に抑えるための技術を使用していますが、場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- ●通信機器間の距離や障害物、電波状況、Bluetooth™対応機器により通信速度や通信距離は異なります。

主な仕様

通信方式	Bluetooth™ 標準規格 Ver.1.1準拠
出力	Bluetooth™ 標準規格 Power Class2
見通し通信距離※1	約 10 m以内
対応プロファイル※2	HFP(Hands-Free Profile) HSP(Headset Profile) DUN(Dialup Networking Profile) SPP(Serial Port Profile) OPP(Object Push Profile) FTP(File Transfer Profile)※3
使用周波数帯	2.4GHz（2.402GHz～2.480GHz）

※1　通信機器間の障害物や電波状況などにより変化します。
※2　Bluetooth™対応機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth™標準規格で定められています。
※3　サーバー機能のみサポートされています。

周波数について

902TのBluetooth™機能は、2.4GHz帯の2.402GHzから2.480GHzまでの周波数を利用しますが、他の無線機器も同じ周波数を使用していることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

- ●902TのBluetooth™機能の使用周波数は2.4GHzです。この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 万一、902Tと「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに902Tの使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
2. 不明な点その他お困りのことが起きたときは**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。

2.4FH1

この無線機器は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

■Bluetooth™通信利用時のご注意

●902TはすべてBluetooth™対応機器との接続動作を確認したものではありません。従って、すべてのBluetooth™対応機器との動作を保証するものではありません。
●無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth™の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth™によるデータ通信を行う際はご注意ください。
●Bluetooth™通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社は一切の責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
●Bluetooth™通信のダイヤルアップ接続中またはデータ転送中などにUSBケーブルが接続されるとBluetooth™通信が終了します。

■Bluetooth™通信の利用

Bluetooth™を設定する

Bluetooth™対応機器からBluetooth™接続できるように設定することができます。また、Bluetooth™接続待機状態になると、画面上に「 」が表示されます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「外部接続」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「Bluetooth」を選択し、▭（選択）を押す**

4 **「On/Off設定」を選択し、▭（選択）を押す**

5 **「On」を選択し、▭（選択）を押す**

▶Bluetooth™接続待機状態になります。
●Bluetooth™接続待機状態を解除する場合は「**Off**」を選択します。

Bluetooth™対応機器を検索して登録する

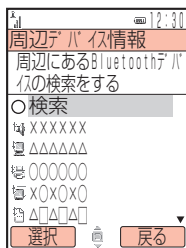
接続したいBluetooth™対応機器が周辺デバイス情報リストに登録されていない場合は、Bluetooth™対応機器を検索して登録することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、☐（選択）を押す

2「外部接続」を選択し、☐（選択）を押す

3「Bluetooth」を選択し、☐（選択）を押す

4「周辺デバイス情報」を選択し、☐（選択）を押す

▶ 周辺デバイス情報リスト画面が表示されます。

5「検索」を選択し、☐（選択）を押す

▶ 902Tの検索に応答した機器の機器種別アイコンと機器名称が表示されます。
機器種別アイコンは以下の通りです。

アイコン	説明	アイコン	説明
	パソコン		オーディオ機器
	携帯電話		周辺機器
	LAN		プリンタ
	ヘッドセット		その他
	ハンズフリー		

6 登録したい機器を選択し、☐（選択）を押す

7 PINコード（4～16桁）を入力し、☐（OK）を押す

▶ Bluetooth™対応機器と接続されると、周辺デバイス情報リストに登録されます。

● 902TとBluetooth™対応機器で同じPINコード（4～16桁）を入力してください。

重　要

● PINコード（4～16桁）の入力はセキュリティ確保のため、約30秒以内に入力してください。

補　足

- 1回で検索できる機器は、最大8件です。
- 機器名称が取得できない場合は、機器のデバイスアドレスが表示されます。
- 周辺デバイス情報リストに登録できるBluetooth™対応機器は、最大20件です。

信頼デバイスを設定する

登録したBluetooth™対応機器を信頼デバイスに設定すると、信頼デバイスに設定したBluetooth™対応機器から接続要求があった場合は、接続確認を行わずに接続することができます。
周辺デバイスの登録時は「**Off**」に設定されています。

1 周辺デバイス情報リスト画面（13-8ページ）より、設定したい機器を選択し、□（選択）を押す

- 機器が登録されていない場合は、「**検索**」を選択したあと、機器を選択してください。

2 「信頼デバイス設定」を選択し、□（選択）を押す

3 「On」を選択し、□（選択）を押す

▶ 信頼デバイスとして設定されます。

ファイルを1件送信する

登録されている電話帳やスケジュールをBluetooth™通信を利用して、送信することができます。

1 Bluetooth™通信が利用できる機能を呼び出す

- 電話帳やご自分の電話番号の呼び出しかたについては5章を参照してください。
- スケジュールの呼び出しかたについては15章を参照してください。

2 送信したいファイルを選択し、□（メニュー）を押す

3 「エクスポート」を選択し、□（選択）を押す

- ご自分の電話番号から呼び出した場合は「**名刺送信**」を選択します。

4 「Bluetooth送信」を選択し、□（選択）を押す

▶ 自動的にオフラインモードになります。

5 送信先の機器を選択し、 (選択)を押す

▶ 送信が始まります。
● 送信が完了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。
● 送信先の機器が登録されていない場合は、「**検索**」を選択したあと、送信先の機器を選択してください。

補　足
● 受信先の機器の設定によっては、操作5のあと、PINコード（4～16桁）の入力画面が表示される場合があります。

ファイルを受信する

Bluetooth™の設定（13-7ページ）を「**On**」にしている場合に、ファイルを受信することができます。

1 接続要求を受ける

▶ 確認画面が表示されます。

2 (Yes)を押す

▶ 自動的にオフラインモードになります。
● 送信側に902Tのデバイス情報が登録されていない場合は、PINコード（4～16桁）の入力画面が表示されます。902TとBluetooth™対応機器で同じPINコード（4～16桁）を入力してください。

3 「保存」を選択し、 (選択)を押す

▶ 受信したファイルが登録されます。
● ファイルを複数件受信する場合は、操作3を繰り返します。
● 受信が完了すると、自動的にオフラインモードが解除されます。
● ファイルの受信を拒否する場合は、「**破棄**」を選択します。
● 電話帳またはスケジュールのファイルを受信した場合は、「**保存**」を選択すると、電話帳またはスケジュールに登録されます。
● vファイル以外のファイルを受信した場合は、操作2のあと、自動的にデータフォルダに保存されます。

補　足

- ファイルを受信する場合は、接続要求を受ける前に待受画面にしてから操作を行ってください。
- vファイルによっては、一部の情報が受信できない場合があります。
- vファイル以外のファイルを受信した場合は、ファイル形式（拡張子）によって登録されるフォルダが異なります（12-3ページ）。また、データフォルダに登録されているファイルと同じ名前のファイルを受信した場合は、受信したファイル名が変更される場合があります。

ハンズフリー対応機器と接続する

ハンズフリー対応機器からBluetooth™接続できるように設定することができます。

1 周辺デバイス情報リスト画面（13-8ページ）より、ハンズフリー対応機器を選択し、（選択）を押す

- ハンズフリー対応機器が登録されていない場合は、「**検索**」を選択したあと、ハンズフリー対応機器を選択し、周辺デバイス情報リストへ登録してください。

2 「接続」を選択し、（選択）を押す

▶ハンズフリー対応機器と接続要求待機状態になります。

重　要

- ハンズフリー通話をご利用になる前に、ハンズフリー対応機器を検索して接続を行ってください。

補　足

- ハンズフリー対応機器の設定によっては、操作2のあと、PINコード（4〜16桁）の入力画面が表示される場合があります。
- ハンズフリー対応機器と接続中に着信があった場合、902Tとハンズフリー対応機器の両方からハンズフリー専用着信音が鳴動する場合があります。

ハンズフリー対応機器との接続を解除する

1 「ハンズフリー対応機器と接続する」（13-11ページ）の操作 1 より、「切断」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ ハンズフリー対応機器との接続要求待機状態が解除されます。

Bluetooth™通信を使ってダイヤルアップ接続をする

Bluetooth™の設定（13-7ページ）を「On」にしている場合に、Bluetooth™通信を利用して、インターネットなどにアクセスすることができます。Bluetooth™通信対応機器のモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になるパソコンなどの「取扱説明書」を参照してください。

1 接続要求を受ける

▶ 確認画面が表示されます。

2 [-]（Yes）を押す

3 PINコード（4〜16桁）を入力し、[-]（OK）を押す

▶ ダイヤルアップ接続機器からの接続要求待機状態になります。

●902TとBluetooth™対応機器で同じPINコード（4〜16桁）を入力すると接続されます。

補　足

●発信した相手から応答がない場合は、同じ相手には約3分以内に3回までしか発信されません。

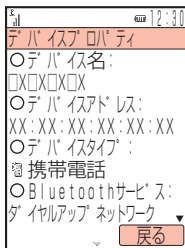
■Bluetooth™の設定

Bluetooth™に関して各種の設定をすることができます。

登録している機器のプロパティを確認する

1 周辺デバイス情報リスト画面（13-8ページ）より、詳細を確認したい機器を選択し、［-］（選択）を押す

2 「デバイスプロパティ」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ 周辺機器の詳細が表示されます。

登録している機器名称を編集する

登録している機器の名称を編集することができます。

1 周辺デバイス情報リスト画面（13-8 ページ）より、名称を編集したい機器を選択し、［-］（選択）を押す

2 「名称変更」を選択し、［-］（選択）を押す

3 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

4 機器名称を入力し、［●］を押す

▶ 機器名称が設定されます。

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●登録可能文字数は、最大24文字 です。

登録している機器を削除する

1 周辺デバイス情報リスト画面（13-8ページ）より、削除したい機器を選択し、［-］（選択）を押す

2 「削除」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ 機器が削除されます。

■マイデバイスの設定

公開の設定をする

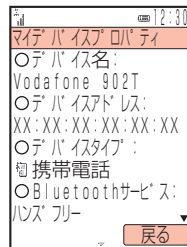
902Tを他のBluetooth™対応機器へ公開するかしないかの設定をすることができます。
お買い上げ時は「**公開**」に設定されています。

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「設定」を選択し、(選択)を押す
2 「外部接続」を選択し、(選択)を押す
3 「Bluetooth」を選択し、(選択)を押す
4 「マイデバイス設定」を選択し、(選択)を押す
5 「公開設定」を選択し、(選択)を押す
6 「公開」または「非公開」を選択し、(選択)を押す

補 足
- 公開設定を「**非公開**」にしていても、接続要求を受ける場合があります。

自機情報を確認する

1 「公開の設定をする」(左記)の操作5より、「マイデバイス」を選択し、(選択)を押す
2 「マイデバイスプロパティ」を選択し、(選択)を押す

▶ 自機情報が表示されます。

自機名称を編集する

お買い上げ時は「**Vodafone 902T**」に設定されています。

1 「公開の設定をする」(左記)の操作5より、「マイデバイス」を選択し、(選択)を押す
2 「名称変更」を選択し、(選択)を押す
3 操作用暗証番号(1-24ページ)を入力する

4 自機名称を入力し、●を押す

▶ 自機名称が設定されます。
● 文字の入力方法については4章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大24文字 です。

ハンズフリー設定をする

ハンズフリー対応機器接続中に、ハンズフリー対応機器を使用して電話の発着信をする際は「**ハンズフリーモード**」に設定してください。
お買い上げ時は「**ハンズフリーモード**」に設定されています。

1 「公開の設定をする」（13-14ページ）の操作5より、「ハンズフリー設定」を選択し、（選択）を押す

2 「ハンズフリーモード」を選択し、（選択）を押す

▶ ハンズフリーモードが設定されます。
● 電話の発着信をする際に902Tを持って通話したい場合は、「**プライベートモード**」を選択します。

USBについて

パソコンと902TをUSBケーブルで接続し、ファイルの送受信をすることができます。また、パソコン上で902Tのデータフォルダ内情報を確認することができます。

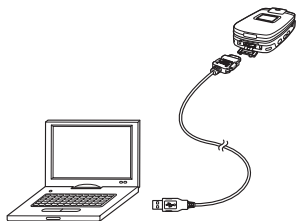
■USBをご利用になる前に

● 902TとパソコンをUSBケーブルで接続する前に、USBホストドライバおよびMy Mobileをインストールする必要があります。インストール手順などの詳細については、CD-ROM（付属）のMy Mobileのクイックガイドを参照してください。
● ご利用いただけるパソコンの動作環境については、CD-ROM（付属）のMy Mobileのクイックガイドを参照してください。
● パソコンとUSBケーブルの接続については、CD-ROM（付属）のMy Mobileのクイックガイドを参照してください。
● 902TとパソコンをUSBケーブルで接続する場合は、必ずUSBケーブルのプラグをパソコンのUSBコネクタに直接差し込んでください。
● 902TとパソコンをUSBケーブルで接続した場合は、必ず902Tを開いた状態で接続待機状態（13-16ページ）にしてから、パソコン側で操作を行ってください。
● パソコン側でスケジュールの同期を行った場合、2000年以前のスケジュールは同期できません。
● パソコン側のアドレス帳やスケジュールに「¥」などを含むデータがあると、同期が失敗したり、空白になったりする場合があります。

■USBの利用

ファイル転送の待機状態にする

902Tとパソコンを USBケーブルで接続し、ファイル転送を待機する状態にすることができます。

1 902TとパソコンをUSBケーブルで接続する

2 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、（選択）を押す

3 「外部接続」を選択し、（選択）を押す

4 「USB」を選択し、（選択）を押す

5 「データ転送」を選択し、（選択）を押す

▶自動的にオフラインモードになり、接続待機状態になります。

ファイルを送信する

パソコン側からの操作で902Tのデータフォルダのファイルをパソコン側に送信することができます。

1 接続待機状態（左記）より、パソコン側で受信の操作をする

ファイルを受信する

パソコン側から送信されたファイルを902Tで受信することができます。受信したファイルをデータフォルダに保存することができます。

1 接続待機状態（左記）より、パソコン側で送信の操作をする

902Tからパソコンにバックアップをする

902Tに登録されているデータフォルダのファイルをパソコンにバックアップをすることができます。

1 接続待機状態（左記）より、パソコン側でバックアップの操作をする

2 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶バックアップが開始されます。

パソコンから902Tにバックアップファイルを読込む

パソコンに保存されているバックアップファイルを902Tに読込むことができます。

1 接続待機状態（13-16ページ）より、パソコン側で読込みの操作をする

2 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶ 読込みが開始されます。

補　足

● 読込むバックアップファイルによってはすべてのデータを読込むことができない場合があります。

USBを使ってダイヤルアップ接続をする

902TをパソコンなどとUSB接続を行い、インターネットなどにアクセスすることができます。パソコンなどのモデム設定や操作のしかたについては、ご使用になるパソコンなどの取扱説明書を参照してください。

充電機能を利用する

パソコンと902TをUSBケーブルで接続したときの充電機能を設定することができます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す

2 「外部接続」を選択し、▭（選択）を押す

3 「USB」を選択し、▭（選択）を押す

4 「電池充電」を選択し、▭（選択）を押す

5 「On」または「Off」を選択し、▭（選択）を押す

On：USBケーブルを接続した場合に充電を開始します。
Off：USBケーブルを接続しても充電されません。
▶ 充電機能が設定されます。

重　要

- 電源を切った状態で、充電をすることはできません。
- パソコンとの接続環境によっては、充電できない場合があります。
- 充電機能を「**On**」にしていて、902Tとパソコンを USBケーブルで接続している場合は、データ通信を行っていない状態でもパソコンのバッテリーが消耗します。
- 充電機能を「**Off**」にしていて、902Tとパソコンを USBケーブルで接続している場合は、データ通信を行っていない状態でも902Tのバッテリーが消耗します。

補　足

- USBケーブルを使用して充電すると、急速充電器やシガーライター充電器を使用した充電時間より、充電に時間がかかる場合があります。

セキュリティ

操作用暗証番号の変更

お買い上げ時は「**9999**」またはご契約時にお決めいただいた4桁の番号が設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、⊡（選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、⊡（選択）を押す**

3 **「暗証番号変更」を選択し、⊡（選択）を押す**

4 **現在の操作用暗証番号を入力する**

5 **新しい操作用暗証番号を入力する**

6 **確認のためにもう一度新しい操作用暗証番号を入力する**

▶操作用暗証番号が変更されます。

補　足

●操作用暗証番号は忘れないように、別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

PINコード設定

■PIN1コードを設定する

USIMカードを本体に取り付けて電源を入れたときにPIN1コード（1-5ページ）を入力して照合を行うかどうかを設定することができます。第三者による902Tの無断使用を防ぐため「**有効**」にすることをおすすめします。
お買い上げ時は「**無効**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、⊡（選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、⊡（選択）を押す**

3 **「PIN1設定」を選択し、⊡（選択）を押す**

4 **「有効」または「無効」を選択し、⊡（選択）を押す**

▶PIN1コードが設定されます。
●設定を変更した場合は、PIN1コードを入力します。

■PINコードを変更する

USIMカードの暗証番号（PIN1／PIN2コード）を変更することができます。

●PIN1コードを変更する場合は、PIN1設定（14-2ページ）を「**有効**」にしてください。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、（選択）を押す**

3 **「PIN1変更」または「PIN2変更」を選択し、（選択）を押す**

4 **現在のPIN1コードまたはPIN2コード（1-5ページ）を入力し、（決定）を押す**

5 **新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、（決定）を押す**

6 **確認のためにもう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、（決定）を押す**

▶PINコードが変更されます。

補　足

●PINコードは忘れないように、別にメモなどに取り、他人に知られないように保管してください。

■PINロックを解除する

PIN1／PIN2コードの入力を3回続けて間違えるとPIN1／PIN2ロックが設定され、902Tの使用が制限されます。PIN1／PIN2ロックはPINロック解除コード（PUKコード）を入力すると、解除することができます。PINロック解除コード（PUKコード）については、**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。

1 **PIN1／PIN2ロックが設定されている状態でPINコードの入力が必要な操作をする**

2 **PINロック解除コード（PUKコード）を入力する**

3 **新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、（決定）を押す**

4 **確認のためにもう一度新しいPIN1コードまたはPIN2コードを入力し、（決定）を押す**

重 要

- PINロック解除コード（PUKコード）の入力を10回続けて間違うとUSIMカードがロックされます。USIMカードがロックされた場合は、解除することはできません。**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。

無断で利用されたくないとき（本体操作ロック）

操作用暗証番号を入力しない限り、ボタン操作を行えないように設定することができます。本体操作ロックを「**On**」にすると待受画面に「」と「**本体操作ロック**」が表示されます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

■本体操作ロックを設定する

1 **待受画面で●を押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、（選択）を押す**

3 **「本体操作ロック」を選択し、（選択）を押す**

4 **操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する**

5 **「On」を選択し、（選択）を押す**

▶本体操作ロックが設定されます。

重　要

- 本体操作ロックの設定を「**Off**」にするまで、電源を入れるたびにボタン操作が禁止されます。
- 以下の場合は、本体操作ロックを設定することはできません。
  - ・Bluetooth™起動中
  - ・赤外線通信起動中
- 操作用暗証番号を入力し、本体操作ロックを一時解除してもBluetooth™の起動設定をすることはできません。本体操作ロックの設定を「**Off**」にしてください。
- 本体操作ロック中はマルチステレオイヤホンマイクからワンタッチで電話をかけることはできません。

補　足

- 本体操作ロックの設定を「**On**」にしても以下の操作は行うことができます。
  - ・電源を入れる／切る
  - ・本体操作ロックの一時解除
  - ・110番(警察)、119番(消防)、118(海上保安本部)へ電話をかける
  - ・電話を受ける（オープン通話、エニーキーアンサーは無効）
  - ・アラームの停止（15-19ページ）
  - ・スケジュールのアラーム停止（15-14ページ）
  - ・応答保留（2-6、6-4ページ）
  - ・転送電話（17-3ページ）
  - ・着信拒否（2-8、6-5ページ）
  - ・着信中の着信音量調節（2-5、6-3ページ）
  - ・待受アプリの一時停止（28-2ページ）
- 本体操作ロックを解除するには、一時的に解除してから本体操作ロックの設定を「**Off**」にしてください。
- 本体操作ロック中は、お知らせ一発メニュー（1-12ページ）は表示されません。
- 本体操作ロックを「**On**」にしても一時的に解除すると待受画面の「」と「**本体操作ロック**」は表示されません。

14
セキュリティ

電話の着信制限

■拒否電話リストに登録する

受けたくない相手からの電話を拒否電話リストに登録し、着信を拒否することができます。拒否電話リストには、最大20件登録することができます。

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「設定」を選択し、(選択)を押す

2「セキュリティ設定」を選択し、(選択)を押す

3「着信拒否設定」を選択し、(選択)を押す

4「指定番号拒否」を選択し、(選択)を押す

5「On」を選択し、(選択)を押す

●着信拒否を設定しない場合は、「Off」を選択します。

6 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

7 (メニュー)を押す

●拒否電話リストに1件も登録されていない場合は、(追加)を押したあと操作9に進んでください。

8「追加」を選択し、(選択)を押す

9 登録方法を選択し、(選択)を押す

電話帳：登録したい電話帳を選択し、(●)を押します（5-19ページ）。
ダイヤル入力：電話番号を入力したあと、(決定)を押すと、拒否電話リストに電話番号が登録されます。
通話履歴：通話履歴から登録します。

10 登録したい電話番号を選択し、(●)を押す

11 (設定)を押す

▶拒否電話リストに登録されます。

重 要

●拒否電話リストに110番（警察）、119番（消防）、118番（海上保安本部）は登録できません。

補 足

●操作8で、以下の操作を行うこともできます。
詳細／編集／削除

14

セキュリティ

■特定の着信を拒否する

非通知や公衆電話などからの着信を拒否するように設定することができます。また、受けたくない電話番号を拒否電話リスト（14-6ページ）に登録し、登録した電話番号からの着信を受けないようにすることもできます。
お買い上げ時はすべて「Off」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、(選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、(選択）を押す**

3 **「着信拒否設定」を選択し、(選択）を押す**

4 **拒否したい着信項目を選択し、(選択）を押す**

非通知番号拒否：非通知でかけてきた電話を受けないようにします。
公衆電話拒否：公衆電話からかけてきた電話を受けないようにします。
通知不可拒否：発信者番号の通知が不可能な電話を受けないようにします。
電話帳以外拒否：電話帳に登録されていない相手からの電話を受けないようにします。
指定番号拒否：拒否電話リストに登録している相手からの電話を受けないようにします（14-6ページ）。

5 **「On」を選択し、(選択）を押す**

▶着信拒否が設定されます。

重　要

- 着信規制（17-10ページ）が設定されている場合は、着信規制が優先されます。

補　足

- 拒否設定した項目に該当する相手から電話がかかってきた場合は、着信の動作は行いませんが、お知らせ一発メニュー（1-12ページ）が表示され、不在着信履歴（2-12ページ）で確認することができます。

受信拒否アドレスの設定

受信したくないメールを受信拒否アドレスに登録し、受信を拒否することができます。受信拒否アドレスは、最大50件登録することができます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す

2 「セキュリティ設定」を選択し、▭（選択）を押す

3 「受信拒否アドレス」を選択し、▭（選択）を押す

4 「On」を選択し、▭（選択）を押す

- 受信拒否を設定しない場合は、「Off」を選択します。

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

6 ▭（メニュー）を押す

- 受信拒否リストに1件も登録されていない場合は、▭（追加）を押したあと操作8に進んでください。

7 「追加」を選択し、▭（選択）を押す

8 登録方法を選択し、▭（選択）を押す

電話帳：登録したい電話帳を選択し、●を押します（5-19ページ）。
アドレス入力：アドレスを入力したあと、●を押すと、受信拒否アドレスにアドレスが登録されます。

9 登録したいアドレスを選択し、●を押す

▶受信拒否アドレスに登録されます。

補足

- 操作7で、以下の操作を行うこともできます。
  詳細／編集／削除

シークレットモードの設定

シークレットメモリ（5-9ページ）として登録した電話帳を表示させせます。電話帳にシークレットメモリを表示させる場合は、シークレットモードを「On」に、表示させたくない場合は「Off」にしてください。シークレットモードを「On」にすると画面上に「」が表示されます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、□（選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、□（選択）を押す**

3 **「シークレットモード」を選択し、□（選択）を押す**

4 **操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する**

5 **「On」を選択し、□（選択）を押す**

▶シークレットモードが設定されます。

重　要

- 電源を切ると、シークレットモードは「Off」になります。

補　足

- シークレットメモリとして登録されている相手への発信、メールの送信やシークレットメモリとして登録されている相手からの着信、メールの受信があっても、シークレットモードを「Off」にしている場合は、電話番号またはE-mailアドレスのみが表示されます。

発信制限

番号リストに登録した相手にだけ電話をかけたり、メールを送ったりできるように設定できます。番号リストにはすべての桁を登録しなくても使用することができ、登録した番号から始まる電話番号にはすべて電話することができます。また、設定した内容はUSIMカードに保存されます。

●**発信制限（固定電話番号設定）は、対応したUSIMカードを使用時のみご利用することができます。**

■発信を制限する

お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

3 **「固定電話番号設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

4 **「設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

5 **PIN2コードを入力し、⊟（決定）を押す**

6 **「On」を選択し、⊟（選択）を押す**

▶固定電話番号が設定されます。

重　要

●発信制限をしても110番（警察）、119番（消防）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。

■番号リストに登録する

番号リストに登録できる件数は、USIMカードによって異なります。

●番号リストに登録する場合は、設定（左記）を「**On**」にしてください。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

2 **「セキュリティ設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

3 **「固定電話番号設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

4 **「番号リスト」を選択し、⊟（選択）を押す**

5 **「未登録」を選択し、⊟（追加）を押す**

6 PIN2コードを入力し、[-]（決定）を押す

7 「電話番号」を選択し、[●]を押す

- 名前を登録する場合は、「**名前**」を選択します。

8 電話番号を入力し、[●]を押す

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、USIMカードによって異なります。
- 1つの桁にすべての番号（0～9）を設定したい場合は、[-]（メニュー）を押し、「**ワイルドカード**」を選択し「**?**」を表示させます。
  （例：「090????1234」に設定した場合は「090**0000**1234」～「090**9999**1234」より始まる電話番号に発信することができます。）

9 [-]（メニュー）を押す

10 「決定」を選択し、[-]（選択）を押す

▶番号リストに登録されます。

補　足

- 「**電話番号**」を入力しないと登録することができません。
- 操作4のあと登録済みの項目を選択し、[-]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  詳細／**発信**／**メール送信**／**編集**／**削除**

誤動作防止

すべてのボタン操作を無効にすることで、カバンやポケットの中での誤動作を防ぎます。誤動作防止を設定すると待受画面に「[誤動作防止アイコン]」が表示されます。

誤動作防止を設定する

1 待受画面で[*]を押す（約1秒以上）

▶誤動作防止が設定されます。

重　要

- 以下の場合は、誤動作防止を設定することができません。
  - ・BluetoothTM起動中
  - ・赤外線通信起動中
- 誤動作防止設定中は、お知らせ一発メニュー（1-12ページ）は表示されません。

補　足

- 誤動作防止を設定しても以下の操作は行うことができます。
  - ・誤動作防止の解除
  - ・110番（警察）、119番（消防）、118（海上保安本部）へ電話をかける
  - ・電話を受ける（オープン通話、エニーキーアンサーは無効）
  - ・アラームの停止（15-19ページ）
  - ・スケジュールのアラーム停止（15-14ページ）
  - ・簡易留守録の録音（2-7ページ）
  - ・応答保留（2-6、6-4ページ）
  - ・転送電話（17-3ページ）
  - ・着信拒否（2-8、6-5ページ）
  - ・着信中の着信音量調節（2-5、6-3ページ）
  - ・マルチステレオイヤホンマイクからワンタッチで電話をかける（16-19ページ）
  - ・待受アプリの一時停止（28-2ページ）

誤動作防止を解除する

1 誤動作防止設定中に[*]を押す（約1秒以上）

▶誤動作防止が解除されます。

登録内容をお買い上げ時の状態に戻す

各種設定内容や登録したすべてのデータをお買い上げ時の状態に戻します。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「メモリ設定」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「本体」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「オールリセット」を選択し、[-]（選択）を押す

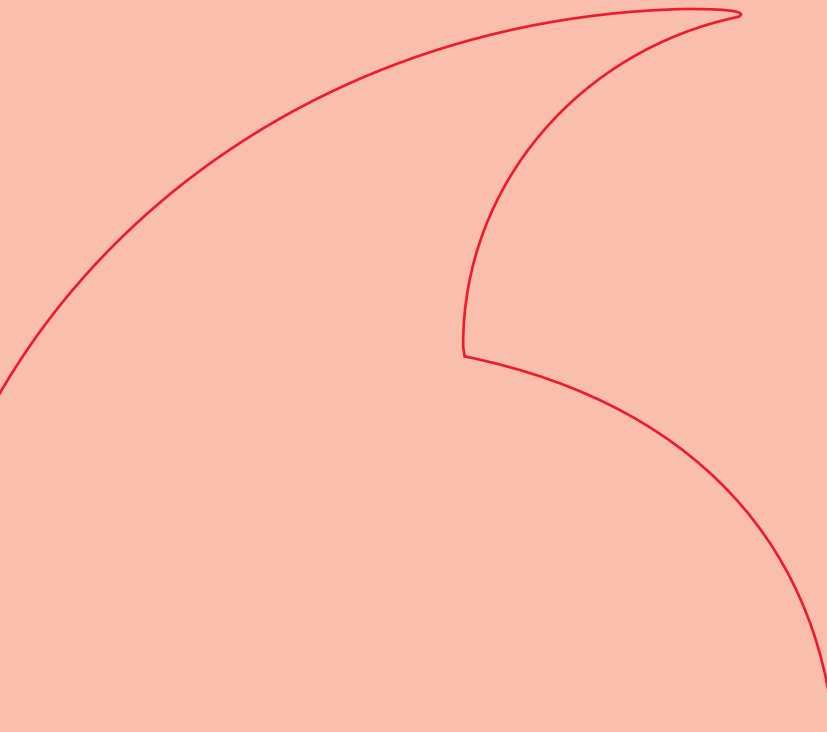
5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

6 [-]（Yes）を押す

▶メモリおよび設定がリセット（初期化）され、自動的に電源を入れ直します。

重　要

- 操作用暗証番号、USIMカード、メモリカードのデータはリセット（初期化）されません。
- 複数の機能を起動している場合は、オールリセットを行うことができません。

便利な機能

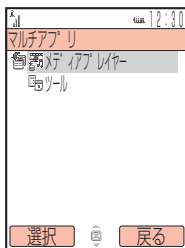
マルチアプリ

使用中の機能を終了させずに複数の機能を同時に起動できます。ただし、機能によっては、他機能と同時に起動できない場合があります。

■複数の機能を同時に起動する

1 ある機能を使用中に[キー]を押す

▶マルチアプリ画面が表示されます。

●起動中の機能が表示されます。

2 「ツール」を選択し、[キー]（選択）を押す

3 呼び出したい機能を選択し、[キー]（選択）を押す

▶選択した機能が起動します。

重　要

- マルチアプリ画面（左記）から起動できる機能は以下の通りです。
  - ・USIMアプリ
  - ・スケジュール
  - ・アラーム
  - ・簡易電卓
  - ・通貨換算
  - ・ボイスレコーダー
  - ・カウントダウンタイマー
  - ・メモ帳
  - ・番号メモ
  - ・世界時計
  - ・バックアップ
- 音声着信によりVアプリが一時停止している場合、Vアプリはマルチアプリ画面（左記）に表示されません。

補　足

- ウェブへアクセス中またはVアプリ起動中に音声電話を受けることができます。音声電話を受ける場合は、着信中に[キー]を押します。

15

便利な機能

■使用する機能を切り替える

複数の機能を同時に起動しているときに、機能を切り替えて使用することができます。

機能を切り替える

1 マルチアプリ画面（15-2ページ）より、使用したい機能を選択し、●を押す

▶ 選択した機能に切り替わります。

重　要

● Vアプリは他機能の起動中には再開できません。他に起動している機能を終了させてください。

補　足

● ウェブへアクセス中に音声電話を受けた場合も、マルチアプリ画面（15-2ページ）よりウェブと音声通話を切り替えることができます。

USIMアプリ

アプリケーションがインストールされている場合は、以下の方法で利用することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「ツール」を選択し、⊟（選択）を押す

2 「USIMアプリ」を選択し、⊟（選択）を押す

▶ USIMカード内のアプリケーション選択画面が表示されます。

● 以降の操作は画面の指示に従ってください。

重　要

● USIMカードの種類によっては、「**USIMアプリ**」以外の名称で表示される場合があります。

スケジュール

スケジュール帳として利用することができます。スケジュールは、最大100件登録することができます。時計表示設定（8-5ページ）を「**時計＋カレンダー**」にしている場合は、スケジュールが登録されている日は待受画面のカレンダーにも水色で表示されます。

■スケジュールを表示する

表示を月間表示、週間表示、一日表示、全件表示に切り替えることができます。

1 **待受画面で●を押し、◎で「ツール」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「スケジュール」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶スケジュール（月間表示）が表示されます。

3 **[-]（メニュー）を押す**

4 **「表示切替」を選択し、[-]（選択）を押す**

5 **表示したい項目を選択し、[-]（選択）を押す**

▶選択した表示スタイルで表示されます。

月間表示画面

月間表示画面中の黒色はカーソル、緑色は今日、水色はスケジュールが登録されていることを表します。
[＊]を押すと先月が表示されます。
[#]を押すと翌月が表示されます。
[-]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

一日表示：表示を一日表示に切り替えます。
新規作成：スケジュールを登録します（15-6ページ）。
削除：「**当日分全件**」（15-12ページ）、「**前日以前全件**」（15-12ページ）、「**全件**」（15-13ページ）の削除を行います。
ジャンプ：指定した日を表示します（15-14ページ）。
スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます（15-14ページ）。
休日設定：指定した日や曜日の表示の色を変更します（15-15ページ）。
表示切替：「**週間表示**」、「**一日表示**」、「**全件表示**」に表示を切り替えます。

週間表示画面

黒色はカーソル、緑色は今日、水色はスケジュールが登録されていることを表します。

◀○を押すと先週が表示されます。

○▶を押すと翌週が表示されます。

▭（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

一日表示　：スケジュールが登録されている場合は、表示を一日表示に切り替えます。

新規作成　：スケジュールを登録します（15-6ページ）。

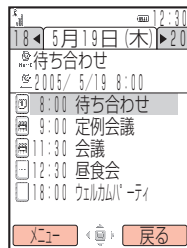
削除　：「**当日分全件**」（15-12ページ）、「**前日以前全件**」（15-12ページ）、「**全件**」（15-13ページ）の削除を行います。

ジャンプ　：指定した日を表示します（15-14ページ）。

スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます（15-14ページ）。

休日設定　：指定した日や曜日の表示の色を変更します（15-15ページ）。

表示切替　：「**月間表示**」、「**一日表示**」、「**全件表示**」に表示を切り替えます。

一日表示画面

◀○を押すと前日が表示されます。

○▶を押すと翌日が表示されます。

▭（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

詳細　：スケジュールの詳細が表示されます。

新規作成　：スケジュールを登録します（15-6ページ）。

編集　：スケジュールを編集します。

削除　：「**一件**」（15-11ページ）、「**当日分全件**」（15-12ページ）の削除を行います。

ジャンプ　：指定した日を表示します（15-14ページ）。

エクスポート　：「**メール送信-MMS**」（20-2ページ）、「**データフォルダ**」（12-13ページ）、「**メモリカード**」、「**赤外線送信**」（13-3ページ）、「**Bluetooth送信**」（13-9ページ）を行います。

スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます（15-14ページ）。

休日設定　：指定した日や曜日の表示の色を変更します（15-15ページ）。

表示切替　：「**月間表示**」、「**週間表示**」、「**全件表示**」に表示を切り替えます。

全件表示画面

[*]を押すと前ページが表示されます。
[#]を押すと次ページが表示されます。
[メニュー]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

詳細：スケジュールの詳細が表示されます。
新規作成：スケジュールを登録します（右記）。
編集：スケジュールを編集します。
削除：「**一件**」（15-11ページ）、「**前日以前全件**」（15-12ページ）、「**全件**」（15-13ページ）の削除を行います。
複数選択：複数のスケジュールを選択し、削除やエクスポートをすることができます。
エクスポート：「**メール送信-MMS**」（20-2ページ）、「**データフォルダ**」（12-13ページ）、「**メモリカード**」、「**赤外線送信**」（13-3ページ）、「**Bluetooth送信**」（13-9ページ）を行います。
スケジュールロック：スケジュールにロックをかけます（15-14ページ）。
表示切替：「**月間表示**」、「**週間表示**」に表示を切り替えます。

■スケジュールを登録する

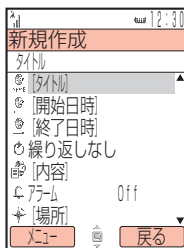
必要な項目だけを登録し、あとから内容を追加、変更することもできます。

●スケジュールには、以下の内容を登録することができます。

項目	内容	登録方法
タイトル	タイトルを登録できます。	15-7ページ
開始日時	開始日時を登録できます。	15-7ページ
終了日時	終了日時を登録できます。	15-7ページ
繰り返し	スケジュールの繰り返しを登録できます。	15-8ページ
内容	スケジュール内容を登録できます。	15-8ページ
アラーム	指定した日時になるとアラームが鳴動し、タイムアップ画面、カテゴリアイコンおよびタイトルを表示してお知らせします。アラームの起動時刻、アラーム音、アラーム音量、バイブレーターを登録できます。	15-9ページ
場所	場所を登録できます。	15-10ページ
カテゴリ	カテゴリを登録できます。	15-10ページ

1 **月間表示画面（15-4ページ）、週間表示画面（15-5ページ）、一日表示画面（15-5ページ）、全件表示画面（15-6ページ）より、登録したい日付を選択し、（メニュー）を押す**

2 **「新規作成」を選択し、（選択）を押す**

▶ スケジュール作成画面が表示されます。

3 **設定したい項目を選択し、を押す**

● 登録できる項目については15-6ページを参照してください。

4 **選択した項目を設定する**

5 **（メニュー）を押す**

6 **「登録」を選択し、（選択）を押す**

▶ スケジュールが登録されます。

● 世界時計でホーム都市設定（15-25ページ）を変更した場合は、スケジュールで設定した日時も、変更後の都市の時刻に合わせて自動的に変更されます。また、サマータイムを設定した場合も変更されます。

●「**開始日時**」が入力されていない場合は、スケジュールを登録することはできません。

タイトル／開始日時／終了日時を設定する

1 **スケジュール作成画面（左記）より、「タイトル」を選択し、を押す**

2 **タイトルを入力し、を押す**

▶ タイトルが設定されます。

● 文字の入力方法については4章を参照してください。

● 登録可能文字数は、最大で16文字です。

3 **「開始日時」を選択し、を押す**

4 **「日時設定」または「終日設定」を選択し、（選択）を押す**

5 開始日時を入力し、[-]（決定）を押す

▶開始日時が設定されます。
●時刻は24時間制で入力してください。
●「**終日設定**」を選択した場合は、日付のみ入力します。開始日時の時刻に「**0：00**」、終了日時に翌日の日付と「**0：00**」が自動的に設定されます。

6 「終了日時」を選択し、●を押す

7 終了日時を入力し、[-]（決定）を押す

▶終了日時が設定されます。
●時刻は24時間制で入力してください。

繰り返しを設定する

1 スケジュール作成画面（15-7ページ）より、「繰り返しなし」を選択し、●を押す

●開始日時を設定していない場合は、繰り返し設定はできません。

2 「繰り返しなし」、「毎日」、「毎週」、「毎月」、「毎年」、「月末」のいずれかを選択し、[-]（選択）を押す

●開始日時に月末の日付を設定していない場合は、「**月末**」を選択することはできません。

3 繰り返したい回数を入力し、[-]（決定）を押す

▶繰り返しが設定されます。
●2回から99回まで設定することができます。また、繰り返し回数を無制限にする場合は、「**00**」を入力します。

補　足

●30日または31日に「**毎月**」を設定し、翌月に30日または31日が無い場合は、翌々月の30日または31日に設定されます。

内容を設定する

1 スケジュール作成画面（15-7ページ）より、「内容」を選択し、●を押す

2 内容を入力し、●を押す

▶内容が設定されます。
●文字の入力方法については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、最大で128文字です。

アラームを設定する

アラームはあらかじめアラーム音が「**パターン1**」、アラーム音量が「**レベル3**」、バイブレーターが「**パターン1**」に設定されています。

●電源が切れているときでも、自動的に電源が入り、アラームが起動します。

1 **スケジュール作成画面（15-7ページ）より、「アラーム」を選択し、●を押す**

2 **「On」を選択し、（選択）を押す**

3 **「アラーム時刻」を選択し、●を押す**

4 **設定したい日時を入力し、（決定）を押す**

▶アラーム時刻が設定されます。

●時刻は24時間制で入力してください。

5 **「アラーム音」を選択し、●を押す**

6 **「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」のいずれかを選択し、（選択）を押す**

プリセットパターン：あらかじめ登録されているパターンを選択します。

プリセットメロディ：あらかじめ登録されているメロディを選択します。

データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。

7 **設定したいアラーム音を選択し、●を押す**

8 **（設定）を押す**

▶アラーム音が設定されます。

9 **「アラーム音量」を選択し、●を押す**

10 **でアラーム音量を調節し、（決定）を押す**

▶アラーム音量が設定されます。

●アラーム音量を上げる場合はまたはを、下げる場合はまたはを押します。

11 **「バイブレーター」を選択し、●を押す**

15

便利な機能

12 設定したいパターンを選択し、●を押す

パターン1～3：選択したパターンで振動します。
SMAF連動　：アラーム音で設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレーターが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。
Off　　　　：バイブレーターを振動させせません。

▶バイブレーターが設定されます。

13 ［メニュー］（メニュー）を押す

14「登録」を選択し、［メニュー］（選択）を押す

▶アラームが設定されます。

重　要

- モード設定（9-2ページ）を「**マナーモード**」または「**ミーティングモード**」に、音・バイブ設定のアラーム（9-12ページ）を「**Off**」にしている場合は、アラームは鳴りません。
- モード設定（9-2ページ）を「**マナーモード**」に、音・バイブ設定のバイブレーター（9-8ページ）を「**Off**」にしている場合は、振動しません。

場所を設定する

1 スケジュール作成画面（15-7ページ）より、「場所」を選択し、●を押す

2 場所を入力し、●を押す

▶場所が設定されます。

● 文字の入力方法については4章を参照してください。
● 登録可能文字数は、最大で50文字です。

カテゴリを設定する

1 スケジュール作成画面（15-7ページ）より、「カテゴリなし」を選択し、●を押す

2 設定したいカテゴリを選択し、［メニュー］（選択）を押す

▶カテゴリが設定されます。

■登録したスケジュールを確認する

月間表示、週間表示から確認する

1 月間表示画面（15-4 ページ）、週間表示画面（15-5 ページ）より、確認したい日付を選択し、●を押す

2 確認したいスケジュールを選択し、●を押す

▶ 詳細画面が表示されます。

一日表示、全件表示から確認する

1 一日表示画面（15-5ページ）、全件表示画面（15-6ページ）より、確認したいスケジュールを選択し、●を押す

▶ 詳細画面が表示されます。

■スケジュールを削除する

一件削除する

1 一日表示画面（15-5ページ）、全件表示画面（15-6ページ）より、削除したいスケジュールを選択し、[-]（メニュー）を押す

2 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「一件」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 確認画面が表示されます。

4 [-]（Yes）を押す

▶ スケジュールが削除されます。

● 繰り返しが設定されている場合は、このあと確認画面が表示されます。削除する場合は、[-]（Yes）を押します。選択したスケジュールに繰り返し設定されているスケジュールがすべて削除されます。

当日分をすべて削除する

指定した日のスケジュールをすべて削除することができます。

1 月間表示画面（15-4ページ）、週間表示画面（15-5ページ）、一日表示画面（15-5ページ）より、削除したい日を選択し、[-]（メニュー）を押す

2 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「当日分全件」を選択し、[-]（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

4 [-]（Yes）を押す

▶スケジュールが削除されます。

●繰り返しが設定されている場合は、このあと確認画面が表示されます。削除する場合は、[-]（Yes）を押します。当日分のスケジュールに繰り返し設定されているスケジュールがすべて削除されます。

前日以前をすべて削除する

1 月間表示画面（15-4ページ）、週間表示画面（15-5ページ）、全件表示画面（15-6ページ）より、[-]（メニュー）を押す

2 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「前日以前全件」を選択し、[-]（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

4 [-]（Yes）を押す

▶スケジュールが削除されます。

●繰り返しが設定されている場合は、このあと確認画面が表示されます。削除する場合は、[-]（Yes）を押します。前日以前のスケジュールに繰り返し設定されているスケジュールがすべて削除されます。

全件削除する

1 **月間表示画面（15-4ページ）、週間表示画面（15-5ページ）、全件表示画面（15-6ページ）より、［-］（メニュー）を押す**

2 **「削除」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「全件」を選択し、［-］（選択）を押す**

4 **操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する**

▶ 確認画面が表示されます。

5 **［-］（Yes）を押す**

▶ スケジュールが削除されます。

複数選択して削除する

1 **全件表示画面（15-6 ページ）より［-］（メニュー）を押す**

2 **「複数選択」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **削除したい項目を選択し、［●］を押す**

▶ チェックすると、項目の横に「☑」が表示されます。

● 項目を複数選択する場合は、操作3を繰り返します。

4 **［-］（メニュー）を押す**

5 **「削除」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 確認画面が表示されます。

6 **［-］（Yes）を押す**

▶ スケジュールが削除されます。

● 繰り返しが設定されている場合は、このあと確認画面が表示されます。削除する場合は、［-］（Yes）を押します。選択したスケジュールに繰り返し設定されているスケジュールがすべて削除されます。

補　足

- すべての項目をチェックする場合は、操作3で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作3で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■起動したアラームを停止する

1 タイムアップ画面が表示される

▶ カテゴリアイコンおよびタイトルが表示されます。

● アラームの設定に従って、アラーム音やバイブレーターでお知らせします。また、イルミネーションも点滅します。

2 いずれかのボタンを押すか、そのまま約1分経過する

▶ アラームが停止します。

3 （終了）を押す

▶ アラームが終了します。

補　足

● 操作2のあと、（詳細）を押すと詳細画面が表示されます。

■指定した日を表示する

全件表示以外の表示スタイルで、表示やカーソルを指定した日へ移動することができます。

1 月間表示画面（15-4ページ）、週間表示画面（15-5ページ）、一日表示画面（15-5ページ）より、（メニュー）を押す

2 「ジャンプ」を選択し、（選択）を押す

3 ジャンプしたい日付を入力し、（決定）を押す

▶ 指定した日を表示します。

■スケジュールロックを設定する

操作用暗証番号を入力しない限りスケジュールを確認できないように設定することができます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 月間表示画面（15-4ページ）、週間表示画面（15-5ページ）、一日表示画面（15-5ページ）、全件表示画面（15-6ページ）より、（メニュー）を押す

15

便利な機能

2 「スケジュールロック」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

4 「On」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

▶ スケジュールロックが設定されます。

重 要

- スケジュールロックを「**On**」にしている場合は、時計表示設定（8-5ページ）を「**時計＋カレンダー**」にしても待受画面のカレンダーにスケジュールが登録されている日は表示されません。

■日付や曜日の表示色を変更する

月間表示、週間表示のスタイルや時計表示設定（8-5ページ）により待受画面に表示されるカレンダーについて、指定した日付や曜日の表示色を変更することができます。最大100件変更することができます。

1 月間表示画面（15-4ページ）、週間表示画面（15-5ページ）、一日表示画面（15-5ページ）より、[メニューキー]（メニュー）を押す

2 「休日設定」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 「当日」または「曜日指定」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

4 変更したい日付または曜日を選択し、●を押す

5 設定したい色を選択し、[選択キー]（選択）を押す

6 [メニューキー]（メニュー）を押す

7 「登録」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

▶ 表示色が変更されます。

補 足

- 「**当日**」、「**曜日指定**」を重ねて設定している場合は、「**当日**」で設定した色が優先されます。

アラーム

目覚まし時計として利用することができます。アラームは最大7件登録できます。アラームを設定すると待受画面に「🔔」が表示されます。

●電源が切れているときでも、自動的に電源が入り、アラームが起動します。

■アラームを登録する

●アラームには、以下の内容を登録することができます。

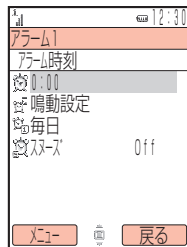
項目	内容	登録方法
アラーム時刻	起動時刻を登録できます。	15-17ページ
鳴動設定	アラーム音、アラーム音量、バイブレーターを登録できます。	15-17ページ
起動設定	4種類から選択できます。	15-18ページ
スヌーズ	スヌーズを設定できます。	15-18ページ

1 待受画面で●を押し、◎で「ツール」を選択し、□（選択）を押す

2 「アラーム」を選択し、□（選択）を押す

3 設定したいアラームを選択し、□（選択）を押す

4 「On」を選択し、□（選択）を押す

▶アラーム設定画面が表示されます。

5 設定したい項目を選択し、●を押す

●登録できる項目については左記を参照してください。

6 選択した項目を設定する

7 □（メニュー）を押す

8 「登録」を選択し、□（選択）を押す

▶アラームが登録されます。

15 便利な機能

重　要

- 世界時計でホーム都市設定（15-25ページ）を変更しても、変更後の都市の時刻に合わせて自動的に変更されません。また、ホームにサマータイムを設定した場合は、アラームの時刻は自動的に変更されます。

アラーム時刻を設定する

1 アラーム設定画面（15-16ページ）より、「0:00」を選択し、●を押す

2 設定したい時刻を入力し、（決定）を押す

▶ アラーム時刻が設定されます。
- 時刻は24時間制で入力してください。

鳴動設定を行う

鳴動設定はあらかじめアラーム音が「**パターン1**」、アラーム音量が「**レベル3**」、バイブレーターが「**パターン1**」に設定されています。

1 アラーム設定画面（15-16ページ）より、「鳴動設定」を選択し、●を押す

2 「アラーム音」を選択し、●を押す

3 「プリセットパターン」、「プリセットメロディ」、「データフォルダ」のいずれかを選択し、（選択）を押す

プリセットパターン：あらかじめ登録されているパターンを選択します。
プリセットメロディ：あらかじめ登録されているメロディを選択します。
データフォルダ：データフォルダに保存されているファイルを選択します（12-11ページ）。

4 設定したいファイルを選択し、●を押す

5 （設定）を押す

▶ アラーム音が設定されます。

6 「アラーム音量」を選択し、●を押す

7 でアラーム音量を調節し、（決定）を押す

▶ アラーム音量が設定されます。
- アラーム音量を上げる場合はまたはを、下げる場合はまたはを押します。

8 「バイブレーター」を選択し、●を押す

15
便利な機能

9 設定したいパターンを選択し、●を押す

パターン1〜3：選択したパターンで振動します。
SMAF連動：アラーム音で設定されているメロディ（SMAF形式でバイブレーターが振動するメロディファイルのみ）に連動して振動します。
Off：バイブレーターを振動させません。

▶バイブレーターが設定されます。

10 （メニュー）を押す

11「登録」を選択し、（選択）を押す

▶鳴動設定が登録されます。

重　要

- モード設定（9-2ページ）を「**マナーモード**」または「**ミーティングモード**」に、音・バイブ設定のアラーム（9-12ページ）を「**Off**」にしている場合は、アラームは鳴りません。
- モード設定（9-2ページ）を「**マナーモード**」に、音・バイブ設定のバイブレーター（9-8ページ）を「**Off**」にしている場合は、振動しません。

起動設定を行う

起動設定はあらかじめ「**毎日**」に設定されています。

1 アラーム設定画面（15-16ページ）より、「毎日」を選択し、●を押す

2 設定したい項目を選択し、（選択）を押す

毎日：毎日起動します。
平日：月曜から金曜まで起動します。
曜日選択：●を押して、起動したい曜日の横に「☑」を表示させ、（メニュー）を押し、「**決定**」を選択します。
一回のみ：起動したい日付を入力したあと、（決定）を押します。

▶起動設定が設定されます。

スヌーズを設定する

スヌーズはあらかじめ「**Off**」に設定されています。

1 アラーム設定画面（15-16 ページ）より、「スヌーズ」を選択し、● を押す

2「On」を選択し、（選択）を押す

▶スヌーズが設定されます。

補　足

- スヌーズを設定していると、5分おきにアラームが鳴り、5回通知したあと自動的に停止します。

■起動したアラームを停止する

設定した時刻になるとアラームの設定に従って、アラーム音、バイブレーターでお知らせします。また、イルミネーションも点滅します。

スヌーズが設定されていないとき

1 タイムアップ画面が表示される

2 いずれかのボタンを押すか、そのまま約1分経過する

▶アラームが停止します。

3 [終了]（終了）を押す

▶アラームが終了します。

補　足

- 操作中でも、設定した時刻になるとアラームが起動します。
- 通話中に設定した時刻になった場合は、通話終了後にアラームが起動します。

スヌーズが設定されているとき

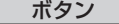
スヌーズを設定していると、5分おきにアラームが鳴り、5回通知したあと自動的に停止します。途中で停止するには以下の操作を行ってください。

1 タイムアップ画面が表示される

2 いずれかのボタンを押すか、そのまま約1分経過する

▶アラームが停止し、確認画面が表示されます。

3 （No）を押す

- （Yes）を押した場合は、待受画面にお知らせ一発メニューが表示されます。お知らせ一発メニューから停止させることができます。停止させないと、5分後に再びアラームが鳴ります。

簡易電卓

1 **待受画面で●を押し、◎で「ツール」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「簡易電卓」を選択し、▭（選択）を押す**

▶ 簡易電卓の画面が表示されます。

ボタン割り当て一覧表

ボタン	機能	ボタン	機能
0 〜 9	数字を入力	●	＝
▲	＋	発信	＋／−切替
▼	−	AV OUT	Tax（税計算）
◀	×	クリア/戻る	C（クリア）
▶	÷	＊	小数点
終話	Exit（電卓を終了）		

補　足

● AV OUTを1回押すと税率計算結果が赤色の文字で、2回押すと税込み計算結果が緑色の文字で表示されます。

● 簡易電卓画面で、▭（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

＝　　　：計算結果を表示します。
全クリア：入力値とメモリを消去します。
MS　　　：入力値をメモリに保存します。
M＋　　 ：入力値をメモリの数値に加算します。
MR　　　：メモリに保存された値を表示します。
%　　　 ：パーセント計算をします。
1／X　　：逆数計算をします。
SQRT　　：平方根計算をします。
税率設定：AV OUTで行う税計算の設定を行います。設定したい税率を入力し、▭（決定）を押します。お買い上げ時は「**1%**」に設定されています。

通貨換算

お買い上げ時は「**換算レート**」が「**0**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「ツール」を選択し、□（選択）を押す**

2 **「通貨換算」を選択し、□（選択）を押す**

3 **設定したいレートを入力し、○を押す**

4 **金額を入力し、□（結果）を押す**

▶換算結果が表示されます。

補足

- レートや金額に小数点を入力する場合は＊を押します。
- もう一度換算したい場合や、換算結果をクリアしたい場合は、□（再スタート）を押します。この場合は、入力した換算レートや換算金額はクリアされません。また、入力した換算レートや換算金額をクリアしたい場合は、カーソルをクリアしたい項目へ移動し、□（クリア）を押します。
- 入力した換算レートは、次回の通貨換算利用時まで保持されます。

ボイスレコーダー

音声を録音し、データフォルダやメモリカードに保存することができます。録音可能時間は、1件あたり最大90分です。ただし、データフォルダやメモリカードの空き容量によって録音できる時間が短かくなる場合があります。録音はマイク（送話口）で行います。

- 一般的なモラルやマナーをお守りのうえ、ご使用ください。
- メモリカードについては11章を、データフォルダについては12章を参照してください。

■音声を録音する

録音画面について

録音時の画面は、以下のように表示されます。

状態表示

□：録音中
□：停止中
□：一時停止中

録音時間

録音した時間を表示します。

録音バー

現在録音している位置を表示します。

録音可能時間

残りの録音可能時間を表示します。

15 便利な機能

録音する

ボイスレコーダーで録音した音声は「**本体**」の「**メロディ&サウンド**」フォルダ内の「**ボイスレコーダー**」フォルダに自動的に保存されます。また、保存先を変更することもできます。

1 待受画面で●を押し、◎で「ツール」を選択し、(選択)を押す

2 「ボイスレコーダー」を選択し、(選択)を押す

3 「録音」を選択し、(選択)を押す

▶ 録音画面が表示されます。

4 ●を押す

▶ 録音を開始します。

● 一時停止する場合は(一時停止)を押します。そのあと再開する場合は●を、保存する場合は(保存)を押します。

● 録音可能時間が10秒未満になると「◙」が点滅します。

5 ●を押す

▶ 録音を停止し、自動保存します。

重　要

- 実演および興行などには、個人として楽しむための録音自体が制限されている場合がありますので、ご注意ください。
- 録音中に着信があった場合は、着信を優先し、録音を停止し、自動保存します。録音中の着信を禁止する場合はオフラインモード（3-3ページ）に設定してください。

補　足

- ターンオーバースタイルのときにサイドキーで以下の操作を行うことができます。
  - ・：戻る／キャンセル
  - ・：録音開始／停止・自動保存

保存先を変更する

お買い上げ時は「**本体**」の「**メロディ&サウンド**」フォルダ内の「**ボイスレコーダー**」フォルダに設定されています。

1 録音画面（左記）より、(メニュー）を押す

2 「保存先設定」を選択し、(選択）を押す

3 「本体」または「メモリカード」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 保存先が設定されます。

■録音内容を再生する

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「ツール」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「ボイスレコーダー」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「再生」を選択し、[-]（選択）を押す

4 再生したいファイルを選択し、[●]を押す

● メモリカードに保存されているファイルを選択する場合は、[-]（メニュー）を押したあと、「**メモリカード**」を選択します。

補　足

● 通話中に録音したデータも再生することができます（2-9ページ）。

カウントダウンタイマー

設定時間が経過すると、アラーム音、バイブレーター、イルミネーションの点滅でお知らせします。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「ツール」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「カウントダウンタイマー」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ タイマー設定画面が表示されます。

3 アラーム起動までの時間を入力し、[-]（決定）を押す

▶ タイマーがセットされます。

● 10秒から60分まで設定できます。

4 [-]（スタート）を押す

▶ 設定時間が経過するとアラームでお知らせします。

● タイマーを停止する場合は、[-]（ストップ）を押します。そのあと、再開する場合は[-]（再スタート）を、初めから開始する場合は[-]（リセット）を押します。

5 [−]（ストップ）を押す

▶ アラームが停止します。

補　足

- ターンオーバースタイルのときにサイドキーで以下の操作を行うことができます。
  - ・[ ]：終了／リセット
  - ・[◎]：スタート／ストップ／再スタート／ストップ（アラーム停止）
- アラーム音量はサウンド音量（9-11ページ）の設定に従います。ただし、マナーモード（9-2ページ）に設定されている場合は鳴りません。
- 設定した時間は、次回のカウントダウンタイマー利用時まで保持されます。

メモ帳

メモ帳は最大20件登録できます。登録した内容は文字編集時に引用したり、逆に編集中の文字をメモ帳に登録することもできます（4-22ページ）。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「ツール」を選択し、[−]（選択）を押す

2「メモ帳」を選択し、[−]（選択）を押す

3 空いている項目を選択し、[●]を押す

4 メモする内容を入力し、[●]を押す

▶ メモが登録されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大で256文字です。

補　足

- 操作2のあと[−]（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  編集／**一件削除**／**全件削除**

15

便利な機能

世界時計

各画面に表示されている時刻は、世界時計で設定しているホームの時刻です。これとは別に、第2都市を設定することができます。第2都市を設定し、時計表示設定(8-5ページ)で「**2都市表示**」を選択した場合は、ホームと第2都市それぞれの日時を待受画面に表示させることができます。

■世界時計を設定する

ホーム／第2都市を設定する

お買い上げ時はホーム都市が「**東京**」に設定されています。第2都市は設定されていません。

1 **待受画面で◉を押し、◈で「設定」を選択し、□（選択）を押す**

2 **「一般設定」を選択し、□（選択）を押す**

3 **「日時設定」を選択し、□（選択）を押す**

4 **「世界時計設定」を選択し、□（選択）を押す**

5 **「ホーム都市設定」または「第2都市設定」を選択し、□（選択）を押す**

▶ ホーム都市設定画面または第2都市設定画面が表示されます。

ホーム都市設定画面

第2都市設定画面

6 **◈で設定したい都市を選択し、◉を押す**

▶ ホームまたは第2都市が設定されます。

GMTからオフセットで都市を設定する

GMT（グリニッジ標準時）との時差を入力することにより、都市を選択することができます。

1 **ホーム都市設定画面（上記）または第2都市設定画面（上記）より、□（メニュー）を押す**

15

便利な機能

2「GMTオフセット」を選択し、[key]（選択）を押す

3 時差を入力し、[●]を押す

▶入力された時差の都市へカーソルが移動します。
●＋、－を切り替える場合は、[key]（メニュー）を押したあと、「＋／－」を選択します。

4 [●]を押す

▶ホームまたは第2都市が設定されます。

補　足
●第2都市設定画面で設定している第2都市を解除したい場合は、操作1のあと「Off」を選択します。

サマータイムを設定する

サマータイムの設定を「On」にしている場合は、世界時計の画面上に「☼」が表示されます。待受画面の時計には「＊」または「DST」が表示されます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 ホーム都市設定画面（15-25ページ）または第2都市設定画面（15-25ページ）より、[key]（メニュー）を押す

2「サマータイム On／Off」を選択し、[key]（選択）を押す

3「On」を選択し、[key]（決定）を押す

▶サマータイムが設定されます。

■世界時計を表示する

世界時計の主要都市の日付、時刻、時差を、地図上のカーソル（黄丸）を動かすことにより確認できます。世界時計設定（15-25ページ）でのホームは緑丸、第2都市は赤丸で表示されます。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「ツール」を選択し、[key]（選択）を押す

2「世界時計」を選択し、[key]（選択）を押す

3 [◎]で表示したい都市を選択する

▶選択した都市の都市名、日付、時刻、時差が表示されます。
●サマータイムの表示を切り替える場合は[key]（☼on）または[key]（☼off）を押します。

15
便利な機能

スポットライト

▯の機能を「**スポットライト**」（16-5ページ）にしている場合は、モバイルライトを簡易ライトとして使うことができます。

1 待受画面で▯を押す（約1秒以上）

▶ ▯を押している間モバイルライトが点灯します。

2 ▯をはなす

▶ モバイルライトが消灯します。

重　要

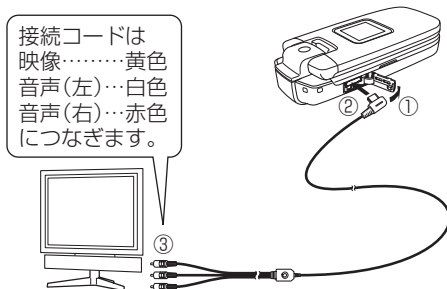
- モバイルライトの発光部を、人の目に近づけて発光させないでください。視力障害の原因となります。発光方向を確認してから▯を長く（約1秒以上）押してください。
- 本体操作ロック中（14-4ページ）、誤動作防止設定中（14-11ページ）はモバイルライトは点灯しません。

テレビに動画や静止画を出力する

付属のビデオ出力ケーブルを使用して、テレビのビデオ入力端子に接続することにより、静止画、動画の撮影時（7-6ページ）や、データフォルダに保存されている静止画、動画をテレビに表示することができます。また、テレビ表示に対応したVアプリ（27-2ページ）をテレビ表示することもできます。

1 AV OUT端子のキャップを開ける（①）

2 ビデオ出力ケーブルの接続プラグをAV OUT端子に差し込む（②）

3 ビデオ出力ケーブルをテレビのビデオ入力端子（映像・音声）に接続する（③）

4 テレビ表示したい画面をメインディスプレイに表示し、 を押す（約1秒以上）

▶ 確認画面が表示されます。

5 （Yes）を押す

▶ テレビ表示されます。

重 要

- データフォルダの動画と静止画は、ファイルによってはテレビ表示できない場合があります。
- 録画中、セルフタイマー中は、テレビ表示に変更することはできません。

補 足

- テレビ表示を終了する場合は、 を長く（約1秒以上）押してください。

■海外でテレビ表示するとき

日本国外でご利用になる場合、テレビの規格によっては、TV出力の設定を「PAL」に変更する必要があります。
お買い上げ時は「NTSC」に設定されています。

1 待受画面で を押し、 で「設定」を選択し、 （選択）を押す

2 「一般設定」を選択し、 （選択）を押す

3 「TV出力」を選択し、 （選択）を押す

4 「NTSC」または「PAL」を選択し、 （選択）を押す

▶ TV出力方式が設定されます。

15

便利な機能

その他の機能

イルミネーション設定

■お知らせイルミネーションを設定する

本体が閉じた状態で未確認の情報がある場合に点滅するイルミネーションの色を3色から選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。
お買い上げ時は「**不在着信表示**」が「**レッド**」に、「**未読メール**」が「**ブルー**」に、「**留守番電話通知**」が「**グリーン**」に設定されています。

1 **待受画面で(●)を押し、(◇)で「設定」を選択し、(選択)を押す**

2 **「一般設定」を選択し、(選択)を押す**

3 **「イルミネーション設定」を選択し、(選択)を押す**

4 **「お知らせ」を選択し、(選択)を押す**

5 **設定したい項目を選択し、(選択)を押す**

不在着信表示：かかってきた電話にでられなかった場合に点滅します。
未読メール：未読のメールがあるときに点滅します。
留守番電話通知：未確認のセンター留守録があるときに点滅します。

6 **設定したい色を選択し、(選択)を押す**

▶ お知らせイルミネーションが設定されます。

16
その他の機能

■着信イルミネーションを設定する

着信時に点滅するイルミネーションの色を5色から選択することができます。また、点滅しないようにすることもできます。お買い上げ時は「**音声着信**」と「**TVコール着信**」が「**パープル**」に、「**メール受信**」が「**アクア**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

2 **「一般設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

3 **「イルミネーション設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

4 **「着信設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

5 **「音声着信」、「TVコール着信」、「メール受信」のいずれかを選択し、⊟（選択）を押す**

6 **設定したい色を選択し、⊟（選択）を押す**

▶ 着信イルミネーションが設定されます。

重　要

- 電話帳のイルミネーション（5-6、5-12ページ）が設定されている場合は、電話帳の設定が優先されます。

ショートカットメニュー

よく使う機能をショートカットメニューに登録することにより、簡単な操作でその機能を呼び出すことができます。

■ショートカットメニューに登録する

よく使う機能を最大9件登録することができます。

1 **待受画面で⌃を押す**

2 **◎で「未登録」を選択し、●を押す**

3 **⊟（Yes）を押す**

4 **登録したい機能を選択し、⊟（選択）を押す**

▶ ショートカットメニューに登録されます。

- 電話帳、データフォルダを選択した場合は、続いてフォルダまたはファイルを選択します。
- メモリカードに保存されているファイルを選択する場合は、「**データフォルダ**」を選択し、いずれかのフォルダを選択し、⊟（選択）を押したあと、⊟（メニュー）を押し、「**メモリカード**」を選択します。

重　要

- USIMカードに登録されている電話帳をショートカットメニューに登録することはできません。

■ショートカットメニューから機能を呼び出す

1 待受画面で◎を押す

▶ショートカットメニュー画面が表示されます。

2 ◎で呼び出したい機能を選択し、◉を押す

▶呼び出した機能の画面が表示されます。

■名称を変更する

1 ショートカットメニュー画面（上記）より、◎で名称変更したい機能を選択し、⌐（メニュー）を押す

2 「編集」を選択し、⌐（選択）を押す

3 名称を入力し、◉を押す

▶名称が変更されます。

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●登録可能文字数は、最大16文字です。

■ショートカットメニューから削除する

1 ショートカットメニュー画面（左記）より、◎で削除したい機能を選択し、⌐（メニュー）を押す

2 「削除」を選択し、⌐（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

3 ⌐（Yes）を押す

▶登録されていた機能が削除されます。

■ショートカットメニューの表示方法を切り替える

ショートカットメニュー画面をサムネイル表示とリスト表示に切り替えることができます。
お買い上げ時は「**サムネイル表示**」に設定されています。

1 ショートカットメニュー画面(16-4ページ)より、（メニュー）を押す

2 「リスト表示」を選択し、（選択）を押す

▶ショートカットメニュー画面がリスト表示に切り替わります。

●「**リスト表示**」にしている場合は、「**サムネイル表示**」を選択します。

キーの設定

■サイドキーの機能を設定する

サイドキーの機能を設定することができます。設定した機能は、待受画面でサイドキーを長く（約1秒以上）押すだけで簡単に呼び出すことができます。
お買い上げ時は「**#長押しと同じ**」に設定されています。

1 待受画面でを押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「一般設定」を選択し、（選択）を押す

3 「ショートカット設定」を選択し、（選択）を押す

4 「サイドキー長押し」を選択し、（選択）を押す

5 設定したい機能を選択し、[－]（選択）を押す

メインメニュー：メインメニューを表示します。
スケジュール：スケジュールが起動します（15-4ページ）。
#長押しと同じ：マナーモードを設定／解除します（3-2ページ）。
スポットライト：モバイルライトが点灯します（15-27ページ）。

▶サイドキーが設定されます。

重　要

- スポットライト機能を利用する場合は、サイドキーに「**スポットライト**」を設定してください。メインメニューからは利用することができません。

■マルチファンクションボタンの機能を設定する

マルチファンクションボタンの機能を設定することができます。設定した機能は、待受画面でマルチファンクションボタンを押すだけで簡単に呼び出すことができます。
お買い上げ時は(▲)が「**ショートカットメニュー**」（16-3ページ）に、(▼)が「**電話帳**」（5-17ページ）に、(◀)が「**発信履歴**」（2-11ページ）に、(▶)が「**着信履歴**」（2-12ページ）に設定されています。

1 待受画面で(●)を押し、(◆)で「設定」を選択し、[－]（選択）を押す

2 「一般設定」を選択し、[－]（選択）を押す

3 「ショートカット設定」を選択し、[－]（選択）を押す

4 「マルチファンクションボタン」を選択し、[－]（選択）を押す

5 [－]（メニュー）を押す

6 「変更」を選択し、[－]（選択）を押す

7 (▲)に設定したい機能を選択し、[－]（選択）を押す

8 に設定したい機能を選択し、（選択）を押す

9 に設定したい機能を選択し、（選択）を押す

▶ マルチファンクションボタンが設定されます。

● には残りの機能が自動的に設定されます。

補足

● マルチファンクションボタンの設定をお買い上げ時の状態に戻す場合は、操作6で「**初期化**」を選択します。

プッシュトーンを送る

プッシュトーンを送って自動音声応答サービスなど各種プッシュホンサービスをご利用になれます。

■プッシュトーンをひとつずつ送る

1 通話中に〜、、のいずれかのボタンを押す

▶ 押されたプッシュトーンが送信されます。

■プッシュトーンを一括して送る

プッシュトーンで送りたい内容をあらかじめ電話帳に登録（5-4ページ）しておき、プッシュホンサービス等で利用の際、一括して送ることができます。ポケットベルに送るときなどに便利です。

1 相手とつながったあと、（メニュー）を押す

2 「電話帳」を選択し、（選択）を押す

3 送信したいプッシュトーンが登録された電話帳を選択し、を押す

● 電話帳の呼び出しかたについては5-19ページを参照してください。

16

その他の機能

4 **送信したいプッシュトーンを選択し、［メニュー］（メニュー）を押す**

5 **「プッシュトーン送信」を選択し、［選択］（選択）を押す**

▶ プッシュトーンが送信されます。
● 一度に送信できるプッシュトーンは、最大40桁です。

■ポーズ「P」を使ってプッシュトーンを送る

ポーズ「P」を利用するとプッシュトーンを「P」ごとに区切って順番に送信することができます。ご自宅の電話機の遠隔操作番号など複数のプッシュトーンをまとめて電話帳に登録すると便利です。

電話帳に登録する

例 以下の3つの番号を登録する場合

電話番号　：「03-123X-XXX3」
留守番電話の暗証番号　：「#7777」
留守番電話の再生操作番号：「#1」

1 **電話帳の電話番号に、「03123XXXX3P#7777P#1」を登録する**

● 電話帳の登録方法については5-4ページを参照してください。

プッシュトーンを送信する

1 **送信したいプッシュトーンが登録された電話帳を呼び出す**

● 電話帳の呼び出しかたについては5-19ページを参照してください。

2 **［発信］を押す**

▶ 1つ目の「P」より前の電話番号に電話がかかります。

3 **［トーン］（トーン）を押す**

▶ 次の「P」までのプッシュトーンが送信されます。
● すべてのプッシュトーンを送信するまで、この操作を繰り返します。

簡易留守録

音声電話に出られないときに相手のメッセージを録音することができます。簡易留守録を「On」にすると待受画面に「[icon]」が表示されます。簡易留守録は、最大3件保存することができ、1件あたり最大15秒録音することができます。

■簡易留守録を設定する

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「簡易留守録」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「簡易留守録設定」を選択し、[-]（選択）を押す

5 「On」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 簡易留守録が設定されます。

重　要

- 簡易留守録の設定を「On」にしても以下の場合はメッセージをお預かりすることはできません。
  - ・電源を切っている
  - ・電波の届かない場所にいる
  - ・オフラインモードを設定している（3-3ページ）
  - ・着信拒否設定をしている（14-6ページ）
  - ・Vアプリの優先度設定（28-4ページ）で音声着信を「**通知のみ**」にし、Vアプリを実行している
- 待受アプリ（28-2ページ）を設定するとメッセージをお預かりできない場合があります。
- TVコールや割込通話（17-8ページ）では簡易留守録を使用することはできません。

補　足

- 待受画面で[クリア/戻る]を長く（約1秒以上）押しても簡易留守録を設定することができます。
- 自動応答設定（16-12ページ）を「On」にしても、簡易留守録の応答が優先されます。

応答時間を設定する

電話がかかってきてから応答メッセージが流れるまでの時間を設定することができます。
お買い上げ時は「**6秒**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「発着信設定」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「簡易留守録」を選択し、▭（選択）を押す**

4 **「応答時間」を選択し、▭（選択）を押す**

5 **応答時間を入力し、▭（決定）を押す**

▶ 応答時間が設定されます。
● 0秒から60秒まで設定できます。

簡易留守録設定中に電話がかかってくると

1 **電話がかかってくる**

2 **応答時間（左記）が経過すると相手に応答メッセージが流れる**

3 **録音を開始する**

補　足

- 応答メッセージ再生中または相手のメッセージの録音中に▭（応答）を押すと、通話することができます。
- メッセージ録音中に▭（🔊）を押すと、録音中のメッセージをスピーカーで聞くことができます。

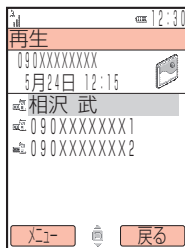
■録音されたメッセージを再生する

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、**
[-]（選択）を押す

2 **「発着信設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **「簡易留守録」を選択し、[-]（選択）を押す**

4 **「再生」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶簡易留守録一覧画面が表示されます。

5 **再生したいメッセージを選択し、●を押す**

▶メッセージが再生されます。

●録音されたメッセージが未再生の場合は「」が表示されます。再生済みの場合は「」が表示されます。

●待受画面で[クリア/戻る]を押しても簡易留守録一覧画面を表示することができます。

■メッセージを削除する

1 **簡易留守録一覧画面（左記）より、削除したいメッセージを選択し、[-]（メニュー）を押す**

2 **「削除」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶確認画面が表示されます。

3 **[-]（Yes）を押す**

▶メッセージが削除されます。

16

その他の機能

応答の設定

■自動応答を設定する

付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時に、ボタン操作をせずに音声電話を受けるように設定することができます。また、電話を受けるまでの時間（応答時間）を変更することができます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「設定」を選択し、(選択）を押す

2「発着信設定」を選択し、(選択）を押す

3「音声通話設定」を選択し、(選択）を押す

4「自動応答設定」を選択し、(選択）を押す

5「On」を選択し、(選択）を押す

6 応答時間を入力し、(決定）を押す

▶自動応答が設定されます。
●1秒から29秒まで設定できます。

重 要

- 自動応答するとモード設定（9-4ページ）にかかわらずスピーカーから自動応答音が鳴ります。
- 自動応答設定と簡易留守録（16-9ページ）を設定している場合は、簡易留守録が優先されます。
- 自動応答設定と留守番電話サービス（17-5ページ）を設定している場合は、応答時間の短い方が優先されます。応答時間を同じにしている場合は、留守番電話サービスを優先します。

■音声ミュートを設定する

音声通話中の送話または受送話の音声をミュートに設定することができます。
お買い上げ時は「**解除**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「発着信設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **「音声通話設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

4 **「音声ミュート設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

5 **ミュート方法を選択し、[-]（選択）を押す**

送話音声Off：送話の音声をミュートに設定します。
全音声Off　：受送話の音声をミュートに設定します。
解除　　　：ミュートを解除します。
▶ミュートが設定されます。

補　足

- 通話中に音声ミュートを設定する場合は、通話中に[-]（メニュー）を押したあと、「**送話音声Off**」または「**全音声Off**」を選択します。
- 通話中に音声ミュートを解除する場合は、通話中に[-]（解除）を押します。

■パケット通信時の音声着信を許可／拒否する

お買い上げ時は「**許可**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「発着信設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **「音声通話設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

4 **「パケット通信時着信」を選択し、[-]（選択）を押す**

5 **「許可」または「拒否」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶パケット通信中の応答が設定されます。

■オープン通話を設定する

電話がかかってきたときに、本体を開くだけで応答することができます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[⌐]（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、[⌐]（選択）を押す

3 「共通設定」を選択し、[⌐]（選択）を押す

4 「オープン通話」を選択し、[⌐]（選択）を押す

5 「On」を選択し、[⌐]（選択）を押す

▶オープン通話が設定されます。

■応答キーを設定する（エニーキーアンサー）

かかってきた電話に出るときの応答ボタンを設定することができます。エニーキーアンサーを「On」にすると[通話]の他に、[0]～[9]、[*]、[#]のいずれかを押しても電話を受けられます。「Off」に設定すると[通話]だけに設定されます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[⌐]（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、[⌐]（選択）を押す

3 「共通設定」を選択し、[⌐]（選択）を押す

4 「エニーキーアンサー」を選択し、[⌐]（選択）を押す

5 「On」を選択し、[⌐]（選択）を押す

▶応答キーが設定されます。

発信者番号通知設定

電話をかけるとき、お客様の電話番号を相手に通知しない、または通知するように設定することができます。

■自動的に非通知／通知する

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1. 待受画面でを押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す
2. 「発着信設定」を選択し、（選択）を押す
3. 「音声通話設定」を選択し、（選択）を押す
4. 「発信番号通知設定」を選択し、（選択）を押す
5. 「自動設定」を選択し、（選択）を押す
6. 「番号非通知」、「番号通知」、「Off」のいずれかを選択し、（選択）を押す

▶ 自動非通知／通知が設定されます。

重要

- 「**番号通知**」にすると、発信者番号通知サービス（17-2ページ）のお申し込みに関係なく、相手にお客様の電話番号が常に表示されます。また、「**番号非通知**」にすると、お申し込みに関係なく、相手にはお客様の電話番号が一切通知されません。「**Off**」にするとお申し込みいただいた設定になります。

補足

- 自動設定を設定しなくても電話番号表示中に、（メニュー）を押し「**発信者番号非通知**」または「**発信者番号通知**」を選択して電話をかけることもできます。

■不在着信履歴からの発信を非通知にする

不在着信履歴（2-12ページ）から、電話帳に登録されていない電話番号を選択して電話をかける場合に、お客様の電話番号を相手に通知しないように設定することができます。お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「発着信設定」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「音声通話設定」を選択し、▭（選択）を押す**

4 **「発信番号通知設定」を選択し、▭（選択）を押す**

5 **「不在非通知」を選択し、▭（選択）を押す**

6 **「On」を選択し、▭（選択）を押す**

▶ 不在非通知が設定されます。

重　要

- 不在非通知を「**On**」にした場合は、自動設定（16-15ページ）を「**番号通知**」や「**Off**」にしていても、不在非通知が優先されます。

国際電話サービスの利用

国際電話をかけるとき、相手先の電話番号を入力したあとで、国際コード（ボーダフォンの国際電話専用ダイヤル「0046」＋「010」）と国番号リストから選択した国番号を付加して簡単に電話をかけることができます。また、付加する国際コードを変更したり国番号リストに追加することもできます。

- 国際電話サービスをご利用になるには、あらかじめお申し込みが必要となります。国際電話サービスについて、詳しくは3Gガイドブックをご覧ください。

■国際コードと国番号を付加する

1 **待受画面で電話番号を入力し、▭（メニュー）を押す**

2 **「国際発信」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **相手先の国を選択し、●を押す**

4 **「日本」または「海外」を選択し、▭（選択）を押す**

▶ 電話番号の先頭に「**0046010**」または「**+**」と国番号が付加されます。

5 [通話]を押す

▶電話がかかります。

■国際コードを変更する

国際コードの登録可能桁数は最大10桁です。
お買い上げ時は「0046010」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[方向キー]で「設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

2「発着信設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

3「音声通話設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

4「国際発信設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

5「国際コード」を選択し、[ー]（選択）を押す

▶現在設定されている国際コードが表示されます。

6 設定したい番号を入力し、[ー]（決定）を押す

▶国際コードが設定されます。

●[クリア/戻る]を長く（約1秒以上）押すと入力内容をすべて削除することができます。

●文字の入力方法については4章を参照してください。

■国番号リストに追加登録する

国番号リストにはあらかじめ17カ国の国番号が登録されています。また、この国番号リストは編集や追加登録することができます。国番号リストの登録可能国数は最大20カ国です。

1 待受画面で[●]を押し、[方向キー]で「設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

2「発着信設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

3「音声通話設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

4「国際発信設定」を選択し、[ー]（選択）を押す

5「国番号リスト」を選択し、[ー]（選択）を押す

6 [ー]（メニュー）を押す

7「追加」を選択し、[ー]（選択）を押す

8 国名を入力し、[●]を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●登録可能文字数は、最大16文字です。

9 国番号を入力し、[-]（決定）を押す

▶ 国番号リストに登録されます。
● 登録可能桁数は、最大6桁です。

補　足

● 操作7で、以下の操作を行うこともできます。
編集／**削除**※
※ 追加登録した3ヵ国のみ削除できます。

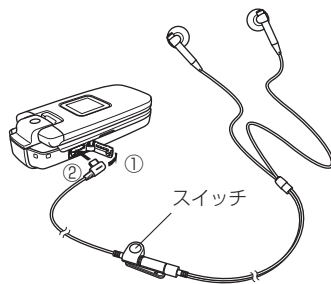
マルチステレオイヤホンマイクの利用

付属のマルチステレオイヤホンマイク接続時に、イヤホンマイクのスイッチを押すだけであらかじめ設定した電話番号に電話をかけたり、受けたりすることができます。

1 イヤホンマイク端子のキャップを開ける

2 イヤホンマイクの接続プラグをイヤホンマイク端子に差し込む

16

その他の機能

■イヤホン発信の番号登録

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、□（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、□（選択）を押す

3 「音声通話設定」を選択し、□（選択）を押す

4 「イヤホン発信」を選択し、□（選択）を押す

5 「On」を選択し、□（選択）を押す

6 イヤホン発信の登録方法を選択し、□（選択）を押す

ダイヤル入力：電話番号を入力し、●を押します。
電話帳：登録したい電話帳を選択し、●を押したあと、登録したい電話番号を選択し、●を押します（5-19ページ）。

7 □（設定）を押す

▶ イヤホン発信の番号が登録されます。

■ワンタッチで電話をかける

1 イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶ イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、登録されている番号に電話がかかります。
● 発信中にスイッチを長く（約1秒以上）押すとイヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

2 通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）

▶ イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。
● □を押しても電話が切れます。

■ワンタッチで電話を受ける

1 **電話がかかってくる**

2 **イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）**

▶ イヤホンから「ピピッ」と音が鳴り、電話がつながります。

3 **通話終了後、イヤホンマイクのスイッチを押す（約1秒以上）**

▶ イヤホンから「ピー」と音が鳴り、電話が切れます。

● [終話キー]を押しても電話が切れます。

補　足

- イヤホンマイク接続時にマナーモード（3-2ページ）にしていても、イヤホンからは通常モードで設定された着信音が聞こえます。

QRコードの読取り

メインカメラでQRコードを読取り、QRコードデータとして保存することができます。保存できるのは最大10件です。ただし、データ容量が大きい場合は、保存できる件数が少なくなることがあります。また、読取った情報から、URLへの接続、メールの送信、電話帳の登録などを行うこともできます。

重　要

- QRコードが汚れていたり影がかかっていたりすると読取れないことがあります。
- QRコードのサイズやバージョンによっては、情報を読取れないことがあります。

補　足

- 読取ったQRコードが分割データだった場合は、連続して読取ることができます（最大16分割）。保存する場合は、1件のQRコードとして保存されます。

■QRコードを読取る

1 待受画面で●を押し、◎で「カメラ」を選択し、⊡（選択）を押す

2 「バーコードリーダー」を選択し、⊡（選択）を押す

▶ QRコード読取り画面が表示されます。

3 撮影したいQRコードをメインディスプレイのガイドにあわせ、●を押す

▶ QRコードを読取りQRコードデータが表示されます。

- ◎で露出補正を行うことができます。
- 読取ったQRコードが分割データの場合は、⊡（Yes）を押し、操作3を繰り返してください。すべて読取るとQRコードデータが表示されます。

4 ⊡（メニュー）を押す

5 「保存」を選択し、⊡（選択）を押す

▶ QRコードデータが保存されます。

補足

- QRコードのサイズが大きい場合は、操作3のあと、AVを押してオートフォーカスを使用してください。オートフォーカスにするとガイド枠が表示されます。
- 操作5で、以下の操作を行うこともできます。
  選択／コピー／メールへ挿入-SMS／メールへ挿入-MMS
- 読取ったデータによっては、●を押して、以下の操作を行うことができます。

データ	できる操作
MAILTO：から始まる	メール送信-SMS（20-2ページ）、メール送信-MMS（20-2ページ）
MEMORY：から始まる	電話帳登録（5-4ページ）
URLを含む	URLの画面表示
Media Player URLを含む	URLの画面表示
メールアドレスを含む	メール送信-MMS、電話帳登録
TEL：から始まる	発信、メール送信-SMS、メール送信-MMS、電話帳登録
画像データを含む	表示、保存、プロパティ
サウンドデータを含む	再生、保存、プロパティ

■保存したデータを確認する

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「カメラ」を選択し、(-)（選択）を押す

2 「バーコードリーダー」を選択し、(-)（選択）を押す

▶QRコード読取り画面が表示されます。

3 (-)（メニュー）を押す

4 「読取りデータ確認」を選択し、(-)（選択）を押す

5 確認したいQRコードデータを選択し、(●)を押す

▶QRコードデータ詳細画面が表示されます。

補　足

● 操作4で以下の操作を行うこともできます。
読取り／露出補正／カメラモード切替
● 操作4のあと(-)（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
選択／名称変更／一件削除／全件削除

外部機器設定

外部機器（パソコン等）からパケット通信を行うときの接続先（APN）を設定することができます。

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「設定」を選択し、(-)（選択）を押す

2 「ネットワーク設定」を選択し、(-)（選択）を押す

3 「外部機器設定」を選択し、(-)（選択）を押す

4 「未登録」を選択し、(●)を押す

5 APNを入力し、(●)を押す

▶確認画面が表示されます。
●文字の入力方法については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、最大100文字です。

6 (-)（Yes）を押す

▶接続先（APN）が設定されます。

オプションサービス

オプションサービスの概要

ボーダフォンでは、次のオプションサービスを利用することができます。

●電波の届かない場所や、ご契約いただいた地域以外のサービスエリアでは、902Tからは操作できません。
●ご契約いただいた地域によっては、ご利用になれないサービスや機能が制限されるものもあります。
●オプションサービスの詳細については3Gガイドブックをご覧ください。

サービス	内容
転送電話サービス	かかってきた電話を指定した電話に転送します（17-3ページ）。
留守番電話サービス	電波の届かない場所や通話中のため電話にでられないとき（割込通話サービスを設定している場合は除く）などに、留守番電話センターで伝言をお預かりします（17-5ページ）。
割込通話サービス	今までお話していた相手の方との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます（17-8ページ）。
多者通話サービス	通話中に別の相手に電話をかけ、同時に複数の相手と通話することができます（17-9ページ）。
発着信規制サービス	国際電話を含む、すべての発着信を規制することができます（17-10ページ）。
発信者番号通知サービス	お客様の番号を相手に通知したり、かけてきた相手の方の電話番号を確認することができます。

転送電話サービス

電源を切っているときや電波の届かない場所にいるとき、かかってきた音声電話やＴＶコールを指定した電話へ転送します。「**全サービス**」、「**音声電話**」、「**TVコール**」を「**呼出なし**」にした場合は、待受画面に「（全サービス）」、「（音声電話）」、「（TVコール）」が表示されます。

■転送電話サービスを設定／開始する

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、（選択）を押す

3 「転送電話」を選択し、（選択）を押す

4 「全サービス」、「音声電話」、「TVコール」、「Fax通信」のいずれかを選択し、（選択）を押す

5 転送条件を選択し、（選択）を押す

呼出なし　：着信を知らせずに転送します。

着信／通話中　：着信中または通話中に別の相手から電話がかかってきたときに（転送）を押して転送します。

呼出あり　：着信未応答の場合に転送します。応答時間を設定したあと、操作6へ進んでください。

電源オフ／圏外時：電源オフや圏外の場合に転送します。

一括　：「**着信／通話中**」、「**呼出あり**」、「**電源オフ／圏外時**」のいずれかの条件にあった場合に転送します。応答時間を設定したあと、操作6へ進んでください。

●個別に転送電話サービスを停止する場合は、「**停止**」を選択します。また、個別に設定状況を確認する場合は、「**確認**」を選択します。

6 転送先の登録方法を選択し、（選択）を押す

電話帳　：登録したい電話帳を選択し、●を押します（5-19ページ）。

ダイヤル入力：電話番号を入力したあと、（決定）を押して操作8へ進んでください。

通話履歴　：通話履歴から登録します。

7 登録したい電話番号を選択し、●を押す

8 ●を押す

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

重　要

- 転送電話サービスと留守番電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに留守番電話サービスを開始されているときに転送電話サービスを開始すると、留守番電話サービスは停止されます。

補　足

- 次の電話番号は転送先として登録できません。
  - ・「1」から始まる電話番号（例：110、119、118など）
  - ・「0120」から始まる電話番号（フリーダイヤル）
  - ・「0990」から始まる電話番号（ダイヤルQ2など）

転送電話サービス開始後の着信中

●着信音が鳴っている間に を押すと、そのまま通話できます。

・「**呼出なし**」にしているときは、そのまま転送先へ転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

■転送電話サービスをすべて停止する

1 待受画面で●を押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、（選択）を押す

3 「転送電話」を選択し、（選択）を押す

4 「サービス全停止」を選択し、（接続）を押す

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

●転送電話サービスの設定状況を確認する場合は、「**全確認**」を選択します。

重　要

- 転送電話サービスと留守番電話サービス（17-5ページ）を停止している場合は、着信中に（転送）を押すと、着信を拒否します。

留守番電話サービス

電波の届かない場所にいるときや、電話に出られないとき、留守番電話センターで伝言メッセージをお預かりします。
留守番電話センターに新しくメッセージをお預かりすると、待受画面に「✉」が表示されます。

■留守番電話サービスを開始する

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

2 **「発着信設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

3 **「留守番電話」を選択し、⊟（選択）を押す**

4 **「留守番電話設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

5 **「留守番設定」を選択し、⊟（選択）を押す**

- 留守番電話サービスの設定状況を確認する場合は、「**サービス確認**」を選択します。

6 **転送条件を選択し、●を押す**

呼出なし：着信を知らせずに留守番電話センターへ転送します。
着信／通話中：着信中または通話中に別の相手から電話がかかってきたときに⊟（転送）を押して留守番電話センターへ転送します。
電源オフ／圏外時：圏外や電源オフの場合に留守番電話センターへ転送します。
呼出あり：着信未応答の場合に留守番電話センターへ転送します。このあと応答時間を設定します。
一括：「**着信／通話中**」、「**電源オフ／圏外時**」、「**呼出あり**」のいずれかの条件に合った場合に留守番電話センターへ転送します。このあと応答時間を設定します。

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

重　要

- 留守番電話サービスと転送電話サービスを同時に利用することはできません。
- すでに転送電話サービスを開始されているときに留守番電話サービスを開始すると、転送電話サービスは停止されます。

留守番電話サービス開始後の着信中

●着信音が鳴っている間に［通話］を押すと、そのまま通話できます。
・「**呼出なし**」にしているときは、そのまま留守番電話センターへ転送されます（関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合）。

留守番電話サービスの機能

●留守番電話サービスには、応答メッセージの録音や不在応答メッセージの利用など、いろいろな機能があります。利用できる機能や操作方法は、ご契約いただいた地域によって異なります（詳しくは3Gガイドブックをご覧ください）。

■留守番電話サービスを停止する

1 待受画面で［●］を押し、［◇］で「設定」を選択し、［－］（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、［－］（選択）を押す

3 「留守番電話」を選択し、［－］（選択）を押す

4 「留守番電話設定」を選択し、［－］（選択）を押す

5 「サービス停止」を選択し、［－］（接続）を押す

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

重　要

●留守番電話サービスと転送電話サービス（17-3ページ）を停止している場合は、着信中に［転送］（転送）を押すと、着信を拒否します。

■伝言メッセージを聞く

1 待受画面で［●］を押し、［◇］で「設定」を選択し、［－］（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、［－］（選択）を押す

3 「留守番電話」を選択し、［－］（選択）を押す

4 「留守番電話再生」を選択し、［－］（発信）を押す

●以降の操作はアナウンスに従ってください。

補　足

- 待受画面で[1]を長く（約1秒以上）押しても伝言メッセージを聞くことができます。

■センター番号／再生番号を変更する

留守番電話センターのセンター番号および再生番号を変更することができます。

- **センター番号および再生番号は、ボーダフォンからお知らせがあったとき以外は、変更しないでください。**

お買い上げ時はセンター番号が「09066517000」、再生番号が「1416」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、（選択）を押す

3 「留守番電話」を選択し、（選択）を押す

4 「留守番電話設定」を選択し、（選択）を押す

5 「留守番センター設定」を選択し、（選択）を押す

6 「センター番号変更」または「再生番号変更」を選択し、●を押す

▶ 現在設定されている番号が表示されます。

7 設定したい番号を入力し、（決定）を押す

▶ センター番号または再生番号が設定されます。

- （クリア/戻る）を長く（約1秒以上）押すと入力内容をすべて削除することができます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。

補　足

- センター番号または再生番号をお買い上げ時の状態に戻す場合は、操作6で（メニュー）を押したあと、「**設定リセット**」を選択し、操作用暗証番号（1-24ページ）を入力します。

割込通話サービス

今までお話していた相手との通話を保留にし、かかってきた電話を受けることができます。また、通話中の相手と保留中の相手を切り替えて通話できます。ただし、TVコールでは利用することができません。

●北海道／北陸／九州・沖縄地域および東北・新潟／中国／四国地域でのご契約の場合、サービスはご利用になれますが、設定およびご確認できません。

■割込通話サービスを設定／停止する

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「設定」を選択し、(選択)を押す

2 「発着信設定」を選択し、(選択)を押す

3 「割込み通話」を選択し、(選択)を押す

4 「起動」または「停止」を選択し、(接続)を押す

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

●割込通話サービスの設定状況を確認する場合は、「**確認**」を選択します。

■割込通話を受ける

1 通話中に割込通話着信音が聞こえる

▶割込みをしてきた相手の名前と電話番号が表示されます。

2 (メニュー)を押す

3 「着信応答」を選択し、(選択)を押す

●最初に話していた相手を保留にして、割込みをしてきた相手の着信に応答します。画面には両方の名前が表示されます。

4 (⌒)を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わる

重　要

●割込通話サービスは、国際電話ではご利用になれません。

関東・甲信／東海／関西地域でご契約の場合

●留守番電話サービスまたは転送電話サービスを開始しているときは、通話中にかかってきた電話を受けなければ留守番電話センターまたは転送先に転送されます。また、留守番電話サービスまたは転送電話サービスを「**呼出なし**」にしているときは、割込通話サービスは受けられません。直接、留守番電話センターまたは転送先に転送されます。

割込通話中に通話中の相手の方が電話を切ると

●呼び出し音が鳴って画面に「**保留中**」と表示されます。［通話］を押すと、保留中の相手の方との通話になります。

補　足

● 操作3で、以下の操作を行うこともできます。
終話応答／**着信拒否**／**着信転送**／**全終話**

多者通話サービス

通話中に、別の相手へ電話をかけ、相手を切り替えながら通話したり、複数で同時に通話することができます。自分を含めて最大6人までの通話ができます。ただし、ＴＶコールでは利用することができません。

■通話中に別の相手へ電話をかける

1 通話中に電話番号を入力し、［通話］を押す

▶通話していた相手の方を保留にし、別の相手の方と通話できます。

●［メニュー］（メニュー）を押して電話帳（5-19ページ）、通話履歴から相手を呼び出すこともできます。

■相手を切り替えながら通話する（切替通話）

1 通話中に別の相手を呼び出す（上記）

2 ［通話］を押すたびに、話す相手と保留中の相手が切り替わる

切替通話中に通話中の相手の方が電話を切ると

●呼び出し音が鳴って画面に「**保留中**」と表示されます。［通話］を押すと、保留中の相手の方との通話になります。

■複数で同時に通話する

1 切替通話中（17-9ページ）に、（メニュー）を押す

2 「多者通話」を選択し、（選択）を押す

3 「多者通話」を選択し、（選択）を押す

▶ 複数で同時に通話することができます。

多者通話中にを押すと
●通話していたすべての方との電話が同時に切れます。

多者通話中に通話中の相手の1人が電話を切ると
●残された相手の方との通話になります。

多者通話中に1人とのみ通話する
●通話する相手を選択し、（メニュー）を押し「**多者通話**」を選択し、（選択）を押したあと、「**個別通話**」を選択します。選択した相手とのみの通話となり、他の相手の方は保留となります。

発着信規制サービス

音声電話やTVコール、SMSの発信や着信を制限することができます。

■発着信規制サービスを開始する

1 待受画面でを押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、（選択）を押す

3 「発着信規制」を選択し、（選択）を押す

4 「発着信規制設定」を選択し、（選択）を押す

●発着信規制サービスの設定状況を確認する場合は、「**発着信規制確認**」を選択します。

5 「発信規制」または「着信規制」を選択し、（選択）を押す

6 規制したい条件を選択し、[−]（接続）を押す

●発信規制の場合

全発信規制　：発信ができなくなります。
国際発信全規制：国際電話がかけられなくなります。
国際発信規制　：海外で日本への国際電話を除く国際電話がかけられなくなります。

●着信規制の場合

全着信規制　：着信ができなくなります。
国際着信規制　：海外での着信ができなくなります。

7 発着信規制用暗証番号を入力する

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

重　要

- 発着信規制を設定しても110番（警察）、119番（消防）、118番（海上保安本部）へは発信することができます。
- 操作4で「**発着信規制確認**」を選択した場合は、画面には以下のように表示されます。
  - ･「**国際発信全規制**」を設定している場合は「**国際発信規制**」の設定にかかわらず「**国際発信全規制**」が表示されます。ただし、「**全発信規制**」を設定している場合は「**全発信規制**」が表示されます。
  - ･「**全着信規制**」を設定している場合は「**国際着信規制**」の設定にかかわらず「**全着信規制**」が表示されます。

■発着信規制サービスを停止する

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[−]（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、[−]（選択）を押す

3 「発着信規制」を選択し、[−]（選択）を押す

4 「発着信規制停止」を選択し、[−]（選択）を押す

5 「発信規制停止」、「着信規制停止」、「規制全停止」のいずれかを選択し、[−]（接続）を押す

6 発着信規制用暗証番号を入力する

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

■発着信規制用暗証番号を変更する

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、⊡（選択）を押す

2 「発着信設定」を選択し、⊡（選択）を押す

3 「発着信規制」を選択し、⊡（選択）を押す

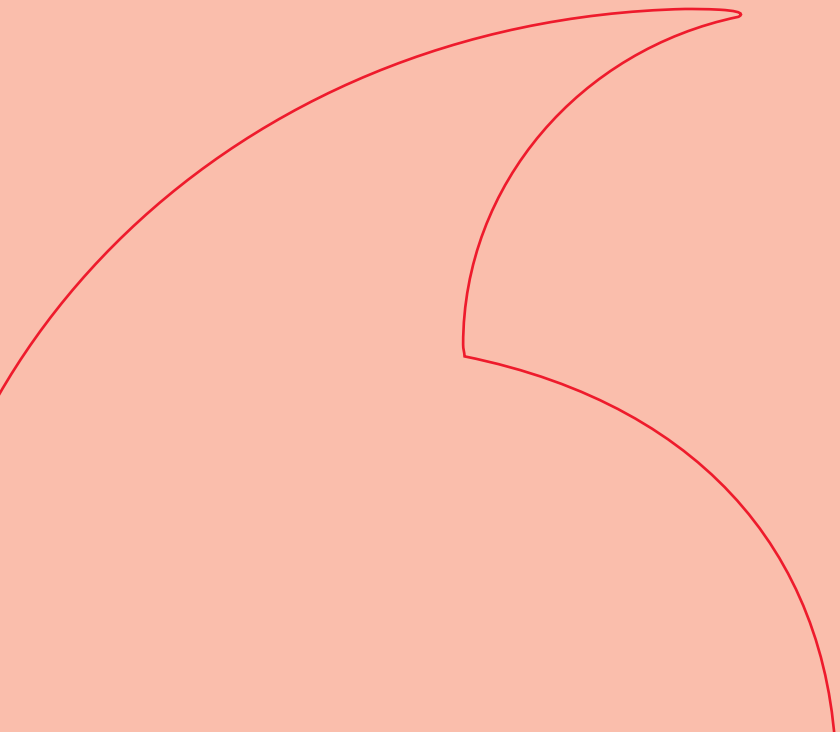
4 「暗証番号変更」を選択し、⊡（選択）を押す

5 現在の暗証番号を入力する

6 新しい暗証番号を入力し、⊡（決定）を押す

7 確認のためもう一度新しい暗証番号を入力し、⊡（決定）を押す

▶ネットワーク接続後、設定完了の画面が表示されます。表示されない場合は、もう一度操作をやり直してください。

Vodafone live!をご利用になる前に

Vodafone live!（以下「ボーダフォンライブ！」と記載）とは、ボーダフォンライブ！対応の携帯電話で、メール、ウェブ、Vアプリの機能が利用できる通信サービスです。

●通信サービスは、3G／GPRSサポートエリア内でのみ使用することができます。また、3G／GPRSサポートエリア内にいる場合は、画面上に「3G」または「G」が表示されます。

●各サービスの通信料や詳細については、3Gガイドブックをご覧ください。

メール

MMS（20-2ページ）

ボーダフォン携帯電話（MMS対応機種）やインターネットに接続されたE-mail対応機器に、長い文字メッセージや画像、メロディを添付して送受信することができます。

●MMSの利用とE-mailの受信には、別途ご契約が必要です。

SMS（20-3ページ）

ボーダフォン携帯電話（SMS対応機種）との間で、電話番号を宛先として短い文字メッセージの送受信ができます。

補　足

●**リトライ機能について**

相手が電源を切っていたり、電波の届かないところにいる場合は、メールサーバーにメールが保管され、電波が届くようになると配信します。

SMSは最大72時間保管され、相手が受信するまで配信されます。MMSは最大30日間保管され、MMS通知は最大24時間、相手が受信するまで配信されます。保管期間を過ぎたSMS／MMSはメールサーバーから消去されます。

ウェブ

ボーダフォンの情報提供サービスです。文字情報や画像、メロディを入手できます。

メニューからアクセス（24-3ページ）

ボーダフォンライブ！のメニューを選択して、必要な情報を入手できます。

インターネットアクセス（24-3ページ）

URLを入力して、インターネットのホームページから情報を入手できます。

Vアプリ

ウェブでダウンロード（27-2ページ）
Vアプリを提供しているウェブの情報画面からゲームや3D画像などのいろいろなVアプリをダウンロードして、利用できます。ウェブからダウンロードしたVアプリはVアプリライブラリに保存されます。

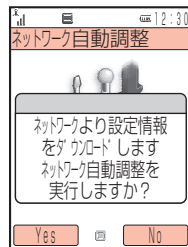
ネットワーク接続型Vアプリ（27-2ページ）
ネットワーク接続型のゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手できます。

待受設定（28-2ページ）
Vアプリを待受画面に設定しておくと、着信やメール受信時にアニメーションや音声でお知らせすることができます。

■ネットワーク情報を取得する（ネットワーク自動調整）

ボーダフォンライブ！をお使いになる上で必要な情報をネットワークから取得します。
お買い上げ後、最初に●または、、を押すと、ネットワーク自動調整画面が表示されます。

1 待受画面で●を押す

▶ネットワーク自動調整の確認画面が表示されます。
● または、を押しても、右の画面が表示されます。

2 （Yes）を押す

▶ネットワークに接続し、情報の取得を行います。

重　要

●ネットワーク自動調整を行わないと、902Tでご利用になれる機能が一部制限されます。
●ネットワーク自動調整を行ったあとにUSIMカードを差し替えた場合は、再度ネットワーク自動調整を行ってください。

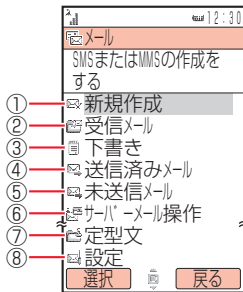
補　足

●一度ネットワーク自動調整を行ったあとも、メインメニューから再度、設定することができます（18-8ページ）。

■各メニュー画面について

メールメニューについて

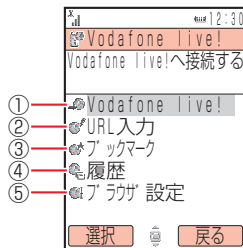
メールの各機能は、メールメニューから選択して行います。メールメニューは、待受画面で（✉）を押すか、または●を押して「**メール**」を選択しても表示されます。

①MMS、SMSを作成します（20-2ページ）。
②受信したメールを確認できます（19-2ページ）。
③メールを下書きとして保存できます（20-15ページ）。
④送信したメールを確認できます（21-2ページ）。
⑤送信に失敗したメールを確認できます（21-2ページ）。
⑥メールサーバーに接続し、各種操作を行うことができます（22-2ページ）。
⑦定型文を利用してメールを作成することができます（20-11ページ）。
⑧メールの各種設定を行うことができます（23-2ページ）。

ウェブメニューについて

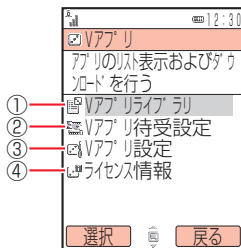
ウェブの各機能はウェブメニューから選択して行います。ウェブメニューは待受画面で●を押して「**Vodafone live!**」を選択すると表示されます。

①サーバーに接続し、ボーダフォンライブ！のメインメニューを表示します。メニューから情報を取得できます（24-3ページ）。
②URLを入力し、インターネットにアクセスして情報を取得できます（24-3ページ）。
③よく使う情報のURLを登録して利用することができます（25-2ページ）。

④入力したアドレスが新しいものから最大300件保存されます（24-4ページ）。

⑤ブラウザの各種設定を行うことができます（26-2ページ）。

Vアプリメニューについて

Vアプリの各機能は、Vアプリメニューから選択して行います。Vアプリメニューは、待受画面で(●)を押して「**Vアプリ**」を選択すると表示されます。

①Vアプリライブラリを利用することができます（27-4ページ）。
②待受画面にVアプリを起動させることができます（28-2ページ）。
③Vアプリの各種設定を行うことができます（28-4ページ）。
④Vアプリのライセンス情報を表示します（28-7ページ）。

メールアドレスの変更

E-mailサービスをご利用の場合､パソコンなどとのやりとりに使用するE-mailアドレスのアカウント名（@の前の部分）をお好きな文字列に変更することができます。
ご契約時にはランダムな英数字が設定されています。

1 **待受画面で(-)（(◎)）を押す**

▶ ボーダフォンライブ！のメインメニューが表示されます。

2 **「My Vodafone」を選択し、(●)を押す**

3 **「各種変更手続き」を選択し、(●)を押す**

4 **「オリジナルメール設定」を選択し、(●)を押す**

▶ 以降の操作は画面の指示に従ってください。

補　足

- ウェブ接続後の操作については24-3ページを参照してください。また、文字の入力方法については4章を参照してください。
- メールアドレスの設定については、3Gガイドブックをご覧ください。

メモリ使用状況の確認

メールやデータフォルダなどで使用しているメモリの使用状況を確認することができます。

1 待受画面で(●)を押し、(◎)で「設定」を選択し、(選択)を押す

2 「メモリ設定」を選択し、(選択)を押す

3 「本体」を選択し、(選択)を押す

4 「メモリ容量確認」を選択し、(選択)を押す

▶ メモリ使用状況が表示されます。

メッセージセンター番号の設定

SMSセンター番号を変更することができます。
ボーダフォンより番号変更のお知らせがない場合は変更しないでください。サービスがご利用になれなくなります。
●SMSセンター番号は、USIMカードに登録されています。

1 待受画面で(✉)を押す

2 「設定」を選択し、(選択)を押す

3 「SMS設定」を選択し、(選択)を押す

4 「メッセージセンター」を選択し、(選択)を押す

5 新しいセンター番号を入力し、(決定)を押す

▶ 新しいメッセージセンター番号が設定されます。

ネットワークの設定

アプリケーション設定を行う

サービス（アプリケーション）ごとに接続先を変更したり、あらたに設定することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、[−]（選択）を押す

2 「ネットワーク設定」を選択し、[−]（選択）を押す

3 「アプリケーション設定」を選択し、[−]（選択）を押す

4 「ブラウザ／Vアプリ」、「メール」、「ストリーミング」のいずれかを選択し、[−]（選択）を押す

5 設定または編集したい項目を選択し、[−]（メニュー）を押す

●設定や編集などを行うことができます。

重　要

●通常、設定を変更する必要はありません。特定の接続先に接続するときなどに、設定してください。

インターネット設定を行う

インターネットのアクセスポイントの設定を変更したり、あらたに設定することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、[−]（選択）を押す

2 「ネットワーク設定」を選択し、[−]（選択）を押す

3 「インターネット」を選択し、[−]（選択）を押す

4 プロファイルを選択し、[−]（メニュー）を押す

●編集や削除などを行うことができます。
●新規にプロファイルを追加する場合は、「**未登録**」を選択し、[−]（追加）を押します。以降の操作は画面の指示に従ってください。

重　要

●通常、設定を変更する必要はありません。特定の接続先に接続するときなどに、設定してください。

ネットワーク自動調整を行う

ネットワーク自動調整は、一度設定すると自動的に表示されなくなります。設定を変更する場合は、メインメニューからネットワーク自動調整を行います。

1 **待受画面で●を押し、◎で「設定」を選択し、▭（選択）を押す**

2 **「ネットワーク設定」を選択し、▭（選択）を押す**

3 **「ネットワーク自動調整」を選択し、▭（選択）を押す**

▶ネットワーク自動調整の確認画面が表示されます。

4 **▭（Yes）を押す**

▶ネットワークに接続し、情報の取得を行います。

メール受信

新着メールの確認

メールを受信すると、着信音などとともに、アニメーションが表示されます。本体を閉じているときは、サブディスプレイにアニメーションが表示されます。
MMSを受信した場合は「」が、SMSを受信した場合は「」が、画面上に表示されます。

受信してすぐに確認する

1 待受中にメールを受信する

- ▶ 受信アニメーションが表示されます。そのあと、待受画面にお知らせ一発メニューが表示されます。
- ●受信したメールは「**受信メール**」（21-2ページ）に保存されます。

2 確認したい項目を選択し、（選択）を押す

▶ 受信メール一覧画面が表示されます。

3 確認したいメールを選択し、を押す

▶ メールが表示されます。

補　足

- ●メール受信時の着信音とバイブレーターは、モードの設定（9-4ページ）に従います。
- ●未読の受信メールがある場合はお知らせイルミネーション（16-2ページ）が点滅します。
- ●通話中にメールを受信すると、電子音でお知らせします。
- ●E-mailを受信した場合はMMSとして表示されます。

受信メールを保存するメモリがなくなったときは

メールが送られてきたときに保存するメモリが足りないと、メールを受信することができません。その場合は、警告メッセージが表示され、待受画面に「」が表示されます（SMSの場合のみ）。不要なメールを削除してください（21-10ページ）。

重　要

- ●メモリに空きがなくて受信することができなかったMMS通知はリトライ機能（18-2ページ）による再配信はされません。メールリストを取得して（22-2ページ）、サーバーより受信するか、受信通知再送機能を利用してMMS通知を受信してください。受信通知再送機能については、3Gガイドブックを参照してください。
- ●自動削除（21-12ページ）を「On」にしている場合は、メモリに空きがなくなったとき、MMSを受信すると既読の古いMMSから、SMSを受信すると既読の古いSMSから自動的に削除されます。

■受信したメールを確認する

受信したメールは「**受信メール**」に保存されます。

●「**受信メール**」には最大8個のフォルダを作成でき、受信したメールをフォルダ別に保存することができます。また、受信メールを自動的に指定したフォルダへ保存することができます（21-6ページ）。

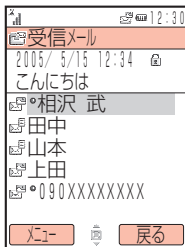
●MMSを受信した場合は、その情報量によって受信方法が異なります。あらかじめメールの受信方法を自動受信（23-3ページ）にしている場合は、すべての内容を自動的に受信します。

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「受信メール」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ 受信メール一覧画面が表示されます。

●フォルダ内のメールを確認する場合は、フォルダを選択し、●を押します。

●アイコン表示については21-2ページを参照してください。

3 確認したいメールを選択し、●を押す

▶ メールが表示されます。

重　要

● ファイルによってはコンテンツ・キー（コンテンツの使用権）を取得しないと表示／再生できない場合があります。取得中にキャンセル操作を行うと、コンテンツ・キーはしばらくたってから配信されます。

● 約300Kバイト以上のメールや、70個を超えるファイルが添付されているメールは、受信することができません。

補　足

● 複数のページが設定されているMMSが送られてきたときは、画像、音声およびテキストがスライドショーのように再生されます。スライド再生中、［-］（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。

一時停止／終了

● MMSに複数のページがある場合は、◀▶でページを切り替えることができます。

● SMSで、半角161文字以上に相当するメッセージが送られてきたときは、メッセージを自動的に連結します。また、連結メッセージを受信中の場合は、操作2の画面で「**連結SMSあり**」と表示されます。

■MMSの続きを受信する

メールサーバーに以下のいずれかに当てはまるMMSが送られてくると、メールサーバーに一時保存され、メールの一部（先頭部分）をお客様のボーダフォン携帯電話にMMS通知として送信します。MMS通知を受信すると、画面上に「📩」が表示されます。

●続きを受信するときには、受信側に料金がかかります。詳しくは3Gガイドブックをご覧ください。

メールサーバーに一時保存される条件

●メッセージが半角285文字（285バイト）以上の場合
●添付ファイルがある場合
●複数の宛先が指定されている場合
●件名が半角41文字以上の場合
●相手のアドレスが半角60文字以上の場合

1 続きを受信したいメール（MMS通知）を表示する

●表示方法については21-2ページを参照してください。

2 「続きを受信」を選択し、●を押す

▶ メールの続きを受信します。

補足

●自動受信選択（23-3ページ）を「**自動受信**」にしている場合は、自動的にMMSの続きを受信します。

メールサーバー内のメールを転送する

MMS通知を受信した場合に、メールサーバー内のメールの続きをご自宅のパソコンなどに転送することができます。

1 続きを受信したいメール（MMS通知）を表示し、[-]（メニュー）を押す

●表示方法については21-2ページを参照してください。

2 「転送」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「サーバーメール転送」を選択し、[-]（選択）を押す

4 宛先の設定方法を選択し、[-]（選択）を押す

電話帳：電話帳から登録します（5-19ページ）。
宛先入力：宛先を入力します。登録可能文字数は256文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。
グループリスト：グループリストから登録します（5-15ページ）。

5 宛先を指定し、●を押す

6 「送信」を選択し、●を押す

▶メールが転送されます。

■受信したメールを利用する

受信したメールに返信する

1 受信メール一覧画面（19-3ページ）より、返信したいメールを選択し、［メニュー］（メニュー）を押す

2 「返信」を選択し、［選択］（選択）を押す

3 「メール返信-MMS」、「全員に返信」、「メール返信-SMS」のいずれかを選択し、［選択］（選択）を押す

▶自動的にアドレスが設定されたメール作成画面または本文入力画面が表示されます。

●MMSの場合は、件名も設定されます。件名には、返信を示す「**Re：**」がつきます。

●メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

●選択できる項目はメールの種類によって異なります。

補　足

●共通設定の「**返信設定**」（23-2ページ）でメッセージを引用する／引用しないを設定することができます。返信設定を「**ユーザ確認**」にしている場合は、操作3のあと引用するかどうかの確認画面が表示されます。

●操作3で「**全員に返信**」を選択した場合は、すべての送信先（To／Ccに入っている宛先）に同じ内容のメールを一度に返信することができます。ただし、Ccに設定されていた宛先もToとして返信されます。

受信したメールを転送する

1 受信メール一覧画面（19-3ページ）より、転送したいメールを選択し、［メニュー］（メニュー）を押す

2 「転送」を選択し、［選択］（選択）を押す

▶自動的に本文が設定されたメール作成画面または本文入力画面が表示されます。

●MMSの場合は、件名も設定されます。件名には、転送を示す「**Fw：**」がつきます。

●メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

補　足

- 転送するメールに添付ファイルがある場合は、添付ファイルも転送されます。
- MMS対応機以外からの携帯電話やパソコンから受信した添付ファイル付きのE-mailを転送する場合は、以下の画面が表示されます（通常のMMSのメール作成画面とは異なります）。

元の本文

「**コンテンツ**」を選択すると、添付ファイルを追加することができます。メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

送信者に電話をかける

メールの送信者アドレスが電話番号の場合は、送信者に電話をかけることができます。

1 **受信メール一覧画面（19-3ページ）より、電話をかけたい相手からのメールを選択し、［メニューキー］（メニュー）を押す**

2 **「送信元に発信」を選択し、［メニューキー］（選択）を押す**

3 **［発信キー］を押す**

▶ メールの送信者に電話がかかります。

メール送信

メールの作成方法

送信可能文字数

メールで送信できる文字数は以下の通りです。

メールの種類	送信可能文字数（最大）
MMS	1ページあたり全角約10,000文字／半角約30,000文字※ （1メッセージにつき、件名、本文、添付ファイルを合わせて最大300Kバイト）
SMS	全角または半角で70文字（最大140バイト）すべて半角で入力した場合は160文字

※ 添付するファイルのデータ量によって、送信可能文字数は異なります。

入力可能項目

メール作成時、以下の項目を入力することができます。
○：入力可能　×：入力不可

項　目	MMS	SMS
宛先（20-3、20-4ページ）	○	○
件名（20-6ページ）	○	×
本文（20-6ページ）	○	○
添付ファイル（20-7ページ）	○	×

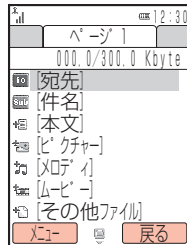
■MMSの操作手順

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「新規作成」を選択し、［-］（選択）を押す

3 「MMS」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ メール作成画面が表示されます。

● 送信済みメールの自動削除（21-12ページ）を「Off」にしている場合は、メモリに空きがなくなると警告メッセージが表示され、メールを作成することができません。不要なメールを削除（21-10ページ）するか、自動削除を「On」にしてください。

4 必要な項目を入力し、●を押す

● 入力可能項目については左記を参照してください。

5 「メール送信-MMS」を選択し、●を押す

▶ メールが送信されます。

■SMSの操作手順

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「新規作成」を選択し、［-］（選択）を押す

3 「SMS」を選択し、［-］（選択）を押す

▶本文入力画面が表示されます。

●送信済みメールの自動削除（21-12ページ）を「**Off**」にしている場合は、メモリに空きがなくなると警告メッセージが表示され、メールを作成することができません。不要なメールを削除（21-10ページ）するか、自動削除を「**On**」にしてください。

4 本文を入力し、●を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●送信可能文字数については20-2ページを参照してください。

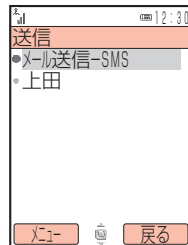
5 宛先の設定方法を選択し、［-］（選択）を押す

電話帳　：電話帳から登録します（5-19ページ）。

宛先入力：宛先を入力します。登録可能桁数は、最大20桁です。

6 宛先を指定し、●を押す

▶宛先一覧画面が表示されます。

●宛先を追加する場合は、このあと［-］（メニュー）を押して「**宛先設定**」を選択します。宛先は最大10件設定できます。

7 「メール送信-SMS」を選択し、●を押す

▶メールが送信されます。

重　要

●宛先にE-mailアドレスを設定することはできません。

●送信時には、宛先に設定した人数分の送信料がかかります。

●送信中に［-］（キャンセル）を押した場合は、現在送信中の宛先の次に設定されている宛先への送信が取り消されます。

補　足

●SMSの本文が送信可能文字数を超過すると、操作4のあとMMSに変換することができます。

●操作6のあと［-］（メニュー）を押して、以下の操作を行うこともできます。

送信／本文編集／下書き保存／送信オプション

■MMSの宛先を入力する

宛先には電話番号またはE-mailアドレスを指定できます。MMSでは、宛先をTo／Cc／Bccそれぞれ最大30件設定することができます。電話番号は最大20桁、E-mailアドレスは最大256文字入力できます。

電話帳から入力する

電話帳（5-2ページ）からメールの宛先を設定することができます。

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、「宛先」を選択し、●を押す**

2 **「電話帳」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **宛先に設定したい電話帳を選択し、●を押す**

●電話帳については5章を参照してください。

4 **設定したい電話番号またはE-mailアドレスを選択し、●を押す**

▶宛先が設定され、メール作成画面に戻ります。

E-mailアドレス／電話番号を入力する

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、「宛先」を選択し、●を押す**

2 **「宛先入力」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **E-mailアドレスまたは電話番号を入力し、●を押す**

▶宛先が設定され、メール作成画面に戻ります。
●文字の入力方法については4章を参照してください。

グループを呼び出して入力する

メールグループ（5-15ページ）をメールの送信先に指定できます。

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、「宛先」を選択し、●を押す**

2 **「グループリスト」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **送信したいメールグループを選択し、●を押す**

4 **[-]（メニュー）を押す**

5 「決定」を選択し、[-] （選択）を押す

▶ 宛先が設定され、メール作成画面に戻ります。

重　要

● 送信時には、宛先に設定した人数分の送信料がかかります。

送信先を追加する

宛先をTo／Cc／Bccそれぞれ最大30件設定することができます。

1 メール作成画面（20-2ページ）より、宛先を選択し、[-] （メニュー）を押す

2 「宛先設定」を選択し、[-] （選択）を押す

3 追加したい宛先を設定し、[●]を押す

▶ 宛先が追加されます。

● 宛先の設定方法については20-4ページを参照してください。

● 続けて宛先を追加する場合は、操作1～3を繰り返します。

宛先をTo／Cc／Bccに設定する

設定した宛先ごとに送信方法を「**To**」または「**Cc**」、「**Bcc**」に設定することができます。

To ：通常の宛先です。

Cc ：メッセージのコピーを送信する宛先です。メールの内容やメールを出した事実を第三者に確認してもらいたい場合などに利用すると便利です。「**To**」の相手にも、「**Cc**」の宛先が表示されます。

Bcc ：メッセージのコピーを送信する宛先です。「**Cc**」とは異なり、「**To**」と「**Cc**」の相手には、「**Bcc**」で送信したアドレスが分かりません。

1 メール作成画面（20-2ページ）より、宛先を選択し、[●]を押す

▶ Toの宛先一覧画面が表示されます。

2 設定したい宛先を選択し、[-] （メニュー）を押す

3 「To/Cc/Bcc設定」を選択し、[-] （選択）を押す

4 「To」、「Cc」、「Bcc」のいずれかを選択し、[-] （選択）を押す

▶ 宛先がToまたはCc、Bccに設定されます。

● 宛先を確定する場合は、「**完了**」を選択します。

補　足

- 操作1のあと、◁○▷を押すと、CcまたはBccの一覧表示に切り替えることができます。
- 操作3で以下の操作を行うこともできます。
宛先編集／**宛先設定**／**宛先削除**／**電話帳登録**／**送信オプション**（20-13ページ）

■件名を入力する

1 メール作成画面（20-2ページ）より、「件名」を選択し、●を押す

2 件名を入力し、●を押す

▶ 件名が設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大半角512文字です。

■MMSの本文を入力する

1 メール作成画面（20-2ページ）より、「本文」を選択し、●を押す

2 メッセージを作成し、●を押す

▶ メッセージが設定されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 送信可能文字数については20-2ページを参照してください。

本文の文字サイズを設定する

お買い上げ時は「**標準**」に設定されています。

1 メール作成画面（20-2ページ）より、本文を選択し、（メニュー）を押す

2 「テキストオプション」を選択し、（選択）を押す

3 「フォントサイズ」を選択し、（選択）を押す

4 「大」、「標準」、「小」のいずれかを選択し、（選択）を押す

▶ 文字サイズが設定されます。

本文の文字色を設定する

お買い上げ時は「**黒**」に設定されています。

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、本文を選択し、[メニューキー]（メニュー）を押す**

2 **「テキストオプション」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す**

3 **「文字色」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す**

4 **設定したい文字色を選択し、[メニューキー]（選択）を押す**

▶ 文字色が設定されます。

■画像／メロディファイルなどの添付

ウェブやMMSなどで入手した画像やメロディ、カメラで撮影した静止画や動画をMMSに添付して送信することができます。

●MMSで送信できるファイルは、MMSのアドレス、件名、本文を合わせて最大約300Kバイトです。

●MMSに添付できるファイルの種類は以下の通りです。

ファイルの種類		拡張子
ピクチャー	JPEGファイル	.JPEG、.JPG、.JPE
	GIFファイル	.GIF
	WBMPファイル	.WBMP
	PNGファイル	.PNG
メロディ	AMRファイル	.AMR
	SMFファイル	.MID、.MIDI
	SP-MIDIファイル	.MID
	SMAFファイル	.MMF
	XMFファイル	.XMF0、.XMF1
	MPEG4ファイル	.3GP
ムービー	MPEG4ファイル	.3GP、.MP4

ファイルの種類		拡張子
その他ファイル	テキストファイル	.TXT
	vCard	.VCF
	vCalendar	.VCS
	SVGファイル	.SVG
	DRMファイル※1	.DCF
	その他のファイル※2	—

※1 ファイルによっては添付できない場合があります。
※2 902Tでは表示／再生できません。

データフォルダからファイルを添付する

1 メール作成画面（20-2ページ）より、「ピクチャー」、「メロディ」、「ムービー」、「その他ファイル」のいずれかを選択し、●を押す

●「**メロディ**」または「**その他ファイル**」を選択した場合は、操作3に進んでください。

2 「データフォルダ」を選択し、（選択）を押す

●添付する画像を撮影する場合は、「**カメラ起動**」または「**ムービー起動**」を選択します。カメラについては7章を参照してください。

3 添付したいファイルを選択し、●を押す

▶ファイルが添付されます。
●フォルダ内のファイルを選択する場合は、フォルダを選択し、●を押します。
●続けて別のファイルを添付する場合は、操作1～3を繰り返します。
●メール作成画面でファイルを選択して●を押すと、選択しているファイルを確認できます。

重要

- ファイルの種類によっては、メールに添付できない場合があります。添付の可、不可については、ファイルのプロパティで確認してください（12-10ページ）。
- 添付可能なファイルサイズを超えた場合はメッセージが表示され、添付できません。
- 相手の携帯電話がMMSをサポートしていない場合は、表示のされかたが異なることがあります。
- 1ページに同じ種類のファイルは添付できません。また、ファイルの組み合わせによっては、1つのページ内に添付できない場合があります。

補足

- データフォルダからファイルを添付した場合、ファイルサイズは添付する前と異なる場合があります。
- メール作成画面（20-2ページ）で、添付ファイルを選択し、（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます（カーソルの位置によっては表示されない項目があります）。
  ピクチャー表示／**メロディ再生**／**ムービー再生**／**ファイル一覧**／**ピクチャー編集**／**メロディ編集**／**ムービー編集**／**ファイル編集**／**ピクチャー削除**／**メロディ削除**／**ムービー削除**／**削除**／**下書き保存**（20-15ページ）／**プレビュー画面**／**再生時間設定**（20-10ページ）／**ファイル・テキスト追加**（右記）／**ページオプション**（右記）／**送信オプション**（20-13ページ）

■ページを挿入／編集する

1つのメッセージに最大20ページ設定することができます。

ページを挿入する

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、（メニュー）を押す**

2 **「ファイル・テキスト追加」を選択し、（選択）を押す**

▶ページが挿入されます。

ページオプション

ページの再生時間や背景色を設定することができます。
お買い上げ時は「**ページ表示秒数**」が「**3秒**」に、「**背景色**」が「**白**」に設定されています。

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、（メニュー）を押す**

2 **「ページオプション」を選択し、（選択）を押す**

3 設定したい項目を選択し、（選択）を押す

ページ表示秒数：ページの再生時間を設定することができます。再生時間は1秒から99秒まで入力することができます。
背景色：ページの背景色を選択することができます。

ページを編集する

ページの挿入、削除、入れ替えなどを行うことができます。ページが2枚以上ある場合のみ、ページを編集することができます。

1 メール作成画面（20-2ページ）より、（メニュー）を押す

2 「ページ編集」を選択し、（選択）を押す

3 利用したい項目を選択し、（選択）を押す

ページ挿入：ページを追加します。
ページ削除：表示中のページを削除します。
前ページ：表示中のページを前のページに移動します。
次ページ：表示中のページを後のページに移動します。
ページ移動：表示中のページを指定した場所に移動します。

テキスト／添付ファイルの再生時間を設定する

お買い上げ時は再生開始時間が「**0秒**」に、再生時間が「**3秒**」に設定されています。

1 メール作成画面（20-2ページ）より、本文または添付ファイルを選択し、（メニュー）を押す

2 「再生時間設定」を選択し、（選択）を押す

3 「開始時間」を選択し、（選択）を押す

4 開始時間を入力し、（決定）を押す

▶ 開始時間が設定されます。

5 「再生時間」を選択し、（選択）を押す

6 再生時間を入力し、（決定）を押す

▶ 再生時間が設定されます。

重　要

- 開始時間と再生時間は、ページ表示秒数（20-9ページ）を超える設定をすることはできません。

定型文を利用する

MMSやSMSの作成時、定型文を利用してメールを簡単に作成することができます。

1 待受画面で（✉）を押す

2 「定型文」を選択し、（選択）を押す

3 「SMS定型文」または「MMS定型文」を選択し、（選択）を押す

4 利用する定型文を選択し、●を押す

▶ 定型文がメールに設定されます。

補 足

- 操作3のあと（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます（操作できる項目はメールの種類によって異なります）。
  メール作成／削除／定型文作成／編集／並び替え
- あらかじめ登録されている定型文を削除または編集した場合は、「**オールリセット**」（14-12ページ）を行うとお買い上げ時の状態に戻ります。

絵文字の入力

文字の入力画面で絵文字（30-11ページ）を入力することができます。

1 文字入力画面より、#記号を3回押す

▶ 絵文字ウィンドウが表示されます。

● （前ページ）、（次ページ）を押すと、絵文字の候補が切り替わります。

2 で入力したい絵文字を選択し、●を押す

▶ 選択した絵文字が入力され、絵文字ウィンドウを閉じます。

● 続けて絵文字を入力する場合は、を押します。

重 要

- 宛先がE-mailアドレスの場合は、絵文字を送信しても相手には表示されません。

20

メール送信

署名を利用する

■署名を登録する

メールの最後につける自分の名前や連絡先などを登録します。お買い上げ時は「**未設定**」に設定されています。

1 **待受画面で［メール］（✉）を押す**

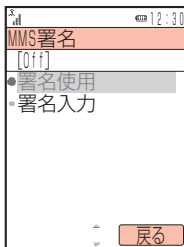
2 **「設定」を選択し、［メール］（選択）を押す**

3 **「MMS設定」を選択し、［メール］（選択）を押す**

●SMSの場合は、「**SMS設定**」を選択して操作5に進んでください。

4 **「送信設定」を選択し、［メール］（選択）を押す**

5 **「MMS署名」を選択し、［メール］（選択）を押す**

▶ 署名設定画面が表示されます。
●SMSの場合は、「**SMS署名**」を選択します。

6 **「署名入力」を選択し、［メール］（選択）を押す**

7 **署名を入力し、●を押す**

▶ 署名が登録されます。
●文字の入力方法については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、MMSが最大半角256文字、SMSが最大15文字です。

■署名の挿入を設定する

送信するすべてのメールに登録した署名を自動的に挿入するかどうかを設定します。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **署名設定画面（左記）より、「署名使用」を選択し、［メール］（選択）を押す**

2 **「On」を選択し、［メール］（選択）を押す**

▶ 署名の挿入が設定されます。

送信オプション設定

メールを送信するときに以下のオプションを設定することができます。また、MMS／SMS設定であらかじめ設定しておくこともできます（23-5、23-6ページ）。
○：設定可能　×：設定不可

項　目	MMS	SMS
配信確認（下記）	○	○
配信時間指定（右記）	○	×
有効期限（20-14ページ）	○	○
MMS重要度（20-14ページ）	○	×

■配信確認を設定する

送信したメールが相手に届いたかどうかを配信レポート（21-8ページ）で通知するように設定することができます。
お買い上げ時は「**Off**」に設定されています。

1 **メール作成画面（20-2ページ）または宛先一覧画面（20-3ページ）より、［-］（メニュー）を押す**

2 **「送信オプション」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「配信確認」を選択し、［-］（選択）を押す**

4 **「On」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶配信確認が設定されます。

■配信日時を指定する

MMS送信時、メールサーバーから相手に配信される日時を7日先まで指定できます。
お買い上げ時は「**自動配信**」に設定されています。

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、［-］（メニュー）を押す**

2 **「送信オプション」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「配信時間指定」を選択し、［-］（選択）を押す**

4 **設定したい配信日時を選択し、［-］（選択）を押す**

▶配信日時が設定されます。
●日時を指定する場合は、「**日時設定**」を選択します。

補　足

- 日付・時刻を指定しなかったときや過去の日付を設定したときは即時に配信されます。

■メールの保存時間を設定する

メール送信時、メールがメールサーバーで保存される時間を設定することができます。送信したメールは、いったんメールサーバーに保存されたあと、相手先に配信されますが、何らかの理由で相手に配信されない場合に、ここで設定した時間、メールサーバーにメールが保存されます。

1 メール作成画面（20-2ページ）または宛先一覧画面（20-3ページ）より、[-]（メニュー）を押す

2 「送信オプション」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「有効期限」を選択し、[-]（選択）を押す

4 設定したい保存時間を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 保存時間が設定されます。

● 日時を指定する場合は、「**日時設定**」を選択します（MMSの場合のみ）。

補　足

- 現在、SMSの有効期限は最大3日（72時間）まで設定できます。保存されたSMSは設定された有効期限が経過するか、設定が「**Off**」の場合は72時間経過すると消去されます。

補　足

- MMSの有効期限は最大7日間まで設定できます。保存されたMMSは設定された有効期限が経過するか、設定が「**Off**」の場合は30日間経過すると消去されます。MMS通知は最大24時間まで繰り返し配信されます。

■優先度を設定する

MMSの優先度を設定することができます（3段階）。「**高**」「**普通**」「**低**」はメールの重要度を示します。配信速度は変わりません。
お買い上げ時は「**普通**」に設定されています。

1 メール作成画面（20-2ページ）より、[-]（メニュー）を押す

2 「送信オプション」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「MMS重要度」を選択し、[-]（選択）を押す

4 設定したい優先度を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 優先度が設定されます。

作成したメールを下書きとして保存する

作成したメールを下書きとして保存しておき、あとで送信することができます。

1 **メール作成画面（20-2ページ）より、[-]（メニュー）を押す**

2 **「下書き保存」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶ 確認画面が表示されます。

3 **[-]（Yes）を押す**

▶ 下書きに保存されます。

● 保存したメールの確認方法については21-2ページ、送信方法については21-9ページを参照してください。

重　要

● 複数の宛先が設定されているSMSを下書きとして保存すると、保存される宛先は先頭の1件のみになります。

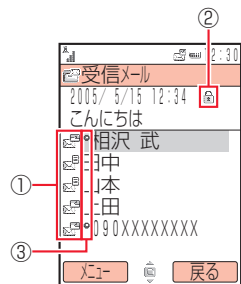
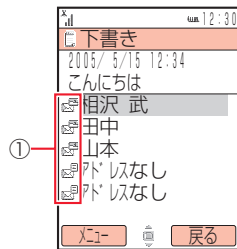
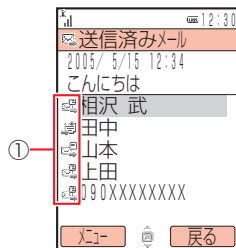
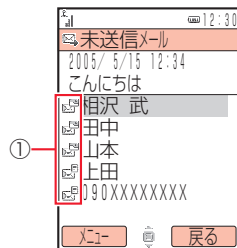
メールボックス

メールの内容確認

送受信したメールはそれぞれ「**受信メール**」、「**送信済みメール**」のメールボックスに保存されます。また、作成後、送信せずに保存したメールは「**下書き**」に、送信に失敗したメールは「**未送信メール**」のメールボックスに保存されます。

- 保存件数については、メモリ容量一覧（30-12ページ）を参照してください。
- 「**受信メール**」に未読メールがあるときは画面上に「」や「」が表示されます。

■メール一覧画面

メールはそれぞれ「**受信メール**」、「**下書き**」、「**送信済みメール**」、「**未送信メール**」に保存され、以下のように表示されます。

受信メール一覧画面

下書き一覧画面

送信済みメール一覧画面

未送信メール一覧画面

アイコンの表示について

①メールの種類

- ：未読、下書き、未送信SMS
- ：USIMカード内のSMS
- ：送信完了SMS
- ：優先度「**高**」の未読、下書き、未送信MMS
- ：優先度「**普通**」の未読、下書き、未送信MMS
- ：優先度「**低**」の未読、下書き、未送信MMS
- ：優先度「**高**」のMMS通知
- ：優先度「**普通**」のMMS通知
- ：優先度「**低**」のMMS通知
- ：優先度「**高**」の送信完了MMS
- ：優先度「**普通**」の送信完了MMS
- ：優先度「**低**」の送信完了MMS
- ：配信完了MMS
- ：配信レポート（21-8ページ）
- ：プッシュ（23-8ページ）

②**保護表示**

🔒：保護されているメール（21-10ページ）

③**受信状況**

●：未読のメール

■メール表示画面

「**受信メール**」、「**送信済みメール**」に保存されたメールは以下のように表示されます。

MMS

SMS

■メールの内容を確認する

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「受信メール」または「送信済みメール」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ メール一覧画面が表示されます。

● フォルダ内のメールを確認する場合は、フォルダを選択し、●を押します。

3 確認したいメールを選択し、●を押す

▶ メールが表示されます。

補足

● 操作3のあと［-］（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
続きを受信※2※3（19-4ページ）／**スライド再生**※3／**返信**※2（21-7ページ）／**再送**※1／**削除**（21-10ページ）／**送信者登録**※2（21-18ページ）／**転送**（21-8ページ）／**リンク選択**（21-13ページ）／**添付ファイルリスト**※3（21-15ページ）／**定型文に保存**（20-11ページ）／**文字コピー**（21-4ページ）／**本体へ移動**※4（21-4ページ）／**USIMへ移動**※4（21-4ページ）／**詳細**（21-4ページ）
※1　送信済みメールのみ、※2　受信メールのみ、
※3　MMSの場合のみ、※4　SMSの場合のみ

■メール表示中の各種操作

本文をコピーする

送受信したメールの本文をクリップボード（4-20ページ）にコピーすることができます。

1 メールを表示し、（メニュー）を押す

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 「文字コピー」を選択し、（選択）を押す

3 でコピーしたい文字の先頭または最後にカーソルを移動し、（始点）を押す

4 でコピーしたい範囲を指定し、（終点）を押す

▶指定した範囲の文字がクリップボードに記憶されます。

補　足

●クリップボードに保存されたデータを貼り付ける場合は、文字の入力画面で（メニュー）を押したあと、「**貼り付け**」を選択します。

SMSをUSIMカードまたは本体に移動する

本体に保存されているSMSをUSIMカードに移動します。または、USIMカードから本体に移動します。

1 メールを表示し、（メニュー）を押す

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 「USIMへ移動」または「本体へ移動」を選択し、（選択）を押す

▶SMSが移動されます。

メールのプロパティを確認する

1 メールを表示し、（メニュー）を押す

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 「詳細」を選択し、（選択）を押す

▶メールのプロパティが表示されます。

●以下の内容が確認できます（表示される内容はメールの種類によって異なります）。
日付／**重要度**／**From**／**To**／**Cc**／**Bcc**／**件名**／**添付ファイル**／**メールサイズ**／**ステータス**

フォルダ管理

■フォルダを作成する

「**受信メール**」、「**送信済みメール**」にメールを保存するフォルダを新規作成して、受信メールや送信済みメールを分類して管理することができます。
「**受信メール**」、「**送信済みメール**」にはそれぞれ最大8個のフォルダを作成することができます。

1 **待受画面で（✉）を押す**

2 **「受信メール」または「送信済みメール」を選択し、（選択）を押す**

3 **（メニュー）を押す**

4 **「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す**

5 **「フォルダ作成」を選択し、（選択）を押す**

6 **フォルダ名を入力し、●を押す**

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大8文字です。

■フォルダ名を変更する

1 **待受画面で（✉）を押す**

2 **「受信メール」または「送信済みメール」を選択し、（選択）を押す**

3 **フォルダ名を変更したいフォルダを選択し、●を押す**

4 **（メニュー）を押す**

5 **「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す**

6 **「フォルダ名変更」を選択し、（選択）を押す**

7 **フォルダ名を入力し、●を押す**

▶ フォルダ名が変更されます。
- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大8文字です。

■フォルダを削除する

作成したフォルダとフォルダ内のメールを削除します。

1 待受画面で（✉）を押す

2 「受信メール」または「送信済みメール」を選択し、（選択）を押す

3 削除したいフォルダを選択し、●を押す

4 （メニュー）を押す

5 「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す

6 「フォルダ削除」を選択し、（選択）を押す

7 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

8 （Yes）を押す

▶フォルダが削除されます。

●メールが保護されている場合は、確認画面が表示されます。「**全件削除**」または「**保護以外を削除**」を選択します。

■メールを指定したフォルダに自動的に保存する

登録したアドレスからの受信メールや登録したアドレスへの送信済みメールをフォルダへ自動的に振り分けることができます。フォルダごとに最大10件まで相手を登録できます。

1 待受画面で（✉）を押す

2 「受信メール」または「送信済みメール」を選択し、（選択）を押す

3 設定したいフォルダを選択し、●を押す

4 （メニュー）を押す

5 「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す

6 「自動振分」を選択し、（選択）を押す

7 「未登録」を選択し、（追加）を押す

8 **アドレスの設定方法を選択し、[-]（選択）を押す**

電話帳　：電話帳から登録します（5-19ページ）。
アドレス入力：アドレスを入力します。登録可能文字数は、電話番号は最大20桁、E-mailアドレスは最大半角256文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

9 **アドレスを指定し、(●)を押す**

▶自動振分が設定されます。
●続けてアドレスを追加する場合は、操作7～9を繰り返します。

メールの返信

1 **返信したいメールを表示し、[-]（メニュー）を押す**

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 **「返信」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **「メール返信-MMS」、「全員に返信」、「メール返信-SMS」のいずれかを選択し、[-]（選択）を押す**

▶自動的にアドレスが設定されたメール作成画面または本文入力画面が表示されます。
●MMSの場合は、件名も設定されます。件名には、返信を示す「**Re：**」がつきます。
●メールの作成方法については20-2ページを参照してください。
●選択できる項目はメールの種類によって異なります。

補　足

- 共通設定の「**返信設定**」（23-2ページ）でメッセージを引用する／引用しないを設定することができます。返信設定を「**ユーザ確認**」にしている場合は、操作3のあと引用するかどうかの確認画面が表示されます。
- 操作3で「**全員に返信**」を選択した場合は、すべての送信先（To／Ccに入っている宛先）に同じ内容のメールを一度に返信することができます。

メールの転送

1 転送したいメールを表示し、[メニュー]（メニュー）を押す

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 「転送」を選択し、[選択]（選択）を押す

▶自動的に本文が設定されたメール作成画面または本文入力画面が表示されます。

●MMSの場合は、件名も設定されます。件名には、転送を示す「**Fw：**」がつきます。

●メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

補　足

- 転送するメールに添付ファイルがある場合は、添付ファイルも転送されます。
- MMS対応機以外からの携帯電話やパソコンから受信したE-mailの転送については、19-5ページを参照してください。

配信レポートを確認する

配信確認（20-13ページ）を行うと、メールサーバーから配信レポートを受信してメールの配信状況を確認することができます。

1 待受画面で[メール]（✉）を押す

2 「受信メール」を選択し、[選択]（選択）を押す

3 確認したい配信レポートを選択し、●を押す

▶配信レポートが表示されます。

補　足

- 配信レポートは、お知らせ一発メニュー（1-12ページ）で確認することもできます。
- ステータス（現在のメールの送信状況）を確認する場合は、送信済みメールのメール表示画面で[メニュー]（メニュー）を押したあと、「**詳細**」を選択します。

未送信メールを編集／送信する

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「未送信メール」を選択し、［-］（選択）を押す

3 編集したいメールを選択し、●を押す

▶ メール編集画面が表示されます。

4 編集したい項目を選択し、●を押す

●SMSの場合は、本文を編集し、宛先を指定したあと、操作6に進んでください。

5 項目を修正し、●を押す

6 「メール送信-MMS」または「メール送信-SMS」を選択し、●を押す

▶ メールが送信されます。

補　足

●操作2のあと［-］（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
編集／送信／削除／複数選択／宛先発信／並び替え／全件削除

下書きを編集／送信する

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「下書き」を選択し、［-］（選択）を押す

3 編集したいメールを選択し、●を押す

▶ メール編集画面が表示されます。

4 編集したい項目を選択し、●を押す

●SMSの場合は、本文を編集し、宛先を指定したあと、操作6に進んでください。

5 項目を修正し、●を押す

6 「メール送信-MMS」または「メール送信-SMS」を選択し、●を押す

▶ メールが送信されます。

補　足

●操作2のあと［-］（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
編集／削除／送信／宛先発信／並び替え

メールの保護

受信したメールを誤って削除したり、自動削除（21-12ページ）されないように保護することができます。

1 待受画面で（メ）（✉）を押す

2 「受信メール」を選択し、（選択）を押す

3 （メニュー）を押す

4 「複数選択」を選択し、（選択）を押す

5 「保護」を選択し、（選択）を押す

6 保護したいメールを選択し、●を押す

▶チェックすると、メールの横に「☑」が表示されます。

●メールを複数選択する場合は、操作6を繰り返します。

7 （メニュー）を押す

8 「実行」を選択し、（選択）を押す

▶メールが保護されます。

●保護されたメールは画面上に「🔒」が表示されます。

補足

- 保護を解除する場合は、操作5で「**保護解除**」を選択します。
- すべてのメールをチェックする場合は、操作6で（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作6で（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

メールの削除

送受信したメールや下書きメール、未送信メールを削除することができます。

■メールを指定して削除する

メールを一件削除する

1 待受画面で（✉）を押す

2 「受信メール」、「下書き」、「送信済みメール」、「未送信メール」のいずれかを選択し、（選択）を押す

3 **削除したいメールを選択し、（メニュー）を押す**

4 **「削除」を選択し、（選択）を押す**

▶ 確認画面が表示されます。

● MMS通知の場合は、「**MMS通知**」、「**サーバーメール**」、「**MMS通知＆サーバー**」のいずれかを選択します。

5 **（Yes）を押す**

▶ メールが削除されます。

> **補　足**
>
> ● 受信メールや送信済みメールの場合は、メモリに空きがなくなると古いものから自動的に削除するように設定できます（21-12ページ）。

複数のメールを一括で削除する

複数のメールを一度に削除することができます。

1 **「メールを一件削除する」（21-10ページ）の操作2より、（メニュー）を押す**

2 **「複数選択」を選択し、（選択）を押す**

3 **「削除」を選択し、（選択）を押す**

4 **削除したいメールを選択し、●を押す**

▶ チェックすると、メールの横に「☑」が表示されます。

● メールを複数選択する場合は、操作4を繰り返します。

5 **（メニュー）を押す**

6 **「実行」を選択し、（選択）を押す**

▶ 確認画面が表示されます。

7 **（Yes）を押す**

▶ チェックしたメールがすべて削除されます。

● メールが保護されている場合は、確認画面が表示されます。「**一括削除する**」または「**保護以外を削除**」を選択します。

> **補　足**
>
> ● すべてのメールをチェックする場合は、操作4で（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
>
> ● すべてのチェックを解除する場合は、操作4で（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■メールボックスのメールをすべて削除する

1 待受画面で（✉）を押す

2 「受信メール」、「下書き」、「送信済みメール」、「未送信メール」のいずれかを選択し、（選択）を押す

3 メールを選択し、（メニュー）を押す

4 「全件削除」を選択し、（選択）を押す

●操作2で「**下書き**」を選択した場合は、「**削除**」を選択したあと、「**全件**」を選択します。

5 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶確認画面が表示されます。

6 （Yes）を押す

▶選択したメールボックス内のメールをすべて削除することができます。

●メールが保護されている場合は、確認画面が表示されます。「**全件削除**」または「**保護以外を削除**」を選択します。

■メールを自動的に削除する

メモリに空きがなくなった場合に、古いメールから自動的に削除するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は受信メールが「**Off**」に、送信済みメールが「**On**」に設定されています。

1 待受画面で（✉）を押す

2 「受信メール」または「送信済みメール」を選択し、（選択）を押す

3 （メニュー）を押す

4 「フォルダ管理」を選択し、（選択）を押す

5 「自動削除」を選択し、（選択）を押す

6 「On」を選択し、（選択）を押す

▶メールの自動削除が設定されます。

重 要

- 自動削除を「Off」にしている場合は、メモリに空きがなくなると、メールを送受信することができません。不要なメールを削除してください（21-10ページ）。
- 自動削除を「On」にしている場合は、メモリに空きがなくなったとき、MMSを受信すると既読の古いMMSから、SMSを受信すると既読の古いSMSから自動的に削除されます。
- 自動削除の設定にかかわらず、下書き、未送信メール、定型文のメモリに空きがなくなると、メールを新規作成することはできません。

補 足

- 保護メールは、自動削除を「On」にしても削除されません。

メール内の電話番号／E-mailアドレス／URLの利用

メールに含まれる電話番号やE-mailアドレス、URLのリンクを利用して、電話をかけたり、メールを作成したり、ウェブに接続することができます。
●利用できる項目には、アンダーラインが表示されています。

電話番号を選択した場合

1 電話番号を含むメールを表示する

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 電話番号を選択し、[-]（メニュー）を押す

3 「リンク選択」を選択し、[-]（選択）を押す

4 項目を選択し、[-]（選択）を押す

発信：選択した電話番号に電話をかけることができます。

メール送信-SMS：選択した電話番号が宛先に設定されたSMSの本文入力画面が表示されます。メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

メール送信-MMS：選択した電話番号が宛先に設定されたMMS作成画面が表示されます。メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

電話帳登録：選択した電話番号を電話帳に新規または追加登録できます（5-4ページ）。

E-mailアドレスを選択した場合

1 E-mailアドレスを含むメールを表示する

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 E-mailアドレスを選択し、[-]（メニュー）を押す

3 「リンク選択」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「メール送信-MMS」または「電話帳登録」を選択し、[-]（選択）を押す

メール送信-MMS：選択したE-mailアドレスが宛先に設定されたMMS作成画面が表示されます。メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

電話帳登録：選択したE-mailアドレスを電話帳に新規または追加登録できます（5-4ページ）。

URLを選択した場合

1 URLを含むメールを表示する

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 URLを選択し、[-]（メニュー）を押す

3 「リンク選択」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「ページジャンプ」を選択し、[-]（選択）を押す

▶インターネットにアクセスします。

添付ファイルを保存

MMSに添付されているファイルをデータフォルダに保存することができます。

1 **ファイルが添付されているメールを表示し、［-］（メニュー）を押す**

●表示方法については21-3ページを参照してください。

2 **「添付ファイルリスト」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶添付ファイルリスト画面が表示されます。

3 **保存したいファイルを選択し、［-］（メニュー）を押す**

4 **「保存」を選択し、［-］（選択）を押す**

●ファイルを表示／再生する場合は、「**表示**」または「**再生**」を選択します。

5 **「本体」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶データフォルダに保存されます。

●メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

重　要

- ファイルによっては保存できない場合があります。
- データによっては正しく表示／再生できない場合があります。

メール一覧画面からの操作

■メールを並び替える

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「受信メール」、「下書き」、「送信済みメール」、「未送信メール」のいずれかを選択し、［-］（選択）を押す

3 メールを選択し、［-］（メニュー）を押す

4 「並び替え」を選択し、［-］（選択）を押す

5 並び替え方法を選択し、［-］（選択）を押す

日付降順　：日時の新しいものから順に並び替えます。
日付昇順　：日時の古いものから順に並び替えます。
送信者順　：数字、英字の順で送信者のアドレスを並び替えます。
宛先順　：数字、英字の順で宛先のアドレスを並び替えます。
未読→既読：未読／既読の状態によって並び替えます。
メール種類：メールの種類によって並び替えます。

▶メールが並び替えられます。
●選択できる項目はメールボックスによって異なります。

■未読／既読を切り替える

受信したメールを未読や既読に切り替えることができます。

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「受信メール」を選択し、［-］（選択）を押す

3 メールを選択し、［-］（メニュー）を押す

4 「複数選択」を選択し、［-］（選択）を押す

5 「既読へ」または「未読へ」を選択し、［-］（選択）を押す

6 未読／既読を切り替えたいメールを選択し、［●］を押す

▶チェックすると、メールの横に「☑」が表示されます。
●メールを複数選択する場合は、操作6を繰り返します。

7 ［-］（メニュー）を押す

8 「実行」を選択し、［-］（選択）を押す

▶メールが未読または既読に切り替えられます。

補　足

- すべてのメールをチェックする場合は、操作6で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作6で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■メールを他のフォルダに移動する

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2 「受信メール」または「送信済みメール」を選択し、［-］（選択）を押す

3 メールを選択し、［-］（メニュー）を押す

4 「複数選択」を選択し、［-］（選択）を押す

5 「フォルダへ移動」を選択し、［-］（選択）を押す

6 移動したいメールを選択し、［●］を押す

▶チェックすると、メールの横に「☑」が表示されます。

●メールを複数選択する場合は、操作6を繰り返します。

7 ［-］（メニュー）を押す

8 「実行」を選択し、［-］（選択）を押す

9 移動先のフォルダを選択し、［-］（選択）を押す

▶メールが移動されます。

補　足

- すべてのメールをチェックする場合は、操作6で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作6で［-］（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■電話発信を行う

メールの送信者アドレスまたは宛先アドレスが電話番号の場合、送信者または宛先に電話をかけることができます。

1 待受画面で[-]（✉）を押す

2 「受信メール」、「下書き」、「送信済みメール」、「未送信メール」のいずれかを選択し、[-]（選択）を押す

3 電話をかけたい相手のメールを選択し、[-]（メニュー）を押す

4 「送信元に発信」または「宛先発信」を選択し、[-]（選択）を押す

●複数の宛先を設定している場合は、宛先の一覧画面が表示されます。発信したい宛先を選択し、[-]（選択）を押します。

5 [発信]を押す

▶メールの送信者または宛先に電話がかかります。

■電話番号を電話帳に登録する

メールの送信者アドレスが電話番号の場合、電話帳に登録することができます。

1 待受画面で[-]（✉）を押す

2 「受信メール」を選択し、[-]（選択）を押す

3 電話帳に登録したい相手のメールを選択し、[-]（メニュー）を押す

4 「送信者登録」を選択し、[-]（選択）を押す

5 「新規作成」または「追加登録」を選択し、[-]（選択）を押す

▶選択した電話番号が電話帳に設定されます。

●電話帳の登録方法については5-2ページを参照してください。

メールサーバー

メールリストの利用

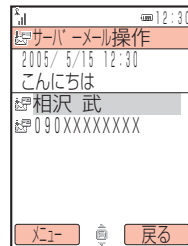
以下のいずれかの条件に当てはまるボーダフォン携帯電話からのMMS、パソコンなどからのE-mailを受信した場合は、メールはメールサーバーに保存されます。保存されたメールや、リトライ機能（18-2ページ）による再配信期間を過ぎたMMS通知はメールリストを利用して受信することができます。

メールサーバーに一時保存される条件
●メッセージが半角285文字（285バイト）以上の場合
●添付ファイルがある場合
●複数の宛先が指定されている場合
●件名が半角41文字以上の場合
●相手のアドレスが半角60文字以上の場合

■メールリストを取得／更新する

1 待受画面で［-］（✉）を押す

2「サーバーメール操作」を選択し、［-］（選択）を押す

▶ メールリスト画面が表示されます。

3 ［-］（メニュー）を押す

4「メールリスト更新」を選択し、［-］（選択）を押す

5 ［-］（Yes）を押す

▶ 最新のメールリスト画面が表示されます。

■メールリストからMMSの続きを受信する

1 メールリスト画面（上記）より、続きを受信したいメール（MMS通知）を選択し、［-］（メニュー）を押す

2 「続きを受信」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 選択したメールの受信が開始されます。
● 受信が終わると、MMS受信結果画面が表示されます。
● 受信したメールは「**受信メール**」に保存され、メールリストから削除されます。

複数のメールを一括で受信する

1 メールリスト画面（22-2ページ）より、[-]（メニュー）を押す

2 「複数選択」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「続きを受信」を選択し、[-]（選択）を押す

4 続きを受信したいメール（MMS通知）を選択し、[●]を押す

▶ チェックすると、メールの横に「☑」が表示されます。
● メールを複数選択する場合は、操作4を繰り返します。

5 [-]（メニュー）を押す

6 「実行」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ メールが受信されます。

補　足

● すべてのメールをチェックする場合は、操作4で[-]（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
● すべてのチェックを解除する場合は、操作4で[-]（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

サーバー内のメール転送

メールサーバーに保存されているメールを、パソコンなどに転送することができます。

1 メールリスト画面（22-2ページ）より、転送したいメールを選択し、[メニューキー]（メニュー）を押す

2 「転送」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 宛先の設定方法を選択し、[選択キー]（選択）を押す

電話帳：電話帳から登録します（5-19ページ）。
宛先入力：宛先を入力します。登録可能文字数は最大256文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。
グループリスト：グループリストから登録します（5-15ページ）。

4 宛先を指定し、[●]を押す

5 「送信」を選択し、[●]を押す

▶ メールが転送されます。

サーバー内のメール削除

メールサーバーに保存されているメールを削除することができます。

■サーバー内のメールを指定して削除する

サーバー内のメールを一件削除する

1 メールリスト画面（22-2ページ）より、[メニューキー]（メニュー）を押す

2 「削除」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 「サーバーメール」または「MMS通知&サーバー」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

サーバーメール：メールサーバーに保存されているメールを削除します。
MMS通知&サーバー：受信メールのMMS通知とメールサーバーに保存されているメールを削除します。

▶ 確認画面が表示されます。

4 [キー]（Yes）を押す

▶ メールサーバーのメールが削除されます。

複数のサーバー内のメールを一括で削除する

1 メールリスト画面（22-2ページ）より、（メニュー）を押す

2 「複数選択」を選択し、（選択）を押す

3 「削除」を選択し、（選択）を押す

4 削除したいメールを選択し、を押す

▶ チェックすると、メールの横に「☑」が表示されます。

● メールを複数選択する場合は、操作4を繰り返します。

5 （メニュー）を押す

6 「実行」を選択し、（選択）を押す

▶ 確認画面が表示されます。

7 （Yes）を押す

▶ メールが削除されます。

補足

● すべてのメールをチェックする場合は、操作4で（メニュー）を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
● すべてのチェックを解除する場合は、操作4で（メニュー）を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■サーバー内のメールをすべて削除する

1 メールリスト画面（22-2ページ）より、（メニュー）を押す

2 「全件削除」を選択し、（選択）を押す

3 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶ 確認画面が表示されます。

4 （Yes）を押す

▶ メールが削除されます。

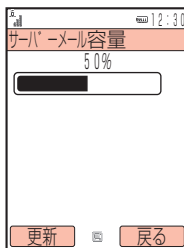
サーバー情報の確認

メールサーバーの使用率を確認することができます。

1 **メールリスト画面（22-2ページ）より、[-]（メニュー）を押す**

2 **「サーバーメール容量」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶ メールサーバーの使用率が表示されます。

● メールリストを更新する場合は、[-]（更新）を押します。

重　要

● メールサーバーの使用率が全体の80%を超えると、警告画面が表示されます。サーバーメールを受信するか（22-2ページ）、削除してください（22-4ページ）。

22

メールサーバー

メールのその他機能

MMS／SMS共通設定

■返信設定

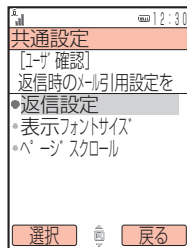
メッセージを返信するときに、相手のメッセージを引用するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「**ユーザ確認**」に設定されています。

1 **待受画面で［-］（✉）を押す**

2 **「設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「共通設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 共通設定画面が表示されます。

4 **「返信設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

5 **返信方法を選択し、［-］（選択）を押す**

新規　：新規にメールを作成して返信します。
引用　：相手のメッセージを引用して返信します。
ユーザ確認：返信メールを作成するたびに、相手のメッセージを引用するかどうかの確認画面を表示します。

▶ 返信方法が設定されます。

重　要

- MMSからSMSに、またはSMSからMMSに切り替えて返信する場合は、返信設定にかかわらず引用されません。

■表示フォントサイズ

表示する文字のサイズを選択することができます。
お買い上げ時は「**標準**」に設定されています。

1 **共通設定画面（左記）より､「表示フォントサイズ」を選択し、［-］（選択）を押す**

2 **「大」､「標準」､「小」のいずれかを選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 選択した文字のサイズでメッセージが表示されます。

23 メールのその他機能

■ページスクロール

[上下キー]を押したときのスクロール単位を選択することができます。
お買い上げ時は「**1行単位**」に設定されています。

1 **共通設定画面（23-2ページ）より、「ページスクロール」を選択し、[ソフトキー]（選択）を押す**

2 **「1行単位」、「1/2画面単位」、「1画面単位」のいずれかを選択し、[ソフトキー]（選択）を押す**

▶ スクロール単位が設定されます。

MMS設定

■受信設定

自動受信を設定する

MMS通知を受信したときに、自動的にメールの続きを受信するように設定することができます。
お買い上げ時は「**手動受信**」に設定されています。

1 **待受画面で[ソフトキー]（[メール]）を押す**

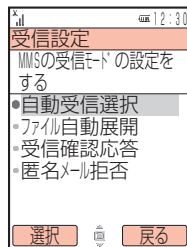
2 **「設定」を選択し、[ソフトキー]（選択）を押す**

3 **「MMS設定」を選択し、[ソフトキー]（選択）を押す**

4 **「受信設定」を選択し、[ソフトキー]（選択）を押す**

▶ 受信設定画面が表示されます。

23

メールのその他機能

5 **「自動受信選択」を選択し、（選択）を押す**

6 **「ホームネットワーク」または「ローミングネットワーク」を選択し、（選択）を押す**

ホームネットワーク　：ホームネットワーク（ご契約いただいたネットワーク内）でのMMS受信方法を選択します。
ローミングネットワーク：ローミングネットワーク（ご契約いただいたネットワーク外）でのMMS受信方法を選択します。

7 **設定したい受信方法を選択し、（選択）を押す**

自動受信　：すべてのMMSを受信します。
手動受信　：MMSがメールサーバーに届いたことを、MMS通知でお知らせします。
ユーザ確認：MMS通知を受信するたびに、続きのメールを受信するかどうかの選択画面を表示させることができます。

▶ 受信方法が設定されます。

添付ファイルの自動展開を設定する

受信したMMSを確認するときに、添付されている画像や音ファイルを自動的に表示／再生させるように設定することができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 **受信設定画面（23-3ページ）より、「ファイル自動展開」を選択し、（選択）を押す**

2 **「画像ファイル」または「音ファイル」を選択し、（選択）を押す**

3 **「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す**

▶ 自動展開が設定されます。

受信確認応答を設定する

受信したMMSに対して、受信確認を返信するかどうかの設定をすることができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 **受信設定画面（23-3ページ）より、「受信確認応答」を選択し、（選択）を押す**

2 **「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す**

▶ 受信確認応答が設定されます。

匿名メール受信拒否を設定する

受信したMMSの送信者が匿名の場合に、そのメールを受信するかどうかの設定をすることができます。
お買い上げ時は「**拒否する**」に設定されています。

1 **受信設定画面（23-3ページ）より、「匿名メール拒否」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「拒否する」または「拒否しない」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶ 匿名メール受信拒否が設定されます。

■送信設定

送信オプション設定（20-13ページ）の配信確認設定、配信日時設定、保存時間設定、MMS重要度をあらかじめ設定しておくことができます。また、署名を登録し、メールに表示させるかどうかを設定することができます。

1 **待受画面で[-]（✉）を押す**

2 **「設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **「MMS設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

4 **「送信設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶ 送信設定画面が表示されます。

5 **設定したい項目を選択し、[-]（選択）を押す**

配信確認　：送信したメールが相手に届いたかどうかを配信レポートで通知するように設定します（20-13ページ）。
配信時間指定：メールサーバーから相手に配信される日時を設定します（20-13ページ）。
有効期限　：メールがメールサーバーで保存される時間を設定します（20-14ページ）。
MMS署名　：署名を登録し、表示させるかどうかを設定します（20-12ページ）。
MMS重要度：メールの優先度を設定します（20-14ページ）。

■お決まりアドレスを登録する

あらかじめよくメールを送信する相手の宛先を登録しておくと、ターンオーバースタイル時、簡単にメールを送信することができます（7-10、7-18ページ）。
お買い上げ時は「**宛先なし**」に設定されています。

1 **待受画面で[-]（✉）を押す**

2 **「設定」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 「MMS設定」を選択し、（選択）を押す

4 「お決まりアドレス」を選択し、（選択）を押す

5 ●を押す

6 登録方法を選択し、（選択）を押す

電話帳：電話帳から登録します（5-19ページ）。
宛先入力：宛先を入力します。登録可能文字数は最大256文字です。文字の入力方法については4章を参照してください。

7 宛先を指定し、●を押す

▶指定したアドレスが表示されます。

8 （メニュー）押す

9 「保存」を選択し、（選択）を押す

▶お決まりアドレスが登録されます。

SMS設定

送信オプション設定（20-13ページ）の配信確認設定、保存時間設定をあらかじめ設定しておくことができます。

1 待受画面で（✉）を押す

2 「設定」を選択し、（選択）を押す

3 「SMS設定」を選択し、（選択）を押す

▶SMS設定画面が表示されます。

23
メールのその他機能

4 設定したい項目を選択し、[選択キー]（選択）を押す

配信確認：送信したメールが相手に届いたかどうかを配信レポートで通知するように設定します(20-13ページ)。

有効期限：メールがメールサーバーで保存される時間を設定します（20-14ページ）。

SMS署名：署名を登録し、表示させるかどうかを設定します(20-12ページ)。

メッセージセンター：SMS用のセンター番号を変更します（18-6ページ）。

SMSタイプ：送信SMSのメールタイプを選択します（右記）。

■SMSタイプを設定する

SMSの送信先にあわせてSMSタイプを設定することができます。

1 SMS設定画面（23-6ページ）より、「SMSタイプ」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

2 設定したいタイプを選択し、[選択キー]（選択）を押す

▶ SMSタイプが設定されます。

重　要

- 設定を変更するとSMSが送信できなくなる場合がありますので、通常は「**テキスト**」にすることをおすすめします。

自動配信サービス

あらかじめ自動配信サービスを登録しておくと、新着情報がプッシュとして自動的に送られてきます。送られてきたメッセージから情報提供やインターネットに接続して情報を入手することができます。自動配信サービスの登録は各情報により異なります。各情報の画面指示に従ってください。

■プッシュを受信する

プッシュを受信すると、画面上に「📩」が表示されます。
ブラウザ設定の自動起動（26-5ページ）を「**On**」にしている場合は、受信してすぐに指定されたURLへジャンプします。また、プッシュによってはそのまま「**受信メール**」（21-2ページ）に保存されるものもあります。

補　足

- 情報受信時の着信音パターンおよび着信音量は、モード（9-4ページ）の設定に従います。

■プッシュを確認する

配信されたプッシュが未読の場合は、お知らせ一発メニューで確認することができます。

1 お知らせ一発メニュー（1-12ページ）より、「新着プッシュ」を選択し、[-]（選択）を押す

2 確認したい情報のタイトルを選択し、●を押す

▶ 情報が表示されます。

補　足

- プッシュは、受信メールから確認することもできます（21-2ページ）。

ウェブの基本操作

ウェブをご利用になる前に

■情報の保存について

ウェブで入手したメニューや情報は、「キャッシュ」と呼ばれるメモリ内に一時保存されます。
「キャッシュ」に保存されている情報は、メモリが一杯になると古い情報から自動的に消去されます。

- 一度表示した情報画面を再度表示すると、サービスセンター内の情報ではなく、キャッシュに一時保存されている情報が表示されることがあります。最新の内容を見るには、情報を更新してください（25-8ページ）。
- 保存件数については、メモリ容量一覧（30-12ページ）を参照してください。

補 足

- ウェブで入手した情報には、有効期限が指定されている場合があります。有効期限を指定されている情報がキャッシュに一時保存されている場合は、指定されている有効期限を過ぎると、キャッシュから自動的に消去されます。
- キャッシュに一時保存されている情報を消去することができます（26-4ページ）。
- 情報によっては、キャッシュに保存されないものもあります。
- 保存した情報は、ウェブを終了したり、電源を切っても消去されません。

■SSL／TLSについて

SSL(Secure Sockets Layer)とTLS(Transport Layer Security)とは、データを暗号化して送受信するためのプロトコル（通信規約）です。SSL／TLS接続時の画面では、データを暗号化し、プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号、企業秘密などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのネット上の危険から保護します。
902Tでは、あらかじめ認証機関から発行されたサーバー証明書が登録されていて、確認することもできます（25-10ページ）。

SSL／TLS利用に関するご注意

セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。
お客様自身によるSSL／TLSの利用に際し、ボーダフォンおよび認証会社である日本ベリサイン株式会社、ビートラステッド・ジャパン株式会社、エントラストジャパン株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。
万一、何らかの損害がお客様に発生した場合でも一切責任を負うものではありませんので、あらかじめご了承ください。

ウェブにアクセスする

■メニューからアクセスする

知りたい情報、見たい情報や聞きたい情報を検索して情報を入手することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「Vodafone live!」を選択し、(選択)を押す

▶ウェブメニューが表示されます。

2 「Vodafone live!」を選択し、(選択)を押す

▶ボーダフォンライブ！のメインメニューが表示されます。

3 確認したい項目を選択し、●を押す

▶サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

● 通信中は画面上に「⇄」が表示されます。通信中に中断したい場合は、(キャンセル)を押します。

● 続いて情報を表示する場合は、操作3を繰り返します。

● 情報に続きがある場合は、◎を押して画面をスクロールさせます。

補 足

● 待受画面で(◎)を押しても、ボーダフォンライブ！のメインメニューを表示させることができます。

● 情報画面によっては、情報画面表示中に、(メニュー)を押して「Do Actions」を選択すると、コンテンツ内で指定された動作を実行できる場合があります。

■URLを入力しアクセスする

ウェブでインターネットの各ホームページへアクセスすることができます。
「http://www.△△.ne.jp」などで表示されるアドレス(URL)を入力し、情報を入手することができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「Vodafone live!」を選択し、(選択)を押す

2 「URL入力」を選択し、(選択)を押す

3 アドレスを入力し、●を押す

▶サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

● 文字の入力方法については4章を参照してください。

● 登録可能文字数は、最大1,024文字です。

■履歴を使ってアクセスする

履歴には、アクセスしたページのアドレスが新しいものから最大300件（ただし、1ドメインにつき最大30件、最大10ドメイン）まで保存され、同じホームページへ再度アクセスすることができます。

1 待受画面で●を押し、◎で「Vodafone live!」を選択し、（選択）を押す

2 「履歴」を選択し、（選択）を押す

3 アクセスしたい履歴を選択し、●を押す

▶サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

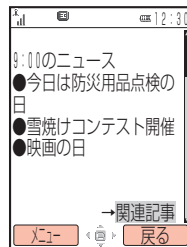
補　足

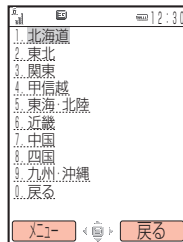
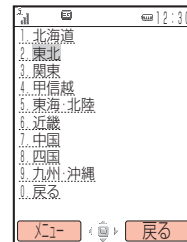
- 操作3で（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  インターネットアクセス／削除／ドメイン別表示／複数選択

情報画面の操作のしかた

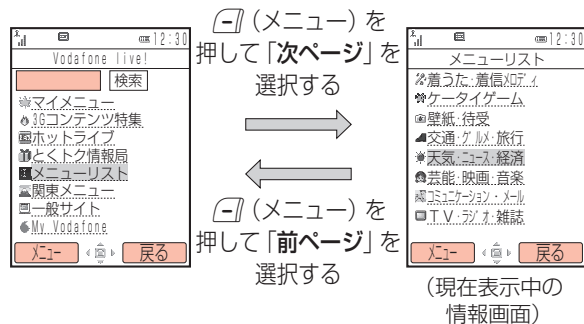
ウェブ閲覧中の画面操作について説明します。

画面のスクロール

上下や左右に画面があるときは、画面の右または下にスクロールバーが表示されます。
またはを押すと、続きの画面を表示することができます。

カーソルの移動

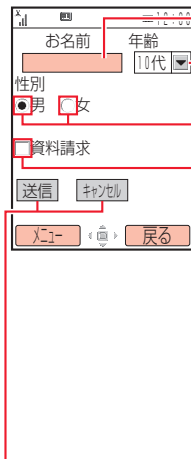
画面内に選択可能な項目がある場合は、カーソルはを押すと次の項目に、を押すと前の項目に移動します。

次の画面に進む／前の画面に戻る

表示した情報画面は一時的に記憶されています。（メニュー）を押したあと「**前ページ**」を選択すると前の画面に戻り、「**次ページ**」を選択すると次の画面に進むことができます。

（現在表示中の情報画面）

補　足

● 情報画面表示中に（戻る）を押しても前の画面に戻ることができます。

情報内の文字入力や選択／実行ボタンについて

入力欄や選択項目が表示された場合は、以下のように操作してください。

文字入力欄
文字が入力できる部分です。

セレクトメニュー
□内の位置にカーソルを合わせて●を押すと、セレクトメニューが表示されます。選択する項目にカーソルを合わせて●を押します。

ラジオボタン
項目を選択する部分です。
○にカーソルを合わせて●を押すと、◉に変わり、選択されていることを示します。

チェックボタン
□にカーソルを合わせて●を押すと、☑に変わり、選択されていることを示します。

実行ボタン
登録内容の送信やキャンセルなど、動作を選択する部分です。□の位置にカーソルを合わせて●を押すと、□内の動作を行います。

重　要

● 上記の画面は内容を説明するための一例です。実際の画面とは異なる場合があります。

情報内の電話番号／E-mailアドレス／URLの利用

情報に含まれる電話番号やE-mailアドレス、URLのリンクを利用して、電話をかけたり、メールを作成したり、ウェブに接続することができます。
●利用できる項目には、アンダーラインが表示されています。

電話番号を選択した場合

1 電話番号が含まれている情報画面を表示する

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 電話番号を選択し、●を押す

3「発信」または「電話帳登録」を選択し、（選択）を押す

発信：選択した電話番号に電話をかけることができます。
電話帳登録：選択した電話番号を電話帳に新規または追加登録できます（5-4ページ）。

E-mailアドレスを選択した場合

1 E-mailアドレスが含まれている情報画面を表示する

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 E-mailアドレスを選択し、●を押す

3「メール送信-MMS」または「電話帳登録」を選択し、（選択）を押す

メール送信-MMS：選択したE-mailアドレスが宛先に設定されたメール作成画面が表示されます。メールの作成方法については20-2ページを参照してください。
電話帳登録：選択したE-mailアドレスを電話帳に新規または追加登録できます（5-4ページ）。

URLを選択した場合

1 URLが含まれている情報画面を表示する

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 URLを選択し、●を押す

▶サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

情報の利用

お気に入りに登録する

よく利用する情報をお気に入りに登録しておくと、あとでウェブに接続しなくても簡単に呼び出すことができます。

1 登録したい情報を表示し、[メニューキー]（メニュー）を押す

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「お気に入り」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 「お気に入りへ保存」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

▶データフォルダ内の「**お気に入り**」に登録されます。

重　要

- 著作権などの制限により情報が保存できないことがあります。
- すでに保存されているページと同じURLのページを保存した場合は、上書き保存されます。

補　足

- お気に入りにはURLや添付データなどのリンク情報を含むコンテンツページが保存されます。
- お気に入りに保存された情報の表示方法については12-7ページを参照してください。

ブックマーク

よく利用する情報のブックマークをあらかじめ登録しておくと、簡単な操作でウェブに接続することができます。

■ブックマークを登録する

最大200件のブックマークを登録することができます。

1 登録したい情報を表示し、[メニューキー]（メニュー）を押す

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「ブックマーク」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 「ブックマーク登録」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

●新規にフォルダを作成してブックマークを登録する場合は、「**新規フォルダに登録**」を選択します。

4 タイトルの欄を選択し、[●]を押す

▶タイトル編集画面が表示されます。

●タイトルまたはURLを編集しない場合は、[OKキー]（OK）を押したあと、操作7に進んでください。

5 タイトルを編集し、[●]を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●登録可能文字数は、最大半角100文字です。

6 （OK）を押す

7 「ルートフォルダ」を選択し、●を押す

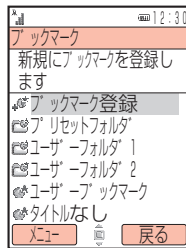
▶ブックマークが登録されます。

●フォルダに登録する場合は、フォルダを選択します。

■ブックマークから接続する

1 待受画面で●を押し、◎で「Vodafone live!」を選択し、（選択）を押す

2 「ブックマーク」を選択し、（選択）を押す

▶ブックマーク一覧画面が表示されます。

3 接続したい情報のタイトルを選択し、●を押す

▶サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

補足

●情報画面表示中も、ブックマークから情報を呼び出すことができます。情報画面の表示中に呼び出す場合は、「ブックマークを登録する」（25-2ページ）の操作2のあと「**リスト呼出し**」を選択します。

■ブックマークを管理する

ブックマークを分類するためのフォルダを作成したり、ブックマークやフォルダのタイトル変更、削除などをすることができます。

フォルダを作成する

最大20個のフォルダを作成することができます。

1 ブックマーク一覧画面（左記）より、（メニュー）を押す

2 「フォルダ作成」を選択し、（選択）を押す

3 フォルダ名を入力し、●を押す

▶フォルダが作成されます。

●文字の入力方法については4章を参照してください。

●登録可能文字数は、最大32文字です。

ブックマークのタイトルを編集する

1 ブックマーク一覧画面（25-3ページ）より、編集したいタイトルを選択し、［メニューキー］（メニュー）を押す

2 「編集」を選択し、［メニューキー］（選択）を押す

3 タイトルの欄を選択し、［●］を押す

4 タイトルを編集し、［●］を押す

●文字の入力方法については4章を参照してください。
●登録可能文字数は、最大半角100文字です。

5 ［メニューキー］（OK）を押す

▶タイトルが変更されます。

補 足

●フォルダ名を編集する場合は、ブックマーク一覧画面で編集したいフォルダを選択し、［メニューキー］（メニュー）を押したあと、「**フォルダ名変更**」を選択します。

ブックマークを移動する

1 ブックマーク一覧画面（25-3ページ）より、移動したいタイトルを選択し、［メニューキー］（メニュー）を押す

2 「移動」を選択し、［メニューキー］（選択）を押す

3 「一件」または「全件」を選択し、［メニューキー］（選択）を押す

4 移動先のフォルダを選択し、［メニューキー］（OK）を押す

▶ブックマークが指定したフォルダに移動されます。

ブックマークを削除する

1 ブックマーク一覧画面（25-3ページ）より、削除したいタイトルを選択し、［メニューキー］（メニュー）を押す

2 「削除」を選択し、［メニューキー］（選択）を押す

3「一件」または「全件」を選択し、[キー]（選択）を押す

▶ 確認画面が表示されます。

4 [キー]（Yes）を押す

▶ ブックマークが削除されます。

補　足

● フォルダを削除する場合は、ブックマーク一覧画面（25-3ページ）で削除したいフォルダを選択し、[キー]（メニュー）を押したあと、「**フォルダ削除**」を選択します。

ブックマークをメールで送信する

1 ブックマーク一覧画面（25-3ページ）より、送信したいタイトルを選択し、[キー]（メニュー）を押す

2「URL送信」を選択し、[キー]（選択）を押す

3「メール送信-SMS」または「メール送信-MMS」を選択し、[キー]（選択）を押す

▶ 本文に選択したブックマークのURLが貼り付けられたメール作成画面が表示されます。

● メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

情報表示中の各種操作

■情報内のファイルを利用する

データフォルダに保存する

情報内に含まれる画像やメロディファイルをデータフォルダに保存することができます。

1 **ファイルを含む情報を表示し、[メニューキー]（メニュー）を押す**

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 **「ファイル保存モード」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す**

3 **保存したいファイルを選択し、[メニューキー]（メニュー）を押す**

4 **「保存」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す**

5 **「本体」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す**

▶データフォルダに保存されます。

●メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

重 要

●著作権などの制限によりファイルが保存できないことがあります。

補 足

●データフォルダが一杯の場合は、ファイルを保存することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してください（12-15ページ）。

プロパティを確認する

ファイル名、種類、ファイルサイズ、保存・転送の可・不可を確認することができます。

1 **「データフォルダに保存する」（左記）の操作3より、「オブジェクトプロパティ」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す**

▶ファイルの詳細情報が表示されます。

情報の利用

25

ファイルを再生する

ウェブで入手した情報内の画像ファイルを再生することができます。

1 「データフォルダに保存する」(25-6ページ) の操作3より、「再生」を選択し、[-](選択)を押す

▶ファイルが再生されます。

重　要

- ファイルによっては正しく表示/再生できない場合があります。

補　足

- ストリーミングの再生については、10-12ページを参照してください。

リンクからファイルをダウンロードする

情報によっては、文字列などに設定されているリンクから、ファイルをダウンロードできるものもあります。

1 情報画面を表示する

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 ダウンロードしたいファイルのあるリンクを選択し、[●]を押す

▶ダウンロード確認画面が表示されます。

3 [-](Yes)を押す

▶ダウンロードが開始されます。

4 項目を選択し、[-](選択)を押す

再生：プレイヤーが起動し、ファイルを再生します。

保存：ファイルをデータフォルダまたはメモリカードに保存します。

オブジェクトプロパティ：ファイル名、種類、ファイルサイズ、保存・転送の可・不可を表示します。

重　要

- 著作権などの制限によりファイルが保存できないことがあります。
- ファイルによっては正しく表示/再生できない場合があります。

補　足

- データフォルダが一杯の場合は、ファイルを保存することができません。あらかじめデータフォルダの不要なファイルを削除してください（12-15ページ）。
- ストリーミングの再生については、10-12ページを参照してください。

■最新の情報に更新する

表示中の情報を最新の情報に更新することができます。

1 情報画面を表示し、[-]（メニュー）を押す

- 表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「更新」を選択し、[-]（選択）を押す

▶サービスセンターとの通信後、更新された情報が表示されます。

■画面URLをメールで送信する

1 情報画面を表示し、[-]（メニュー）を押す

- 表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「ページURL送信」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「メール送信-SMS」または「メール送信-MMS」を選択し、[-]（選択）を押す

▶本文に情報画面のURLが貼り付けられたメール作成画面が表示されます。

- メールの作成方法については20-2ページを参照してください。

■URLを入力してアクセスする

情報画面を表示中に「http://www.△△.co.jp」などで表示されるアドレス（URL）を入力し、ホームページへアクセスして、情報を入手することができます。

1 情報画面を表示し、[-]（メニュー）を押す

- 表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「インターネットアクセス」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「URL入力」を選択し、[-]（選択）を押す

- 履歴（24-4ページ）からアクセスする場合は、「**履歴**」を選択します。

4 アドレスを入力し、[●]を押す

▶サービスセンターとの通信後、情報が表示されます。

- 文字の入力方法については4章を参照してください。
- 登録可能文字数は、最大1,024文字です。

■エンコード種別を変更する

画面の文字が正しく表示されないときに、エンコード種別を変更して再表示することができます。
お買い上げ時は、「**自動認識**」に設定されています。

1 情報画面を表示し、［メニュー］（メニュー）を押す

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「その他」を選択し、［選択］（選択）を押す

3 「エンコード種別」を選択し、［選択］（選択）を押す

4 設定したいエンコード種別を選択し、［選択］（選択）を押す

▶ 指定したエンコード種別で情報が表示されます。
●情報が正しく表示されない場合は、エンコード種別を替えてください。

■情報内の文字をコピーする

情報画面の文字をクリップボードにコピーすることができます。

1 情報画面を表示し、［メニュー］（メニュー）を押す

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「その他」を選択し、［選択］（選択）を押す

3 「テキストコピー」を選択し、［選択］（選択）を押す

4 ［十字キー］でコピーしたい先頭または最後の文字にカーソルを移動し、［始点］（始点）を押す

▶ コピーの開始位置が設定されます。

5 ［十字キー］でコピーしたい範囲を指定し、［終点］（終点）を押す

▶ 指定した範囲の文字がクリップボードに保存されます。
●コピーされるのは文字および絵文字のみです。

■サーバー証明書を確認する

SSL／TLSで接続するサーバーの証明書を確認することができます。

●SSL／TLSについては24-2ページを参照してください。

1 SSL／TLSで保護されている情報を表示し、[メニューキー]（メニュー）を押す

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「その他」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

3 「SSL接続情報」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

▶証明書の内容が表示されます。

■情報画面のプロパティを確認する

情報画面のタイトル、ファイルサイズ、保存・転送の可・不可、URLを確認することができます。

1 情報画面を表示し、[メニューキー]（メニュー）を押す

●表示方法については24-3ページを参照してください。

2 「ページプロパティ」を選択し、[メニューキー]（選択）を押す

▶情報画面の詳細情報が表示されます。

ウェブのその他機能

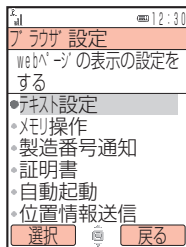
ブラウザの設定

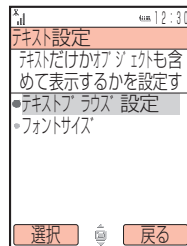
■画像やメロディの受信を拒否する（テキストブラウズ）

受信する情報に画像やメロディが含まれていても文字情報だけを取得するよう設定することができ、受信完了までの時間を短縮できます。
お買い上げ時は「**イメージ**」が「**表示する**」に、「**サウンド**」が「**再生する**」に設定されています。

1 **待受画面で●を押し、◎で「Vodafone live!」を選択し、▱（選択）を押す**

2 **「ブラウザ設定」を選択し、▱（選択）を押す**

▶ブラウザ設定画面が表示されます。

3 **「テキスト設定」を選択し、▱（選択）を押す**

▶テキスト設定画面が表示されます。

4 **「テキストブラウズ設定」を選択し、▱（選択）を押す**

5 **「イメージ」または「サウンド」を選択し、▱（選択）を押す**

6 **「表示しない」または「再生しない」を選択し、▱（選択）を押す**

▶受信拒否が設定されます。

補足

- この機能で受信を拒否した画像やメロディはアイコン（▣、♫）で表示されます。情報画面の表示中に▱（メニュー）を押して、「**ファイル保存モード**」を選択すると、自動的に画像やメロディを受信します。

■文字のサイズを変更する

お買い上げ時は「**標準**」に設定されています。

1 **テキスト設定画面（26-2ページ）より、「フォントサイズ」を選択し、［-］（選択）を押す**

2 **「大」、「標準」、「小」のいずれかを選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 文字のサイズが変更されます。

補　足

● 情報画面の表示中に文字のサイズを変更する場合は、情報画面で［-］（メニュー）を押したあと、「**その他**」を選択し、「**フォントサイズ**」を選択します。

■メモリを管理する

アクセス履歴を消去する

1 **ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「メモリ操作」を選択し、［-］（選択）を押す**

2 **「履歴消去」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ 確認画面が表示されます。

3 **［-］（Yes）を押す**

▶ アクセス履歴が消去されます。

Cookieの有効／無効を設定する

Cookieとはサービスセンターと902Tの間でやりとりするユーザ情報やアクセス履歴などの情報です。Cookieを有効（「**On**」）にすると、サイトに接続したときの設定情報がCookieとして保存されるため、次回接続時に保存されているお客様専用の環境を利用できます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 **ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「メモリ操作」を選択し、［-］（選択）を押す**

2 **「Cookie設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **「On」または「Off」を選択し、［-］（選択）を押す**

▶ Cookieの有効／無効が設定されます。

保存されているCookieを消去する

1 ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「メモリ操作」を選択し、（選択）を押す

2 「Cookie全消去」を選択し、（選択）を押す

▶ 確認画面が表示されます。

3 （Yes）を押す

▶ 保存されているCookieが消去されます。

ウェブキャッシュをすべて消去する

キャッシュメモリに保存されている情報をすべて消去します。

1 ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「メモリ操作」を選択し、（選択）を押す

2 「キャッシュ消去」を選択し、（選択）を押す

▶ 確認画面が表示されます。

3 （Yes）を押す

▶ 情報画面のキャッシュが消去されます。

DNSキャッシュをすべて消去する

本体に保持されているボーダフォンライブ！のサーバーのアドレスを消去します。

1 ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「メモリ操作」を選択し、（選択）を押す

2 「DNSキャッシュ消去」を選択し、（選択）を押す

▶ 確認画面が表示されます。

3 （Yes）を押す

▶ DNSキャッシュが消去されます。

■製造番号通知を設定する

ネットワークから要求があったときに、本体の製造番号（IMEI）をお客様のユーザIDとして自動的に送信するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「製造番号通知」を選択し、（選択）を押す

2 「On」を選択し、（選択）を押す

▶ 製造番号通知が設定されます。

■SSL／TLS証明書を確認する

902Tでは、あらかじめ認証機関から発行された証明書が登録されていて、内容を確認することができます。
●SSL／TLSについては24-2ページを参照してください。

1 ブラウザ設定画面（26-2ページ）より､「証明書」を選択し、[-]（選択）を押す

2 確認したい証明書を選択し、[-]（選択）を押す

▶ 証明書の内容が表示されます。

■プッシュ受信時にブラウザを自動起動する

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「自動起動」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「On」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ ブラウザの自動起動が設定されます。

位置情報設定

ブラウザやVアプリから位置情報を取得する際の設定を行うことができます。

■位置情報URL設定を行う

電話帳（5-2ページ）から地図を表示させるときの地図提供プロバイダを設定することができます。
お買い上げ時は「http://mobile.its-mo.com/MapToLink/p2」に設定されています。

1 待受画面で[●]を押し、[◎]で「設定」を選択し、[-]（選択）を押す

2 「位置情報設定」を選択し、[-]（選択）を押す

3 「位置情報URL設定」を選択し、[-]（選択）を押す

4 「未登録」を選択し、[-]（編集）を押す

5 位置情報取得用のURLを入力し、[●]を押す

▶ URLが設定されます。
●登録可能文字数は、最大1,024文字です。

6 設定したいURLを選択し、[●]を押す

▶ 通常の接続先URLが設定されます。

補　足

- 操作5のあと（メニュー）を押して、以下の操作を行うことができます。
  設定／編集／詳細／一件削除
  ただし、お買い上げ時に設定されているURL「http://mobile.its-mo.com/MapToLink/p2」は編集、削除することができません。

■測位On／Off設定を行う

位置測位機能を有効にするかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 **待受画面でを押し、で「設定」を選択し、（選択）を押す**

2 **「位置情報設定」を選択し、（選択）を押す**

3 **「測位On／Off設定」を選択し、（選択）を押す**

4 **操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する**

5 **「On」または「Off」を選択し、（選択）を押す**

▶ 位置測位機能の有効／無効が設定されます。

■位置情報の送信を設定する

情報取得時に位置情報の送信要求があったとき、位置情報を自動的に送信するかどうかを設定することができます。
お買い上げ時は「**確認画面表示**」に設定されています。

1 **ブラウザ設定画面（26-2ページ）より、「位置情報送信」を選択し、（選択）を押す**

2 **操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する**

3 **「確認画面表示」、「送信する」、「送信しない」のいずれかを選択し、（選択）を押す**

▶ 位置情報の送信が設定されます。

Vアプリの基本操作

Vアプリをご利用になる前に

■Vアプリのしくみ

Vアプリは、Vアプリを提供しているウェブの情報画面からダウンロードすることができます。ダウンロードするには、ウェブ利用時と同様の通信料がかかります。

●詳しくは、3Gガイドブックをご覧ください。

●902Tでは、ボーダフォン携帯電話専用のVアプリのみ利用できます。

ネットワーク接続型Vアプリについて

Vアプリには、902Tだけで動作するものと、利用時にネットワーク（ウェブ）に接続する必要があるもの（ネットワーク接続型Vアプリ）があります。ネットワーク接続型Vアプリを利用して、ネットワーク接続型のゲームを楽しんだり、リアルタイムに情報を入手することができます。

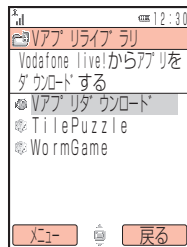
●ネットワーク接続型Vアプリを利用するときは、接続するたびにウェブの通信料がかかります。

●ネットワーク接続型Vアプリを利用するときに、あらかじめセキュリティ設定（27-7ページ）で「**ネットワーク接続**」を「**初回のみ表示**」にしている場合は、初回利用時のみ確認画面が表示され、それ以降は自動的にネットワークに接続されます。

Vアプリのダウンロード

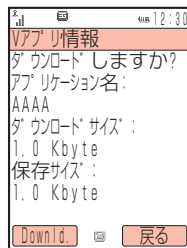
1 待受画面で●を押し、◎で「Vアプリ」を選択し、▭（選択）を押す

2 「Vアプリライブラリ」を選択し、▭（選択）を押す

▶Vアプリライブラリ画面が表示されます。

3 「Vアプリダウンロード」を選択し、●を押す

▶アプリケーションダウンロードサイトが表示されます。

4 ダウンロードしたいVアプリを選択し、●を押す

▶Vアプリ情報画面が表示されます。

5 [-]（Downld.）を押す

6 「本体」を選択し、[-]（選択）を押す

▶ Vアプリのダウンロードが開始されます。
● メモリカードに保存する場合は、「**メモリカード**」を選択します。

7 ダウンロード完了

▶ ダウンロード完了画面が表示されます。

8 [-]（Yes）を押す

▶ Vアプリライブラリ画面が表示されます。

重　要

- ダウンロード開始時に電池残量が少ないときは、Vアプリ情報画面で「**バッテリーが少ないため、ダウンロードが失敗する可能性があります**」と表示され、ダウンロードが正常に終了しない恐れがあります。充電してからダウンロードすることをおすすめします。
- USIMカードを差し替えた場合は、ダウンロードしたVアプリ（あらかじめ登録されているVアプリを除く）を利用することはできません。

補　足

- ダウンロード開始時に一時停止中のVアプリがある場合は、終了確認画面が表示されます。一時停止中のVアプリを終了してダウンロードを続行するには[-]（Yes）を押します。
- 保存先のメモリが一杯の場合
  - ・保存先が本体の場合は、操作6のあと[-]（Yes）を押し、不要なデータを削除してください（12-15ページ）。
  - ・保存先がメモリカードの場合は、Vアプリをダウンロードすることができません。不要なVアプリを削除するか（27-5ページ）、または本体に保存してください。

Vアプリの起動

Vアプリ実行中は画面上に「」が表示されます。

1 待受画面で●を押し、◎で「Vアプリ」を選択し、（選択）を押す

2 「Vアプリライブラリ」を選択し、（選択）を押す

3 起動したいVアプリを選択し、●を押す

▶起動中画面が表示されたあと、Vアプリが起動します。

重　要

- Vアプリ（待受アプリを除く）実行中は、マルチアプリ（15-2ページ）を利用することはできません。

補　足

- 一時停止中のVアプリがある場合は、終了させてから再び起動したいVアプリを選択します（右記）。
- Vアプリ実行中に着信やメール受信などがあった場合の動作は、優先度設定（28-4ページ）に従います。

Vアプリの終了／一時停止／再開

Vアプリを終了／一時停止する

1 Vアプリの実行中にを押す

2 「終了」を選択し、（選択）を押す

▶実行中のアプリが終了します。

- Vアプリを一時停止する場合は「**一時停止**」を、一時停止したVアプリを再開する場合は「**再開**」を選択します。

補　足

- 本体を閉じるとVアプリは一時停止します。

一時停止中のVアプリを再開／終了する

1 待受画面で●を押し、◎で「Vアプリ」を選択し、（選択）を押す

2 「Vアプリライブラリ」を選択し、（選択）を押す

3 「再開」を選択し、[-]（選択）を押す

●一時停止中のVアプリを終了する場合は、「**終了**」を選択します。

Vアプリの管理

■Vアプリを削除する

Vアプリを1件削除する

1 Vアプリライブラリ画面（27-2ページ）より、削除したいVアプリを選択し、[-]（メニュー）を押す

2 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

3 [-]（Yes）を押す

▶Vアプリが削除されます。

複数のVアプリを一括で削除する

1 Vアプリライブラリ画面（27-2ページ）より、Vアプリを選択し、[-]（メニュー）を押す

2 「複数選択」を選択し、[-]（選択）を押す

3 削除したいVアプリを選択し、[●]を押す

▶チェックすると、Vアプリの横に「☑」が表示されます。

●Vアプリを複数選択する場合は、操作3を繰り返します。

4 [-]（メニュー）を押す

5 「削除」を選択し、[-]（選択）を押す

▶確認画面が表示されます。

6 [-]（Yes）を押す

▶Vアプリが削除されます。

補　足

●お買い上げ時にあらかじめ登録されているVアプリを削除する場合は、操作用暗証番号（1-24ページ）の入力が必要です。

補　足

- すべてのVアプリをチェックする場合は、操作3で(メニュー)を押したあと、「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作3で(メニュー)を押したあと、「**全チェック解除**」を選択します。

■Vアプリのプロパティを確認する

Vアプリの詳細情報を確認することができます。

1 Vアプリライブラリ画面(27-2ページ)より、確認したいVアプリを選択し、(メニュー)を押す

2 「プロパティ」を選択し、(選択)を押す

▶Vアプリの情報が表示されます。

補　足

- プロパティでは以下の情報を確認することができます。
  アプリケーション名/ベンダー名/バージョン/説明/サイズ/保存サイズ/待受設定(設定可・設定不可)/プロファイル/関連リンク/TV出力(可・不可)/認証(名称・組織・国名)

■Vアプリを移動する

Vアプリを本体(データフォルダ)のVアプリライブラリまたはメモリカードのVアプリライブラリに移動することができます。

1 Vアプリライブラリ画面(27-2ページ)より、Vアプリを選択し、(メニュー)を押す

2 「複数選択」を選択し、(選択)を押す

3 移動したいVアプリを選択し、●を押す

▶チェックすると、Vアプリの横に「☑」が表示されます。

●Vアプリを複数選択する場合は、操作3を繰り返します。

4 (メニュー)を押す

5 「移動」を選択し、(選択)を押す

▶確認画面が表示されます。

6 (Yes)を押す

▶Vアプリが移動されます。

重　要

- 待受設定されているVアプリをメモリカードに移動すると、待受設定は解除されます。

重　要

- お買い上げ時にあらかじめ登録されているVアプリは移動することができません。またダウンロードしたVアプリによっては、メモリカードに移動できない場合があります。
- 本体とメモリカード内に同じVアプリがある場合は、そのVアプリは移動できません。

補　足

- すべてのVアプリをチェックする場合は、操作3で［メニュー］（メニュー）を押したあと､「**全チェック**」を選択します。
- すべてのチェックを解除する場合は、操作3で［メニュー］（メニュー）を押したあと､「**全チェック解除**」を選択します。

■Vアプリライブラリの表示を切り替える

Vアプリライブラリの表示を本体（データフォルダ）のライブラリからメモリカードのライブラリに切り替えることができます｡メモリカード内のライブラリを表示中は、タイトルの左に「［アイコン］」が表示されます。

1 Vアプリライブラリ画面（27-2ページ）より、［メニュー］（メニュー）を押す

2 「メモリカード」を選択し、［選択］（選択）を押す

▶ Vアプリライブラリの表示が切り替わります。

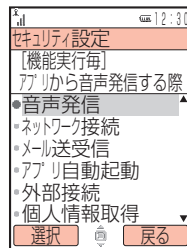
● メモリカードから本体に切り替える場合は、「**本体**」を選択します。

■セキュリティ設定

Vアプリ実行中、通話発信やネットワーク接続など、特定の機能を利用するときに確認画面を表示するかどうかを設定することができます。

1 Vアプリライブラリ画面（27-2ページ）より、設定したいVアプリを選択し、［メニュー］（メニュー）を押す

2 「セキュリティ設定」を選択し、［選択］（選択）を押す

▶ セキュリティ設定画面が表示されます。

3 設定したい機能を選択し、[−]（選択）を押す

●セキュリティ設定で設定した内容をリセットする場合は、「**設定リセット**」を選択します。

4 表示方法を選択し、[−]（選択）を押す

アプリ起動毎：Vアプリを起動するたびに確認画面を表示します。
機能実行毎：利用時は常に確認画面を表示します。
初回のみ表示：Vアプリ初回利用時のみ確認画面を表示します。
許可しない：利用時に確認画面を表示せず、常に機能実行を許可しません。

▶確認画面の表示方法が設定されます。
●表示方法の種類は機能によって異なります。

Vアプリの利用

Vアプリの待受設定

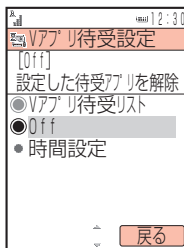
待受画面にVアプリを起動させておくように設定することができます。ただし、待受設定することができるVアプリは1件のみです。

■Vアプリの待受設定を行う

お買い上げ時は「Off」に設定されています。

1 待受画面で●を押し、◎で「Vアプリ」を選択し、▭（選択）を押す

2 「Vアプリ待受設定」を選択し、▭（選択）を押す

▶ Vアプリ待受設定画面が表示されます。

3 「Vアプリ待受リスト」を選択し、▭（選択）を押す

▶ 待受設定可能なVアプリの一覧が表示されます。

4 設定したいVアプリを選択し、▭（選択）を押す

5 ▭（Yes）を押す

▶ 待受設定が完了します。

重　要

- 待受アプリ設定中は、電話がかかってきても簡易留守録（16-9ページ）が動作しない場合があります。

補　足

- 待受Vアプリ起動中に⌒を押すと、待受設定されているVアプリは一時停止状態になりますが、待受設定は解除されません。待受設定されているVアプリを解除する場合は、操作3で「Off」を選択します。
- Vアプリライブラリ（27-2ページ）から待受設定可能なVアプリを選択しても、待受設定を行うことができます。

■待受アプリの起動時間を設定する

Vアプリ待受設定中、待受画面が表示されてからVアプリが起動するまでの時間を設定することができます。また、待受設定されたVアプリの動作時間を設定することもできます。お買い上げ時は開始時間が「**3秒**」に、動作時間が「**常時表示**」に設定されています。

Vアプリの起動開始時間を設定する

1 **Vアプリ待受設定画面（28-2ページ）より、「時間設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

2 **「開始時間」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **起動開始までの時間を入力し、［-］（OK）を押す**

▶起動開始時間が設定されます。

●起動開始時間は1～10秒まで設定できます。

Vアプリの動作時間を設定する

1 **Vアプリ待受設定画面（28-2ページ）より、「時間設定」を選択し、［-］（選択）を押す**

2 **「動作時間」を選択し、［-］（選択）を押す**

3 **動作時間を選択し、［-］（選択）を押す**

▶動作時間が設定されます。

重　要

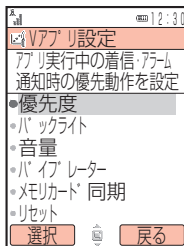
●待受アプリの種類によっては、ディスプレイ省電力（8-7ページ）の設定時間が経過すると、一時停止する場合があります。

Vアプリ実行中の優先度設定

Vアプリ実行中に電話がかかってきたときなどに着信を優先してVアプリを一時停止するか、Vアプリを一時停止せずに着信の通知だけを行うかを設定することができます。
お買い上げ時は、音声着信が「**音声着信優先**」に、TVコール着信が「**TVコール着信優先**」に、メール受信が「**メール受信優先**」に、アラームが「**アラーム優先**」に設定されています。

1 **待受画面で(●)を押し、(◎)で「Vアプリ」を選択し、(-)（選択）を押す**

2 **「Vアプリ設定」を選択し、(-)（選択）を押す**

▶ Vアプリ設定画面が表示されます。

3 **「優先度」を選択し、(-)（選択）を押す**

4 **設定したい項目を選択し、(-)（選択）を押す**

音声着信　：音声着信時の優先方法を設定します。
TVコール着信：TVコール着信時の優先方法を設定します。
メール受信　：メール受信時の優先方法を設定します。
アラーム　：アラーム設定時刻になったときの優先方法を設定します。

5 **優先方法を選択し、(-)（選択）を押す**

▶ 優先方法が設定されます。
● Vアプリを一時停止せずに着信の通知だけを行う場合は、「**通知のみ**」を選択します。

重　要

● 優先度を「**通知のみ**」にしている場合は、Vアプリ実行中に電話がかかってきても簡易留守録（16-9ページ）は動作しません。

Vアプリのディスプレイ照明設定

バックライトを設定する

Vアプリ実行中のバックライトを設定することができます。
お買い上げ時は「**通常設定連動**」に設定されています。

1 **Vアプリ設定画面（左記）より、「バックライト」を選択し、(-)（選択）を押す**

2 「バックライト」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 点灯方法を選択し、[選択キー]（選択）を押す

常時On　：Vアプリ実行中は、ディスプレイを常に点灯します。
常時Off　：Vアプリ実行中は、ディスプレイを常に消灯します。
通常設定連動：点灯時間設定（8-8ページ）に従います。

▶バックライトが設定されます。

バックライト点滅動作を設定する

Vアプリ側から点滅動作を要求されたときのバックライトの点滅を有効にするか無効にするかを選択できます。
お買い上げ時は「**On**」に設定されています。

1 Vアプリ設定画面（28-4ページ）より、「バックライト」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

2 「点滅設定」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

3 「On」または「Off」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

▶バックライト点滅が設定されます。

Vアプリの再生音量

Vアプリ実行中の音量を5段階に調節したり、音を鳴らさないようにすることができます。
お買い上げ時は「**レベル3**」に設定されています。

1 Vアプリ設定画面（28-4ページ）より、「音量」を選択し、[選択キー]（選択）を押す

2 [方向キー]で音量を調節し、[選択キー]（OK）を押す

▶再生音量が設定されます。

●再生音量を上げる場合は[上キー]または[右キー]を、下げる場合は[下キー]または[左キー]を押します。

補　足

- 操作2で、またはVアプリ実行中に、サイドキーを使って再生音量を調節することができます。音量を上げる場合は[▲]を、下げる場合は[▼]を押します。
- マナーモード（9-2ページ）にしている場合は、マナーモードの設定に従います。

Vアプリのバイブレーター設定

Vアプリからのバイブレーター制御を有効にするか無効にするかを選択できます。
お買い上げ時は「On」に設定されています。

1 **Vアプリ設定画面（28-4ページ）より、「バイブレーター」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「On」または「Off」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶ バイブレーターが設定されます。

メモリカードのVアプリ情報を更新する

メモリカードを他のボーダフォン携帯電話やパソコンなどで利用（データ編集や追加、消去など）したときは、メモリカードのVアプリの情報を更新する必要があります。

1 **Vアプリ設定画面（28-4ページ）より、「メモリカード同期」を選択し、[-]（選択）を押す**

▶ 確認画面が表示されます。

2 **[-]（Yes）を押す**

▶ メモリカードの情報が更新されます。

補　足

● Vアプリの数やサイズによっては、情報の更新が終了するまで時間がかかる場合があります。

Vアプリのリセット

■Vアプリの設定をすべてリセットする

Vアプリの各機能の設定内容をすべてお買い上げ時の状態に戻すことができます。

1 **Vアプリ設定画面（28-4ページ）より、「リセット」を選択し、[-]（選択）を押す**

2 **「設定リセット」を選択し、[-]（選択）を押す**

3 **操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する**

▶ 確認画面が表示されます。

4 **[-]（Yes）を押す**

▶ Vアプリの設定がリセットされます。

● リセットされる内容については30-2ページを参照してください。

■Vアプリをすべてリセットする

ダウンロードしたVアプリ（あらかじめ登録されているVアプリを除く）をすべて削除し、Vアプリの各機能の設定内容をすべてお買い上げ時の状態に戻します。

1 Vアプリ設定画面（28-4ページ）より、「リセット」を選択し、（選択）を押す

2「全アプリリセット」を選択し、（選択）を押す

3 操作用暗証番号（1-24ページ）を入力する

▶ 確認画面が表示されます。

4 （Yes）を押す

▶ Vアプリがすべてリセットされ、自動的に電源を入れ直します。

補 足

- Vアプリの削除（27-5ページ）であらかじめ登録されているVアプリを削除した場合は、全アプリリセットを行うと再インストールされます。ただし、データフォルダが一杯の場合は、再インストールされないことがあります。データフォルダの不要なファイルを削除してから全アプリリセットを行ってください（12-15ページ）。

Vアプリのライセンス情報を確認する

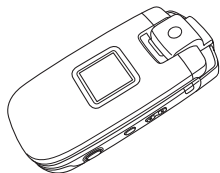
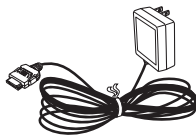
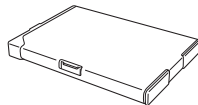
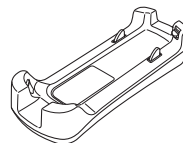
1 待受画面で●を押し、◎で「Vアプリ」を選択し、（選択）を押す

2「ライセンス情報」を選択し、（選択）を押す

▶ ライセンス情報が表示されます。

Abridged English Manual

TEXT INPUT

T9 Text Input is covered by Japan Pat.No.特許 3532780,3492981 and other patents pending.

What's in the Box

- In addition to the above items, optional items such as a cigarette lighter charger and USB cable are available. For details, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone General Information (page 29-56).
- You can use an SD memory card (hereafter referred to as a memory card) with your phone. A memory card is not supplied with your phone. Purchase a commercially available memory card to use the memory card functions.
  Your phone supports memory cards with a storage capacity of up to 1GB (as of May 2005). There is no guarantee that all memory cards will work with your phone.

TOSHIBA CORPORATION

IMPORTANT NOTE: PLEASE READ BEFORE USING YOUR MOBILE PHONE

BY ATTEMPTING TO USE ANY SOFTWARE ON THE SUPPLIED PHONE THIS CONSTITUTES YOUR ACCEPTANCE OF THESE EULA TERMS. IF YOU REJECT OR DO NOT AGREE WITH ALL THE TERMS OF THIS EULA, PLEASE DO NOT ATTEMPT TO ACCESS OR USE THE SUPPLIED SOFTWARE.

End User License Agreement

This End User License Agreement ("EULA") is a legal agreement between you (as the user) and TOSHIBA CORPORATION ("Toshiba") with regard to the copyrighted software as installed in a Toshiba 3G mobile phone supplied to you (the "Phone").
Use or disposal of any software installed in the Phone and related documentations (the "Software") will constitute your acceptance of these terms, unless separate terms are provided by the Software supplier on the Phone, in which case certain additional or different terms may apply. If you do not agree with the terms of this EULA, do not use or dispose the Software.

1. License Grant. Toshiba grants to you a personal, non-transferable and non-exclusive right to use the Software as set out in this EULA. Modifying, adapting, translating, renting, copying, making available, transferring or assigning all or part of the Software, or any rights granted hereunder, to any other persons and removing any proprietary notices, labels or marks from the Software is strictly prohibited, except as expressly permitted in this EULA. Furthermore, you hereby agree not to create derivative works based on the Software.
2. Copyright. The Software is licensed, not sold. You acknowledge that no title to the intellectual property in the Software is or will be transferred to you. You further acknowledge that title and full ownership rights to the Software will remain the exclusive property of Toshiba, Toshiba's affiliates, and/or their suppliers, and you will not acquire any rights to the Software, except as expressly set out in this EULA. You may keep a back-up copy of the Software only so far as necessary for its lawful use. All copies of the Software must contain the same proprietary notices as contained in or on the Software and are subject to the terms of this EULA. All rights not expressly granted under this EULA are reserved to Toshiba, Toshiba's affiliates and/or their suppliers.
3. Reverse Engineering. You agree that you will not attempt, and if you are a business organisation, you will use your best efforts to prevent your employees, servants and contractors from attempting to reverse engineer, decompile, modify, translate or disassemble the Software in whole or in part except to the extent that such actions cannot be excluded by mandatory applicable law and only if those actions are taken in accordance with such applicable law. Any failure to comply with the above or any other terms and conditions contained herein will result in the automatic termination of this license and the reversion of the rights granted hereunder to Toshiba.
4. **DISCLAIMER OF WARRANTY.** The Software is provided "AS IS" without warranty of any kind. **TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES, AND THEIR SUPPLIERS DISCLAIM ALL WARRANTIES, CONDITIONS OR OTHER TERMS (WHETHER EXPRESS OR IMPLIED), INCLUDING BUT NOT LIMITED TO WARRANTIES, CONDITIONS AND TERMS**

OF SATISFACTORY QUALITY, MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NON-INFRINGEMENT OF THIRD-PARTY RIGHTS; AND THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE SOFTWARE IS WITH YOU. YOU ACCEPT THAT SOFTWARE MAY NOT MEET YOUR REQUIREMENTS AND NO WARRANTY CAN BE GIVEN THAT OPERATION OF THE SOFTWARE WILL BE UNINTERRUPTED OR ERROR-FREE.

5. **LIMITATION OF LIABILITY. TO THE FULLEST EXTENT LEGALLY PERMITTED, IN NO EVENT SHALL TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES OR THEIR SUPPLIERS BE LIABLE TO YOU FOR ANY DAMAGES FOR (A) LOST BUSINESS OR REVENUE, BUSINESS INTERRUPTION, LOSS OF BUSINESS DATA; OR (B) CONSEQUENTIAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR INDIRECT DAMAGES OF ANY KIND (WHETHER UNDER CONTRACT, TORT OR OTHERWISE) ARISING OUT OF: (I) THE USE OR INABILITY TO USE THE SOFTWARE, EVEN IF TOSHIBA, TOSHIBA'S AFFILIATES OR THEIR SUPPLIER HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES; OR (II) ANY CLAIM BY A THIRD PARTY. SAVE AS SET OUT IN THIS SECTION, TOSHIBA'S ENTIRE LIABILITY UNDER THIS EULA SHALL NOT EXCEED THE PRICE PAID FOR THE SOFTWARE, IF ANY.**
   PLEASE MAKE AND RETAIN A COPY OF ALL DATA YOU HAVE INSERTED INTO YOUR PRODUCT, FOR EXAMPLE NAMES, ADDRESSES, PHONE NUMBERS, PICTURES, RINGTONES ETC, BEFORE SUBMITTING YOUR PRODUCT FOR A WARRANTY SERVICE, AS SUCH DATA MAY BE DELETED OR ERASED AS PART OF THE REPAIR OR SERVICE PROCESS.
6. Laws. This EULA will be governed by the laws of Japan. All disputes arising out of this EULA shall be subject to the exclusive jurisdiction of the Tokyo District Court.
7. Export Laws. Any use, duplication or disposal of the Software involves products and/or technical data that may be controlled under the export laws of applicable countries or region and may be subject to the approval of the applicable governmental authorities prior to export. Any export, directly or indirectly, in contravention of the export laws of applicable countries or region is prohibited.
8. Third Party Beneficiary. You agree that certain suppliers of the Software to Toshiba have a right as a third party beneficiary to enforce the terms of this EULA against you as a user.

Safety Precautions

- To ensure proper usage, be sure to read the Safety Precautions thoroughly before using your phone. Always keep this manual available for future reference.
- Be sure to follow the safety information contained in the instruction manuals and indicated on the product to prevent injury to the user and other persons, as well as damage to property.
- When a child uses the phone, it is recommended that a parent or guardian reads the instruction manuals thoroughly and provides proper instructions to the child.
- The following describes the meaning of safety symbols and signal words. Be sure to understand their meanings before proceeding to read this manual.

■ Pictograph Descriptions

Pictograph	Meaning
⚠ Danger	Indicates an imminently hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Warning	Indicates a potentially hazardous operation that could result in death or serious injury[1] of the user.
⚠ Caution	Indicates a potentially hazardous operation that could result in minor or moderate injury[2] to the user or damage to property[3].

1 Serious injury includes loss of sight, wounds, high temperature burns, low temperature burns (burns causing reddish areas, blistering and other damage to the skin as a result of heat exceeding the body temperature contacting your skin for a prolonged time), electric shock, fractures and poisoning requiring hospitalization or long-term medical treatment.

2 Injury includes wounds, burns and electric shock not requiring hospitalization or long-term medical treatment.

3 Damage to property includes extensive damage to homes and household property, as well as livestock and pets.

■ Symbol Descriptions

Symbol	Meaning
⃠ Prohibited	⃠ indicates a prohibited action. The prohibited action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.
❗ Compulsory	❗ indicates a compulsory action that must be carried out. The compulsory action is indicated graphically or described in text in or near the symbol.

Limitation of Liability

- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from natural disasters such as earthquakes, lightning, storms and floods, as well as fires through no fault of Vodafone and Toshiba, acts by third parties, other accidents, improper use by the user, whether intentionally or negligently, or use under other abnormal conditions.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for incidental damages arising out of the use or inability to use the product, including, but not limited to, corruption or loss of data, lost business revenue or suspension of business operations.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from improper use not conforming to the instructions in the instruction manuals.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damages arising from malfunctions caused by use in combination with connection equipment or software that is not authorized for use by Vodafone and Toshiba.
- Image data recorded with the camera, downloaded data and other data may be corrupted or lost due to malfunction, repair or other improper handling of the product. Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for the restoration of corrupted or lost data, as well as any damages or lost revenue and profits.
- Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for corruption or loss of stored data resulting from failures or malfunctions of the product, regardless of the cause. Be sure to keep a separate memo of important data to limit damage caused by data corruption or loss to a minimum.

Danger

No disassembly

Do not disassemble, modify or repair the phone, battery pack or charger

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock, injury or malfunction. Modification of the phone is prohibited by Japanese Radio Law. For repair, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 29-56).

No flames

Do not dispose of the phone or battery pack in a fire or expose it to heat

If the phone or battery pack is exposed to water, do not dry it artificially in heating equipment (microwave oven, etc.)

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

No flames

Do not charge, use or leave the phone or battery pack in hot places such as near a fire or heater

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Keep water away

Do not expose the phone, charger or battery pack to fluids such as water, perspiration or seawater

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or malfunction. If the phone is dropped accidentally in water or any other fluid, immediately turn off the phone and contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 29-56).

Danger

Keep water away

Do not leave the phone, charger or battery pack outdoors, in a bathroom or wherever water or any other fluid is used

Do not place the phone, charger or battery pack near cups, vases or other containers of fluids

Exposure to water or other fluids may cause electric shock, overheating, rupturing or fire.

Prohibited

Do not use excessive force when inserting the battery pack into the phone or connecting the phone to the charger

Do not connect any cords with reverse polarity

Doing so may cause the battery pack to leak, rupture, overheat or catch fire, as well as cause electric shock or malfunction.

Prohibited

Do not touch the battery pack connectors (metal parts) with any metal objects (necklace, hairpin, etc.)

Doing so may cause the battery pack to overheat, rupture or catch fire, as well as the metal object to overheat.

Compulsory

Do not use a battery pack other than one supplied with or designated for the phone

Do not use the battery pack for any other phone

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Compulsory

Do not use a charger other than one supplied with or designated for the phone to charge the battery pack

Do not use the charger for any other phone

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Warning

Prohibited

Do not charge the battery pack while it is wet or damp

Doing so may cause overheating, rupturing, fire, electric shock or short circuit. If the battery pack is exposed to fluids such as water, unplug the rapid charger immediately.

Prohibited

Do not use the phone while driving

Do not make or receive a call and do not use other functions (messaging, game, camera, video, mobile light, etc.)

Doing so may cause a traffic accident. Use of the phone while driving is prohibited by law. Before using the phone, stop the vehicle in a safe area where parking or stopping is permitted.

Prohibited

Do not use the phone wherever there is the risk of a fire or explosion such as in a petrol station

Doing so may ignite the gases and start a fire or explosion. Turn off the phone and do not charge it wherever gases may be present (petrol station, etc.).

Prohibited

Do not swing the phone by its strap, video output cable or stereo handsfree headset

Doing so may cause an injury, accident or damage.

Compulsory

Turn off the phone while you are near any precision electronic equipment

Radio waves may adversely affect the operation of electronic equipment. Examples of such equipment: medical electronic equipment such as cardiac pacemakers and hearing aids or fire alarms and automatic doors. If you use medical electronic equipment, consult with the equipment manufacturer or distributor about the influence of radio waves.

Unplug power cable

Remove the power plug from the outlet if the rapid charger is not to be used for a long period of time or before cleaning

Failing to do so may cause an electric shock, fire or malfunction.

Compulsory

Turn off the phone wherever its use is prohibited such as on an aircraft

Turn off the phone after cancelling any settings such as schedule and alarm settings that turn on the phone automatically

Use of the phone on an aircraft is prohibited by law.

Compulsory

Check your surroundings to confirm that it is safe to make/receive calls, send/receive messages, take pictures or record videos

Failing to do so may cause you to trip over or cause a traffic accident.

Warning

Compulsory

Do not use the phone with any power voltage other than the specified voltage

Doing so may cause a fire. The power voltages are 100 to 240 V AC for the rapid charger and 12 or 24 V DC (for a negative ground car only) for a cigarette lighter charger.

Compulsory

Wipe away any dust on the plug of the rapid charger with a dry cloth after removing the plug from the outlet

Dust on the plug or outlet may cause a fire.

Compulsory

Follow the instructions below when installing and wiring in-vehicle devices

- **Make sure that devices do not interfere with driving and safety equipment such as airbags**
- **Make sure that wires are not caught in seatbelt buckles, doors or other moving parts**

Any wire caught around a foot, brake pedal, accelerator pedal, etc. may interfere with driving and cause a traffic accident. If any part of an in-vehicle device drops onto the floor, it may startle you into abrupt braking or steering, leading to a traffic accident.

Compulsory

If electrolyte fluid leaking from the battery pack gets into your eyes, wash your eyes immediately with clean water and have your eyes treated by an ophthalmologist

Failing to receive treatment for your eyes may result in eye injury.

Compulsory

When thunder is heard outside, stop using the phone immediately
Turn off the phone and do not touch it

Failing to do so may attract lightning and cause electric shock. When thunder is heard, stop using the phone and move to a safe place such as inside a building.

Compulsory

If the battery pack fails to charge in the specified time, stop charging immediately

Failing to do so may cause overheating, rupturing or fire. Contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 29-56).

Compulsory

When inserting the rapid charger plug into an AC household outlet, make sure that a metal strap or any other metal object does not touch the plug

Failing to do so may cause electric shock, short circuit or fire.

Warning

Compulsory

If something unusual happens to the phone, battery pack or charger; for example, it emits smoke or an unusual odour or is damaged, perform the following steps immediately

1. If the battery pack is charging, unplug the rapid charger from the AC household outlet or unplug the cigarette lighter charger from the cigarette lighter socket.
2. Make sure that the phone is not hot, then turn it off and remove the battery pack.

Failing to do so and continuing use (charging) may cause the battery pack to overheat, rupture or catch fire or the phone to overheat. If something unusual happens, contact your nearest Vodafone Shop or Vodafone Customer Assistance (page 29-56).

Prohibited

Do not drop the phone or battery pack or subject it to excessive shock

Doing so may cause overheating, rupturing, fire or malfunction.

Prohibited

Do not sit down with the phone in your trousers pocket

Excess weight may damage the display, battery pack or other parts resulting in overheating, fire or injury.

Compulsory

If the phone is used near an implanted cardiac pacemaker, defibrillator or other electronic medical equipment, radio waves may interfere with such a device or equipment

Observe the following guidelines

1. If you have an implanted cardiac pacemaker or defibrillator, carry and use the phone at a distance of at least 22 centimetres away from the implanted device.
2. Turn off the phone in crowded places such as packed trains because a person with an implanted cardiac pacemaker or defibrillator may be nearby. Radio waves can interfere with the operation of a cardiac pacemaker or other medical device.
3. Follow the precautions below in medical institutions.
   - Do not bring the phone into an operating room, intensive care unit or coronary care unit.
   - Turn off the phone in a hospital ward.
   - Turn off the phone in a lobby or other location close to medical equipment.
   - Observe the instructions of individual medical institutions and do not use the phone in or bring it into prohibited areas.
   - Turn off the phone after cancelling any settings such as schedule and alarm settings that turn on the phone automatically.

4. When using electronic medical devices other than an implanted cardinal pacemaker or defibrillator outside of medical institutions (such as at home), consult with the individual medical device manufacturer about the possible influence of radio waves.

The above information conforms to "The Guidelines on Use of Mobile Phones and Other Devices to Prevent Electromagnetic Wave Interference with Electronic Medical Equipment" (Electromagnetic Compatibility Conference Japan, April 1997), as well as refers to "The Investigative Research Report on the Influence of Electromagnetic Waves on Medical Equipment" (Association of Radio Industries and Businesses, March 2001).

Prohibited

Do not use the rapid charger with any power supply other than a 100 to 240 V AC household power supply

Doing so may result in a fire, as well as cause the charger to overheat, catch fire or malfunction.

Caution

Prohibited

Do not use or leave the phone or battery pack in places where it will be exposed to direct sunlight or in hot places such as inside a car in the sun

Doing so may cause overheating, fire or malfunction.

Prohibited

Keep the phone, battery pack and charger away from infants and small children

Failing to do so may result in the battery pack or memory card being accidentally swallowed or cause an injury.

Prohibited

Make sure that the charger terminals (metal parts) do not come into contact with wires or other metal objects

Failing to do so may cause overheating or burns.

Prohibited

Do not pull the cord when unplugging the rapid charger or cigarette lighter charger from an AC household outlet or socket

Damage to the cord may cause electric shock, overheating or fire. Hold the plug when unplugging the rapid charger or cigarette lighter charger.

Prohibited

Do not pull, bend with excessive force or twist the cords of the rapid charger and cigarette lighter charger

Do not damage or modify them

Do not place objects on them

Do not apply heat and keep them away from heaters

Damage to a cord may cause electric shock, overheating or fire.

No wet hands

Do not plug or unplug the rapid charger with wet hands

Doing so may cause electric shock or malfunction.

Prohibited

Keep magnetic cards away from the phone and make sure that a magnetic card is not trapped when closing the phone

Failing to do so may cause the magnetic data on a cash card, credit card, telephone card or floppy disk to be lost.

Prohibited

Do not use the phone in a vehicle if it affects in-vehicle electronic devices

Use of the phone in some types of vehicles may, in some rare cases, affect in-vehicle electronic devices and interfere with safe driving.

Caution

Prohibited

Do not place the phone on an unstable or unlevel surface

Doing so may result in the phone falling and causing injury or malfunction. Be particularly careful when vibration is set.

Prohibited

Do not dispose of the used battery pack with ordinary garbage

Insulate the connectors with tape and then dispose of the used battery pack separately from ordinary garbage or take it to your nearest Vodafone Shop. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Prohibited

Do not touch the phone with sweaty hands or place it into a pocket of sweaty clothes

Sweat and humidity may erode the internal components of the phone and cause overheating or malfunction.

Prohibited

Do not use the cigarette lighter charger when the car engine is not running

Doing so may result in a flat battery.

Compulsory

If the fuse for the cigarette lighter charger blows, replace it with a designated fuse

Replacing the fuse with other than a designated fuse may cause overheating and fire.

For details on replacing the fuse, refer to the instruction manual of the cigarette lighter charger.

Compulsory

If fluid leaking from the battery pack comes into contact with skin or clothing, wash it away immediately with clean water

Failing to do so may cause skin irritation.

Caution

Compulsory

If your skin becomes irritated, immediately stop using the phone and consult with a dermatologist

The following materials and surface treatments have been used for the phone. Some of these materials may cause itching, irritation, eczema, etc. in some rare cases depending on the individual's constitution and physical condition.

Part	Material (Surface Treatment)
Outer housing (keypad)	PC resin (UV cured acrylic coating)
Outer housing (main display side, external display side, hinge side covers, hinge caps, external camera section, battery compartment)	PPE/PS resin (UV cured acrylic coating)
Main display panel, internal camera panel, external camera panel	Acrylic resin (UV cured acrylic ink)
External display panel	Tempered glass (polyester film)
Lower internal panel	ABS resin (UV cured acrylic coating)
Keys	PC resin (UV cured urethane coating)
Stops	Polyester elastomer resin
External light LED lamp	Acrylic resin
Mobile light panel	PC resin

Part	Material (Surface Treatment)
Round logo badge, rectangular logo badge	Acrylic resin (UV cured acrylic coating)
Camera grip	Polyester elastomer resin (UV cured urethane coating)
Earphone microphone jack cap, memory card slot cap	PC/ABS resin (UV cured acrylic coating)
Cable connector cap	Polyester elastomer resin
Phone charging connector	Stainless steel (gold coating, nickel undercoat)
Infrared port	Acrylic resin
Screws	Steel (nickel coating, copper undercoat)
Screw covers (earpiece)	ABS resin (UV cured acrylic coating)
Screw covers (main display)	ABS resin (UV cured acrylic coating)
Screw caps (external camera)	ABS resin (UV cured acrylic coating)

Caution

Compulsory

Before using the phone, make sure that no metal objects (such as pins) are stuck to the earpiece

Failing to do so may result in a metal object causing an ear injury, etc.

Compulsory

If you have a weak heart, be careful with the call vibration and ringtone volume settings

Failing to do so may startle you and may be harmful to your heart.

Compulsory

Be careful not to trap your fingers or objects when closing the phone and not to trap your fingers in the hinge when opening the phone

Failing to do so may cause injury or damage to the LCD display.

Prohibited

Do not use the mobile light and flashlight for purposes other than taking pictures, recording videos or lighting

Doing so may dazzle the eyes and cause impaired vision or other injury.

Prohibited

Make sure things like paper, cloth or bedding are not placed on the phone during charging

Failing to do so may cause overheating, fire, burns or malfunction.

Compulsory

Do not turn the volume up too high while using the stereo handsfree headset

Prolonged exposure to high sound levels may impair hearing or sound leakage may annoy other people around you. Surrounding sounds may not be heard clearly resulting in an accident.

Prohibited

Do not insert objects other than a memory card into the memory card slot

Doing so may cause overheating, electric shock or malfunction. Cover the slot with the cap at times other than when you are inserting or removing a memory card.

Prohibited

Keep your face away from the memory card slot when inserting or removing a memory card

Keep a memory card out of the reach of small children

If a memory card is let go of suddenly, it may fly out and hit your face resulting in injury.

Caution

Do not subject a memory card to vibration or shock or remove it from the slot or turn off the phone while data is being written to or read from the memory card

Doing so may cause data loss or malfunction.

Use only a memory card supported by the phone

Failing to do so may cause data loss or malfunction.

The phone supports memory cards with a storage capacity of up to 1GB (as of May 2005).

Do not let infants use the video output cable
Keep the video output cable out of infants' reach

An injury may be caused if, for instance, the cable is wrapped around a neck.

Do not point the infrared port towards eyes while using the infrared communication or remote controller functions

Doing so may cause eye damage.

Do not use the mobile light close to eyes

Doing so may cause eye damage. Be especially careful not to take pictures or record videos with the mobile light too close to the eyes of infants.

Do not use excessive force when inserting or removing the USIM card

Doing so may cause a malfunction. Be careful not to injure a hand or finger when removing the card.

Use only a USIM card designated for the phone

Failing to do so may cause data loss or malfunction.

Do not remove the protective sheet from the external display

Using the phone without the protective sheet may result in an injury if the external display is damaged.

General Notes for Handling

Using Your Phone

- The phone employs radio waves. Signals may be disrupted even within service areas if you are indoors, underground, inside a tunnel or inside a vehicle. If you move to a location with poor signal reception, a call may be suddenly cut off.
- When using the phone in public places, take care not to annoy other people around you. Use of the phone is prohibited in some public places such as in theatres or on buses and trains.
- The phone is a radio transceiver under Japanese Radio Law. You may be requested to submit the phone for inspection based on this law.
- Use of the phone near a landline phone, TV or radio may affect the image and sound quality of the equipment.
- The phone employs a digital system to maintain a high level of communication quality even at very low signal levels. However, calls may be suddenly cut off when the signal strength becomes too weak.
- The digital system provides a high level of privacy protection. However, the possibility of someone eavesdropping on your conversation cannot be ruled out as long as radio waves are used.
- Data stored on the phone may be corrupted or lost on the following occasions.
  - The phone is used improperly.
  - The phone is exposed to static electricity or electric noise.
  - The phone is turned off during operation.
  - The battery pack is completely discharged.
  - The phone malfunctions or is sent for repairs.

  Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for the corruption or loss of stored data. Be sure to keep a separate memo of important data to limit damage caused by data corruption or loss to a minimum.
- Be sure to charge the battery pack before using the phone for the first time or if the phone has not been used for a long time. When the battery pack is stored for a long time, it discharges over time even if it is not used.
- Before using a memory card, read the instruction manual of the memory card thoroughly to ensure safe and proper operation.
- When the phone is used for extended periods of time, especially in high temperature conditions, the phone surface could become hot. Please use caution when touching the phone under such conditions.
- When certain items are taken out of the country, documentation may be required to certify that the export of the items is not controlled, prohibited, or restricted by the Export Trade Control Order and Foreign Exchange Order. Basically, no such documentation is required if you take the phone out of the country and bring it back for the purpose of personal use when going on vacations or short business trips. In some cases, however, an export permit may be required if the phone is to be used by or transferred to anyone else.

  Furthermore, a US government export permit may be required when taking the phone to countries for which the US government has imposed export restrictions (Cuba, Libya, North Korea, Iran, Sudan, Syria).

  For details on export laws, regulations and procedures, refer to the Web page of the Security Export Control Policy Division of the Ministry of Economy, Trade and Industry.

- If you have hearing aids, use of the phone may interfere with some operations of the hearing aids. If there is any interference, consult with the manufacturer or distributor of the hearing aids.

Inside Vehicles

- Do not use the phone while driving. Use of the phone while driving is prohibited by law.
- Before using the phone, stop the vehicle in a safe area where parking or stopping is permitted.

Aboard Aircraft

- Do not use the phone on an aircraft. Turn off the phone after cancelling any settings such as schedule and alarm settings that turn on the phone automatically. Do not turn the phone back on while you are on the aircraft. Use of the phone on an aircraft is prohibited by law.

Handling Basics

- Do not use the phone in extreme temperatures, direct sunlight and humid or dusty places.
- Do not drop the phone or subject it to excessive shock.
- To clean the phone, wipe it with a dry soft cloth. Do not use alcohol, thinner, benzene or other solvents. Doing so may cause discoloration and remove the printed logo.
- Take care not to expose the phone to rain, snow or high humidity. The phone, battery pack, charger, stereo handsfree headset and other optional accessories are not waterproof.
- Do not remove the battery pack while the power is turned on. Doing so may cause a malfunction.
- If the battery pack has been removed from the phone or the phone has not been charged for a long time, stored data and settings may be lost or altered. Vodafone and Toshiba accept no liability whatsoever for any damage or loss resulting from such negligence.
- The battery pack is a consumable item employing lithium ions. Replace the battery pack with a new one if the operation time becomes extremely short after it is fully charged. Buy a new battery pack designated for the phone.
- When disposing of a used battery pack after battery pack replacement or discontinued use of the phone, insulate the connectors with tape or place the battery pack into a plastic bag and then take it to your nearest Vodafone Shop or battery pack recycling cooperative store. Be sure to observe local regulations on the separate collection of used batteries, wherever applicable.

Li-ion

- Some phone display pixels may be missing or remain lit. This is not a defect or malfunction. If the display is left on for a long period of time, pictures may be permanently burned into it.
- Make sure the stereo handsfree headset is securely plugged into the earphone microphone jack. Failing to do so may generate noise on the other party's phone during calls.
- Do not turn the volume up too high when using the stereo handsfree headset. Prolonged exposure to high sound levels may impair hearing or sound leakage may annoy other people around you. Surrounding sounds may not be heard clearly while you are doing something such as walking resulting in an accident.

- When not using the earphone microphone jack and external connector, make sure they are covered with the caps. Otherwise, dust and water may enter the phone, resulting in malfunction.
- Hold the plug and do not pull the cord when unplugging the video output cable or stereo handsfree headset. Pulling the cord may cause damage or malfunction.
- Do not close the phone with the strap, video output cable or stereo handsfree headset inside. Doing so may cause malfunction or damage.
- The antenna of the phone is built into the body and does not protrude. Signal sensitivity may be reduced if you touch or cover the portion of the body containing the internal antenna (page 29-25). In particular, do not affix things like stickers onto this portion of the body.
- When you replace the phone or send it for repair, messages and other data stored in the phone cannot be transferred to another phone.
- Do not drop the USIM card or subject it to excessive shock. Doing so may cause a malfunction.
- Do not bend the USIM card or place a heavy object on it. Doing so may cause a malfunction.
- Do not allow the USIM card to get wet or leave it in places of high humidity. Doing so may cause a malfunction.
- Do not use or leave the USIM card in hot places such as near a fire or heater. Doing so may cause a malfunction.
- Avoid storing the USIM card in direct sunlight or hot and humid places. Failing to do so may cause a malfunction.
- Keep the USIM card out of infants' reach. Failing to do so may result in the USIM card being accidentally swallowed or cause an injury.
- Before using the USIM card, read the instruction manual of the USIM card thoroughly to ensure safe and proper operation.

■ Mobile Camera

- Do not expose the camera lens to direct sunlight. Concentrated sunlight through the lens may cause the phone to malfunction.
- Be sure to try taking and previewing pictures before using the camera on important occasions like wedding ceremonies.
- Do not commercially use or transfer pictures taken with the camera without the permission of the copyright holder (photographer), except for personal use.
- Do not use the camera to record information in places like bookstores where taking pictures is prohibited.

■ Mobile Light & External Light

- Do not use the mobile light in hot, cold or humid places. Doing so may shorten its life.
- The mobile light and external light have a limited life. Repeated use will decrease the light intensity.

■ Remote Controller

- A clear line of sight is required between the phone and the receiving device. Make sure curtains, sliding doors or other objects do not block the signal.
- The signal transmitted from the phone may be blocked if the receiving port is exposed to sunlight or fluorescent light.
- Not all infrared compatible devices may work with the remote control function.

Copyrights

- Copyrighted materials, such as music, images, computer programs and databases, and their respective holders are protected by copyright laws. Duplication of copyrighted materials is permitted only for individual or home use. Making copies (including data conversion), modifications, transfers or network distributions of copies for purposes other than stated above without proper authorization constitutes an infringement of copyrights and moral rights, potentially resulting in claims for reparations or criminal punishment. If you use the phone to make copies, observe the copyright laws. Furthermore, recording materials using the camera is also subject to the same laws.

Right of Portrait

- Portrait right is the right of an individual to refuse to be photographed by others and protects from the unauthorized publication or use of an individual's photograph by others. Right of personality is a portrait right applicable to all citizens and right of publicity is a portrait right (property right) designed to protect celebrities' interests. Be careful when taking pictures with the phone camera. Photographing, publicizing and distributing photographs of citizens and celebrities without permission are illegal.

FCC Notice

The handset may cause TV or radio interference if used in close proximity to receiving equipment. The FCC can require you to stop using the handset if such interference cannot be eliminated.

Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving aerial.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

Caution: Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.197W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.652W/kg. Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorisation for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/fccid after searching on FCC ID SP2-CC4-E01.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) website at http://www.phonefacts.net.

■ European RF Exposure Information

Your handset has been designed, manufactured and tested so as not to exceed the limits for exposure to electromagnetic fields recommended by the Council of the European Union. These limits are part of comprehensive guidelines developed by independent scientific organisations. The guidelines include a substantial safety margin designed to assure the safety of the handset user and others and to take into account variations in age and health, individual sensitivities and environmental conditions. European standards provide for the amount of radio frequency electromagnetic energy absorbed by the body when using a handset to be measured by reference to the Specific Absorption Rate (SAR). The SAR limit for the general public is currently 2W/kg averaged over 10g of body tissue. Your handset SAR value is 0.419W/kg.
This has been tested to ensure that this limit is not exceeded even when the handset is operating at its highest certified power. In use however your handset may operate at less than full power because it is designed to use only sufficient power to communicate with the network.

TOSHIBA

TOSHIBA INFORMATION SYSTEMS (U.K.) LTD
MOBILE COMMUNICATIONS DIVISION
Watchmoor Park, Riverside Way, Camberley, Surrey GU15 3YA
Tel: +44 (0)1276 405100 Fax: +44 (0)1276 405111

DECLARATION OF CONFORMITY

We, **Toshiba Information Systems UK (Ltd), Mobile Communications Division**

of **Toshiba Court**
Weybridge Business Park
Addlestone Road
Weybridge
KT15 2UL

declare under our sole responsibility that the product

TS921
Type (Model) Name is CC4 - E01
UMTS & GSM/DCS/PCS Terminal (Tri band 900, 1800 & 1900)

to which this declaration relates, is in conformity with the following standards and/or other normative documents.

3GPP TS 51.010-1, 3GPP TS 34.121, EN 301 489-1, EN 301 489-7, EN 301-489-24, EN 300 328, EN 301 489-17, EN 60950, EN 50360, EN 50361, EN 301 511, EN 301 908-1 and EN 301 908-2

We hereby declare that all essential radio test suites, EMC & safety requirements have been carried out and that the above named product is in conformity to all the essential requirements of Directive 1999/5/EC.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10(5) and detailed in Annex IV of Directive 199/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

BABT, Claremont House, 34 Molesey Road, Walton-on-Thames, KT12 4RQ

Identification mark: **0168**

The technical documentation relevant to the above equipment will be held at:

Toshiba Information Systems UK (Ltd), Mobile Communications Division
Riverside Way, Camberley, Surrey, GU15 3YA

Name:- Noritaka Tanigawa

Title:- Deputy Managing Director of TIU
General Manager Mobile Communications Division

Signature:- **Date:-** 18/01/05

INVESTOR IN PEOPLE

Registered Office: Toshiba Court, Weybridge Business Park, Addlestone Road, Weybridge, Surrey KT15 2UL
Registered Number: 918861 England. Telephone (Switchboard) 01932 841600 Facsimile 01932 852455
www.toshiba.co.uk

FS14787

USIM Card

The USIM card is an IC card that stores customer information such as your phone number. Only insert the USIM card in a USIM card compatible Vodafone mobile phone.

● If the USIM card is not inserted, the phone cannot be used.

■ PIN Codes

For security, the USIM card has two security codes, which are called PIN codes. Do not reveal them to other people or forget them.

PIN1 Code

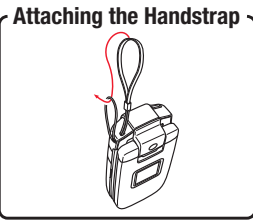
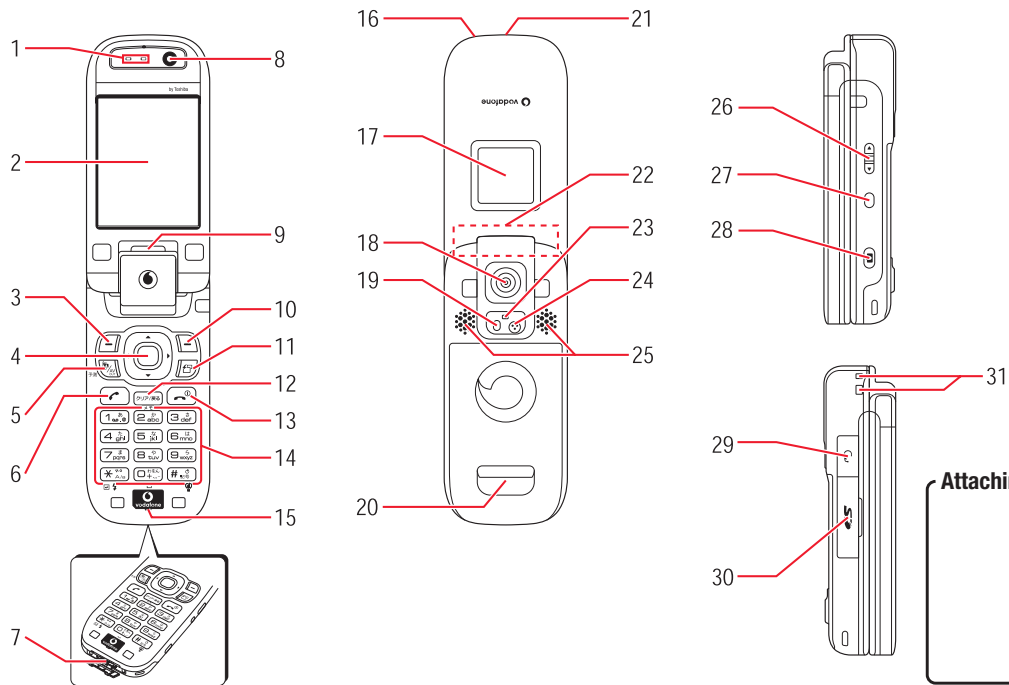
This is a four to eight digit security code to prevent another person from using your phone without permission. The default setting is 9999.

PIN2 Code

This is a four to eight digit security code that needs to be entered for operations such as modifying data saved to the USIM card. The default setting is 9999.

PUK (Personal Unblocking Key) Code

This is a security code to cancel the PIN1/PIN2 lock. If the PIN1/PIN2 code is incorrectly entered three times in a row, the PIN1/PIN2 lock is set. To obtain the PUK1/PUK2 code, contact Vodafone General Information (page 29-56). If the PUK1/PUK2 code is incorrectly entered ten times in a row, the USIM card lock is set. There is no way to cancel the USIM card lock. Contact Vodafone General Information (page 29-56).

Name & Function of Each Part

1. **Earpiece**
2. **Main Display**
3. **Left Soft Key:** Allows you to select items and use the Options menu. You can also use this key to access the Messaging menu from standby mode.
4. **Navigation Key:** Moves the cursor up, down, left or right, accesses functions assigned to the navigation key, etc.
   Centre Key: Displays the Main menu from standby mode. You can use this key to confirm selected items and perform selected operations.
5. **Video Call Key:** Makes and answers video calls.
6. **Send Key:** Makes and answers calls.
7. **Cable and Phone Charging Connections:** Connect Rapid Charger and other devices.
8. **Internal Camera Lens:** Used for video calls, etc.
9. **External Light:** Flashes for incoming calls, messages, etc.
10. **Right Soft Key:** Takes you back to the last operation, cancels operations, etc. You can also use this key to access Vodafone live! from standby mode.
11. **Multi Task Key:** Allows you to switch to another function without ending the function currently in use.
12. **Clear/Back Key:** Deletes input characters and takes you back to the last operation. You can also use this key to access Answerphone from standby mode.
13. **End/Power Key:** Turns on/off the power, ends calls/operations and takes you back to standby mode.
14. **Keypad:** Allows you to enter phone numbers, characters, etc.
    To listen to the Voicemail service, press and hold [1] from standby mode.
    To enter "+" for making an international call, press and hold [0] from standby mode.
    ***, ↵, ϟ Key:** Allows you to change the input mode, etc. You can also use this key to scroll to the previous page in a screen displaying a list or turn the mobile light on or off during camera use.
    To set/cancel the key guard, press and hold [*] from standby mode.
    #, ↻, 記号, Key: Allows you to enter symbols, etc. You can also use this key to scroll to the next page in a screen displaying a list.
    To switch between Normal and Silent, press and hold [#] from standby mode.
15. **Microphone**
16. **Charging Indicator:** Lights during charging and goes out when charging is complete.
17. **External Display:** Notifies of incoming calls, received messages and other information while your phone is closed.
18. **External Camera Lens:** Used for taking pictures and recording videos.
19. **Mobile Light:** Used as a light when taking pictures or recording videos at night time or while indoors.
20. **Camera Grip**
21. **Infrared Port:** Used for exchanging data by infrared.
22. **Internal Antenna:** The antenna is built into your phone.
23. **Camera/Video Indicator:** Flashes when the camera or video is activated.
24. **Second Microphone:** Sound is recorded via this microphone when you record videos.

25. **Stereo Speakers**
26. **Side Key ▲/Side Key ▼:** Used for moving cursor up and down and adjusting the volume.
27. **Side Key :** Used as a shortcut key.
28. **Side Key :** Activates the camera, etc. This key also acts as the shutter button during camera use.
29. **AV OUT/Earphone Microphone Jack:** Connect a video output cable or stereo handsfree headset.
30. **Memory Card Slot:** Allows you to insert a memory card.
31. **Handstrap Hole**

■ Main Display

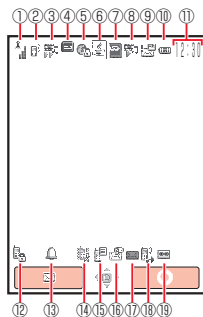
The following indicators appear on the main display.

① **Signal Strength**

Strong　　Weak

Moderate　　Faint

Out of Range

Offline Mode On

② / **Voice/Video Call**

Dial-up Connection

Secret Mode On

③ **Streaming Playback**

Exchanging Data

GPRS Network Data Communication Connection Established

GPRS Network Location Information Confirmation

④ / **3G [UMTS] Network Connection/Roaming**

/ **GSM Network Connection/Roaming**

/ **GPRS Network Connection/Roaming**

Service Area of Operator Other than Vodafone

⑤ **Web SSL**

Indicates a connection to an information page with security protection.

External Connection for Data Synchronisation

/ **Bluetooth™ Connection Established/Connection Standby**

Infrared Communication

⑥ / **V-appli Activated/Paused**

⑦ / **Memory Card Inserted/Write Protected**

⑧ **Media File Playing**

Silent

Car

Meeting

⑨ **Reception of High Priority MMS**

Reception of Rights Object

Indicates the reception of a content key during operation.

/ **New MMS/SMS**

Wap Push Message

⑩ **Battery Level**

Sufficiently charged　　Very Low

Moderate　　Charge Immediately

Low

Charging

⑪ **Clock Display Indicator**

⑫ **Phone Lock Set**

Key Guard Set

⑬ **Alarm Set**

⑭ **Silent and Vibration Set**

Silent Set

Vibration Set

⑮ **Information Prompt**

⑯ **New Voicemail Message**

Missed Call

⑰ **SMS maximum for Received Msgs.**

Indicates Received Msgs. contains the maximum number of SMS messages.

⑱ **Call Diverting without Ringer Set for Voice Call**

Call Diverting without Ringer Set for Video Call

Call Diverting without Ringer Set for Voice and Video Calls

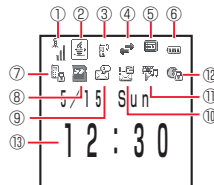
⑲ **/ / / Answerphone On and You Have a Message**

/ / Answerphone Off and You Have a Message

■ External Display

The external display allows you to confirm information when your phone is closed.

① **Signal Strength**

Strong	Weak
Moderate	Faint

Out of Range

Offline Mode On

② **/ V-appli Activated/Paused**

③ **Voice Call**

Dial-up Connection

Secret Mode On

④ **Exchanging Data**

GPRS Network Data Communication Connection Established

GPRS Network Location Information Confirmation

⑤ / 3G [UMTS] Network Connection/Roaming
/ GSM Network Connection/Roaming
/ GPRS Network Connection/Roaming
Service Area of Operator Other than Vodafone

⑥ Battery Level

Sufficiently charged	Very Low
Moderate	Charge Immediately
Low	

Charging

⑦ Phone Lock Set
Key Guard Set

⑧ / Memory Card Inserted/Write Protected

⑨ New Voicemail Message
Missed Call
Silent and Vibration Set
Silent Set
Vibration Set

⑩ Reception of High Priority MMS
Reception of Rights Object
Indicates the reception of a content key during operation.
/ New MMS/SMS
Wap Push Message

⑪ Media File Playing
Silent
Car
Meeting

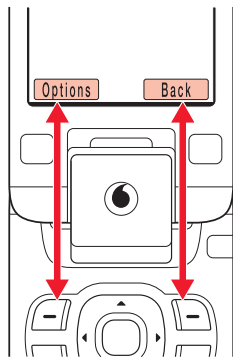
⑫ Web SSL
Indicates a connection to an information page with security protection.
External Connection for Data Synchronisation
/ Bluetooth™ Connection Established/Connection Standby
Infrared Communication
/ / / Answerphone On and You Have a Message
/ / Answerphone Off and You Have a Message

⑬ Clock Display

29
Abridged English Manual

Symbols Used in This Manual

■ Using Soft Keys

Press soft keys to perform operations indicated at the bottom of the main display.

- To perform the operation indicated by Options, press .
- To perform the operation indicated by Back, press .

■ Using the Navigation Key

Use the navigation key to move the cursor, access functions, display the Main menu, confirm selected items and perform selected operations.

Operation (Notation Used in This Manual)	Function
Press up	Accesses the Shortcut menu Moves the cursor up Increases the volume
Press down	Accesses the Contacts list Moves the cursor down Decreases the volume
Press left	Access Dialled Numbers Moves the cursor left Decreases the volume
Press right	Access Received Calls Moves the cursor right Increases the volume
Press centre	Accesses the Main menu Confirms the selected item or performs the selected operation Acts as the shutter button for the camera

Codes

Your security code, centre access code and call barring service code are required for using your phone.

■ Security Code

Your security code is "9999" or the four-digit number you selected when you concluded your contract.

■ Centre Access Code

Your centre access code is the four-digit number you wrote on your application form when you concluded your contract. It is required to perform optional service operations from a fixed-line phone.

■ Call Barring Service Code

Your call barring code is the four-digit number you selected when you concluded your contract. It is required to set call barring.

Charging the Battery Pack

1 Connect the rapid charger to your phone

Open the external connector cover of your phone. With the inscription facing upwards, insert the connector of the rapid charger into the external connector.

2 Insert the plug of the rapid charger into an AC outlet

The charging indicator lights up in red and charging begins.

3 After the charging indicator goes out, remove the plug of the rapid charger from the AC outlet

4 Disconnect the rapid charger from your phone

When you remove the connector, press the release buttons on both sides of the connector.

Note

- The rapid charger supports a power supply of 100 to 240 V AC.
- To use the rapid charger in another country, purchase and use an appropriate adapter plug for the country. Vodafone accepts no liability whatsoever for any problem resulting from charging overseas.

Basic Operations

■ Turning On the Power

1 **Press and hold** [power/end key]

The standby screen appears.

■ Turning Off the Power

1 **Press and hold** [power/end key]

■ Language Setting

1 **In standby mode, press** [center key]**, select** ***設定*** **and press** [soft key] **(選択)**

2 **Select** ***一般設定*** **and press** [soft key] **(選択)**

3 **Select** ***Language*** **and press** [soft key] **(選択)**

4 **Select language and press** [soft key] **(選択)**

自動選択: Selects the language set for the language setting in the USIM card automatically.

日本語: Sets the language to Japanese.

English: Sets the language to English.

■ Time & Date Setting

1 **In standby mode, press** [center key]**, select** ***Settings*** **and press** [soft key] **(Select)**

2 **Select** ***Phone Settings*** **and press** [soft key] **(Select)**

3 **Select** ***Date&Time*** **and press** [soft key] **(Select)**

4 **Select** ***Set Date/Time*** **and press** [soft key] **(Select)**

5 **Enter the year (two digits), month, day and time and press** [soft key] **(OK)**

■ Making a Call

1 **Make sure the power is on**

2 **In standby mode, enter a phone number and press** [call key]

3 **Press** [power/end key] **to end the call**

■ Redialing a Phone Number

1 **In standby mode, press** [left navigation key]

2 **Select a phone number and press** [key]

3 **Press** [key] **to end the call**

Answering a Call

1 **A call is received**

2 **Press** [key]

3 **Press** [key] **to end the call**

Placing a Call on Hold

1 **Press** [key] **(Hold) when a call is received**

Voice guidance in Japanese notifies the caller that you are unable to answer the call at the moment.

2 **Press** [key] **(Unhold) to answer the call**

3 **Press** [key] **to end the call**

Rejecting a Call

1 **Press** [key] **when a call is received**

Viewing Dialled Numbers

1 **In standby mode, press** [key]

Dialled Numbers appears.

- To switch from Dialled Numbers to Received Calls, press [key].
- To switch from Dialled Numbers to Missed Calls, press [key].

Viewing Received Calls & Missed Calls

1 **In standby mode, press** [key]

Received Calls appears.

2 **Press** [key]

Missed Calls appears.

- To switch from Received Calls to Dialled Numbers, press [key].
- To switch from Missed Calls to Dialled Numbers, press [key].
- To switch from Missed Calls to Received Calls, press [key].

Viewing the Call Time

1 **In standby mode, press ●, use ◎ to select *Phonebook* and press ⌐ (Select)**

2 **Select *Call Log* and press ⌐ (Select)**

3 **Select *Call Timers* and press ⌐ (Select)**

4 **Select *Last Call* or *All Calls* and press ⌐ (Select)**

Note

- The displayed call time serves as a guide only and may differ from the actual call time.

Viewing the Call Cost

1 **In standby mode, press ●, use ◎ to select *Phonebook* and press ⌐ (Select)**

2 **Select *Call Log* and press ⌐ (Select)**

3 **Select *Call Costs* and press ⌐ (Select)**

4 **Select *Last Call* or *All Calls* and press ⌐ (Select)**

Note

- The displayed call cost serves as a guide only and may differ from the actual call cost.

Viewing the Data Transfer Volume

1 **In standby mode, press ●, use ◎ to select *Phonebook* and press ⌐ (Select)**

2 **Select *Call Log* and press ⌐ (Select)**

3 **Select *Data Counter* and press ⌐ (Select)**

4 **Select *Last Data* or *All Data* and press ⌐ (Select)**

Note

- The displayed data transfer volume serves as a guide only and may differ from the actual data transfer volume.

Viewing Your Phone Number

1 **In standby mode, press ● and press 0**

Tip

- To view your phone number during a call, press [key] (Options), select *My Details* and press [key] (Select).

Setting the Network

You can use your phone not only in Japan but also when you go to other countries and areas. You can switch the network depending on the country or area in which you are located.

1 In standby mode, press [●], select *Settings* and press [key] (Select)

2 Select *Network Settings* and press [key] (Select)

3 Select *Select Network* and press [key] (Select)

4 Select *Select Network* and press [key] (Select)

5 Select *Automatic* or *Manual* and press [key] (OK)

Automatic: Selects an available network automatically.
Manual: Allows you to select the network you want to use from the Network list.

Setting the System Mode

You can switch the system mode depending on the country or area in which you are located.

1 In standby mode, press [●], select *Settings* and press [key] (Select)

2 Select *Network Settings* and press [key] (Select)

3 Select *System Mode* and press [key] (Select)

4 Select *Dual*, *UMTS Only* or *GSM Only* and press [key] (Select)

Dual: Selects the available system mode automatically. If both system modes are available, the phone selects your preferred mode.
UMTS Only: Sets the system mode to UMTS only.
GSM Only: Sets the system mode to GSM only.

Setting/Cancelling Manner Mode

1 In standby mode, press and hold [# 記号]

Answerphone

This feature can record a caller's message when you are unable to answer a voice call.

Setting Answerphone

1 In standby mode, press and hold クリア/戻る

To cancel Answerphone, press and hold クリア/戻る again.

Playing a Message

1 In standby mode, press クリア/戻る

2 Select the message you want to play and press ●

Text Entry

Your phone has four text entry modes.

Switching Text Entry Modes

1 From a text entry window, press (Options)

2 Select *Input Method* and press (Select)

3 Select a text entry mode and press (Select)

T9 abc/T9 Abc/T9 ABC: Allows you to enter characters in T9 mode.
abc/Abc/ABC (Multi Tap mode): Enter roman letters using the keypad.
Symbols: Symbol input mode.
Numeric: Numeric input mode.

Tip

- You can perform the following operations from an input screen in T9 mode or Multi Tap mode.
  - To switch between T9 mode and Multi Tap mode, press and hold *.
  - To switch between initial caps, uppercase, lowercase and numeric input mode, press *.
  - To enter a space, press 0.
  - To enter a number, press and hold a digit key.

Tip

- To display the list of symbols to enter a symbol, press [#].
- To delete a character, press [–] (Clear) or [クリア/戻る].

Tip

- To enter a symbol, press [1].

Entering Characters in T9 Mode

In T9 mode, press a key once for each letter you want to enter. This feature displays word predictions while you enter characters.
Example: Entering "dog"

1 **Press [3 def] [6 mno] [4 ghi]**

2 **Press [▼] to display the next prediction**

3 **Press [●] to confirm your selection**

Entering Characters in Multi Tap Mode

In Multi Tap mode, each press of a key cycles through the letters and symbols assigned to the key.
Example: Entering "dog"

1 **Press [3 def] once, [6 mno] three times and [4 ghi] once**

Contacts List

Saving phone numbers, email addresses and other information to the Contacts list makes it easier to make calls and send messages. You can save up to 500 Contacts list entries to the phone. You can also save Contacts list entries to the USIM card and a memory card. The maximum number of entries you can save differs depending on the capacity of the USIM card and the memory card.

■ Adding an Entry to the Contacts List

You can also add and modify information later.

1. **In standby mode, press ●, select *Phonebook* and press (Select)**
2. **Select *Create Contact* and press (Select)**
3. **Select an entry field and press ●**
   The input screen for the selected item appears.
4. **Enter information and press ●**
5. **Press (Options)**
6. **Select *Save* and press (Select)**

■ Making a Call from the Contacts List

1. **In standby mode, press ●, select *Phonebook* and press (Select)**
2. **Select *Contacts List* and press (Select)**
3. **Select an entry and press ●**
4. **Select phone number and press**
   To make a video call, press .

Video Call

A video call allows two parties with video call compatible phones to see each other's image during the call.

- Your phone complies with the 3G-324M standard that was standardised by the 3GPP.
- A video call is only possible in areas with 3G-network coverage (UMTS areas). When you are in an area with 3G-network coverage, 3G appears on the display.

Making a Video Call

1 Make sure you are in an area with 3G-network coverage (UMTS area)

2 Enter a phone number and press AV/OUT

3 Press (OK)

4 Press to end the call

Answering a Video Call

1 A video call is received

2 Press AV/OUT

To answer the call as a voice call, press .

3 Press to end the call

Placing a Call on Hold

1 Press when a call is received

Voice guidance in Japanese notifies the caller that you are unable to answer the call at the moment.

2 Press (Unhold) to answer the call

3 Press to end the call

Rejecting a Call

1 Press when a video call is received

Camera

Before Using the Camera

- Try to avoid camera shake, as it will result in blurred pictures or videos. Hold your phone steady or use the timer.
- Fingerprints, smudges, etc. on the lens cover will affect focusing. Wipe the lens cover with a soft cloth before use.
- When you take pictures or record videos, make sure your fingers, the strap or another object is not blocking the lens.

Taking a Picture

Digital Camera: Allows you to take high-quality pictures at VGA or higher resolution.
Mobile Camera: Allows you to take pictures up to QVGA size for use as wallpaper, etc.
Scanner: Allows you to scan QR Codes.

1 In standby mode, press

2 Frame the subject in the main display and press or

The shutter sound is heard and the picture is saved automatically to the preset storage place.

Recording a Video

Camcorder: Allows you to record videos up to approximately 20 minutes long and save them to your phone or a memory card.
For MMS: Allows you to record videos for sending as MMS attachments.
Short Video: Allows you to record videos for sending as MMS attachments to MPEG-4 compatible Vodafone mobile phones (PDC).

1 In standby mode, press and hold

2 Frame the subject in the main display and press or

The start sound is heard and recording begins.

3 Press or

The end sound is heard and the video is saved automatically to the preset storage place.

Tip

- In Camcorder mode, press to pause recording and press to resume recording.

Media Player

Media Player allows you to play video/melody files, stream files and save files to Favourites.

■ Creating a Playlist

A playlist allows you to group files together so that you can play them as a set.

1. **In standby mode, press , select *Media Player* and press (Select)**
2. **Select *Playlist* and press (Select)**
3. **Select *Create Playlist* and press (Select)**
4. **Enter the name of the playlist and press**
5. **Select *My Sounds* or *My Videos* and press (Select)**
6. **Press (Options)**
7. **Select *Select Multi* and press (Select)**
8. **Select a file you want to add to the list and press**

   To add another file, repeat Step 8.
9. **Press (Options)**
10. **Select *Add Files* and press (Select)**

- A combination of audio and video files cannot be added to the same playlist.

■ Playing a Playlist

1. **In standby mode, press , select *Media Player* and press (Select)**
2. **Select *Playlist* and press (Select)**
3. **Select the playlist you want to play and press**

Memory Card

You can save the pictures you take, videos you record and various downloaded files to a memory card.

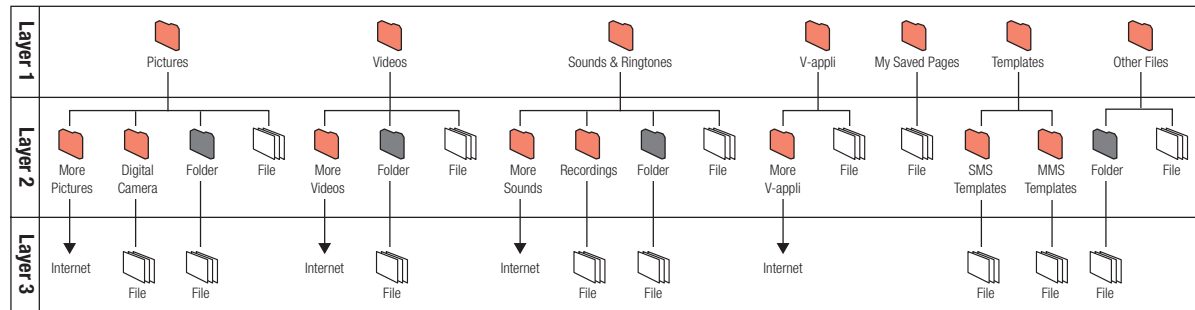
- If the battery level is low, your phone may not be able to read or write files.
- Do not remove a memory card or battery pack while your phone is reading or writing files.
- Processing may take a while for some types of files.
- Files in a memory card may be corrupted or lost because of misuse, an accident or a malfunction. Backing up important files is recommended.
- Files saved from a PC or other device to a memory card may not be able to be displayed/played on your phone.

■ Memory Card Configuration

Folder Name	Description
DCIM	Stores pictures taken in Digital Camera mode.
PRIVATE	—
VODAFONE	—
My Items	The folder configuration (Pictures, Videos, Sounds&Ringtones, V-appli, Other Files) is identical to that of Data Folder in your phone.
TS_Folder	—
Utility	Stores Contacts list and schedule backup files.

Data Folder

You can save the pictures you take, videos you record and various downloaded files to Data Folder. You can save up to 500 files to Data Folder.

■ Data Folder Configuration

- Folders are for organising files by type and purpose.
- are default folders.
- are folders that you can create.
- Folders are stored in layers 1 and 2 and files are stored in layers 2 and 3.
- You can move files from one folder to another.

Files Storable in Data Folder

Folder	File Format (Extension)
Pictures[1] Digital Camera[3]	JPEG (.jpeg, .jpg, .jpe) GIF (.gif) WBMP (.wbmp) PNG (.png)[5]
Videos[1]	MPEG4[6] (.3gp, .3g2, .mp4)
Sounds & Ringtones[1] Recordings[4]	AMR (.amr) SMF, SP-MIDI (.mid, .midi) SMAF (.mmf) XMF (.xmf0, .xmf1) MPEG4[6] (.3gp)
V-appli	Java (.jad, .jar)
My Saved Pages	HTML, XHTML (.htm, .html, .xml, .xhtml)
Templates	, Template
Other Files[1]	vCard (.vcf) vCalendar (.vcs) SVG (.svg) Text (.txt) Files other than the above[2] (extensions other than the above)

1: You can create new folders within each of these folders.

2: These files cannot be displayed/played on your phone.

3: Files that do not comply with the DCF standard cannot be displayed.

4: Only files of AMR (.amr) format can be saved to the Recordings folder.

5: Downloaded frames and stamps are saved as PNG (.png) files.

6: Some files may not be able to be played.

Tip

- DCF is an abbreviation for "Design rule for Camera File system," a standard developed by the Japan Electronic Industry Development Association (JEIDA) for the purpose of facilitating the transfer of digital camera images between various devices.
- Whether a file can be sent by infrared or moved to a memory card depends on the forwarding and external device forwarding permission properties.

Data Communication

■ Using Infrared

Use the Infrared feature to transfer files between your phone and other infrared compatible devices.

- Bring the infrared port of your phone to within 30 cm of the infrared port of the other infrared compatible device and align both ports. Make sure no objects are placed between them.
- Do not move the devices until the file transfer is complete.
- Direct sunlight or fluorescent light may interfere with infrared communication.
- A dirty infrared port may cause an infrared communication failure. If the infrared port is dirty, gently wipe it with a soft cloth while making sure not to scratch the port.

Sending Data

1 Select *Via Infrared* from the Options menu of a function and press [–] (Select)

2 Press [–] (OK) to switch to offline mode

3 Ensure the other device is ready to receive data

Receiving Data

1 In standby mode, press [●], select *Settings* and press [–] (Select)

2 Select *Connectivity* and press [–] (Select)

3 Select *Infrared* and press [–] (Select)

4 Select *Incoming Data* and press [–] (Select)

5 Enter your security code (page 29-31)

6 Press [–] (OK) to switch to offline mode

7 Select *Save* and press [–] (Select)

If you select *Reject*, the connection ends if there is only one data item to receive. However, if there are multiple data items to receive, the confirmation screen for the next data item appears.

■ Using Bluetooth™

You can transfer Contacts list, picture and other files between your phone and another Bluetooth™ compatible device. You can also use a handsfree compatible device to make a handsfree call.

- Communication tests have not been performed for all Bluetooth™ compatible devices. There is no gurantee of connection with all Bluetooth™ devices.
- The security function used for wireless communication complies with the standard specifications of Bluetooth™. However, take care when using Bluetooth™ for data communication because, in some cases, security may be inadequate depending on the operating environment and configuration.
- Vodafone accepts no liability whatsoever for any data generated or information leaked during Bluetooth™ communication.

Sending Data

1 Select *Via Bluetooth* from the Options menu of a function and press [key] (Select)

2 Press [key] (OK) to switch to offline mode

3 Select the destination device and press [key] (Select)

Receiving Data

1 Press [key] (Yes) when a confirmation screen appears after a connection request is received from a Bluetooth™ compatible device in the vicinity

2 Press [key] (OK) to switch to offline mode

3 Select *Save* and press [key] (Select)

If you select *Reject*, the connection ends if there is only one data item to receive. However, if there are multiple data items to receive, the confirmation screen for the next data item appears.

■ Using USB

You can use a USB cable to connect your phone to a PC and then transfer Data Folder files.

- The supplied USB driver and My Mobile software need to be installed before you connect your phone and PC by USB cable. For details on the installation procedure, refer to the Installation Guide supplied with the USB cable.
- For details on the PC operating environments supported, refer to the Installation Guide supplied with the USB cable.
- For details on connecting the USB cable to a PC, refer to the Installation Guide supplied with the USB cable.

Sending Data

1. In standby mode, press [●], select *Settings* and press [–] (Select)
2. Select *Connectivity* and press [–] (Select)
3. Select *USB* and press [–] (Select)
4. Select *Data Transfer* and press [–] (Select)
5. Press [–] (OK) to switch to offline mode
6. Follow the instructions on the PC to receive data from your phone to the PC

Receiving Data

1. In standby mode, press [●], select *Settings* and press [–] (Select)
2. Select *Connectivity* and press [–] (Select)
3. Select *USB* and press [–] (Select)
4. Select *Data Transfer* and press [–] (Select)
5. Press [–] (OK) to switch to offline mode
6. Follow the instructions on the PC to receive data from the PC to your phone

Optional Services

Call Divert

This service allows you to divert calls to a preset phone number.

Voicemail

This service allows a caller to leave a message at the Voicemail Centre when, your phone is out of range or a call is in progress. This service is unavailable when Call Waiting is set.

Call Waiting

This service allows you to place a call on hold to receive another incoming call.

Multiparty Call

This service allows you to call another party during a call and talk to multiple parties simultaneously.

Call Barring

This service allows you to stop all outgoing and incoming calls including international calls.

Caller ID

This service allows you to notify the other party of your phone number when you make a call and allows you to confirm the phone number of a caller.

Vodafone live!

Vodafone live! is a communication service that allows Vodafone compatible mobile phones to use Messaging, Web and V-appli.

■ Retrieving Network Information

Before you can use Vodafone live!, you need to retrieve the network connection information. The first time you press ●, ⁄–⁄, ⁄–⁄ or ⌂ after purchasing your phone, a prompt appears.

1 In standby mode, press ●

2 Press ⁄–⁄ (Yes)

A network connection is established and the network information is retrieved.

Messaging

Messaging services are mail services provided by Vodafone that allow you to exchange messages with Vodafone mobile phones and email compatible devices connected to the Internet.

MMS
This service allows you to exchange long text messages and picture, melody and other attachments with MMS compatible Vodafone mobile phones and email compatible devices connected to the Internet.
SMS
This service allows you to exchange short text messages with SMS compatible Vodafone mobile phones.

■ Changing Your Mail Address

You can change the account name (part before @) of your email address.

1 **In standby mode, press (◎)**

2 **Select *My Vodafone* and press ●**

3 **Select *各種変更手続き* and press ●**

4 **Select *オリジナルメール設定* and press ●**

5 **Select the centre access code input field and press ●**

6 **Enter your centre access code and press ●**

7 **Select *OK* and press ●**

8 **Select *1.メールアドレス編集* and press ●**

9 **Select the character input field and press ●**

10 **Enter an account name and press ●**

11 **Select *OK* and press ●**

Note

- If *ご希望のEメールアドレスは既に登録されています。他のアドレスを入力してください。* (The address has already been registered. Enter another address.) appears, repeat from Step 9.

■ Receiving Messages

Checking the Contents of a Message

1 **In standby mode, press (✉)**

2 **Select *Received Msgs.* and press (Select)**

29

Abridged English Manual

3 Select the message you want to check and press ●

MMS   MMS Notification   SMS
Push   Report

Note

You can perform the following operations if you press (Options) after Step 3. (The items that are available depend on the screen.)

Menu Item	Description
Play[1]	Plays the MMS message.
Delete	Deletes the message.
Extract	Allows you to use a phone number, email address, URL or file in the message.
View Item[1]	Allows you to play or save a file attached to an MMS message.
Save as Template	Allows you to save the message as a template.
Copy Text	Allows you to copy text to the clipboard.
Move to Phone/USIM[2]	Allows you to move the SMS message to your USIM card or phone.
Details	Displays the message properties.

1: Only available for MMS.
2: Only available for SMS.

Retrieving MMS Message

When an MMS exceeds 285 characters (285 bytes) the initial portion of the message is delivered as a notification. To retrieve the complete message, perform the following steps:

1 Display the MMS notification

For details on displaying messages, see page 29-49.

2 Select *Retrieve MMS* and press ●

The complete message is downloaded.

Tip

- To delete the message from the server, press (Options) after Step 1 and select *Delete*.

Replying to a Message

1 Display the message

For details on displaying messages, see page 29-49.

2 Press (Options)

3 Select *Reply* and press (Select)

4 **Select *Reply as MMS*, *Reply All* or *Reply as SMS* and press (Select)**

For details on creating messages, see below.

Forwarding a Message

1 **Display the message**

For details on displaying messages, see page 29-49.

2 **Press (Options)**

3 **Select *Forward* and press (Select)**

For details on creating messages, see below.

Sending Messages

Sending an MMS Message

1 **In standby mode, press ()**

2 **Select *Create Message* and press (Select)**

3 **Select *MMS* and press (Select)**

4 **Select *Add Recipients* and press**

5 **Select *Enter Recipient* and press (Select)**

Alternatively, you can specify an address from the Contacts list or specify a group as an address.

6 **Enter an address and press**

7 **Select *Add Subject* and press**

8 **Enter the subject and press**

9 **Select *Add Text* and press**

10 **Enter the body text and press**

11 **Select *Add Picture*, *Add Sound*, *Add Video* or *Add Other Files* and press**

12 **Specify an attachment file and press**

13 **Select *Send MMS* and press**

Sending an SMS Message

1 **In standby mode, press ( ) ( )**

2 **Select *Create Message* and press ( ) (Select)**

3 **Select *SMS* and press ( ) (Select)**

4 **Enter the body text and press ( )**

5 **Select *Enter Recipient* and press ( ) (Select)**

Alternatively, you can specify a phone number from the Contacts list.

6 **Enter a phone number and press ( )**

7 **Select *Send SMS* and press ( )**

■ Messaging Settings

1 **In standby mode, press ( ) ( )**

2 **Select *Settings* and press ( ) (Select)**

3 **Select an item and press ( ) (Select)**

You can configure the following settings.

MMS Settings	Receiving Settings	● Retrieve Mode ● Auto-extract File ● Reply for Delivery ● Anonymous Msg.
	Sending Settings	● Delivery Report ● Delivery Time ● Expiry Time ● MMS Signature ● MMS Priority
	Default Recipient	
SMS Settings	● Delivery Report ● Expiry Time ● SMS Signature ● Message Centre ● SMS Type	
Common Settings	● Reply Settings ● Display Font Size ● Page Scroll	

Web

■ Vodafone live!

Vodafone live! is an information service provided by Vodafone. The server searches for the information you request and allows you to download text information, images and sounds to your phone.

Searching the Internet

You can search for information from the Vodafone live! menu.

1 In standby mode, press [key] ([icon])

2 Select *English* and press [key]

The English version of the top page of Vodafone live! appears.

3 Select the item you want to check and press [key]

The information appears.
To display more information, repeat Step 3.

Auto Delivery Service

You can register for the auto delivery service to automatically receive messages containing the latest information. From the messages, you can connect to information providers and the Internet to obtain more information.

V-appli

V-appli are Java™ compatible applications for use on Vodafone mobile phones. You can download a variety of applications (page 27-2).

V-appli

Downloading V-appli

You can download applications from the Web pages of V-appli providers.

Network V-appli

You can play network games online and download information in real time.

Standby Setting

You can set an application to run in standby mode.

Main Specifications

902T

Frequency Range : 3G (UMTS) 2100 1920-2170 MHz
: GSM 900 880-960 MHz
: DCS 1800 1710-1880 MHz
: PCS 1900 1850-1990 MHz
Continuous Talk Time : Within 3G (UMTS) area Approx. 180 min.
: Video call Approx. 100 min.
: Within GSM area Approx. 320 min.
Continuous Standby Time : Within 3G (UMTS) area Approx. 360 hrs.
: Within GSM area Approx. 270 hrs.
Charging Time : Approx. 140 min.
Dimensions (W×H×D) : Approx. 50×111×25 mm (when closed)
Maximum Output : 3G (UMTS) 2100 Class 3 0.25 W
: GSM 900 Class 4 2 W
: DCS 1800 Class 1 1 W
: PCS 1900 Class 1 1 W
Weight : Approx. 148g (when the battery pack is attached)

- The values above were calculated with the battery pack attached.
- The continuous talk time refers to the average length of time a signal can be received normally when the phone is in a stationary state and a new fully charged battery pack is attached.

- The continuous standby time refers to the average length of time a signal can be received normally when the phone is closed and the external display is viewable, the phone is in a stationary state, a new fully charged battery pack is attached and there are no calls made/received or operations performed. If the phone is in a location outside the service area or where it is difficult to receive a signal (in a building, vehicle, bag, etc.), this time may be reduced by up to half. This time may also be affected by other factors such as the operating environment (battery state, temperature, etc.). The value for continuous standby time is when the system mode was set to *3G*.
- The operating time of the battery was calculated when a stable signal was received constantly. However, this time is reduced by up to half if the phone is used in a location where the signal is weak or the phone is left in standby mode when it is outside the service area.
  Repeated charging and discharging a battery shortens the operating time. If the operating time becomes too short, purchase a new battery pack.
- If the mobile light is used frequently for taking pictures and recording videos or as a flashlight, the continuous talk time and continuous standby time become shorter.
- When a V-appli is activated, the continuous talk time and continuous standby time become significantly shorter.
- If the phone is used with the main display and external display illuminated frequently (for Vodafone live! use, etc.), the continuous talk time and continuous standby time become shorter.

Charger

Input Voltage : 100 to 240 V AC
: 50/60 Hz
Charging Temperature Range : 5 to 35°C

Customer Service

If you have any questions about a Vodafone mobile phone or service, please call General Information. For service or phone repairs, please call Customer Assistance.

Vodafone Customer Centres
From a Vodafone mobile phone, dial toll free at 157 for General Information or 113 for Customer Assistance.

Call These Numbers Toll Free from Fixed Line Phones

Subscription areas:

Area	Service	Number
Hokkaido, Aomori, Akita, Iwate, Yamagata, Miyagi, Fukushima, Niigata, Tokyo, Kanagawa, Chiba, Saitama, Ibaraki, Tochigi, Gunma, Yamanashi, Nagano, Toyama, Ishikawa, Fukui	General Information	0088-240-157
	Customer Assistance	0088-240-113
Aichi, Gifu, Mie, Shizuoka	General Information	0088-241-157
	Customer Assistance	0088-241-113
Osaka, Hyogo, Kyoto, Nara, Shiga, Wakayama	General Information	0088-242-157
	Customer Assistance	0088-242-113
Hiroshima, Okayama, Yamaguchi, Tottori, Shimane	General Information	0088-259-157
	Customer Assistance	0088-259-113
Tokushima, Kagawa, Ehime, Kochi	General Information	0088-247-157
	Customer Assistance	0088-247-113
Fukuoka, Saga, Nagasaki, Oita, Kumamoto, Miyazaki, Kagoshima, Okinawa	General Information	0088-250-157
	Customer Assistance	0088-250-113

付録

機能一覧

機能名		初期値	参照ページ
Vアプリ設定		Vアプリ待受設定：Off、時間設定（開始時間：3秒、動作時間：常時表示）、優先度（音声着信：音声着信優先、TVコール着信：TVコール着信優先、メール受信：メール受信優先、アラーム：アラーム優先）、バックライト（バックライト：通常設定連動、点滅設定：On）、音量：レベル3、バイブレーター：On	27、28章
ブラウザ設定		テキストブラウズ設定（イメージ：表示する、サウンド：再生する）、フォントサイズ：標準、Cookie設定：On、製造番号通知：Off、自動起動：Off、位置情報送信：確認画面表示、エンコード種別：自動認識	24、25、26章
メディアプレイヤー		バックライト：常時On、グラフィックス：Off	10章
メール設定	MMS受信設定	自動受信選択（ホームネットワーク：手動受信、ローミングネットワーク：手動受信）、ファイル自動展開（画像ファイル：On、音ファイル：On）、受信確認応答：On、匿名メール拒否：拒否する	23-3ページ
	MMS送信設定	配信確認：Off、配信時間指定：自動配信、有効期限：Off、MMS署名：未登録、MMS重要度：普通	23-5ページ
	お決まりアドレス	宛先なし	23-5ページ
	SMS設定	配信確認：Off、SMS署名：未登録	23-6ページ
	共通設定	返信設定：ユーザ確認、表示フォントサイズ：標準、ページスクロール：1行単位	23-2ページ
	受信メール	自動削除：Off	21-12ページ
	送信済みメール	自動削除：On	

機能名		初期値	参照ページ
カメラ	カメラ	画質：ファイン、撮影モード：モバイルカメラモード、画像サイズ（デジタルカメラモード：W1600×H1200、モバイルカメラモード：W240×H320）、画像効果：Off、プレビュー設定：On、日付スタンプ：Off、グリッド線：Off、地域設定：50Hz、ファイル名設定：日時、シャッター音：パターン1、テンキーショートカット：On、自分撮り設定：Off、フォーカスモード：オート、夜景モード：Off、連写：Off、フレーム：Off、保存先設定：本体のピクチャーフォルダ、セルフタイマー：Off、モバイルライト：Off、ホワイトバランス：オート、露出補正：±0.0EV、オートブラケット：Off	7章
	ムービー	画質：ファイン、録画モード切替：MMSメール、画像効果：Off、プレビュー設定：On、フルスクリーン表示：ノーマル、コントローラー表示：On、地域設定：50Hz、ファイル名設定：日時、開始／終了音：パターン1、テンキーショートカット：On、自分撮り設定：Off、音声録音：On、保存先設定：本体のムービーフォルダ、セルフタイマー：Off、モバイルライト：Off、ホワイトバランス：オート、露出補正：±0.0EV	
	バーコードリーダー	－	16-21ページ
データフォルダ		サムネイル表示（ピクチャー、ムービーフォルダのみ）	12章
ツール	USIMアプリ	－	15-3ページ
	スケジュール	スケジュール：未登録、アラーム（アラーム：Off、アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル3、バイブレーター：パターン1）、スケジュールロック：Off、休日設定（日曜日：赤、平日：黒、土曜日：青）	15-4ページ
	アラーム	アラーム：Off、アラーム音：パターン1、アラーム音量：レベル3、バイブレーター：パターン1、起動設定：毎日、スヌーズ：Off	15-16ページ

機能名		初期値	参照ページ
ツール	簡易電卓	税率設定：1％	15-20ページ
	通貨換算	換算レート：0	15-21ページ
	ボイスレコーダー	保存先設定：本体のメロディ＆サウンドフォルダのボイスレコーダー	15-21ページ
	カウントダウンタイマー	－	15-23ページ
	メモ帳	－	15-24ページ
	番号メモ	－	2-9ページ
	世界時計	on／off：off	15-26ページ
	バックアップ	－	11-6ページ
電話帳		ご自分の番号：自局電話番号のみ、電話帳保存先：本体、スクロール速度：速い、電話帳使用禁止：Off	5章
モード設定		通常モード	9-2ページ
音・バイブ設定	通常モード	着信音量：レベル3、着信音パターン：パターン1、鳴動時間：5秒、バイブレーター：Off、ボタン確認音量：レベル3、ボタン確認音：オリジナル1、効果音量（ウェイクアップ音：レベル2、シャットダウン音：レベル2、オープン音：サイレント、クローズ音：サイレント、エラー音：レベル2）、効果音：プリセットパターン、サウンド音量：レベル3、電池アラーム音：On	9章
	マナーモード	バイブレーター：On、アラーム：Off	

機能名		初期値	参照ページ
音・バイブ設定	運転中モード	着信音量：レベル5、着信音パターン：パターン1、鳴動時間：5秒、バイブレーター：Off、ボタン確認音量：レベル3、ボタン確認音：オリジナル1、効果音量（ウェイクアップ音：レベル3、シャットダウン音：レベル3、オープン音：サイレント、クローズ音：サイレント、エラー音：レベル3）、効果音：プリセットパターン、サウンド音量：レベル5、電池アラーム音：On	9章
	ミーティングモード	着信音量：サイレント、着信音パターン：パターン1、鳴動時間：5秒、バイブレーター：Off、ボタン確認音量：サイレント、ボタン確認音：オリジナル1、効果音量：サイレント、効果音：プリセットパターン、サウンド音量：サイレント、電池アラーム音：On、アラーム：On	
ディスプレイ設定	メインディスプレイ設定	壁紙：Live、時計表示設定：1行デジタル時計、バックライト設定（明るさ調節：明るさ2、点灯時間：15秒）、事業者名表示：On、ディスプレイ省電力：1分、GSMセル情報表示：Off	8章
	サブディスプレイ設定	壁紙：Live、時計表示設定：On、バックライト設定（明るさ調節：明るさ2、点灯時間：15秒）、ディスプレイ省電力：1分、コントラスト調節：明るさ±0	
一般設定	日時設定	12h／24h設定：24時間表示、世界時計設定（ホーム都市設定：東京、第2都市設定：未設定、サマータイム On／Off：Off）	1-21、8-7、15-25ページ
	Language	自動選択	8-10ページ
	ショートカット設定	サイドキー長押し：#長押しと同じ、マルチファンクションボタン（ ：ショートカットメニュー、 ：電話帳、 ：発信履歴、 ：着信履歴）	16-5ページ

30

付録

機能名		初期値	参照ページ
一般設定	ユーザ辞書	未登録	4-17ページ
	イルミネーション設定	お知らせ（不在着信表示：レッド、未読メール：ブルー、留守番電話通知：グリーン）、着信設定（音声着信：パープル、TVコール着信：パープル、メール受信：アクア）	16-2ページ
	オフラインモード	Off	3-3ページ
	TV出力	NTSC	15-28ページ
発着信設定	簡易留守録	簡易留守録設定：Off、応答時間：6秒	16-9ページ
	音声通話設定	着信表示設定（着信画像：プリセット画像、電話帳登録画像：On、着信表示：On）、自動応答設定：Off、音声ミュート設定：解除、イヤホン発信：Off、パケット通信時着信：許可、国際発信設定（国際コード：0046010）、発信番号通知設定（自動設定：Off、不在非通知：Off）	8-3、16-12、16-13、16-15、16-16、16-19ページ
	TVコール設定	送信画像：カメラ画像、受信画質：標準モード、着信表示設定（着信画像：プリセット画像、電話帳登録画像：On、着信表示：On）、ズーム：1x、遠隔監視モード：Off、音声ミュート設定：解除、ハンズフリー設定：On、バックライト設定：On、保留画像設定：プリセット画像、みだしなみ確認：On、	6章
	共通設定	受話音量：レベル3、スピーカー音量：レベル3、オープン通話：Off、エニーキーアンサー：Off	9-13、9-14、16-14ページ
セキュリティ設定	PIN1設定	無効	14-2ページ
	PIN1変更	–	14-3ページ
	PIN2変更	–	

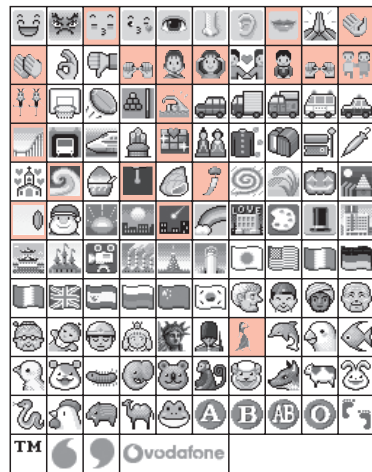
機能名		初期値	参照ページ
セキュリティ設定	暗証番号変更	－	14-2ページ
	本体操作ロック	Off	14-4ページ
	着信拒否設定	非通知番号拒否：Off、公衆電話拒否：Off、通知不可拒否：Off、電話帳以外拒否：Off、指定番号拒否：Off（未登録）	14-6ページ
	受信拒否アドレス	Off（未登録）	14-8ページ
	シークレットモード	Off	14-9ページ
	固定電話番号設定	Off（未登録）	14-10ページ
メモリ設定	本体	－	14-12、18-6ページ
	メモリカード	－	11-4、11-6ページ
ネットワーク設定		事業者選択：自動、海外設定（3G／GSM）：3G（日本／海外）	2-17ページ
外部接続	赤外線通信	ダイヤルアップ接続：Off	13-2ページ
	Bluetooth™	On／Off設定：Off、周辺デバイス情報（信頼デバイス設定：Off）、マイデバイス設定（公開設定：公開、ハンズフリー設定：ハンズフリーモード）	13-6ページ
	USB	電池充電：On	13-17ページ
位置情報設定		位置情報URL設定：http://mobile.its-mo.com/MapToLink/p2、測位On／Off設定：On	26-5ページ

機能名		初期値	参照ページ
オプションサービス	転送電話サービス	－	17-3ページ
	留守番電話サービス	－	17-5ページ
	割込通話サービス	－	17-8ページ
	多者通話サービス	－	17-9ページ
	発着信規制サービス	－	17-10ページ
通話履歴	発信履歴	－	2-11ページ
	不在着信履歴	－	2-12ページ
	着信履歴	－	2-12ページ
	通話時間	通話時間：000:00:00、累積通話時間：000:00:00	2-13ページ
	通話料金	通話料金：0円、累積通話料金：0円、通貨設定：円、通話料金表示設定：Off	2-14ページ
	データ通信量	データ通信量：0Kbyte、累積通信量：0Kbyte	2-15ページ
文字入力		入力予測：On、かな入力方式：標準方式、文字サイズ：大、改行制御：On、クリップボード：未登録	4章
マルチアプリ		－	15-2ページ
ショートカットメニュー		未登録	16-3ページ
* 長押し	誤動作防止	解除	14-11ページ
# 長押し	マナーモード	解除	3-2ページ

故障かな？と思ったら

現象	確認すること／対処方法
電源が入らない	・電池パックは正しく取り付けられていますか？（1-15ページ） ・電池切れになっていませんか？（1-14ページ）
「充電器との接続を確認してください」と表示され、充電できない	・充電端子や外部接続端子、電池パックのコネクターなどが汚れていませんか？ 乾いた綿棒などで清掃してください。
電源を入れたあと、通常の操作ができない	・PIN1認証画面が表示されていませんか？ 「**PIN1設定**」（14-2ページ）を「**有効**」にしています。PIN1コードを入力してください。 ・「」、「**本体操作ロック**」と表示されていませんか？ 本体操作ロックが設定されています（14-4ページ）。操作用暗証番号を入力してください。 ・「**有効なUSIMカードを挿入してください**」と表示されていませんか？ 電源をオフにし、USIMカードが正しく取り付けられていることを確認してください（1-4ページ）。
電話やTVコールがつながらない、またはメールやウェブが利用できない	・「」が表示されていませんか？サービスエリア外か電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してかけ直してください。 ・「」が表示されていませんか？海外でご利用ではありませんか？ 海外でご利用になる場合は、事業者や海外設定（3G／GSM）の変更が必要です（2-17ページ）。 ・内蔵アンテナ部分（1-8ページ）を手などで覆っていませんか? 内蔵アンテナ部分に触れたり手で覆ったりしないようにしてください。 ・「」、「**オフラインモード**」と表示されていませんか？ オフラインモードを解除してください（3-3ページ）。

現象	確認すること／対処方法
電話やTVコールがかけられない	• 市外局番からかけていますか？ •「**現在電話がかかりにくくなっております**」と表示されていませんか? 回線が混み合っています。しばらくたってからもう一度かけ直してください。 • 固定電話番号を設定していませんか？（14-10ページ） • 発信規制を設定していませんか?（17-10ページ）
電話やTVコールが着信しない	• 着信拒否を設定していませんか？（14-6 ページ） • 転送電話サービス（17-3 ページ）や留守番電話サービス（17-5 ページ）で、「**呼出なし**」の設定をしていませんか？ • 着信規制を設定していませんか？（17-10 ページ）
メールが送信できない	• 発信規制を設定していませんか？（17-10ページ） • 固定電話番号を設定していませんか？（14-10ページ）
メールが受信できない	• 着信規制を設定していませんか？（17-10ページ） • 受信拒否アドレスに登録していませんか？（14-8ページ）
通話の途中に途切れたり、切れたりする	•「圏外アイコン」が表示されていませんか？電波の届きにくい場所にいませんか？ 電波の届く場所に移動してください。 • 内蔵アンテナ部分（1-8ページ）を手などで覆っていませんか？ 内蔵アンテナ部分に触れたり手で覆ったりしないようにしてください。
ボタンを押しても、何も反応しない	•「誤動作防止アイコン」が表示されていませんか？ 誤動作防止が設定されています（14-11ページ）。＊キーを長く（約1秒以上）押して、誤動作防止を解除してください。 •「本体操作ロックアイコン」、「**本体操作ロック**」と表示されていませんか？ 本体操作ロックが設定されています（14-4ページ）。操作用暗証番号を入力してください。

絵文字一覧

- □部分の絵文字は、動く絵文字となります。
- 一部の絵文字は、受信したボーダフォン携帯電話の機種により正しく表示されない場合があります。

メモリ容量一覧

メール

メールボックス※		最大約3.6Mバイト
	受信メール	SMS最大1,000件 MMS最大200件
	送信済みメール	SMS最大500件 MMS最大60件
	下書き、未送信メール、定型文合わせて	SMS最大100件 MMS最大40件

※メールボックス内の受信メール、送信済みメール、下書き、未送信メール、定型文はメモリを共有しています。

ウェブ

キャッシュ	最大約600 Kバイト
ブックマーク	最大200件
履歴（URL）	最大300件

Vアプリ

Vアプリライブラリ	最大約10Mバイト※

※Vアプリライブラリはデータフォルダとメモリを共有しています。

主な仕様

902T

周波数範囲：3G（UMTS）2100　1920～2170MHz
：GSM 900　880～960MHz
：DCS 1800　1710～1880MHz
：PCS 1900　1850～1990MHz
連続通話時間：3G（UMTS）圏内　約180分
：TVコール　約100分
：GSM圏内　約320分
連続待受時間：3G（UMTS）圏内　約360時間
：GSM圏内　約270時間
充電時間：約140分
サイズ（W×H×D）：約50×約111×約25mm（折りたたみ時）
最大出力：3G（UMTS）2100　Class3　0.25W
：GSM 900　Class4　2W
：DCS 1800　Class1　1W
：PCS 1900　Class1　1W
質量：約148g（電池パック装着時）

- 上記は、電池パック装着時の数値です。
- 連続通話時間とは、充電を満たした新品の電池パックを装着し、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。

●連続待受時間とは、902Tをサブディスプレイが見えるように閉じた状態で充電を満たした新品の電池パックを装着し、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。電波の届きにくい場所（ビル内、車内、カバンの中など）や、圏外表示の状態での待受では、ご利用時間が約半分以下になることがあります。また、使用環境（充電状態、気温など）によってはご利用時間が変動することがあります。連続待受時間は海外設定（3G／GSM）を「**3G（日本／海外）**」に設定した場合の値です。
●電池の利用可能時間は、電波が安定した状態で算出した当社計算値です。電波の弱い場所での通話や、圏外表示での待受は電池の消耗が多いため、ご利用時間が半分以下になることがあります。
なお、使用可能時間は充電・放電の繰り返しにより徐々に短くなります。使用可能時間が短くなったら新しい電池パックをお買い求めください。
●モバイルライトを使用した撮影やスポットライト機能のご利用が多い場合、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。
●Vアプリを起動させた状態では、著しく通話時間および待受時間が短くなる場合があります。
●メインディスプレイやサブディスプレイの照明が点灯している状態でのご利用（ボーダフォンライブ！ご利用時など）が多い場合は、連続通話時間および連続待受時間は短くなります。

充電器

入力電圧：AC100～240V
：50／60Hz
充電可能温度：5～35℃

用語集

用語	説　明
3G (UMTS)	第3世代（3G）移動体通信システムです。UMTSは、ヨーロッパの3G移動体通信システムのことです。
GSM	デジタル携帯電話の通信方式のひとつです。ヨーロッパやアジアを中心に世界で最も一般的に利用されています。
GPRS	GSM方式の携帯電話網を使ったデータ伝送技術です。パケット通信方式の高速なデータ通信が可能です。
USIM カード	902Tに取り付けて使います。カード内にはお客様の電話番号や契約している携帯電話機の情報などが記憶されています。また、電話帳などを保存することができます。携帯電話機を変更する際も同じUSIMカードを継続して利用することにより、その情報を新しい携帯電話機へ引き継ぐことができます。
PIN コード	Personal Identification Number（個人識別番号）の略で、902TでUSIMカードを使うために必要な暗証番号のことです。902Tが紛失・盗難等があった場合でも、第三者が携帯電話を使えないようにすることができます。
MMS	長い文字のメッセージや静止画、動画、メロディを添付して送受信することができます。
SMS	携帯電話どうしで短い文字のメッセージを送受信することができます。
プッシュ	自動配信サービスを登録しておくと新着情報がプッシュとして自動的に送られてきます。
SSL	インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法です。プライバシーに関わる情報やクレジットカード番号などを安全に送受信することができ、盗聴、改ざん、なりすましなどのインターネット上の危険を防ぐことができます。SSL通信ではサーバー証明書を利用します。

用語	説　明
サーバー証明書	サーバーを運用しているサイトが信頼できることを示す電子的な証明書です。SSL通信（暗号化された通信）に必要な情報、サーバーの情報、また、そのサーバーが本物であると証明した認証機関の電子的な署名がされています。
キャッシュ	ウェブで表示されたホームページなどのデータを902T本体に一時的に記憶しておく場所です。
V アプリ	Vアプリを提供しているウェブの情報画面から、ゲームや3D画像などのいろいろなアプリケーションをダウンロードして楽しむことができます。また、ネットワークに接続してリアルタイムに情報を入手したり、壁紙として起動させておくこともできます。

索　引

基本操作編

アルファベット・数字

あ

さ

た

な

は

ま

Vodafone live!編

アルファベット・数字

あ

た

な

は

ま

や

ら

保証とアフターサービス

■保証について

お買い上げいただいた場合には、保証書が添付されています。保証書に「お買い上げ日」および「取扱店」が記載されているかをご確認の上、内容をよくお読みになって大切に保管してください。

重　要

- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したためにお客様または第三者が受けた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■修理を依頼される場合

「故障かな？と思ったら」（30-9ページ）をお読みになり、もう一度お調べください。
それでも正常に戻らない場合には、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。

●保証期間中の修理
保証書の記載内容に基づいて修理いたします。

●保証期間経過後の修理
修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料にて修理いたします。

※修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。

重　要

- 故障または修理により、お客様が登録・設定した内容が消去・変化する場合がありますので、大切な電話帳などは控えをとっておかれることをおすすめします。なお、故障または修理の際に902Tに登録したデータ（電話帳やデータフォルダの内容など）や設定した内容が消失・変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解、改造すると電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引受けできませんので、ご注意ください。

補　足

- アフターサービスについてご不明な場合は、最寄りの**ボーダフォンショップ**または**お問い合わせ先**（30-28ページ）までご連絡ください。

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ボーダフォンお客さまセンター

総合案内	**ボーダフォン携帯電話から157（無料）**
紛失・故障受付	**ボーダフォン携帯電話から113（無料）**

一般電話からおかけの場合

ご契約地域

ご契約地域		
北海道・青森県・秋田県・岩手県・山形県・宮城県・福島県・新潟県・東京都・神奈川県・千葉県・埼玉県・茨城県・栃木県・群馬県・山梨県・長野県・富山県・石川県・福井県	総合案内	0088-240-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-240-113（無料）
愛知県・岐阜県・三重県・静岡県	総合案内	0088-241-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-241-113（無料）
大阪府・兵庫県・京都府・奈良県・滋賀県・和歌山県	総合案内	0088-242-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-242-113（無料）
広島県・岡山県・山口県・鳥取県・島根県	総合案内	0088-259-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-259-113（無料）
徳島県・香川県・愛媛県・高知県	総合案内	0088-247-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-247-113（無料）
福岡県・佐賀県・長崎県・大分県・熊本県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県	総合案内	0088-250-157（無料）
	紛失・故障受付	0088-250-113（無料）

Vodafone 902T 取扱説明書

2005年6月　第2版発行

ボーダフォン株式会社

＊ご不明な点はお求めになられたボーダフォン携帯電話取扱店にご相談ください。

機種名：Vodafone 902T
製造元：株式会社 **東芝**

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し貴重な資源を再利用するために、お客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器をブランド・メーカーを問わず左記のマークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

※回収した電話機・電池・充電器はリサイクルするためご返却できません。
※プライバシー保護の為、電話機に記憶されているお客様の情報（電話帳・通信履歴・メール等）は事前に消去願います。